平成27年度

仙台市
市民センター
事業概要

平成 28 年 9 月

仙台市生涯学習支援センター

目　次

Ⅰ　市民センターの概要

1　仙台市市民センター（公民館）の歴史 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2　市民センター概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3　平成 28 年度市民センターの体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
4　市民センターの施設理念と運営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１
5　市民センター事業体系 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７

Ⅱ　拠点館事業　平成 27 年度 市直営事業実績

1　生涯学習事業研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２１
2　広域規模の学習支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３１
3　学校・地域連携推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３４
4　学習情報収集・提供事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４０
5　人材育成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４２
6　仙台市公民館運営審議会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５５

Ⅲ　地区館事業　平成 27 年度 指定管理事業実績

青葉区

青葉区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５９
柏木市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６１
北山市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６３
福沢市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６５
旭ケ丘市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６７
三本松市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６９
片平市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７１
水の森市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７３
貝ケ森市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７５
中山市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７７
折立市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７９
木町通市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８１
広瀬市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８３
宮城西市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８５
大沢市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８７
落合市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８９
吉成市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９１

宮城野区

宮城野区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９３
生涯学習支援センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９５
高砂市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９６
岩切市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９９
鶴ケ谷市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０１
榴ケ岡市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０３
東部市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０５
幸町市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０７
田子市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０９
福室市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１２

若林区
若林区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１４
七郷市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１６
荒町市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１８
六郷市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２０
若林市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２２
沖野市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２４
太白区
太白区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２６
生出市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２８
中田市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３０
西多賀市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３２
八本松市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３４
八木山市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３６
山田市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３８
茂庭台市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４１
東中田市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４３
柳生市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４５
富沢市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４７
秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター・・・・・・・・・ １４９
泉区
泉区中央市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５１
根白石市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５３
南光台市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５５
黒松市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５７
将監市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５９
加茂市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６１
高森市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６３
松陵市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６５
寺岡市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６７
長命ケ丘市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６９
松森市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７１
桂市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７３
南中山市民センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７５

Ⅳ　資料編
１　市民センターの予算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７７
２　平成 27 年度　市民センター職員数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７８
３　平成 27 年度　主催講座の事業別実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・ １８０
４　主催事業参加者数推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８４
５　市民センター利用者数推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８６
６　仙台市市民センター条例・施行規則 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８８

平成 27 年度仙台市市民センター事業概要は
市民センターのホームページでもご覧いただけます

Ⅰ 市民センターの概要

１　仙台市市民センター（公民館）の歴史

昭和 21 年、在仙文化人有志により、宮城県医師会館内に「仙台公民館」が設立された後、昭和 24 年の社会教育法施行に合わせた「仙台市公民館条例」の制定により、仙台市公会堂(現市民会館)内に仙台市公民館が誕生した。

以後、館数を増やしながら、社会教育施設として、市民の学習意欲に応える種々の事業を実施するとともに、市民が自主的に学習活動を行う場の提供を行っている。

平成元年には、教育委員会所管の公民館と市民局所管の地区市民センターを相互に併設して名称を「市民センター・公民館」とし、政令指定都市移行に伴って各区に拠点館を置いた。さらに、翌平成 2 年度に、「仙台市市民センター条例」を新たに制定し、施設名称を「市民センター」に統一した。

平成 3 年度、財団法人仙台市地域振興公社に施設管理を委託し、平成 13 年度には、市民センターの業務再編により市職員を各区拠点館に集中配置して、地区館の生涯学習事業を財団法人仙台ひと・まち交流財団（平成 13 年度に地域振興公社から名称変更）に委託した。平成 16 年度からは、指定管理者制度導入に伴い、同財団（平成 23 年 4 月に公益財団法人化）を指定管理者とし、以降、指定を更新・継続して現在に至っている。

平成 23 年 5 月 1 日には、地域政策と教育行政の円滑な推進を図るため、教育局の第二種公所であった各区拠点館を区役所組織に移管し、各区の第二種公所として位置付けた。

平成 24 年 8 月 28 日に宮城野区中央市民センターが新設され、市民センターは、概ね中学校区毎に 60 館設置されている。

平成 26 年度から、中央市民センターの人材育成機能等を強化し、本市の生涯学習支援体制を充実するとともに、名称を生涯学習支援センターに変更した。

年　月	摘　　要	館数
昭和 21 年 10 月	在仙文化人有志により、宮城県医師会館内に「仙台公民館」設立	
昭和 24 年 6 月	「社会教育法」制定	
昭和 24 年 8 月	「仙台市公民館条例」の制定により、仙台市公会堂（現市民会館）内に「仙台市公民館」誕生	1 館
昭和 25 年 12 月	仙台市教育委員会発足 仙台市公民館運営審議会設置	
昭和 27 年 6 月	「仙台市社会教育委員の設置に関する条例」制定	
昭和 31 年 4 月	生出村が仙台市に合併したことに伴い、「生出村公民館」を「生出分館」に改称	1 館 1 分館
昭和 42 年 4 月	「生出分館」が移転し、「生出公民館」に名称を変更	2 館
昭和 42 年 10 月	「仙台市公民館条例」を新たに制定（旧条例は廃止）、貸室の有料化 「長町公民館」開館	3 館
昭和 43 年 11 月	「高砂公民館」開館	4 館
昭和 44 年 10 月	「中田公民館」開館	5 館

年 月	摘　　要	館数
昭和 46 年 8 月	公会堂解体・市民会館建設に伴い、「仙台市公民館」が東二番丁の「市民教養センター」に移転	
昭和 48 年 3 月	「仙台市公民館」を「中央公民館」に改称	
昭和 56 年 12 月	「岩切公民館」開館	6 館
昭和 58 年 3 月	「中央公民館」を現在地（仙台駅東口「パルシティ仙台」内）に新築移転し、宮城野通図書館（現・榴岡図書館）と共に開館	
昭和 58 年 4 月	「七郷公民館」開館	7 館
昭和 61 年 3 月	東二番丁小学校改築に伴う「市民教養センター」の廃止	
昭和 61 年 7 月	「中央公民館柏木分館」開館	7 館 1 分館
昭和 62 年 11 月	宮城町合併に伴い、公民館 9 館、分館 1 館となる （※）宮城・宮城西	9 館 1 分館
昭和 63 年 1 月	「中央公民館一番町分館」開館	9 館 2 分館
昭和 63 年 3 月	秋保町、泉市の合併に伴い、公民館 18 館、分館 2 館となる (※)泉・南光台・加茂・将監・根白石・秋保・馬場・湯元・八乙女	18 館 2 分館
平成元年 4 月	教育委員会所管の「公民館（18 館 2 分館)」と市民局所管の「地区市民センター（15 館)」が相互に併設され、新たに開館した 3 館を含めて施設の名称を「○○市民センター・公民館」の二枚看板とする 政令指定都市移行に伴い 5 区 38 館制をとり、各区に拠点館を設置 青 葉 区：「一番町公民館」 宮城野区：「中央公民館」 若 林 区：「七郷公民館」 太 白 区：「中田公民館」 泉　　区：「泉公民館」 ・名称変更：柏木・一番町（分館から公民館へ名称変更） ・新　　設：片平・東中田・高森 ・市民会館の一部として開館していたものに併設：榴ヶ岡 ・市民センターに併設 鶴ヶ谷・東部・北山・福沢・旭ヶ丘・三本松・荒町・ 南小泉・六郷・西多賀・八本松・八木山・山田・茂庭台	38 館
平成 2 年 3 月	「仙台市市民センター条例」を新たに制定。	
平成 2 年 4 月	名称を「市民センター」に統一し、施設を教育委員会が所管する公民館として位置づけ、施設の使用許可を区長に委任、施設管理の総括を市民局、維持管理を区長に補助執行させる 「松陵市民センター」開館	39 館
平成 2 年 5 月	「大沢市民センター」開館	40 館
平成 2 年 9 月	「水の森市民センター」開館	41 館

年 月	摘　　要	館数
平成 3 年 4 月	「若林市民センター」「沖野市民センター」「寺岡市民センター」開館	44 館
平成 3 年 6 月	「宮城市民センター」の名称を変更し、広瀬文化センター内に「広瀬市民センター」が開館	
平成 5 年 4 月	「幸町市民センター」「貝ヶ森市民センター」「長命ヶ丘市民センター」開館	47 館
平成 5 年 9 月	「南小泉市民センター」の名称を変更し、若林区文化センター内に若林区の拠点館「若林区中央市民センター」として開館	
平成 6 年 4 月	「落合市民センター」開館	48 館
平成 6 年 11 月	「せんだいＬＬプラン 21　仙台市生涯学習基本構想」策定	
平成 7 年 4 月	「中山市民センター」開館	49 館
平成 7 年 5 月	「折立市民センター」開館	50 館
平成 8 年 4 月	「吉成市民センター」開館	51 館
平成 9 年 4 月	「柳生市民センター」開館	52 館
平成 11 年 6 月	「長町市民センター」の名称を変更し、太白区文化センター内に太白区の拠点館「太白区中央市民センター」として開館	52 館
平成 11 年 8 月	「田子市民センター」開館	53 館
平成 12 年 1 月	「松森市民センター」開館	54 館
平成 13 年 1 月	「仙台まなびの杜（仙台市教育ビジョン)」策定（平成 13 年～22 年）	
平成 13 年 4 月	市民センターの業務再編により、職員を拠点館に集中配置、市民センター地区館事業を「仙台ひと・まち交流財団」に委託	
平成 13 年 9 月	「市民センター運営方針」を定める	
平成 13 年 11 月	「富沢市民センター」開館	55 館
平成 13 年 12 月	「桂市民センター」開館	56 館
平成 15 年 3 月	「福室市民センター」開館	57 館
平成 15 年 11 月	仙台市市民利用施設予約システムの導入 「南中山市民センター」開館	58 館
平成 16 年 4 月	指定管理者制度導入に伴い、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定（平成 16 年 4 月から 3 年間） 「木町通市民センター」開館	59 館
平成 19 年 4 月	非公募により引き続き、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定	
平成 19 年 10 月	仙台市公民館運営審議会より「市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて」（答申）を受ける。	

年 月	摘　　要	館数
平成 20 年 12 月	「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」策定	
平成 21 年 4 月	非公募により引き続き、財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定	
平成 23 年 4 月	非公募により引き続き、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定 ※平成 23 年 4 月 1 日より「財団法人仙台ひと・まち交流財団」から「公益財団法人仙台ひと・まち交流財団」に変更	
平成 23 年 5 月	各区中央市民センターを教育局から各区役所区民部の公所として組織変更し、業務を各区長の補助執行とする。 宮城野区の拠点館機能を教育局中央市民センターから分離し、宮城野区中央市民センターが新設されるまでの間、宮城野区区民部に「市民センター事業推進室」を設置	
平成 24 年 8 月	「宮城野区中央市民センター」開館 宮城野区拠点館である「宮城野区市民センター事業推進室」の名称を「宮城野区中央市民センター」に変更 「榴ケ岡市民センター」を廃止 「榴ケ岡市民センター榴岡公園軽体育館」の名称を「榴ケ岡市民センター」に変更	60 館
平成 25 年 4 月	非公募により引き続き、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団を指定管理者に指定	
平成 26 年 4 月	中央市民センターの人材育成機能等を強化し、生涯学習支援体制の充実を図るとともに、名称を生涯学習支援センターに変更 「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」を改定	

２　市民センター概要

（平成 27 年 8 月 1 日現在）

（1）市民センターの概要

市民センターは概ね中学校区毎に設置されており、その総数は、平成 27 年 4 月 1 日現在 60 館となっている。市民センターの種類は次のとおりである。

① 生涯学習支援センター

本市の全域を主たる対象区域としてその事業を行うとともに、他の全ての市民センターを統括する市民センターで、1 館設置されている。

② 区中央市民センター

その所在する区の区域内を主たる対象区域としてその事業を行うとともに、当該区域内に所在する地区市民センターを支援する市民センターで、各区に 1 館ずつ、計 5 館設置されている。

③ 地区市民センター

生涯学習支援センター及び区中央市民センター以外の市民センターで、54 館設置されている。

（2）市民センターの施設概要

①　生涯学習支援センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
生涯学習支援	宮城野区榴岡四丁目 1 番 8 号	295-0403 295-0810	昭和 58 年 2 月 28 日	3,367.52 4,064.32	会議室、セミナー室(4)、和室、音楽室(2)、創作室(2)、体育館、トレーニング室、ミーティング室	榴岡図書館

②　区中央市民センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
青葉区中央	青葉区一番町二丁目 1 番 4 号	223-2516 261-3251	昭和 62 年 12 月 15 日	7,148.85 2,311.55	ホール、小ホール(2)、会議室(5)、和室、調理実習室、音楽室、市民活動室	幼稚園・小学校
宮城野区中央	宮城野区五輪二丁目 12 番 70 号	791-7015 295-2337	平成 24 年 7 月 13 日	(宮城野区文化センター内) 12,626.18 3,075.46	会議室(4)、和室(2)、調理実習室、音楽室、創作室、体育館、市民活動室、親子室、娯楽室、資料室	文化センター・児童館・図書館・情報センター
若林区中央	若林区南小泉一丁目 1 番 1 号	282-1173 282-1180	平成 5 年 3 月	(若林区文化センター内) 11,842.43 515.21	会議室(2)、和室(3)、セミナー室(2)、創作室、サークル連絡室、プレイルーム	文化センター・図書館・情報センター
(若林区中央別棟)	若林区保春院前丁 3 番地の 4		昭和 53 年 5 月 17 日	3,369.21 2,120.57	会議室、和室(2)、調理実習室、ホール、娯楽室	児童館・社会福祉協議会

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
太白区 中央	太白区長町 五丁目 3 番 2 号	304-2741 304-2526	平成 11 年 3 月 31 日	(太白区文化 センター内) 9,684.57 2,311.68	会議室(5)、和室(2)、調理実 習室、音楽室、創作室、体 育館	文化センター・ 図書館・児童 館・情報センタ ー
泉区 中央	泉区市名坂 字東裏 53 番 地の 1	372-8101 372-2447	平成 15 年 11 月 14 日	3,035.78 2,138.54	会議室(3)、和室(2)、調理実 習室、研修室、音楽室、創 作室、親子室、娯楽室、市 民活動室、ホール	コミュニティ防 災センター・泉 ふるさと生活ギ ャラリー

③　地区市民センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
柏木	青葉区柏木 三丁目 3 番 1 号	233-8066 233-8484	平成 10 年 4 月 1 日	2,822.73 1,315.20	会議室、和室(2)、ホール、 市民活動室、資料室	コミュニティ防 災センター
北山	青葉区新坂 町 8 番 4 号	272-1020 272-1036	昭和 49 年 7 月 3 日	2,071.54 1,406.43	会議室(3)、和室(4)、調理実 習室、娯楽室、トレーニング 室、親子室、資料室、図書 室	
福沢	青葉区福沢 町 9 番 9 号	223-9095 213-1647	昭和 59 年 6 月 9 日	3,205.75 1,998.46	会議室(3)、和室(3)、視聴覚 室、調理実習室、遊戯室、 図書室、娯楽室、体育館	コミュニティ防 災センター
旭ケ丘	青葉区旭ケ丘 三丁目 25 番 15 号	271-4729 271-7984	昭和 60 年 6 月 15 日	3,128.66 2,044.91	展示ホール(2)、ホール(2)、 会議室(3)	旭ケ丘バス乗 継ターミナル
三本松	青葉区堤町 三丁目 23 番 1 号	274-3955 234-5355	昭和 62 年 3 月 31 日	4,861.02 1,499.07	会議室、会議室兼調理室、 和室(2)、体育館、遊戯室、 図書室	コミュニティ防 災センター
片平	青葉区米ケ袋 一丁目 1 番 35 号	227-5333 268-0234	平成元年 3 月 15 日	2,500.03 2,027.60	会議室(2)、会議室兼調理実 習室、和室(3)、体育館、娯 楽室、広瀬川自然展示コー ナー	児童館(図書 室)・コミュニティ 防災センター
水の森	青葉区水の 森四丁目 1 番 1 号	277-2711 277-8863	平成 2 年 8 月 30 日	(水の森温水 プール内) 11,317.60 1,847.57	会議室、会議室兼調理実習 室、和室(3)、体育館、親子 室	児童館(図書 室)・コミュニティ 防災センター・ 温水プール
貝ケ森	青葉区貝ケ森 一丁目 4 番 6 号	279-6320 279-6704	平成 5 年 4 月 26 日	3,669.11 1,578.64	会議室、会議室兼調理実習 室、和室(2)、資料室、親子 室、ホール	児童館(図書 室)
中山	青葉区中山 三丁目 13 番 1 号	279-9216 719-2150	平成 7 年 3 月 31 日	4,047.48 1,719.78	会議室、会議室兼調理実習 室、和室(2)、資料室、親子 室、ホール	児童館(図書 室)・老人憩い の家・コミュニテ ィ防災センター
折立	青葉区折立 三丁目 20 番 1 号	226-1226 226-2660	平成 7 年 5 月 30 日	2,843.36 1,790.71	会議室、会議室兼調理実習 室、和室(2)、ホール、親子 室、資料室	児童館(図書 室)・コミュニティ 防災センター
木町通	青葉区木町 通一丁目 7 番 36 号	711-2561 212-4330	平成 16 年 2 月 27 日	(木町通小学 校内) 10,480.00 2,892.34	会議室(2)、和室(2)、調理実 習室、娯楽室、親子室、市 民活動室、ホール	小学校・児童館 (図書室)・コミュ ニティ防災セン ター

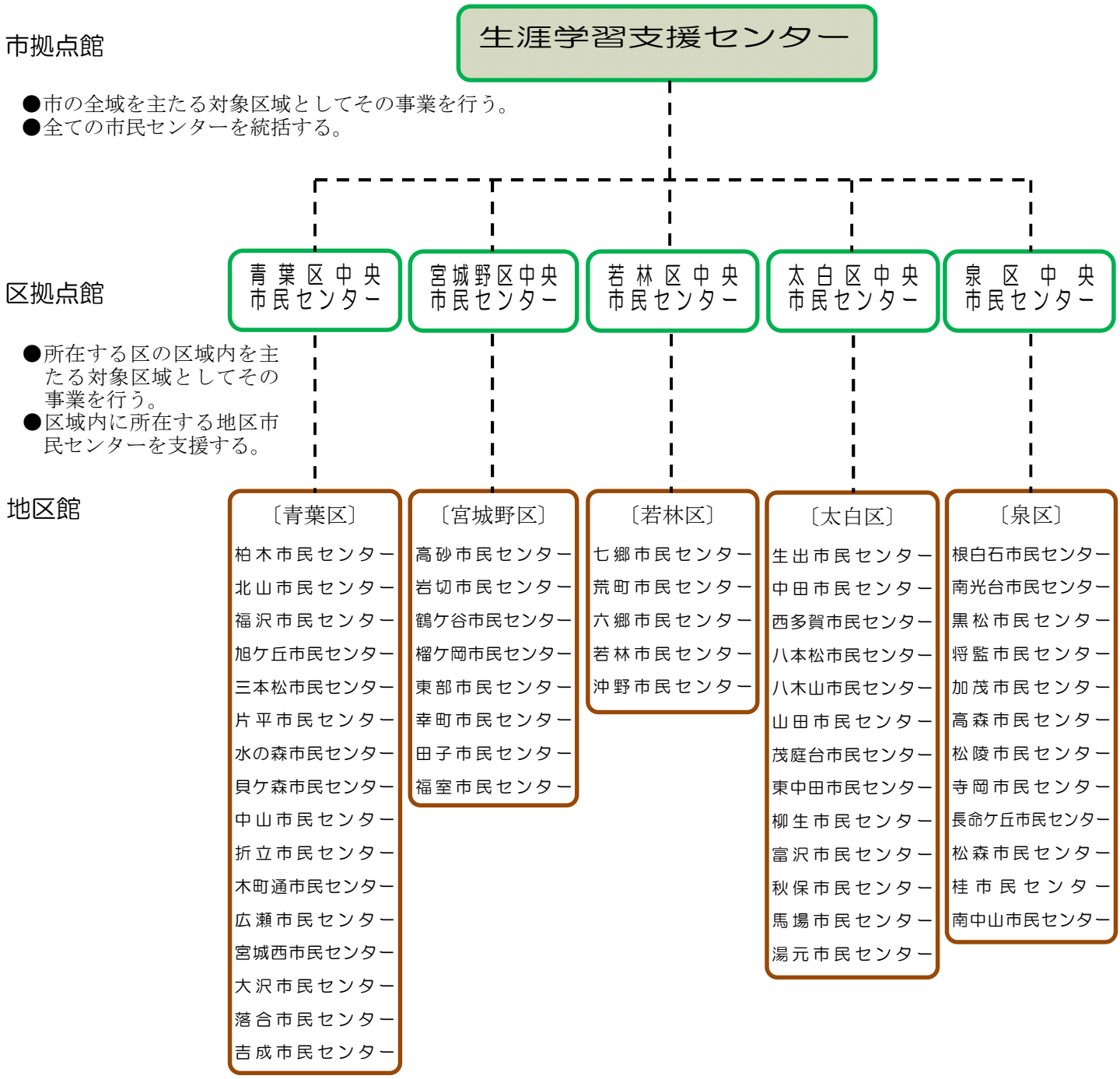
館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
広瀬	青葉区下愛子字観音堂5番地	392-8405 392-8410	平成3年 3月31日	6,746.77 786.54	会議室、セミナー室(2)、和室(2)、創作室、サークル連絡室、プレイルーム	広瀬文化センター・広瀬図書館
宮城西	青葉区熊ヶ根字石積47番地	393-2829 393-2491	昭和51年 12月20日	2,299.72 1,484.56	会議室(2)、和室(2)、調理実習室、ホール、市民活動室、親子室、娯楽室	
大沢	青葉区芋沢字要害65番地	394-6891 394-6439	平成2年 5月24日	6,318.73 1,245.60	会議室兼調理実習室、和室(2)、体育館	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター・証明発行センター
落合	青葉区落合二丁目15番15号	392-7301 392-6737	平成6年 3月31日	4,078.96 1,248.45	会議室兼調理実習室、和室(2)、娯楽室、図書室、親子室、ホール	コミュニティ防災センター
吉成	青葉区国見ヶ丘二丁目2番地の1	279-2033 279-9431	平成8年 4月26日	3,300.76 1,606.03	会議室、会議室兼調理実習室、和室、親子室、ホール、資料室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
高砂	宮城野区高砂一丁目24番地の9号	258-1010 259-7577	平成6年 3月30日	10,000.02 1,908.06	会議室(2)、和室(2)、調理実習室、親子室、ホール、資料室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター・老人福祉センター・デイサービスセンター・保健センター
岩切	宮城野区岩切字三所南88番地の2	255-7728 255-2075	昭和56年 12月15日	4,789.09 2,060.91	講義室、研修室(2)、和室(2)、調理実習室、視聴覚室、創作室、体育館、図書室、交流室、親子室、資料室	保健センター・老人憩いの家・コミュニティ防災センター・証明発行センター
鶴ケ谷	宮城野区鶴ケ谷二丁目1番地の7	251-1562 251-1564	平成28年 2月19日	3291.14 1763.95	会議室(3)、和室、調理実習室、ホール、娯楽室、親子室、市民活動室、図書室	コミュニティ防災センター
榴ケ岡	宮城野区五輪一丁目3番1号	299-5666 299-5690	平成元年 4月26日	963.40 1,005.33	和室(2)、ミーティングルーム(2)、休憩室、体育館	
東部	宮城野区平成一丁目3番27号	237-0092 235-7634	昭和58年 4月8日	1,795.57 1,435.36	会議室、和室(3)、調理実習室、娯楽室、体育館	児童館(図書室)
幸町	宮城野区幸町三丁目13番13号	291-8651 291-8561	平成5年 3月31日	3,838.08 1,756.90	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、親子室、資料室、ホール	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
田子	宮城野区田子二丁目4番25号	254-2721 254-2722	平成11年 8月5日	2,877.76 1,951.49	会議室(2)、和室(2)、調理実習室、ホール、娯楽室、親子室、市民活動室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
福室	宮城野区福室五丁目9番36号	786-3540 388-6320	平成15年 1月10日	4,747.25 1,956.70	ホール、会議室(2)、和室(2)、調理実習室、市民活動室、娯楽室、親子室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
七郷	若林区荒井字堀添65番地の5	288-8700 288-2340	昭和58年 3月7日	5,674.00 1,986.39	会議室、研修室(2)、和室(3)、調理実習室、視聴覚室、創作室、体育館、市民活動室	児童館(図書室)・保健センター・コミュニティ防災センター・証明発行センター

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
荒町	若林区荒町 86 番地の 2	266-3790 266-5436	平成 21 年 11 月 27 日	1,430.29 2,234.78	会議室(3)、和室(2)、調理実習室、ホール、娯楽室、親子室、市民活動室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
六郷	若林区今泉 一丁目 3 番 19 号	289-5127 289-6359	昭和 56 年 12 月 15 日	4,354.80 1,843.28	会議室(3)、和室(3)、調理実習室、娯楽室、市民活動室、体育館	児童館(図書室)・保健センター・証明発行センター
若林	若林三丁目 15 番 20 号	282-4541 282-2637	平成 3 年 4 月 29 日	3,048.00 1,624.03	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、資料室、親子室、ホール	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
沖野	若林区沖野 七丁目 34 番 43 号	282-4571 285-4681	平成 3 年 3 月 30 日	6,151.42 1,637.42	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、親子室、資料室、ホール	児童館(図書室)・老人福祉センター・デイサービスセンター
生出	太白区茂庭 字新熊野 64 番地	281-2040 281-4319	昭和 55 年 3 月 31 日	4,253.24 955.78	講義室(2)、和室、図書室、調理実習室、体育館	診療所・保健センター・証明発行センター
中田	太白区中田 四丁目 1 番 5 号	241-1459 242-2535	昭和 56 年 3 月 20 日	3,217.97 1,801.97	講義室、研修室(2)、和室(2)、調理実習室、視聴覚室、図書室、体育館	コミュニティ防災センター・証明発行センター
西多賀	太白区西多 賀三丁目 6 番 8 号	244-6721 244-0524	昭和 53 年 5 月 10 日	2,526.17 1,462.35	会議室(2)、和室(3)、調理実習室、ホール、娯楽室	児童館(図書室)
八本松	太白区八本 松二丁目 4 番 20 号	246-2426 246-9023	昭和 60 年 5 月 12 日	3,606.73 1,495.44	会議室兼調理実習室、会議室、和室(2)、体育館、市民活動室	児童館・太白図書館分室・コミュニティ防災センター
八木山	太白区八木 山本町一丁 目 43 番地	228-1190 228-1689	昭和 62 年 2 月 10 日	4,239.00 2,599.94	会議室、会議室兼調理実習室、研修室(3)、和室(2)、体育館、遊戯室、娯楽室、図書室、市民活動室	コミュニティ防災センター
山田	太白区山田 北前町 13 番 1 号	244-0213 244-1843	昭和 62 年 4 月 17 日	4,434.93 1,496.88	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、体育館、遊戯室、娯楽室、図書室	コミュニティ防災センター
茂庭台	太白区茂庭 台四丁目 1 番 10 号	281-3293 281-4349	昭和 63 年 3 月 31 日	9,803.90 1,495.55	会議室、和室(2)、会議室兼調理実習室、娯楽室、体育館	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
東中田	太白区四郎 丸字吹上 51 番地	242-1185 242-7053	平成元年 3 月 5 日	5,516.21 1,619.96	会議室、和室(2)、娯楽室、体育館、会議室兼調理実習室	児童館(図書室)・保健センター・コミュニティ防災センター
柳生	太白区柳生 七丁目 20 番 7 号	306-6750 306-7081	平成 9 年 3 月 31 日	2,879.16 1,633.01	会議室、和室(2)、ホール、資料室、親子室、会議室兼調理実習室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
富沢	太白区富沢 南一丁目 18 番地の 10	244-3977 307-5101	平成 13 年 11 月 22 日	4,068.46 1,839.30	会議室(2)、和室(2)、ホール、調理実習室、娯楽室、親子室、図書室、市民活動室	コミュニティ防災センター
秋保	太白区秋保 町長袋字大 原 44 番地の 1	399-2316 399-2394	昭和 46 年 9 月 1 日	5,281.64 1,643.03	研修室、図書室、和室(2)、会議室(2)、ホール、調理実習室、親子室、市民活動室、資料室	
馬場	太白区秋保 町馬場字竹 林 45 番地の 1	399-2745 －	昭和 52 年 3 月 31 日	3,185.42 734.20	会議室、講義室、調理実習室、体育館、図書室兼談話室	

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	敷地面積 建物延床 面積(㎡)	主要施設	併設施設
湯元	太白区秋保町湯向2番地の20	398-2720 398-2789	昭和54年3月31日	1,846.47 844.98	集会室、会議室、講義室、視聴覚室、調理実習室、和室	
根白石	泉区根白石字杉下前24番地	379-2108 376-5769	昭和63年3月31日	5,839.66 1,911.53	会議室(2)、ホール、工作室、和室、調理実習室	泉図書館分室、証明発行センター
南光台	泉区南光台七丁目1番30号	253-1023 253-1024	平成27年2月13日	2,829.02 1,750.15	会議室(4)、和室、調理実習室、ホール、親子室、市民活動室	泉図書館分室、コミュニティ防災センター・証明発行センター
黒松	泉区黒松一丁目33番40号	234-5346 219-2038	平成4年10月20日	5,264.63 1,491.48	ホール、研修室(2)、多目的室、和室、調理実習室	泉図書館分室
将監	泉区将監八丁目2番1号	372-0923 374-8704	平成4年3月19日	1,821.00 1,497.95	和室(2)、研修室(3)、調理実習室、ホール、娯楽室、託児室	泉図書館分室
加茂	泉区加茂四丁目2番地	378-2970 377-4565	昭和58年4月1日	4,471.52 2,127.06	会議室、和室、研修室(2)、調理実習室、体育館、談話室、市民活動室	泉図書館分室
高森	泉区高森六丁目1番2号	378-9950 378-9969	平成元年3月20日	3,000.12 1,499.93	研修室(3)、和室、調理実習室、音楽室、工作室、ホール	泉図書館分室
松陵	泉区松陵五丁目20番地の2	375-8101 375-6101	平成2年3月10日	2,806.93 1,498.49	研修室(3)、工作室、調理実習室、和室、託児室、ホール	泉図書館分室
寺岡	泉区寺岡二丁目14番地の4	378-4490 378-4534	平成3年3月10日	2,665.42 1,481.22	研修室(3)、和室、調理実習室、トレーニング室、ホール、市民活動室	泉図書館分室
長命ケ丘	泉区長命ケ丘二丁目14番15号	377-3504 377-3508	平成5年4月27日	2,885.07 1,496.35	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、娯楽室、親子室、ホール	泉図書館分室
松森	泉区松森字城前9番地の2	776-9510 776-9512	平成11年12月10日	4,000.50 1,870.33	会議室、和室(2)、調理実習室、工作室、ホール、娯楽室、図書室、親子室、市民活動室	コミュニティ防災センター、訪問看護ステーション
桂	泉区桂三丁目19番1号	375-0550 771-5931	平成13年12月4日	7,759.48 2,268.05	会議室(2)、和室(2)、創作室、調理実習室、娯楽室、親子室、市民活動室、ホール	児童センター(図書室)・コミュニティ防災センター
南中山	泉区南中山二丁目24番12号	379-4780 348-4340	平成15年11月13日	5,718.56 1,579.66	会議室(2)、和室(3)、調理実習室、研修室、親子室、娯楽室、市民活動室、図書コーナー、体育館	コミュニティ防災センター

3　平成 27 年度 市民センターの体制

（平成 28 年 4 月 1 日現在）



※仙台市内の市民センター　60 館（青葉区 17 館、宮城野区 10 館、若林区 6 館、太白区 14 館、泉区 13 館）

※市拠点館及び区拠点館については、地区館としての機能も有している。

※地区館の業務（生涯学習支援事業、施設の使用許可等）は、指定管理者（公益財団法人　仙台ひと・まち交流財団）が行っている。

４　市民センターの施設理念と運営方針

（平成 26 年 4 月改定）

仙台市市民センターの施設理念

市民センターとは、次の３つの機能が一体となって運営される社会教育施設である。

１　市民の学びのプロセスに沿った学習支援のための諸機能を有し、あらゆるライフステージに応じた市民一人ひとりの学びを総合的に支援する、市民との協働による**市民本位の生涯学習の支援拠点としての機能**

２　子どもから高齢者までのあらゆる市民が集い交流し、多様な市民による様々な活動が主体的に行えるよう支援する場や機能を持った市民のための**市民が主役の交流拠点としての機能**

３　学びを通して地域の人と人とをつなぎ、住みよいまちづくりにつながる人づくりを行う**地域づくりの拠点としての機能**

仙台市市民センター事業の運営方針

１．市民センター事業の目的

１）市民センター全体の事業目的

市民センターは、それぞれの地域での市民ニーズに応じた多様な事業を実施することにより、市民一人ひとりの主体的な生涯学習活動が充実し、その活動をきっかけとして仲間が集い交流が生まれ、その相互の交流を通して住みよい地域づくりにつながる自治活動が活発になるなど、それぞれの地域社会のより良い形成に寄与する“人づくり”を目指す。

【重点方針】

・全ての市民センター事業は、この目的に向かって計画性を持って実施する。

・実際の事業の企画・実施にあたり、職員は「きっかけ」「仕掛け」「働きかけ」といった社会教育的関わりを常に意識し、市民の主体的な「学び」を支え、市民と協働して事業に取り組む。

・職員はこのような目的が達成されているかどうかを自己点検・評価するとともに、市民・地域住民による評価を受け、事業の改善に絶えず努める。

・東日本大震災での経験を踏まえるとともに、震災からの復興を見据え、地域課題の解決や地域づくりの担い手の育成に向けた取組の強化を図る。

２）拠点館事業の主要な目的

拠点館事業の主要な目的は、本市における、あらゆる市民のライフステージごとの学習ニーズに対応した、多様な生涯学習事業の計画的かつ体系的な推進である。さらには、指定管理者制度の下で事業を受注している地区館（地区市民センター）に対して、市拠点館（生涯学習支援センター）はその果たすべき業務の目的・目標を設定するとともに、区拠点館（区中央市民センター）は定期的に事業を評価し必要な助言を行うなど、発注者としての地区館事業へのマネジメントを行い社会教育施設としての質の確保を図ることである。

【重点方針】

・拠点館は、体系化された事業計画と社会教育の専門性を持って、市民センター事業全体の質を維持し高めるものとする。
・拠点館職員は常に専門性の維持・向上に努め、地域課題を踏まえた調査研究事業の充実と地区館支援のための環境整備に重点的に取り組むものとする。

３）地区館事業の主要な目的

地区館事業の主要な目的は、地域を基盤とし、地域づくりにつながる人づくりを行うことであり、市民一人ひとりが「出会い・ふれあい・学びあう」ことでつながり、さらには市民自ら地域課題に向き合い住み良いまちづくりに協働して取り組むことができるよう支援することである。

【重点方針】

・地区館は“地域づくりの拠点”としての機能を果たすことを重点目標とし、地域のコーディネーターの役割を担うものとする。
・地域の連帯感を高め豊かな地域社会を創るために、地域における市民の主体的で多様な生涯学習活動を支援し、質・量ともに充実するものとする。

２　市民センターの役割

１）　市拠点館（生涯学習支援センター）の基本的な役割

(1) 市民センターにおける生涯学習事業体系の策定と行動計画の立案、及び全市にわたる生涯学習事業の推進

本市における生涯学習に関わる機関・団体との役割分担を踏まえ、学校教育や関係局・区役所とも連携しながら、市民センターが担うべき生涯学習事業体系を策定し、事業目標を定めた行動計画にしたがって本市の生涯学習事業を着実に推進する。併せて、人材育成にかかる事業を中心とした生涯学習事業を総合的・体系的に実施する。

(2) 生涯学習推進のための専門性の向上

少子高齢化・国際化・情報化、男女共同参画などの現代的な課題や、本市が抱える諸課題への先進的な取組み、及び市民のライフステージごとの多様な学習ニーズの把握と効果的なプログラムづくり等の調査・研究を推進するとともに、その成果を地区館等へ還元する。

また、東日本大震災を機に生じた地域社会のあり方、エネルギー問題等の社会的課題や社会からの要請に対応する取組についての調査・研究を推進する。

(3) 市民一人ひとりのニーズに対応した生涯学習支援体制の充実

〔学習活動のネットワーク化とリーダー等の養成〕

市民相互の学習活動やそのネットワーク化を支援するとともに、学習リーダーや学習ボランティアを養成し、その活動を推進する。

〔生涯学習に関する関係機関等との連携・協力の推進〕

生涯学習について、大学、市民活動団体等関係機関・団体との連携・協力を推進する。

〔生涯学習情報の計画的体系的な収集と提供〕

計画的で体系的な生涯学習情報の収集と提供を行い、生涯学習相談事業の充実を図る。

(4) 指定管理者制度下での指定管理業務のマネジメントの推進

市民センターの指定管理業務を統括する立場から、指定管理業務の目的とそのための事業の目標及びその要求水準の考え方を明確にし、地区館ごとに事業を評価できる体制を構築する。

(5) 職員の育成

〔職員研修の体系化と専門研修の充実〕

初任者・中堅者・館長などに対する経験や役割に応じた体系的な研修や、社会教育を担当する職員としての専門性を高める研修の充実を図る。

〔職員への助言及び支援体制づくり〕

事業が具体的な目標のもとに計画的に推進できるよう、事業を担当する職員への専門的な助言や支援のための体制づくりに努める。

２） 区拠点館（区中央市民センター）の基本的な役割

(1) 区内の生涯学習事業の推進

〔区内の生涯学習事業の推進と地域リーダーの育成〕

区内諸団体、区役所関係課、区内地区館などとの連携を図り地域課題に取り組むことで、区内の生涯学習事業を推進するとともに、区内の地域リーダーの育成に努める。

〔区内の市民の学習・グループ活動への支援〕

区内の生涯学習活動を幅広く支援するため、生涯学習情報の収集と提供及び相談事業を充実させるとともに、活動する市民・団体等のグループ化やネットワーク化への支援に努める。

(2) 区内地区館事業への支援

〔関係諸団体との連携の推進〕

地域団体・NPO・ボランティア団体などの民間諸団体や、区役所関係課、学校などの公共機関等との連携によって地区館事業が活発に展開されるよう、地区館を積極的に支援する。

また、地域課題の把握とその対応等に向け、区役所関係課と地区館とが連携し

て取り組み、市民協働による地域づくりが推進されるよう支援する。

〔家庭及び地域での教育力向上、ジュニアリーダーの育成支援〕

地域での子育て支援や子どもが育つ環境づくりのために、区内の地域団体・民間諸団体、区役所等行政機関の担当課、学校、嘱託社会教育主事研究協議会支部等とも十分連携し、地区館での家庭及び地域社会の教育力の向上とジュニアリーダーの育成が図られるよう、その支援に努める。

〔地区館職員の育成〕

定期的な連絡会の開催や、区内の地区館が連携して進める事業の支援など、区内の地区館職員の育成が図られ、かつ効果的な事業が推進されるよう働きかけを行う。

(3) 指定管理者制度下での区内地区館業務のマネジメントの推進

地区館業務の目的、各事業の目標及び要求水準をもとに、それぞれの地域ニーズを地区館職員とともに把握し、より効果的な事業の実施に向けた助言等を行うとともに、事業の結果について的確な評価を行うことで、地区館事業の向上が図られるよう支援に努める。

３） 地区館（地区市民センター）の基本的な役割

【取組指針】

社会教育施設としての地区館に求められる下記の機能は、相互に関連を持ちながら総合的に発揮されなければならない。それにより、これまで市民センターに関心のなかった人々が、地区館事業に様々な形で関わることができ、地区館が多くの市民の参画を得ながら地域づくりの拠点として活発に機能することになる。

また、地区館の職員は、区拠点館の支援を受けつつ、地域に積極的に出向きながら、これらの機能が総合的に発揮されるよう「きっかけ」をつくり、「仕掛け」「働きかけ」を行い、地域住民や地域の諸団体等と協働して事業を展開していくものとする。

(1) 地域住民本位の生涯学習拠点機能

〔学習ニーズ・地域課題を踏まえた特徴ある事業の実施〕

地域住民を対象にしたアンケート調査や懇談会、日々の地域情報の収集などを通して地域住民の学習ニーズと地域課題を把握し、目的を明確にした上で特徴ある事業を実施する。

〔事業の魅力づくりと参加しやすい条件づくり〕

事業の企画にあたっては「学びを通じての人と人とのつながり」を基本方針とし、地域住民が楽しく参加したくなるような工夫（魅力づくり）や参加しやすい条件を整えるよう努める。

〔市民参画の推進と市民の活動の育成・支援〕

市民自らが学ぶことで主体的な活動が地域で多様に展開できるよう、市民参画による事業を積極的に推進するとともに、地域を基盤としたサークル活動や市民活動の育成・支援に努める。

(2) 地域の交流・拠点機能

〔地域住民の交流の場、及び子どもたちの育成・交流の場の確保〕

多様な地域住民が気軽に集い、楽しく交流のできる場と機会を設ける。特に、地域の中で見守られ育まれるべき次代を担う子どもたちのための子育て支援と青少年の育成・交流の場の確保に配慮する。

〔様々な地域ネットワークの拠点機能＝プラットフォームの確保〕

地域にある様々な団体、NPO、ボランティア組織等が共通の地域課題のもとに集まれるネットワークの拠点としての機能（プラットフォーム）が持てるよう努める。

(3) 地域のコミュニティづくり機能

〔コミュニティ意識の醸成〕

地域住民と協働し、地域の歴史・自然・行事などの地域資源を活かした地域文化の継承と創造の事業に継続的に取り組むとともに、地域の魅力と課題の発見を通して、多くの地域住民が地域と関わることができるよう積極的に働きかけ、地域住民のコミュニティ意識の醸成を図る。

〔地域活動を担う人材の育成〕

地域課題を踏まえ、地域の関係団体や NPO 等と連携しながら、地域での多様な活動を担う人材の育成に努める。この場合において、幅広い世代の人材育成にも配慮しながら取り組む。

〔地区館事業に市民が主体的に関わる仕組みづくり〕

地域に根差した地区館事業を市民と協働で推進するために、地域住民が地区館事業に主体的に関わる仕組み（地域住民による地区館ごとの運営協議会等）を創り活かす。

(4) 地域のコーディネート機能

〔地域にある機関・団体等のネットワーク化の支援〕

ＰＴＡ・町内会・商店街等の各種地域団体、NPO など地域に関わる団体、学校や区役所等の公共機関等と連携し、地域住民とともに地域課題に取り組むためのネットワークが構築されるよう支援する。

〔行政機関と地域との仲介・調整の窓口機能の分担〕

“地域の声”を施策や事業につなげるために、行政機関等と地域の諸団体等との交流拠点施設としての仲介及び調整の窓口機能を担う。

(5) 地域の情報ステーション機能

〔地域の資源等の保管と公開〕

地域にある様々な資源（歴史、文化、自然、祭礼行事、施設、人材等）などに関する情報を多様な媒体に整理・保管し、地域住民が必要に応じて閲覧し活用できる仕組みを整える。

〔地域情報の収集と提供〕

地域内の学校や区役所などの公共機関からのお知らせや催し情報のほか、地域団体や各種サークル、NPO などからの活動情報や募集情報などを随時収集・整理し、適時、地域住民に提供する。

仙台市市民センターの施設管理の運営方針

１）市民サービスの向上

(1) 利用者の立場に立ったサービスを行う。

(2) 利用者のプライバシーを保護するよう十分配慮する。

２）市民交流スペースの確保とオープンスペースの活用

市民の誰もが気軽に立ち寄り、交流のできる場と機能を確保する。

地区館のオープンスペース等に関しては、地域住民にとって魅力ある場となるよう、地域住民の意向を十分に踏まえた各館独自のルール及び運営体制を設けるなど、その利用を促進する。

３）地域住民等との顔の見える関係づくり

地区館は、地域づくりの拠点としての機能を踏まえ、施設管理における日常の様々な場面において、地域住民や地域団体等との顔の見える関係づくりに努める。

震災を踏まえた市民センターの役割と取組

平成 25 年４月に策定された仙台市地域防災計画において、市民センターは、地域との事前協議により、地域の実情に応じて、補助避難所等に位置づけられることとなった。また、市民センターには、災害発生直後から必要となる食料、飲料水等の物資が備蓄されており、災害時において避難所となる市民センターは、同計画等に基づき、住民等の安全を守るとともに、生活の場としての役割を担うこととなる。住民に身近で信頼される施設として、災害時における役割を十分に果たしていくものとする。

また、地域においては、平時から地域団体や住民等が連携しながら、地域における防災体制を構築するなどの安全・安心な地域づくりが求められているとともに、災害・防災等に関する知識を深め、防災・減災意識の向上を図ることが重要となっている。

こうした状況の中、市民センターは、これまで培ってきた地域団体等とのネットワークを活かしながら、人材育成機能やコーディネート機能等を十分に発揮し、地域の防災体制作りの支援など、地域の防災・減災に資する取組を行うとともに、地域課題の解決や地域づくりの担い手の育成に向けた取組の強化を図る。さらに、地域の生涯学習の拠点として、防災訓練等も含め、防災・減災に関する講座等を積極的に開催するとともに、震災の経験や教訓等を広く発信していくものとする。

付記）「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」は、改定から５年間を目途に見直しを行う。

５　市民センター事業体系

＜教育局直轄事業体系＞

大分類	中分類	小分類
01 生涯学習事業に係る企画・調査・研究 市民センターによる調査研究を通し、本市の課題を明らかにすることにより、市民が様々な課題に応じて学べるようになる。	01 基礎調査の実施	01 地域別基礎調査
		02 生涯学習事業に係る学習情報の収集・発信に係る基礎調査
		03 その他関連調査
	02 生涯学習事例研究事業の実施	01 地域連携事業に係る事例研究
		02 学習成果社会還元に係る事例研究
		03 市民企画事業に係る事例研究
		04 その他当該事業に係る事例研究
	03 全市重点事業等の分析・評価	01 区内地域連携事業に係る分析・評価
		02 区内学習成果社会還元事業に係る分析・評価
		03 生涯学習委託事業に係る分析・評価
	04 調査・研究成果の活用	01 報告書作成及び報告会の開催
		02 生涯学習事業委託先への情報提供及び実施指導
		03 研究機関・教育機関への調査研究事業の提供
		04 生涯学習事業要求水準書作成
02 生涯学習の質的向上を図る 市民が質の高い市民センター事業を受けられるようになる。	01 広域規模の学習プログラムの実施	01 生涯学習ボランティア養成・育成事業の実施
		02 ジュニアリーダーの養成・育成事業
		03 インリーダー研修会
		04 家庭教育講座
		05 学びのコミュニティ推進事業
		06 学社連携・融合事業
		07 市民団体・NPO・企業連携
		08 市民参画事業
		09 その他
	02 市民センター事業運営への市民の意見反映	01 パートナーグループ事業の開催
		02 公民館運営審議会の運営
	03 職員の資質向上・企画力向上	01 職員研修
		02 テーマ別検討会
		03 職員会議
		04 地区館事業に係る指導・支援事業
03 情報提供 市民が学習に必要な情報をいつでも得られることで、主体的に学べるようになる。	01 学習情報収集提供	01 学習情報の提供・相談
		02 学習情報の収集
		03 生涯学習情報誌の発行
		04 ホームページによる学習情報の発信
04 委託事業 市民が様々な課題に応じて主体的に学習活動や社会参加できるようになる。	01 指定管理者への委託事業	01 ライフステージに応じた課題学習
		02 時代に応じた新しい課題の学習
		03 学習情報の提供・相談
		04 学習成果の社会還元事業
		05 学びの活動の広がる事業の実施
		06 パートナーグループ事業の開催
09 その他の業務		予算管理
		業務マネジメント
		事業概要作成
		社会教育実習生等の受入
		宮城県公民館連絡協議会運営
		全国公民館大会
		庶務等

＜地区館事業体系＞

大分類	中分類	事業内容（例）
01 市民が様々な課題に応じて学べるようになる	01 市民がライフステージに応じた課題について学べるようになる	インリーダー研修会 職場体験学習・社会教育実習等の受入 若者と地域住民との交流を深める事業 家庭教育に関する講座 健康づくりに関する講座 老壮大学 自然・教養・文化に関する講座 地域資源を活用した講座
	02 市民が、時代に応じた新しい課題について学べるようになる	学び直しに関わる講座 国際化時代に対応した講座 情報化時代に対応した講座 防災・減災に関する講座 環境保全に関する講座 男女共同参画に関する講座 子育て支援に関する講座 高齢化社会に対応した講座 福祉に関する講座 ボランティア・奉仕活動に関する講座
02 市民が、学習に必要な情報を得ることで、主体的に学べるようになる	01 市民が、市民センターで学習相談・情報提供を受けられるようになる	学習（地域）情報の収集 学習（地域）情報の提供・相談 サークル活動支援
	02 市民が、市民センターの講座情報をいつでも得られるようになる	市民センターだより・講座レポートの発行 生涯学習情報誌の発行 ホームページによる学習情報の発信
03 市民が学んだ成果を地域に生かせるようになる	01 市民が、生涯学習ボランティアとして活動できるようになる	ジュニアリーダーの育成支援 ボランティア養成講座 ボランティア活動の支援
	02 市民が、自らの知識や経験を生涯学習事業に生かせるようになる	市民による地域情報の発信 市民が企画・運営する講座の実施 生涯学習事業の企画の公募
04 市民が、地域で学びの活動を広げるようになる	01 学校、地域、市民活動団体が、地域活動を通して、連携できるようになる	学校と連携した事業 学校支援地域本部と連携した事業 地域の団体と連携した事業 学びのコミュニティづくり推進事業
	02 市民が、自らの学習活動を生かして、地域づくり・人づくりに参加できるようになる	まちづくりに参加する事業 地域間交流事業
	03 市民が、地域の人やほかの団体と交流できるようになる	市民センターまつり 市民の学習発表会 市民交流事業
05 市民が、質の高い市民センター事業を受けられるようにする	01 市民の意見が市民センターの運営に反映できるようにする	懇話会・事業運営懇談会等 市民ニーズ・地域課題の把握 地域の各種団体と行政・専門機関との仲介・調整

＜事業区分＞

区　分	定　　義
家庭教育推進事業	子育て世代が育児や家庭生活について学ぶことができたり、親子のふれあいを深めることをねらいとする事業 （例）子育て支援講座／親子ふれあい教室／食育講座／思春期親学／ プレパパママ講座／絵本よみきかせ講座
青少年健全育成事業	青少年が様々な体験を通じて学ぶ力を身につけることによって心身の健やかな成長を培ったり、仲間づくりや親子・異世代の交流を図ることをねらいとする事業 （例）インリーダー研修／子どもの広場／キッズクッキング／ 夏休みチャレンジ講座／子ども体験塾
成人学習振興事業	幅広い教養を身につけたり、さまざまな課題を学習する機会を提供するとともに、共通の課題や関心を持つ市民（受講者）相互の仲間づくりや交流を図ることをねらいとする事業 （例）自然体験教室／エコライフ講座／男の料理教室／現代課題対応講座
高齢者学習振興事業	長寿社会の中で、高齢者が学習を通した仲間づくりや交流によって、生きがいを持って社会生活を送ることができるようになることをねらいとする事業 （例）明治青年大学／老壮大学／健康づくり教室／介護予防教室／
地域社会教育推進事業	市民や地域の団体等がイベントや体験活動などを通して、地域住民との交流や地域活動の推進を図ることをねらいとする事業 （例）市民センターまつり／地域懇談会／学びのコミュニティ関連事業／ 地域防災教室／社会学級連携事業／地域(自然・伝統)を知る講座
民間指導者育成事業	自らの学習成果や経験を生涯学習ボランティアとして社会に生かす意欲のある人材を養成したり、そのような活動を支援することをねらいとする事業 （例）各種ボランティア育成講座／各種ボランティアスキルアップ研修／ ジュニアリーダー育成支援
学習情報提供・ 学習相談事業	生涯学習の推進に必要な人材や施設、学習機会、サークルなどの情報を収集し市民に提供するとともに、学習相談に応じる事業 （例）学習情報提供・相談／サークル活動支援／サークル体験／ 市民センターだより発行／学習・人材情報収集

Ⅱ　拠 点 館 事 業

平成 27 年度 市直営事業実績

１　生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について，具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

（１）若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に，若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより，さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め，社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。

なお，平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センターにおいて実施した。平成 25 年度からは，事業名を変更して新たに各区中央市民センターで実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数（団体数）	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	６	１０２	４００	大学生
宮城野区	１２	８０	０	大学生等
若林区	２３	１５４	６１	大学生・社会人等
太白区	１０（団体）	１０５	４５	大学生
泉区	３０	１９０	９６８	大学生

① 若者によるまちづくり実践塾

＜青葉区中央市民センター＞

地域と若者をつなぐことを目的としたミーティングを重ね，自分たちで企画を立てさせることで社会参画への意識を高めた。また，直接地域に出向いて取材活動をし，フリーペーパー『さんぽ』の第３号を発行した。

紙媒体での間接的な関わりだけでなく，地域の中で直接的な活動をしたいとの強い思いも芽生え，地域のイベントにボランティアとして参加したり，青葉区民まつりで自主企画を実施したりするなど，地域に根ざした活動を展開した。

② まいぷろ・Miyagino　for　Young　PROgram

＜宮城野区中央市民センター＞

平成 27 年度は「仙台うみの杜水族館」「地下鉄東西線」「かべしんぶん」というコンテンツを用い，若者が取り組みやすく，かつ地域の「魅力」や「動き」に気づき，新たな活動を生み出そうとする意欲を高めるように工夫した。また事業全般にわたり，仙台市市民活動サポートセンターと連携した。

事業内では自分づくりのサポートをするために，まず「若者のコミュニケーション力を

高める」ことを目指した。事業が進むにつれメンバーが打ち解け，紙面への自分なりの思いを語りながら作業を進める姿も見られ，成長が見られた。また受講者に「地域の課題を見ぬく目を養う」ことを目指し，既に同じような分野で活動している大人たちと出会う機会を多く設けた。学生にとって「少し上の年齢の方」「既に活動している方々」との交流が大いに刺激になっていた。なお制作した「かべしんぶん」は仙台うみの杜水族館をはじめ，杜の都信用金庫，イービーンズ等に掲出した。

③ 仙白園プロジェクト・人

＜若林区中央市民センター＞

講座名は若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担い，仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることに由来。平成 27 年度は「畑作業」,「ボランティア」などを中心に活動を展開した。「畑作業」では，地域住民メンバーとの作業や調理実習などを実施し交流を深めた。また畑の収穫物（じゃがいも，枝豆，白菜）を活用し，夏の交流会（他区若者事業参加者対象），冬の収穫祭（クリスマス会）を企画・運営した。さらに「ボランティア班」は六郷東部地区（東六郷夏祭り，運動会など），区役所関連（道路愛称おひろめイベント）などを支援し，地域での交流の輪を広げた。

④ 仙台学生サークルネットワーク事業「つながりんぐ」

＜太白区中央市民センター＞

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」，また，学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見をうけて，本事業を平成 26 年に立ち上げ，名称を「つながりんぐ」としてスタートした。若者の社会参画をねらいとした活動の受け皿となるネットワークを構築するために，在仙のボランティア活動を行うサークルの新入生歓迎会で直接交渉をしたり，大学で PR 活動を行ったりした。その結果，10 団体の学生サークルが集まった。そして今年度は，長町交流フェスタでイベントを企画（お化け屋敷，落語）し，情報誌を作成した。完成した情報誌は仙台市内の小中学校や地区市民センター，町内会，NPO 法人，地元企業等に配布した。

成果としては，定例会やイベント企画を通して各サークルが互いの活動を知ることになり，より親密な交流を生み出すことができたこと，活動の受け皿となるネットワークが構築されたこと，情報誌の作成により学生の活動を広く発信できたこと，そして地域への関心が高まったことがあげられる。今後の課題は，各サークルの持ち味を生かした活動を行うために，若者の社会参画をねらいとしたイベント等を企画し，実行していくことである。

⑤ ICP　Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞

泉区内の大学に通学している学生を中心とした受講生が，ネットワークを広げながら地域創造について考える企画講座である。受講生が持つ泉区のイメージなどを整理し，自分たちが取り組んでみたいことについて話し合い，自主企画を考えた。泉区中央市民センター主催「親子で大学たんけん」では，東北学院大学泉キャンパスと仙台白百合女子大学を

舞台とした見学ツアーをプロデュースした。また，ベガルタ仙台・市民後援会との共催で「ベガッ太くん縁日」を企画し，ユアスタに来場した子ども約 250 名を対象に「ゲートサッカー，射的，わなげ」を実施した。さらに，受講者自身が泉区について知り，まちづくり企画に生かすための研修の場として，「BBQ 芋煮&UniUni 討論会」や「泉ヶ岳雪遊び体験」なども実施した。他にもさまざまな地域活動に参加したり，成人式「交流の広場」や「泉 5 大学まちづくりフェスティバル」で活動報告をしたりするなど，昨年度以上に活動の幅を広げ，学びを深めることができたことに加え，泉区やまちづくりへの関心をさらに高めることができた。

⑥「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者を対象に，情報交換会や成果発表会を実施し，各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に，受講者の参加意識の向上を図った。併せて，市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から，重要なエッセンス及びノウハウを抽出して地区市民センターにフィードバックすること，及び区中央市民センターの事業が円滑に進むように後方支援を行った。

(ア)啓発事業（参加者：各区中央市民センター若者事業担当者）

大学において各区中央市民センターの事業担当者から学生に対して，若者参画型の事業企画，実施内容の PR を行った。若者参画型事業に対する学生の率直な意見を聴く機会にもなった。

H27. 5.19　宮城教育大学教育学部にて実施
H27. 5.28　東北学院大学教養学部にて実施
H27. 6. 4　宮城大学太白キャンパス食産学部にて実施
H27. 7.16, 17　尚絅学院大学健康栄養学科にて実施
H27. 7.30　聖和短期大学にて実施

(イ)視察事業（H27.7.5）

各区中央市民センターで開催している本事業の受講者，及び担当者の視野をより広げるとともに，今後の本事業の活性化につなげることを目的として，若者を活かしたまちづくりや地域活性化に取り組んでいる団体の活動を視察した。

またその後，視察先の団体代表を講師として呼び，生涯学習基礎研修において社会教育施設職員に向けて研修を実施した。(【5 人材育成　(1)職員研修　42 ページ】参照)

視察先　「ヨコハマ ハコいりムスメ プロジェクト 2015」
大佛次郎記念館（横浜市）

(ウ)方向性を確認する会（H27.4.21　参加者：各区中央市民センター若者事業担当者 16 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に，年度初めに際して，実施計画をもとに意見交換や講師からのアドバイスを得る機会を設定することで，事

業内容をブラッシュアップするとともに，効果的な事業展開を目指すために実施した。
【講師】水谷　修　氏（東北学院大学　教授）

(エ)中間報告会（H27.11.12　参加者：各区中央市民センター若者事業担当者 16 名）
生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り，今後の事業展開の参考とするために実施した。

(オ)成果報告会
（H28.2.17　参加者：事業受講者 21 名　社会教育施設職員等 50 名　市民 67 名）
メディアテークを会場に，各区中央市民センターの事業担当者，若者事業受講者が平成 27 年度の取組や成果と課題について発表し，コーディネーターや助言者からアドバイスをいただき，次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。
【コーディネーター】水谷　修　氏（東北学院大学　教授）

(カ)事業評価を検討する会（H28.3.8）
生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業評価について，仙台市共通の評価規準を検討し，今後の事業展開の参考とするために実施した。

（2）住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため，住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより，そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に，平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	１３	１３６	５４４	三本松５・柏木８
宮城野区	２５	２６２	９５０	中野１１・東仙台１４
若林区	１９	１５４	３００	六郷１９
太白区	３４	１５２	１，７２１	区内３２団体
泉区	３２	８１	２７０	根白石３２

① 地域元気クラブ

＜青葉区中央市民センター＞

受講生（三本松緑地活性化委員会，元気アップ柏木実行委員会：ＧＡＫ）が講座での学びを生かして，地域の資源や人材を活用し，地域を元気にする企画を提案・実践していくことで，地域活性化のためのノウハウや地域づくりに必要なネットワークを学んだ。企画する事業での参加者や連携先が増えたり，学校をはじめとする地域の諸団体から活動依頼が増えたりするなど地域との顔の見える関係が築かれつつある。（企画・実施した事業…野鳥を見る会,公園整備･活性化に係る勉強会,初日の出を観る会,てらまちフェスタ 2015,

まち歩き，総合的な学習の時間での講師等）

② 地域の“絆”再生プロジェクト　「地域づくり講座」

＜宮城野区中央市民センター＞

高砂市民センター，東部市民センターと連携しながら，地域の住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち，地域課題や地域の将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワークを行う講座を行った。

今年度の成果として「中野ふるさと学校」では，「ふるさとの喪失」という地域課題を自分事としてとらえ，震災前の地形や足跡を残すために２つの年代（昭和 33 年及び平成 18 年）の「地形模型図作り」に取り組んだ。作業工程を通じて思いを共有し合い，成果を徐々に広げていくことで次の活動の意欲につなげていった。一方「東仙台耀きクラブ」では，地域の歴史を見直すだけではなく，「これまでの取組を，立ち止まって振り返る」ことで，漠然とした街歩きではなく「街の良さを紹介していく」活動に見通しを持たせることができた。いずれの講座でも取組の段階に応じた手順を踏んで，事業を展開していくことができた。

③ わたしのふるさとプロジェクト

＜若林区中央市民センター＞

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業。六郷東部地区は移転された方も多く，震災前と比べて人口が大きく減少している。一方，地域に残った方，戻った方はもとより，移転された方の間でも地域への愛着は強い。このような地域課題を踏まえ，平成 27 年度も六郷東部地区のコミュニティやにぎわい再生に向けて「わたしのふるさとプロジェクト」を立ち上げ，六郷東部地区住民の交流会開催を目標に地域住民（移転された方を含む）の話し合いを月 1 回程度行った。1 月には東六郷小学校を会場に六郷東部交流会「鎮魂の花火」を実施した。

④ たいはく子育て支援ネットワーク事業

＜太白区中央市民センター＞

従来の子育て支援ネットワークを生かし，子育て世代への支援と子育て支援者へのサポートを行いながら，地域で活躍できる人材育成を目的に事業展開した。子育て支援者へのサポートとして年 5 回の区拠点館主催の情報交換会や研修会を行った。（延べ人数 152 名）日々の支援活動につながる研修内容が好評を得ており，参加者が学びをいかせる支援となった。子育て支援者と子育て世代がつながる場である“太白区初めてママのウェルカムパーティー”（77 名）は，参加した子育て世代と子育て支援者が顔見知りになる機会となり，継続して関わり合える関係づくりにつながった。子育て世代への支援として，地区市民センター（3 館）と共催講座（4 講座）を実施し（全講座延べ受講者数 1，316 名），継続受講者が自主サークルを立ち上げ，地域交流や子育て支援の場を提供することができた。また，連携団体や若者事業と共催し地域に根差したベントや行事を実施することができた。（延べ 176 名）「子育て支援」「地域交流」をキーワードに新たな視点でのネットワークが構築され，地域づくりを担う人材育成につながった。

⑤ ちいきいきいきプロジェクト「泉区西部のまち興し～かむりの里凧揚げフェスタ」

＜泉区中央市民センター＞

泉区中央市民センターと根白石市民センターが連携し，「かむりの里凧揚げフェスタ」で地域おこしに取り組みながら，住民自らが，住民同士の結びつきや交流の促進，地域コミュニティの活性化に取り組むことを目指した事業である。

地域の学校や児童館，町内会，商店会などの地域の団体等による企画会議を立ち上げ，各部会に分かれて話し合いや準備を進めた。

当日は，凧絵コンクール，凧揚げ，豚汁のおふるまいなどで，参加者は晴天に恵まれた冬の休日を楽しみ，実行委員会やスタッフとして携わった地域の諸団体・住民は地域の結束を感じることができた。

・5 月 27 日～2 月 25 日（全 6 回）　実行委員会・部会毎の話し合い（81 名参加）
・10 月 14 日～12 月 2 日（全 6 回）　子ども凧作り教室（89 名参加）
・12 月 5 日　かむりの里 凧揚げフェスタ（270 名参加）

⑥「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者，地区市民センター職員を対象に，研修会や報告会等を実施することを通して各区中央市民センターの事業推進を支援した。

(ア)方向性を確認する会（H27.4.21　参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 15 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に，年度初めに際して，実施計画をもとに意見交換や講師からのアドバイスを得る機会を設定することで，事業内容をブラッシュアップするとともに，効果的な事業展開を目指すために実施した。

【講師】水谷　修　氏（東北学院大学　教授）

(イ)住民参画・問題解決型学習推進事業研修会（H27.7.18　参加者：63 名）

沖縄県と島根県における先進事例を通して，地域の特性に応じた市民協働によるまちづくりを効果的に推進するための手法を学び，今後の地域づくりや市民センターのあり方について考えることを目的として，研修会を開催した。

《主な内容》

・事例紹介Ⅰ：　伝統的豆腐作り「あたいぐぁープロジェクト」を通して考える巻き込まれ公民館のしくみ
・事例紹介Ⅱ：　「弥栄でのくらしそのものがイザ!」というときの自主防災～つながってほしいな弥栄今昔物語全３巻～の取り組み
・鼎　　談：　地域から信頼され，市民に求められる市民センターとは～“参画”の先にある姿を目指して～

【コーディネーター】水谷　修　氏（東北学院大学　教授）
【講　師】南　信乃介　氏（特定非営利活動法人　1 万人井戸端会議　代表理事）
藤井　礼子　氏（島根県浜田市立安城公民館　主事）

（ウ）中間報告会（H27.11.5　参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 16 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り，今後の事業展開の参考とするために実施した。

（エ）成果報告会

（H28.2.6　参加者：事業受講者 18 名　社会教育施設職員等 87 名　市民 2 名）

各区中央市民センター事業担当者及び事業受講者，市民センター職員，関係課職員，市民を対象に，各区事業の報告並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告は事業担当者や受講者が行い，コーディネーターや助言者からアドバイスをいただき，次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【コーディネーター】水谷　修　氏（東北学院大学　教授）

【助言者】小地沢　将之　氏（仙台市公民館運営審議会委員・仙台高等専門学校　准教授）

草　貴子　氏（市名坂東町内会　会長）

（オ）事業評価を検討する会

（H28.3.8　参加者：各区中央市民センター大人事業担当者 19 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業評価について，仙台市共通の評価規準を検討し，今後の事業展開の参考とするために実施した。

（3）子ども参画型社会創造支援事業

子どもたち（小学校中・高学年及び中学生，高校生）が，積極的に地域の中で役割を持ったり，社会の構成員としてまちづくりに参加したりすることで，自分たちの地域の課題に気付き，地域・社会の一員として行動する視点を持つことにより，将来的に地域や社会で主体的に活躍できる人づくりを目的として，平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	３６	２０４	６０３	小・中・高校生等
宮城野区	１９	１１０	５４０	小学生
若林区	４０	２７３	０	小・中学生
太白区	４４	４４３	０	小学生
泉区	１１	７３	２５０	小・中学生

① Sendai Aoba Teens Club

＜青葉区中央市民センター＞

小・中・高校生等が，自分たちの興味・関心をもとに市民センターを拠点としたサークル活動を行った。

「SATC 情報部ふぉるてぃお」は，スポーツボランティアを題材にした番組づくりと「カッパダ川ダンス」のビデオクリップを制作した。「食について考えようプロジェクト」は，地

域講師の指導のもと栄養素の摂取と食生活や伝統的な食事などについて実践を通して学んだ。また「カッパダ川ダンス部」は，地域に流れる『カッパダ川』をテーマにしたダンスを地域行事で披露したり，地域住民とともに踊ったりしながら地域の絆づくりに積極的に取り組んだ。

活動を通して，地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに，それらを尊重しようとする心情も育ってきている。

② 進め！みやぎのキッズもりあげ隊　～みんなの力で地域を元気にしよう～

＜宮城野区中央市民センター＞

２つの地区市民センターと共催で，子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げる事業。1つ目は，区中央市民センターの原町小児童を対象とした，「原町キッズもりあげ隊」。「交流」と「仲間集め」をテーマに，地域のまつりに遊びのお店を出店し仲間を募ったり，市民センターを会場に子どもから大人までがみんなで楽しく交流できる場を作った。２つ目は，東部市民センターの新田小児童を対象にした，「新田まちづくり子ども計画」。アンケートやワークショップを通して，地域への思いや気になることを引き出し，「あそび」をテーマにした講座を行った。

子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け，イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり，社会に参画していくきっかけづくりになっていた。

③ 子どもボランティア事業　チャイルドボランティア「チャボ！」

＜若林区中央市民センター＞

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう，子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生で，平成28年3月現在40名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て，一年を通して月1，2回活動しており，平成27年度は，地域清掃，児童館等の行事の手伝い，被災した農地にヒマワリを植える手伝い，高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなど28回の活動を行った。

④ エフエムたいはくキッズ情報局

＜太白区中央市民センター＞

4つの地区市民センターと1つの小学校と共催で，それぞれの地域の良さをエフエムたいはくのラジオで発信するという事業。全体会は３回の講座，その他に地区ごとに各4回程度活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして，また，地域のキッズリーダーとして，市民センターや学校を拠点に活動し，活動したことはＦＭ放送で発信した。

地区市民センターを拠点に活動することにより，地域のさまざまな方と交流することができた。また，番組作りを通して，自分たちの地域を学習したり，地域の良さを再発見したりすることができ，地元意識・地域愛につながった。さらに，他の地域との交流を実施することで，自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。

ジュニアリーダーと一緒に地域の行事に参加することにより，ジュニアリーダーの頼もしさを感じることができ，ジュニアリーダーを知ってもらう良い機会となった。

⑤ アートフルいずみゆめ工房

＜泉区中央市民センター＞

小中学生が自分の得意分野を生かし，創作活動を介して地域の活性化を進める企画を発案・実施する事業。講師の先生や東北生活文化大生から学んだことをアート交流活動に生かしている。

２７年度は，漫画家の相澤いくえさんを講師に招き，「漫画を描くために大切なこと」について学んだ。泉区中央市民センターまつりでは，「消しゴムはんこワークショップ」のブースを出店し，来場した子どもたちに作り方を教えた。さらに，市名坂小学校での「市小カーニバル」では，お化け屋敷の企画や衣装などの製作，当日の運営にも取り組み，多くの小学生を楽しませることができた。地域の老人ホームに泉区中央市民センターまつりへの招待状を送るなど，高齢者との交流も視野に入れている。

⑥「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者，地区市民センター職員を対象に，報告会や情報交換会等を実施することを通して各区の事業推進を支援した。

(ア)リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて，子ども参画型社会創造支援事業の啓発のために発行した。1,500 部作成し，地区市民センター職員と市内小中学校，高等学校，中等教育学校に配布した。





(イ)方向性を確認する会(H27.4.23 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者 16 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に，年度初めに際して，実施計画をもとに意見交換や講師からのアドバイスを得る機会を設定することで，事業内容をブラッシュアップするとともに，効果的な事業展開を目指すために実施した。

【講師】　新田 新一郎 氏　((有)プランニング開 代表)

(ウ)石巻・仙台子ども活動交流会（H27.8.20　参加者：事業受講者 20 名，事業担当者 8 名）

各区中央市民センターにおける「子ども参画型社会創造支援事業」を受講する児童・生徒や事業担当者が，石巻市で子どもセンター「らいつ」の企画や運営に関わっている児童・生徒やその職員との交流を通じて互いの活動について知り，これまでの活動を振り返ることで，今後の活動に対する意欲を高めたり，事業のブラッシュアップを図ることを目的として、交流会を実施した。

(エ)中間報告会（H27.10.29　参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者 16 名）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などに情報の共有化を図り，今後に事業展開の参考とするために実施した。

(オ)成果報告会（H28.2.17　参加者：事業受講者 54 名，社会教育施設職員等 60 名，保護者 56 名，一般市民 14 名）

メディアテークを会場に，各区中央市民センターの子ども事業受講者から、取り組みの様子や，事業を通して自分たちの意識がどう変化したかなどについての発表後，コーディネーターから各区の取り組みの良い点や今後の活動に役立つような助言をいただいた。地区市民センター職員に対しては，本事業への市民センターとしての働きかけや支援の実際について，普及・啓発を図る内容とした。

【コーディネーター】丹治 重廣 氏（仙台市立将監小学校 校長）

(カ)事業評価を検討する会（H28.3.8）

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業評価について，仙台市共通の評価規準を検討し，今後の事業展開の参考とするために実施した。

（4）学習成果社会還元事例研究

◎事業例　まなびごっこ

＜若林区中央市民センター＞（161 回実施　延参加者：3,578 名）

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして，当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（男の料理教室，女性のための囲碁教室，映画上映会など 13 種類）を開催した。

（5）その他の生涯学習研究事業

◎事業例　泉区の社会教育を考える会

＜泉区中央市民センター＞（6 回実施　延参加者：77 名）

区内の社会教育について，区内嘱託社会教育主事と協働し，既存の事業の見直しや，新たな事業方法の研究開発を行った。また，その事業を実施検証し，社会教育事業の新たな展開の可能性を探り，泉区の社会教育事業について活性化を図った。

２　広域規模の学習支援

全市・区規模の学習支援，場合によっては複数の区の連携による取り組みを推進する。市政各般の領域に係る施策，市民の課題ニーズを考慮するとともに，地域に濃淡なく生涯学習が行われるよう学習プログラムをつくり，実施する。

（１）仙台明治青年大学

＜生涯学習支援センター＞

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61 歳以上の仙台市在住者）が学習をさらに深め，豊かな社会生活を営めるよう，学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などを開催した。本科生として 6 年間，その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成 27 年度は新入生 75 名が入学し，在籍者数は 815 名となった。

【主な活動】

活　動	活動内容	実施回数	延参加者
学習会	○学習会（18 回） 太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1 回あたりの平均出席者数は 567 名であった。文化芸能，環境，健康，震災などをテーマに，外部講師を招聘し実施した。 ○対話集会（2 回） 「明青大のこれからについて」をテーマに，学生間で意見交換を行った。 ○大学祭（3 回） 楽楽楽ホール，生涯学習支援センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典（2 回） ・入学・開講式 ・修了・閉講式	25	13,032
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため，学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑」を発刊した。	―	―
ボランティア活動	・近隣小学校，児童館で昔遊びや囲碁・将棋，七夕飾り作り等を教えている。 ・近隣中学校で「仙台自分づくり教育」の一環として，キャリア教育の講師を務めた。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応した。 ・学習会の度にワンコイン募金活動を行った。	―	―

（2）「学都仙台サテライトキャンパス」支援事業

＜生涯学習支援センター＞

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」（平成 18 年設立）のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について，市民が円滑に講座を受講できるよう，広報及び情報提供等の支援を行った。

（3）秋の子どもの日事業

秋休み期間中の子どもの居場所作りとして，各区中央市民センターで子ども向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者
10月12日（月）	若林区中央市民センター	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」 小学校の秋休みに合わせて，工作，茶道などの体験の場や，遊びのコーナーを提供した。また，児童館の子どもたちの発表やマジックショー，パフォーマンス集団などのステージ発表を実施した。	588

（4）その他の主な事業

① 若い青年教室

＜生涯学習支援センター＞

仙台市内に在住又は勤務している知的障害者青年に対し，仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として，学習機会を提供する事業を行った。

【昭和 45 年度開設（平成 27 年度：教室生 39 名　9 回実施）】

② その他

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生，中学生に日本語を学習する機会を提供し，充実した学校生活が送れるように支援している。	34	419
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に，日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに，日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで，国際交流や多文化理解を促進している。	680	6,676
宮城野区中央市民センター	宮城野学講座	市民企画員を中心に，宮城野の風土や文化について，より広く知られ，後世に継承していけるようにするための講座を年間５回開催した。また活動成果をセンターまつり等を通して行った。	5	294

	未来に伝えたい宮城野の記憶	人々の暮らしやまちの変遷・逸話など，市民の生活を後世に伝える，資料（アーカイブ）づくりにつながる講座を実施する。「あの時の運動会」をテーマに情報を収集・整理し，発表会を行った。	2	13
若林区中央市民センター	家庭教育講座	未就学児の保護者，子育てに関心のある方を対象に「子育てのストレスを考える～子どもとの時間を楽しく過ごすために～」と題した講演を大学教授を講師に迎えて実施した。	1	25
	私の地方史研究	主に仙台市内の歴史・民俗を対象とし，文献資料の用い方や有形資料の事実記載などを学んだ。各受講者は，史資料の用い方は一定程度上達したが，当初目的とした調査報告書の作成までは至らなかった。	10	60
	六郷･七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため，六郷・七郷地域を市民がバスで巡り，地域の状況を見聞きする機会を設けた。	1	40
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として，月 1 回の定例会及び年 1 回の大会を開催した。	12	186
太白区中央市民センター	あすと長町地域活性化事業	太白地区住民を対象に長町秋のフェスティバルと題して「食」･「スポーツ」･「芸術」をキーワードに『なわとび大会・綱引き大会』を行った。さらに，約 60 店舗余りが集まり『長町マルシェ』を開催した。	1	8,000
泉区中央市民センター	団体長縄跳び競争「第 9 回みんなでジャンプ！シェルコム大会」	区内の小学生を対象に，冬場の体力づくりと地域間交流，世代間交流を図る目的で長縄跳び大会を開催した。	1	576

３　学校・地域連携推進

学校や地域団体等とネットワークをつくり，さまざまな人たちが連携して課題に取り組めるよう必要に応じて，つなぎ手，支え手の役割を果たす。

（１）学びのコミュニティづくり推進事業

＜生涯学習支援センター＞

子どもの健やかな育ちを支援するための多様な人間関係を地域に育てることを目的として，ＰＴＡ，町内会等地域のさまざまな団体が連携して子どもと大人の交流や自然体験，社会体験の機会を提供する事業を実施している。各事業は学校や市民センター等が事務局となって行い，学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育機能を相乗的に発揮する地域づくりを目指している。

平成 27 年度は 8 団体に対して委託を行った。（平成 13 年度より実施）

また，3 年間の委託が終了した後も 24 団体が現在も自主的に活動を継続している。

《平成 27 年度の委託団体》　8 団体

団体名	区	ねらい・概要	委託状況
森の応援団愛子ハグリッズ	青葉区	地域，学校，ＰＴＡが，子どもの森での授業や，親子体験活動をサポートすることで，互いの活性化を図った。【愛子小学校区】	新規
楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会	太白区	「大人(おやじ)たち」がこれまで得てきた経験・知恵を出し合って地域・社会の宝である「子どもたち」と一体となる「楽しい活動」を積み重ねることにより，子どもたちと共に学び，豊かな人間関係を築きながら，生き生きとした地域づくりに関わるさまざまな活動を行った。【金剛沢小学校区】	〃
坪沼スポーツ振興会	太白区	坪沼地区の小学生から大人まで，地区住民全員の体力維持・増進と地域コミュニティの活性化をねらいとして，スポーツに関わる事業を実施した。	〃
未来っこ桂	泉区	委員会を構成する団体のネットワークを活かし，こども対象の体験型の事業を実施し，「桂が故郷」という思いを育み，子どもたちの健やかな成長を支援することをねらいとし，地域内の他団体や個人の理解と賛同を得て，子どもたちの学びをとおした地域コミュニテイの広がりを目指した活動を実施した。【桂小学校区】	〃
学コミ「中野栄楽舎」	宮城野区	「地域の子どもは宝」をテーマに，地域内の様々な団体が連携してネットワークをつくり，目的を共有しながら，地域全体で子どもたちの健やかな育ちを支援する事業を実施した。【中野栄小学校区】	2 年目
山ガキ隊わくわく学校推進委員会	太白区	地域のさまざまな学校や団体がネットワークを作り，協力して子どもたちに豊かな体験活動をする場を創出することで，地域と子どもたちのつながりを強め，健全な育成に寄与するような活動を実施した。【上野山小学校区】	〃
袋原中学校区学びのコミュニティ推進員会	太白区	袋原中学校区を中心として，学校支援地域本部やＰＴＡなど地域の様々な団体が連携し，共通の活動（東中田復興太鼓，ロープジャンプ，陸上教室等）に取り組むことで，地域全体で子ども達の健やかな育ちを支援していくとともに，地域に広範で新たなネットワークづくりを図った。	3 年目
ロングライフヒルコミュニティ協議会	泉区	地域に存在する各種団体が連携し，地域の宝である子ども達を交えながら，子どもだけでなく大人同士でも輪を築き，地域全体で子ども達の健やかな育ちを支援していく事業を実施した。【長命ケ丘小学校区】	〃

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体》　24 団体

団体名	区	委託終了年度
川平学びのミュージアム	青葉区	平成 26
おいで里ネット	太白区	平成 25
五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	平成 24
福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	〃
「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	〃
チームやかたプロジェクト推進委員会	泉区	〃
カモンレインボープラン推進委員会	泉区	〃
旭ヶ丘わんぱく森²がっこ推進委員会	青葉区	平成 23
上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	〃
「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	〃
通学合宿連坊実行委員会	若林区	〃
まなびネット「いずみ中山」	泉区	〃
ひがろく　おやネット推進委員会	若林区	平成 22
将監こども楽校推進委員会	泉区	〃
まなこみネット鶴が森 Ⅱ	泉区	平成 21
パパネット南小泉推進委員会	若林区	平成 19
かみすぎねっと	青葉区	平成 18
作並学びのコミュニティ推進事業実行委員会	青葉区	〃
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	平成 16
松陵っ子，土っと来い！	泉区	〃
ひろせ山がっこ実行委員会	青葉区	平成 15
まちがっこ推進委員会	青葉区	〃
榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	〃
ながまち学びネット推進委員会	太白区	〃

（2）学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び，3 年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して，活動支援を行った。

【平成 27 年度に市民センターが関わった主な事業（委託期間中の事業)】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
宮城野区中央市民センター			
中野栄地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（中野栄学舎）	中野栄小学校区の各団体や市民センター等と連携し,地域における子供たちの学びを支援する仕組みを作ることを目的に，自然体験，社会体験を実施した。 ・７月１８日（土）Ｅボートに乗ってみよう（参加者５８名） ・１月９日（土）昔あそび&おしるこ会（参加者８２名）	7	200

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
旭ケ丘わんぱく森²がっこ	旭丘小学区の学校関係団体･地域団体等との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・森²ファーム，旭ヶ丘ホタルまつり参加，旭ヶ丘夏まつり参加，森²デイキャンプ　ほか	12	170

	かみすぎねっと	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・おもしろ子ども会，Gakkou へ泊まろう　ほか	4	80
	まちがっこ	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ，青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・花のあるまちづくり，どろんこ遊びをしよう！ほか	3	150
	ひろせ山がっこ	広瀬小学校区，愛子小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・学校に泊まろう！，宮城地区まつり	2	340
	川平学びのミュージアム	川平小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により，子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・白菜ミュージアム，親子ふれあいワクワクキャンプ，リバーフラットフェスティバルほか	8	120
宮城野区中央市民センター				
	榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業	仙台駅東口かいわいの幼児，小学生を対象として遊びの広場を提供した。また，地域の住民や中学生，ボランティア等の参加も促し，異世代間の交流を図った。 ・8 月 30 日 第 14 回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1 月 23 日　第 9 回つつじがおかワイワイ冬まつり	9	990
若林区中央市民センター				
	南小泉子どものふるさとづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7 月 25 日　なつなつ南小 ・2 月 20 日　ふゆふゆ南小	2	233
	区内小学校合宿等支援	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・7 月 25～26 日　学校に泊まろう会（六郷小） ・7 月 25～26 日　学校に泊まろう会（大和小） ・8 月 8～9 日　キャンプ in 南材（南材木町小） ・10 月 7～9 日　通学合宿！連坊！（連坊小路小）	4	320
	若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動（概ね月 1 回開催）を，関係団体，若林児童館，若林市民センター，ボランティアとともに支援した。	12	1,130
太白区中央市民センター				
	秋保地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（がんばれ秋保っ子）	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくった。 ・1 月 9 日　秋保カルタ大会（参加者 76 名） ・秋保地区行事カレンダー作成	6	181

	生出地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（おいで里ネット）	子どもの９年間の育ちを地域とともに支えることを目標に，生出中学校区を活動エリアとして小中３校・同 PTA・太白区中央市民センターを中心に設立。平成 27 年度は子ども達が地域住民とともに学ぶ機会として下記の事業を実施した。 ・おいでサマーキャンプ （参加者６５名：生出小）	5	113
	ながまち学びネット	長町中学校区（長町小・長町南小・鹿野小学校区）内児童･生徒や保護者，地域住民とともに，子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い，地域コミュニティを深めていく。 ・7 月 29 日 こども防災キャンプ(参加者 110 名)	8	280
泉区中央市民センター				
	区内学コミ連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し，学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・6 月 13 日　第 1 回連絡会（年間計画,情報交換） ・12 月 12 日　第 2 回連絡会 （講話「仙台市の子どもたちと親の現状と学コミの可能性」　講師　松坂　宏造　氏）	2	32
	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	七北田中学校区内の諸団体が連携し,青少年健全育成事業の展開を図るとともに,子どもの居場所づくり事業について協議，企画，実施した。 ・7 月 31 日～8 月 1 日　キャンプだホイ!2015in 七北田 ・10 月 17 日　七小ゆめフェスティバル ・10 月 24 日　いずちゅう☆子ども縁日＆屋台 ・12 月　5 日　市小カー二バル ・ 2 月 21 日　あそびの天国 2016	18 1 1 1 1 1	294 205 321 330 320 480
	学びのコミュニティ支援事業（南中山編）	南中山市民センターが核となった『まなびネット「いずみ中山」』を支援。推進委員会を毎月 1 回開催した。 ・7 月 21 日 支倉川川遊び ・12 月 21 日 門松づくり	12 1 1	108 102 51

（3）嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して，子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り，地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	7月2日　青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月5日　ジュニアリーダー初級研修会 8月23日　ジュニアリーダーとの交流会研修会「青葉チャレンジＪＬ　in 博物館」 9月6日　子ども会対象事業「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11月21日　脳トレーニングで　笑顔 UP ～親子いっしょに脳を輝かせ　明るく笑顔あふれる家庭づくり～	5	280
宮城野区中央市民センター	8月2日　宮城野区ジュニアリーダー初級研修会・交流会 9月5日　「七北田川でＥボートに乗ろう」 11月20日　嘱託社会教育主事・地域連携担当職員・市民センター職員研修会 12月19日　インリーダー研修会事前打合せ会 1月～2月　インリーダー研修会	4	約 600
若林区中央市民センター	11月21日ものづくり体験教室（クッキーづくり，農家レストラン料理，生け花づくり，染め物づくり，革細工づくり） 11月18日　学校と連携したまちづくり市民会議 12月13日　ジュニアリーダー初級研修会 1月9日　インリーダー研修会事前打合せ兼研修会 2月　インリーダー研修会	9	582
太白区中央市民センター	6月　5日　第1回太白区内地域連携ネットワーク会議 6月20日　秋保インリーダー研修会 7月4日　ジュニアリーダー初級研修会 7月24日　第2回太白区内地域連携ネットワーク会議 6月～1月　太白区内地域連携ネットワーク事業　地区ごと 20 実施 11月3日　長町秋のフェスティバル（協力事業） 12月12日　インリーダー研修会事前打合せ会 1月29日　第3回太白区内地域連携ネットワーク会議 1月～2月　インリーダー研修会	173	約 7,000
泉区中央市民センター	6月20日　嘱託社教・市民センター合同研修会 7月25日・8月16日　親子で根白石化石ホリダー 10月31日　親子で大学たんけん 11月26日　ブロック別地域連絡会（中止） 11月29日　泉区ジュニアリーダー初級研修会 1月16日　第9回みんなでジャンプ	7	772

（4）地域コーディネートリーダー研修

＜生涯学習支援センター＞

子どもを育む地域力を高める視点に立ち，地域内のコミュニケーションやネットワークの活

性化を目指し，地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民（企画員）との協働により研修内容を企画・実施した。

平成 27 年度の実施状況は下記のとおりである。

（ア）第 1 回地域コーディネートリーダー研修会（H27.10.16　受講者 77 名）

・講演「地域を活かす力について」

【講師】　野澤　令照　氏（宮城教育大学教育復興支援センター　副センター長）

・情報交換

（イ）第 2 回地域コーディネートリーダー研修会（H27.12.18　受講者 46 名）

・グループ協議・発表（地域連携や地域課題解決等についての悩み事や困りごと等）

（ウ）第 3 回地域コーディネートリーダー研修会（H28.1.22　受講者 34 名）

・グループ協議・発表（地域の現状把握，理想の地域にするための方法の検討等）

（エ）第 4 回地域コーディネートリーダー研修会（H28.2.25　受講者 27 名）

・グループ協議・発表

（28 年度に向けて，子どもを育む地域力を高めるための構想案の作成）

（オ）地域コーディネートリーダー研修会企画員会（全 4 回　延参加者 21 名）

・研修会の方向性や内容の検討

（5）高等学校開放講座

＜生涯学習支援センター＞

仙台市立高等学校の持つ施設や人材を活用して，各校が特色ある市民向け講座を実施した。

学校名	講座名	内容	実施日	申込者	受講者
仙台工業高校	夏休みにチャレンジ！～工業高校ものづくり体験～	機械科の鋳造の実習を体験し，ものづくりの楽しさを実感する	8 月 1 日（土） 8 月 2 日（日）	10	7
仙台大志高校	簿記入門	簿記の初歩（日商簿記 4 級程度）を学習し，町内会やＮＰＯの会計に役立てる	8 月 4 日（火） ～8 月 6 日(木)	10	8
仙台青陵中等教育学校	仙台の魅力を英語で発信 Part.Ⅱ	仙台を知り，世界へ向けて仙台の魅力を英語で発信するための方法を学び，実演する	10 月 29（木） 11 月 5 日(木)	21	18
仙台高校	高校数学再発見～日常生活から振り返る「高校数学」～	社会生活に関連する高校数学のトピックを取り上げる。また，タブレット端末による教科書を体験する	11 月 21（土） 11 月 28（土）	8	5
仙台商業高校	表計算入門『エクセル 2013 基礎講座』	表計算ソフト（エクセル 2013）を基礎から学ぶ	12 月 12（土） 12 月 13（日）	90	30

4　学習情報収集・提供事業

地区市民センターが収集している地域情報を含め，広く情報を集積し，多様な媒体に整理・保管し，広く市民が活用できるよう公開する。

（1） 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営

＜生涯学習支援センター＞

市民の学習意欲に応え，的確な情報提供サービスを展開することで，効果的に市民の学習活動を支援するため，生涯学習支援センターと市民センターをインターネット回線で結び，生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに，市民の学習相談に応じることを目的として平成 12 年 3 月より運営している。

平成 26 年 11 月にシステム機器を更新し，新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは，各市民センターの情報を統合して表示したり，講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により，市民により分かりやすいページ構成とした。

市民センターホームページの URL　http://www.sendai-shimincenter.jp

【平成 27 年度末　仙台市学習情報レファレンスシステム登録情報数】

情報種類	平成 27 年度末現在
団体・サークル情報	2,664
人材・講師	10,684
事業	2,416
合計	15,764

【平成 27 年度　市民センターホームページアクセス件数】

閲覧ページ数	750,265	一日あたりの閲覧数	2,055
概算訪問者数	517,512	一日あたりの訪問者数	1,418



（2）市民センター事業ガイド

＜生涯学習支援センター＞

講座等参加者の募集中，募集予定がある事業について，区ごとにまとめ，毎月 1 回発行して，市民への情報提供を行った。

（3）その他の学習情報提供事業

館名	事業名	概要	実施日等
若林区中央市民センター	若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興の様子や豊かな自然，地下鉄東西線開業に向けて変化する街の様子などをボランティアが撮影し，市政だよりの若林区のお知らせのページに「若林の新風景」として掲載したほか，これらの写真のパネル展示を区役所などで開催した。	通年
	震災メモリアルイベント「未来に伝えるふるさとの記憶」	平成 25 年度に作成した震災被災者の体験記録集「語り継ぐ震災の記憶」に新たに聞き取りした内容を加えて制作した朗読劇の上演，及び沿岸部で被災して統合が予定されている荒浜小学校及び東六郷小学校の児童による舞台発表を行った。（仙台防災未来フォーラム関連事業）	3 月 6 日

５　人材育成

（１） 職員研修

＜生涯学習支援センター＞

市民センター等の社会教育施設職員を対象に，社会の変化や市民のニーズに対応しながら，積極的に市民及び地域と連携するために必要な専門性やコーディネート力などの向上を図る研修を実施した。

【研修内容】

研修名	受講対象	概　　要	受講者
生涯学習基礎研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	**第１回「社会教育施設新任職員研修」** 6 月 2 日（火） ◎講話１「社会教育施設職員に求められるもの」 東北大学大学院教授　髙橋　満　氏 ◎講話２「仙台市の社会教育・生涯学習について」 仙台市教育局生涯学習課長　奥山　健一　氏 ◎事例紹介　「市民の学びを支えるために～参加・空間・資源・協働～」 仙台市科学館主任指導主事　菅井　研二　氏 仙台市博物館指導主事　　山澤　一郎　氏 ◎グループワーク　等	55
		第２回「学びの連携～仙台市天文台見学～」 6 月 26 日（金） ◎施設見学「仙台市天文台の概要～施設編～」 ◎講話　　「仙台市天文台の概要～事業編～」 仙台市天文台副台長　小野寺　正己　氏	60
		第３回「若者との協働で社会教育施設の活性化」 9 月 9 日（水） ◎講話等「ヨコハマハコ入りムスメプロジェクトについて」 特定非営利活動法人ハナラボ代表理事　角　めぐみ　氏 ◎意見交換等	45
		第４回「社会教育の現代的な役割」 10 月 1 日（木） ◎講話等「「社会」をつくる学び−社会教育の現代的役割−」 東京大学大学院教授　牧野　篤　氏 ◎意見交換等	35
		第５回「学校・地域の連携」 10 月 27 日（火） ◎講話「教育改革が進行する中で，学校・地域の連携と社会教育施設の役割を考える」 青森中央学院大学教授　髙橋　興　氏 ◎事例発表「学校と市民センター協働の事業づくり～中田七夕まつりの実践をとおして～」 仙台市立中田小学校教諭　　加藤　陽介　氏 仙台市立中田中学校主幹教諭　永沼　孝敏　氏 中田市民センター事業職員　　安田　千佳　氏 ◎意見交換等	233

市民センター新任職員研修	・市民センター職員 ・関係課職員	4 月 22 日（水） ◎講話 1「新任職員への期待」 東北学院大学教授　水谷　修　氏 ◎講話 2「市民センターの概要」※ ◎講話 3「学習情報提供・相談と学習情報の発信について」※ ◎講話 4「ジュニアリーダーの活動について」※ ◎グループワーク（研修内容の振り返り）※ ※生涯学習支援センター職員が担当	44
市民センター館長研修	・市民センター館長	7 月 30 日（木） ◎講話「地域課題とその解決方法を考える ～コミュニティビジネスの可能性～」 宮城大学教授　風見　正三　氏 ◎グループワーク	59
社会教育の推進にかかる研修	・生涯学習支援センター，各区中央市民センター等に所属する社会教育主事等の教育局職員	**第 1 回** 5 月 22 日（金） ◎講話 1「現代社会における社会教育の役割と課題」 宮城教育大学教職大学院教授　梨本　雄太郎　氏 ◎講話 2「仙台市における社会教育について」 仙台市教育局生涯学習課主幹　相澤　文典　氏 主査　高橋　一誠　氏 **第 2 回** 11 月 17 日（火） ◎事業評価についての意見交換等 特定非営利活動法人教育支援協会代表理事　吉田　博彦　氏	14 14
生涯学習応用研修～スキルアップ研修～	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	**第 1 回「プレゼンテーション研修」** 5 月 28 日（木） ◎講話とグループワーク 「分かりやすく伝えるためのプレゼンテーション」 ハリウコミュニケーション（株）連携推進室長　遠藤　真吾　氏 **第 2 回「事業（講座）づくり研修」** 7 月 15 日（水） ◎講話とグループワーク 「事業（講座）企画のアイディア研修～事業（講座）づくりが楽しくなるアイディアの出し方・練り方～」 アイデアプラント代表　石井　力重　氏 **第 3 回「効果的な情報発信研修」** 9 月 17 日（木） ◎講話とグループワーク 「効果的な情報発信の知恵～ちらしを使った情報発信の工夫例など～」 仙台市市民活動サポートセンター　菅野　祥子　氏 松村　翔子　氏 葛西　淳子　氏 **第 4 回「ファシリテーション研修」** 11 月 18 日（水） ◎講話とグループワーク 「ファシリテーションのための知識と実践」 特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事　伊勢　みゆき　氏	24 38 56 14

生涯学習応用研修～現代的課題対応研修～	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	**第１回「多文化共生研修」** 6 月 17 日（水） ◎講話「仙台市における国際化の概説」 ◎グループワーク　「レヌカの学び」 ◎外国人ゲスト 6 名によるパネルトーク ◎グループワーク「多文化防災ワークショップ」 ◎やさしい日本語と来館者対応に役立つ英語 （公財）仙台観光国際協会　菊池　哲佳　氏 （公財）仙台観光国際協会　堀野　正浩　氏 仙台市国際交流員　デイビッド・ドノヴァン　氏 他　留学生等　5 名 **第 2 回「男女共同参画研修」** 7 月 29 日（水） ◎講話とグループワーク 「多様性配慮の視点を社会教育に活かすために」 （公財）せんだい男女共同参画財団 管理事業係長　牛井渕　展子　氏 阿部　若菜　氏 **第 3 回「多様性への配慮」** 12 月 3 日（木） ◎講話とグループワーク 「発達障害の理解と支援～身近な理解者になるために～」 特定非営利活動法人自閉症ピアリンクセンターここねっと センター長　　黒澤　哲　氏	35 13 42
生涯学習応用研修～市民協働研修～	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	**第１回「市民協働の本質を深めよう～社会教育の意義と役割～」** 12 月 11 日（金） ◎講話とグループワーク 「市民協働の本質を深めよう　～社会教育の意義と役割～」 宇都宮大学　地域連携教育研究センター 准教授　佐々木　英和　氏 **第 2 回「ＮＰＯ活動との連携から地域づくりを考える」** 1 月 20 日（水） ◎講話とグループワーク 仙台市市民活動センターセンター長　菊地　竜生　氏	22 12
事例発表研究研修	・市民センター職員 ・関係課職員	2 月 26 日（金） ◎事例発表 「てらまちフェスタ 2015―遊びでつながるまちづくり―」 柏木市民センター 「大沢・川前地域交流ネット　あがれ！天旗」 大沢市民センター 「生出かかしまつりコンテスト 2015」　生出市民センター ◎グループワーク・総括 東北学院大学教授　水谷　修　氏	58

（2） 学びのまち仙台市民カレッジ事業

＜生涯学習支援センター＞

本市における生涯学習の支援拠点として，全市域の市民を対象に，社会ニーズや現代的課題に対応した専門的で質の高い学習の機会を創出することで，学びを通した市民力の育成を目指すとともに，学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進めた。

① 「地域づくり支援講座」

市民を対象に，市内外における先進事例の紹介や視察，講演等からなる講座を企画・実施し，地域づくりに必要な知識やスキルを習得するための，より専門的な学習機会を提供することにより，地域づくりを牽引する人材育成をめざした。

【学習内容】

回	日　時	概　　要	受講者
1	7月 1日（水） 18：30～20：30	◎開講式 ◎講話「地域づくりを楽しもう!」 せんだい泉エフエム放送株式会社　取締役事業部長　阿部　清人　氏 ◎グループワーク（自己紹介等） ※以降，毎回のナビゲーターは，阿部　清人　氏	13
2	8月 5日（水） 18：30～20：30	◎講話「若い力と協働しよう」 東北福祉大学　学生生活支援センター　ボランティア支援課 コーディネーター　渡辺　信也　氏 ◎事例発表　高森東連合町内会 防災委員　佐藤　亜矢子　氏	14
3	9月 5日（土） 13：30～17：00	◎施設見学　仙台うみの杜水族館 ◎事例紹介「被災地支援と水族館，ソーシャルビジネスの可能性」 株式会社　ソノベ　地域未来デザイン事業部　部長　川村　力　氏 エディター　湯田　陽子　氏	10
4	10月 7日（水） 18：30～20：30	◎講話とワーク「ファシリテーションを学ぼう」 特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会 東北スクエア　世話人　中西　百合　氏	12
5	11月 11日（水） 18：30～20：30	◎講話「企業から見た地域づくり」 公益社団法人　仙台青年会議所　理事長　金ヶ崎　政伸　氏 ◎意見交換	15
6	12月 2日（水） 18：30～20：30	◎講話「町内会の可能性」 福住町　町内会　会長　菅原　康雄　氏 ◎意見交換	11
7	1月　6日（水） 18：30～20：30	◎講話「七の川の活動と助成金活用の事例」 七北田小学校親の会　七の川　代表　佐竹　洋一　氏 ◎講話「助成金とは何か？～資金を提供する側から～」 公益財団法人　地域創造基金さなぶり チーフ・プログラムオフィサー　鈴木　祐司　氏	11
8	2月 10日（水） 18：30～20：30	◎ワーク「これまでの学びのふりかえりと今後の抱負」 せんだい泉エフエム放送株式会社　取締役事業部長　阿部　清人　氏 ◎閉講式	11

② 「仙台再発見リレー講座」

市民を対象に，「わがまち仙台」をテーマとして，歴史，産業，食，文化，まちづくり等の視点から学びを広げ，地域の魅力に改めて気づくとともに，今後の発展に自分なりの考えをもつことができるような講座を実施することで，地域づくりに関わろうとする新たな人材の発掘や，そのような市民層の拡大を目指した。

【学習内容】

回	日　時	概　　要	受講者
1	6月13日（土） 14：00～16：00	◎講話「仙台弁からみる仙台の魅力」 東北放送株式会社　ラジオ局長　藤沢　智子　氏 ◎対談「わがまち仙台の魅力」 東北放送株式会社　ラジオ局長　藤沢　智子　氏 せんだい泉エフエム放送株式会社　取締役事業部長　阿部　清人　氏	46
2	6月27日（土） 14：00～16：00	◎講話「仙台のまちなみとまちづくり」 特定非営利活動法人　コミュニティ　代表理事　小地沢　将之　氏	33
3	7月25日（土） 14：00～16：00	◎講話「食を通じた地域づくり」 宮城学院女子大学　教授　平本　福子　氏	35
4	8月1日（土） 14：00～16：00	◎講話「仙台の偉人・歴史から地域を学ぶ」 特定非営利活動法人　仙台城ガイドボランティア会 元理事長　小林　眞勝　氏	30
5	8月29日（土） 14：00～16：00	◎講話「産業界から見た仙台～地域連携で世界をめざす～」 東北大学教授　堀切川　一男　氏	31

③ 「学び直し」講座

就業に関する世代ごとに抱える課題解決を支援するため，社会教育施設として就業に必要なスキルを向上させるための効果的な学習支援を行った。

○女性向け就労準備講座　「働く「わたし」をイメージ～なりたい自分に近づくために～」

対象：2～3年後，子どもが就園・就学等をしたら働きたいと考えている現在子育て中の女性

場所：生涯学習支援センター　第2セミナー室

【学習内容】

回	開催日	概　　要	受講者
1	6月2日（火）	◎講話とワーク「わたしにとって“働く”ということ」 （公財）せんだい男女共同参画財団 事業管理係長　牛井渕　展子　氏	11
2	6月16日(火)	◎ワーク「職場で役立つコミュニケーション」 ～効果抜群！自分と仲良くなるメンタルコントロール法について～ ドリームフィールド代表　阿部　侑生　氏	11
3	6月30日(火)	◎講話「働くための準備ポイント」 マザーズハローワーク青葉 職業指導官　伊東　幸輝　氏	12
4	7月14日(火)	◎講話「先輩ママの話」 子育てをしながら働いている女性３名との対話 ファシリテーター：のびすく仙台館長　伊藤　仟佐子　氏	9

○若者向け就労支援講座　「若者の困難を考える～私たち周りの人ができること」

対象：不問（就学・就労していない，概ね 10 代後半～20 代の方及びその家族等）

場所：生涯学習支援センター　第 2 セミナー室

【学習内容】

回	開催日	概　　要	受講者
1	2 月 28 日(日)	◎講話「生きづらさを抱える若者たち」 仙台大学学長・元仙台市教育長　阿部　芳吉　氏	57
2	3 月 6 日（日）	◎講話「ひきこもりやニートを理解する」 仙台市ひきこもり地域支援センター　ほわっと・わたげ 精神保健福祉士　秋田　麻美子　氏	44
3	3 月 13 日(日)	◎講話「発達障害を理解する」 特定非営利活動法人　自閉症ピアリンクセンター　ここねっと センター長　黒澤　哲　氏	54

④ 生涯学習に係る連携・協力の推進

中央教育審議会による答申（ネットワーク型行政の推進等）及び震災復興等の社会的要請，市民ニーズの多様化などを踏まえ，本市における生涯学習支援をさらに充実させるために，大学等高等教育機関，民間企業，各種団体，行政各課等との連携・協力の推進やそのあり方等について有識者との意見交換会を行った。

【意見交換等調査研究】

日　時	概　　要
3 月 15 日(火) 15:00～17:00	＜意見交換会参加者＞ ・東北大学大学院教育学研究科　准教授　石井山　竜平　氏 ・せんだい泉エフエム放送株式会社　取締役事業部長　阿部　清人　氏 ・仙台市市民活動サポートセンター　センター長　菊地　竜生　氏 ・(公財) 男女共同参画財団　エルソーラ仙台　管理事業課長　渡邉　ひろみ　氏 ・(公財) 仙台観光国際協会 国際化事業部国際化推進課企画係 主任 菊池　哲佳　氏

（3） ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成

＜生涯学習支援センター＞

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として，子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は，市民参画による市民のためのものとしてボランティアによる主体的な運営を前提としており，その中で活躍する託児ボランティアを支援するとともに，新たな託児ボランティアの養成・育成のための事業を実施した。

【研修内容】

事業名	内容	開催日	延受講者
託児ボランティア養成講座	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。 ・オリエンテーション 「託児ボランティア活動について」 ・講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 講師：仙台市向山保育所保育士 ・移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市向山保育所見学 ・講話「子どもの病気と怪我」 講師：宮城野区家庭健康課保健師 ・話し合い，実技「これからの活動に向けて」	10月1日 10月8日 10月15日 10月22日 10月29日	28
託児ボランティアフォローアップ研修	より質の高い託児室運営のため,託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ・乳幼児の応急手当 講師：日本赤十字社宮城県支部 ボランティア指導員　山田　元子　氏	12月1日	46
託児ボランティア活動支援(連絡会・調整会の開催)	市民センターで活動する託児ボランティアに対し，連絡会，託児調整会等の開催により，日常の活動を支援した。	5月12日 10月 6日 3月 8日	92

【託児ボランティアグループ一覧】(平成28年3月現在)

グループ名	設立年月日	最寄の市民センター	会員数
さくらんぼ	H14.5.8	木町通市民センター	5
ひまわり	H9.8.1	水の森市民センター	8
プーさん	H3.1.1	水の森市民センター	4
ポッケの会	H2.3.25	広瀬市民センター	5
アリスの会	H5.7	生涯学習支援センター	4
にんじん	S59.7.9	東部市民センター	4
ハイジ	H22.4	若林区中央市民センター	10
クリップ	H9.4.1	六郷市民センター	11
でんでんむし	H12.3.22	東中田市民センター	9
こんぺいとう	H7.10.1	茂庭台市民センター	3
たんぽぽ	H4	富沢市民センター	10
キャンディ	H22.4	南光台市民センター	5
ちゅうりっぷ	H13.3.14	泉区中央市民センター	13
てっての会	H6.4	寺岡市民センター	7
合計　14グループ　/　会員数　98名			

② 図書ボランティア活動支援

＜生涯学習支援センター＞

市民センター併設の図書室（47 館）のうち 29 館の図書室では，市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

その図書ボランティアの活動を支援するためのスキルアップ研修を実施した。

【研修内容】

事業名	内容	開催日	受講者
図書ボランティア スキルアップ研修	「魅力的な図書室づくり」 講師：榴岡図書館　司書 橋本　奈津美　氏 司書 藤渕　陽子　氏	12 月 16 日	35

【図書ボランティア一覧】（平成 27 年 7 月現在）

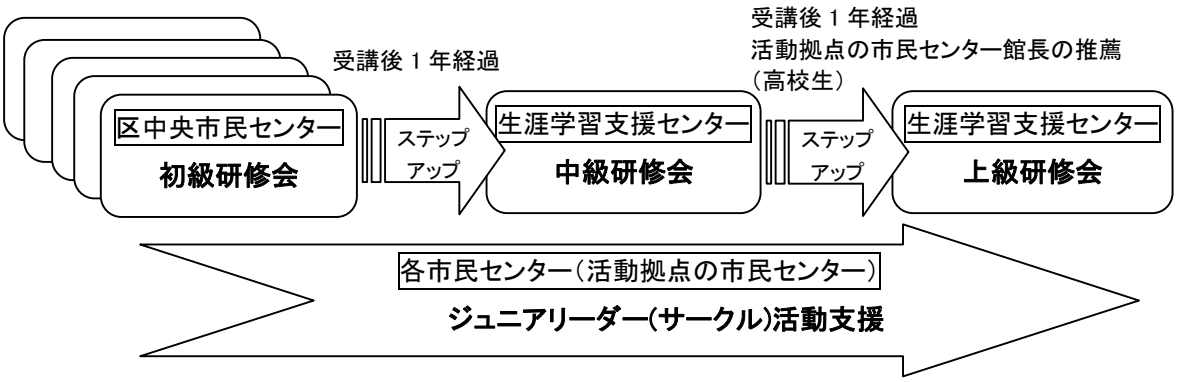
グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	11
カンナの会	福沢市民センター	11
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	15
栞の会	落合市民センター	13
（個人登録）	片平市民センター	6
（グループ名なし）	水の森市民センター	19
ひまわり	貝ケ森市民センター	9
（個人登録）	中山市民センター	8
コスモス文庫	大沢市民センター	14
図書ボランティアたんぽぽ	吉成市民センター	10
図書ボランティア	木町通市民センター	8
しおりの会	岩切市民センター	9
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
（グループ名なし）	田子市民センター	6
ターンぽっぽ	東部市民センター	8
かすみそう	高砂市民センター	6
図書ボランティアサークル「ひまわり」	幸町市民センター	8
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	10
（個人登録）	七郷市民センター	9
（個人登録）	沖野市民センター	8
ブックスフレンド中田	中田市民センター	16
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	32
図書ボランティア縄文	山田市民センター	7
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	28
（個人登録）	東中田市民センター	7
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	12
図書ボランティア	西多賀市民センター	10
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	8
ブックポケット	柳生市民センター	4
松森市民センター図書ボランティア	松森市民センター	9
ボランティア数計 324 名		

③ ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは，青少年ボランティア活動の一環として，仙台市教育委員会の支援を受け各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生である。

ジュニアリーダーの主な活動内容は，地域の子ども会活動を活性化するための支援であり，このような活動を通して，地域全体の活性化に貢献している。また，子どもを対象としたイベントの企画・実施やその他のボランティア活動にも積極的に取り組んでおり，こうした活動が，ジュニアリーダー自身の人格形成にも役立っている。

ジュニアリーダーを育成するために，各区中央市民センターにおいて初心者を対象とした初級研修会，生涯学習支援センターにおいてステップアップ研修となる中級研修会・上級研修会を実施している。さらに，ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては，活動の支援や，ジュニアリーダーを指導者とした事業を行っている。



市民センター全体を通して，ジュニアリーダー一人ひとりが段階的に認定を受けながら，子ども会活動全般についての専門的な知識や技能を身に付け，自覚と責任を持って活動できるように支援し，さらに地域とのつながりの中で活動するジュニアリーダーを支援することによって，子ども会をはじめとする地域の活動を活性化している。

【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

自主企画（ジュニアと遊ぼう，交流会など），定例会及び連絡会，各種研修会

子ども会，市民センター，その他の機関からの要請による活動

- 子ども会行事の実施及び企画の補助
- 区民まつりへの参加
- 市民センター事業への補助
- 児童館行事のスタッフ　　など

○ジュニアリーダー初級研修会

各区中央市民センターを会場に，新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生に対し，青少年のボランティア活動を通して，地域の子ども会活動の活性化を図るために必要な基本的な知識と技術を習得する機会を提供した。

また，区内のジュニアリーダー相互と，新たにジュニアリーダーに加わる受講生との親睦を図り，今後の活動への意欲を高めた。

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	7月 5日(日)	48
宮城野区中央市民センター	8月 2日(日)	34
若林区中央市民センター	12月 13日(日)	26
太白区中央市民センター	7月 4日(土)	53
泉区中央市民センター	11月 29日(日)	39

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

地域の子ども会の活性化と青少年のボランティア活動を積極的に推進するため，初級研修会を修了し，引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている中学生及び高校生で，活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者を対象に，より高度な知識と技術を習得するための研修を行った。

○8月 4日(火)，5日(水)　受講者：59名(会場：生涯学習支援センター)

・研修 1「ジュニアリーダーに必要なものとは？」
・研修 2「要請の受け方」
・研修 3「子どもを引き付けるコツ」
・研修 4「要請のプログラムを作成しよう」
・研修 5「要請のプログラムを実践しよう」

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために，仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ，リードする立場に立つべき高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は，中級研修会を修了し，引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている高校生又は高校生の年齢に相当する者で，かつ活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり，活動拠点となる市民センターの推薦を受けられる者とし，野外活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○7月 11日(土)，12日(日)　受講者：20名（会場：大倉ふるさとセンター)

・研修 1「リーダーとしての役割と心構え」　・研修 2「サークル運営のあり方」
・研修 3「キャンプファイヤーのコーディネートの仕方」
・研修 4「テントの設営」　・研修 5「野外活動と安全」
・研修 6「野外炊事」　・研修 7「テントのしまい方」





【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】（平成 28 年 3 月現在）

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区（143 名） 連絡会 『星のすなどけい』 （青葉区中央市民センター）	1	MRVC くまっこ	39	広瀬市民センター
	2	かめ吉	7	福沢市民センター
	3	朝実巣あかよばく	4	北山市民センター
	4	Colors	14	旭ケ丘市民センター
	5	SKY	30	中山市民センター
	6	みずの森ーダー’S	21	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	13	青葉区中央市民センター
宮城野区（41 名） 連絡会 『Lovers』 （宮城野区中央市民センター）	1	高砂フレンズクラブ	5	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	0	岩切市民センター
	3	鶴ケ谷 Yourself	4	鶴ケ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	10	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	22	宮城野区中央市民センター
若林区（62 名） 連絡会 『田んぼっ区』 （若林区中央市民センター）	1	郷郷七郷	10	七郷市民センター
	2	六郷村	7	六郷市民センター
	3	ピ野沖ヲ	7	沖野市民センター
	4	JARO	21	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	7	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	10	若林市民センター
太白区（59 名） 連絡会 『ANON』 （太白区中央市民センター）	1	なかだかな	12	中田市民センター
	2	おいでもん	12	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがっつまん	17	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	18	太白区中央市民センター
泉区（186 名） 連絡会 『ざわざわ森』 （泉区中央市民センター）	1	黒松ファミリー	15	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	4	南光台市民センター
	3	もみの木カリヨン	20	根白石市民センター
	4	向陽台ぱぴぷぺパレット	0	松陵市民センター
	5	将監くれよん	15	桂市民センター
	6	長命ケ丘巣子っぷ	11	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	14	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	15	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	19	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	39	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	9	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	8	松森市民センター
	13	根住 s	17	根白石市民センター
市全体 （ 491 名 / 36 サークル ） 仙台市連絡会 『ずんだ』 （生涯学習支援センター）				

④ インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため，子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に，子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

【平成 27 年度実績】

区	開催回数	延受講者
青葉区	11	535
宮城野区	9	419
若林区	6	355
太白区	11	599
泉区	23	1,317
合　計	60	3,225

⑤ 実習受入

○社会教育実習生

宮城教育大学，東北学院大学からの依頼を受け，各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として各区中央市民センターで受け入れ，公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

a.施設実習　H27.8.25～H27.8.30

b.講座実習　H27.9～H27.11

c.実習報告　H28.2.19

実習生　東北学院大 17 名，宮城教育大学 3 名(a.のみ)，駒澤大学 1 名及び千葉大学 1 名(a.のみ H27.9.9 まで)

○児童・生徒の職場体験実習

小学生，中学生の職場体験実習を受け入れ，市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

受け入れ学校数及び人数　　小学校（1 校 6 名），中学校（5 校 16 名）

⑤　学びを支えるボランティアセミナー

＜生涯学習支援センター＞

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実をめざし，より多くの市民や団体が，学びの活動や学びを生かした活動に参画できるよう，市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図り，「学びのまち・仙台」を支える基盤を充実させることを目的として実施した。

○日時：平成 27 年 11 月 27 日（金）

○会場：生涯学習支援センター　第 1 セミナー室

○対象：社会教育施設等で活動するボランティア，社会教育施設職員，社会教育施設での学びを支えるボランティア活動に興味や意欲のある市民

○参加者数：35 名

○内容：基調講話「学びを支えるボランティアの力，市民の力」

【講師】　大久保　朝江　氏

（認定特定非営利活動法人　杜の伝言板ゆるる　代表理事）

事例発表

仙台市天文台

職員：スタッフ（学芸員）佐々木　瑞穂　氏

ボランティア：スタッフサポーター　鈴木　登　氏

仙台市榴ヶ岡市民センター

職員：主任　笹川　圭子　氏

ボランティア：東口ガイドボランティア宮城野さんぽみち事務局長

久保　一　氏

情報交換

６　仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条，仙台市市民センター条例第13条に基づき，市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う，本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は14人で，任期は平成27年11月1日から平成29年10月31日までの2年間となっている。祐祐

【委員名簿】　〔平成28年8月1日現在〕

	氏　　名	職業または所属団体
	阿 部　　侑 生	Ｄｒｅａｍ　Ｆｉｅｌｄ代表
	市 瀬　　智 紀	宮城教育大学附属国際理解教育研究センター教授
	幾 世 橋　広 子	仙台市社会学級研究会顧問
	小 岩　　孝 子	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家理事長
	小 地 沢　将 之	仙台高等専門学校建築デザイン学科准教授
○	齋 藤　　純 子	NPO 法人せんだい杜の子ども劇場代表理事
	齊 藤　　康 則	東北学院大学経済学部准教授
◎	佐 藤　　直 由	東北文化学園大学医療福祉学部教授
	島 倉　　美 穂	公募委員
	菅 井　　茂	仙台市連合町内会長会庶務理事
	鈴 木　　一 彦	仙台市立東六郷小学校校長
	中 山　　聖 子	NPO 法人ハーベスト常務理事
	吉 田　　祐 也	学校法人尚絅学院職員
	渡 辺　　博	仙台市議会議員

◎：会長　○：副会長　敬称略・50 音順

【近年の審議内容（平成 15 年度～平成 27 年度）】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 15 年 10 月 7 日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1　審議会における検討の過程 2　子どもの事業に取り組む課題と視点 3　ジュニアリーダーの育成と活動支援 4　学社連携・融合事業について 5　学校週 5 日制に対応した事業について
平成 17 年 9 月 12 日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1　市民参加と市民協働の課題 2　市民センター運営における市民参加について 3　市民企画委員によるプログラムづくりについて 4　市民参加を広げる事業活動をめざして
平成 19 年 10 月 30 日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1　見直しの背景 2　見直しにあたっての考え方 3　市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1　今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2　経過報告のまとめについて ＜これまでの審議内容(各委員の意見)の概要＞ 1　市民センターの区への移管について 2　連携事業の調査からみえてきたもの ＜市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは＞ （梨本雄太郎委員） ＜区行政との「融合」をめぐって＞ （石井山竜平委員）
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから，それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案ー仙台プランー	＜市民センターを拠点とした新しいまちづくり＞ 1　意識を変える 2　人材発掘・育成とネットワーク化 3　市民の活動の場を生み出し支援する ＜新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩 /今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案＞ 1　住民参画・問題解決型学習事業 2　子ども参画型社会創造事業 3　学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見	1　検討の進め方について 2　組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1　これまでの経緯 2　評価の現状と基本的な考え方 3　本審議会が実施する外部評価 4　本審議会以外が実施する外部評価 5　まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1　評価の目的 2　評価の実施 3　評価の結果 4　まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1　「仙台市市民センターの施設理念」について 2　「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3　「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4　東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5　その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1　評価の目的 2　評価の実施 3　評価の結果 4　まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1　評価の目的 2　評価の実施 3　評価の結果 4　まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1　震災後の取り組みの成果と課題 2　今後の市民センター事業に関する委員の意見

【平成27年度の審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
5 月 26 日(火)	定例会	審議：(1) 震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について
7 月 14 日(火)	定例会	審議：(1) 震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について (2) 平成 26 年度事業評価報告書（案）について
8 月 25 日(火)	定例会	審議：(1)震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について
11 月 10 日(木)	定例会	委嘱状交付式 協議：(1) 会長，副会長選出 (2) 会議の公開，非公開について (3) 議事録及び署名人について (4) 公民館運営審議会定例会の日程について 報告：(1) 審議会の運営について (2) 各区中央市民センターの区役所への移管にかかる事業検証報告書（案）について
1 月 28 日(木)	定例会	審議：(1) 今期の審議の進め方について (2) 今期の仙台市市民センター事業の評価について 報告：「各区中央市民センターの区役所への移管にかかる事業の検証について」
3 月 24 日(木)	定例会	審議：「今期の仙台市市民センター事業の評価について」 ○話題提供

Ⅲ 地区館事業

平成 27 年度 指定管理事業実績

青葉区中央市民センター

〔沿　革〕

青葉区中央市民センターは、昭和 40 年 4 月、市立東二番丁小学校に開設された「仙台市市民教養センター」がその始まり。昭和 61 年、小学校の全面改築に伴い廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」として開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスピア一番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、現在の「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心部で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高く、外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一翼を担っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	「地下鉄東西線開業プレ企画」一番町ジャズ♪ナイト 2015		
参加者	どなたでも	延参加者	68 人
開催日	全 2 回　　10 月 8 日（木）、10 月 29 日（木）		
協力者・協力団体	市民企画会議「地下鉄東西線開業プレ企画」企画員 まちなか応援隊		
ねらい	地下鉄東西線が開業し、「青葉通一番町駅」が新設される。このような立地特性を生かして、新たな人のつながりや「魅力あるまちづくり」「つながる人づくり」を応援するために、市民企画員が本講座を企画運営する。 講座の開催により、居住地域以外でも新たなつながりと交流が生まれるとともに、様々な活動に主体的に関わるきっかけの場とすることを目的とする。		
概要・成果	第 1 回 10 月 8 日（木）トークとＣＤコンサート 第 2 回 10 月 29 日（木）トークとジャズライブ 当日の会場の雰囲気や盛り上がり方からも参加者は大いに楽しんでいた。参加状況を見ると、仙台市内のみならず県内各地域から、また年代も様々な老若男女の参加があった。このことから市中心部であることによる集客力のほか、音楽をツールとした講座は年代・性別を問わず望まれていることがうかがえた。通常のポスター・ちらしによる広報の他、ホームページやフェイスブックなどの媒体活用も集客力のアップにつながったようである。講座当日の会場の設営にはまちなか応援隊の協力を仰ぎ、講座は企画員が運営し、全体をとおして市民協働で企画・運営・実施することができた。		

〔平成 27 年度（地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で遊ぼう！パンダくらぶで	親子がゆったり向き合ったり、他の親子と触れ合うことにより、不要な心配や不安から解放され、育児を楽しむことが出来るよう子育て支援の一助とした。人形劇鑑賞、読み聞かせ、紙芝居，親子ヨガ。	9 月 29 日 10 月 27 日 11 月 10 日 12 月 15 日	4	126
いいなぁ！せんだいーこども歳時記	転入者が地域に親しむことや地域の文化の継承を目的とした。郷土行事「盆踊り」や郷土食「はらこめし作りなどの体験を通して、そこに込められた知恵や願いを親子で学んだ。	8 月 18 日 10 月 10 日	2	40
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーとの遊びを通して、学校の枠を超えた幅広い年代と交流し、集団で楽しむきっかけづくりとした。「仙台七夕まつり」「東二小夏祭り」における JL と遊ぼうコーナーを担当。	8 月 6、7、8、22 日	4	1,000

仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、リーダーとして活動する児童と次期世話人を対象に学習の場を提供した。子ども会活動や役割についての講話とレクリエーション・ゲームの進め方。	1月30日	1	12
●職場体験学習講座	自分づくり教育の一環として職場体験を受け入れた。講話、接遇、窓口体験、講座体験。	5月19、20日 11月17～19日	2	6
仙台まちなか散歩	地元の歴史を再発見し継続的に発信、継承した。自主グループ研修会・公開講座開催・ふれあい祭りにて成果発表。	4月15日 ～3月16日	14	141
★外国人のための防災講座「防災のことを、みんなで話そう」	外国籍の方とその家族・友人等を対象に、災害時に適切な対応や必要な情報を入手する方法を学んだ。防災DVDの視聴。災害に関する難しい言葉の学習・災害時の体験について。	4月15日 10月14日	2	63
★あおばカレッジ	月に一度決まった曜日時間に集まり、様々な学びを体験することにより、家庭や地域の中で生き生きとした生活を送ることが出来るようになるための運営委員自主企画、館外学習、講話、軽体操、実技の実施。	5月15日 ～2月19日	9	299
まちなか元気いっぱいプロジェクト	地域団体や事業者とイベント事業を主催・共催することで相互に交流を深め、地域の活性化に貢献した。	7月4日 8月6～8日 10月30日 11月28日	4	1,438
第12回ふれあい祭「和気藹々☆一番町」	各種サークル・団体等の学習成果発表の場。展示発表、ステージ発表、ダンスパーティ、出店コーナー。	2月27、28日	2	1,298
★青中懇話会	地域の諸団体や子育て支援機関との情報共有の場を設け、連携体制を構築する機会とした。	6月23日 9月3日 10月28日	3	35
ボランティア養成･育成講座―まちなか応援隊	市民ボランティアとして受付要員からステージ裏方スタッフまで、イベントを盛り上げる人材を養成・育成するプログラムを実施した。	5月16日 ～3月5日	12	73
ジュニアリーダー育成支援	ジュニアリーダーサークルが地域の子ども会活動など様々なボランティア活動に取り組めるよう育成支援した。	4月19日 ～3月20日	12	43
市民企画会議 「地下鉄東西線開業プレ企画」	地下鉄東西線開業に伴い、更なる地域活性化を目指し、新たなコミュニティーを育み広げるための講座を企画した。	5月28日 6月24日 9月18日 11月6日	4	12

柏木市民センター

〔沿　革〕

柏木市民センターは、昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成 2 年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては、収納式のステージをもつ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	まざらいん柏木		
参加者	成人男女	延参加者	228 人
開催日	全８回　①10 月 22 日(木)、10 月 29 日(木)、11 月 5 日(木)、11 月 12 日(木)、11 月 19 日(木)、11 月 26 日(木) ②2 月 21 日(日)、2 月 28 日(日)		
協力者・協力団体	①日本認知症予防マージャン協会・国見地域包括支援センター ②ＫＤＤＩ東北総支社		
ねらい	高齢社会を見据え、健康で元気に生活していくための知識の習得や生き甲斐づくりを目的とし①脳トレと仲間づくりで認知症予防「柏木健康マージャン講座」②「シニアのためのスマホ講座」の２つを企画。「健康マージャン講座」は、マージャンを認知症予防のためのツールとして見直し、手や頭を使うことで「脳トレ」にするとともに、卓を囲んでの「仲間づくり」や「生き甲斐づくり」の場とし、「スマホ講座」は高齢者向けにスマートフォンの基本操作などをわかりやすく学ぶ機会を提供し活用することにより、より良い生活の充実につなげることをめざす。		
概要・成果	２つの企画は共に、高齢者のコミュニケーションの機会を増やし生活の幅を広げるという目的を果たせたと思われる。特に「健康マージャン講座」は、市民センターの講座としては初めての開催であったが、当初 20 名の募集のところに 4 倍近い応募があり枠を拡大するほど好評を得た。「認知症予防」という目的を明確にしながら、講師による初歩からのわかりやすいルール指導に、途中、包括支援センターの協力を得て認知症予防の講話も交えて実施した。また、皆が楽しくゲームできるマナーの大切さも説明し、和気あいあいで全員が最後まで受講できた。講座終了後も、30 数名の有志が「柏木健康マージャン同好会」を立ち上げ、月 2 回の定例会を自主活動として継続しており、今後、市民センター事業への協力も期待できる人材育成にもつながった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
きらきらしたい！ ～人の健康は食物から作られる～	家庭生活一般を範囲とするような内容に変更した。①「くつろぎタイム」との同時開催で、「昔話」に関する講座を開催。②食生活として「そば打ち体験」開催。中高年に対する健康生活への提案とした。	11 月 28 日 1 月 15 日	2	65
柏木ワンダーランド	小学生を対象とした学校では体験できない学習の機会を提供。①仙台駄菓子のお話しと和菓子づくり②やぎから学ぶいのちの恵み③秋から冬の星のお話し	7 月 24 日 8 月 20 日 1 月 19 日	3	87

インリーダー研修会	子ども会活動に向けての学び 児童（子ども会で行なえるプログラム作成）・世話人向け（子ども会活動の意義と情報交換）	1 月 30 日	1	77
三条中学校連携講座 ふれあいランチ	主に地域の高齢者と中学生の交流を図るために三条中学校を訪問し、授業を見学した後、生徒たちと一緒に給食を食べた。会食の後は、給食センター栄養士から給食事情についての講話があった。	11 月 12 日	1	8
●てらまちフェスタ 2015 ーあそびでつながるまちづくりー	秋休みの通町小を会場に、地域の団体と協力しイベントを開催。遊びをとおして子どもと大人がふれあえる様々なコーナーを設けた。座禅体験、カプラ、割りばし鉄砲、ディスコン、アロマ、おもちゃ病院、ごへいもちなど	10 月 14 日	1	380
職場体験学習	中学 2 年生 2 名が、4 日間にわたり市民センターの業務を体験。「柏木ワンダーランド」の講座補助。センターだより印刷など	8 月 18、19、20、21 日	1	8
博学さんぽ	地域の歴史に思いを馳せ、郷土意識の醸成を図るために仙台市保存樹木のある子平町千田邸を訪ね、当主から由来や手入れ方法などについてお話しを伺った。	5 月 14 日	1	17
★柏梁学院	健康食品や国際協力、防災、コンサートなど受講生の関心の高いテーマでの講座を開催したほか柏梁学院歴史探訪クラブ共催講座、２５周年記念植樹会、館外学習を行なった。	４月１５日 ～３月２日	12	695
くつろぎタイム 2015	①仙台フィルバイオリストとピアニストによるクラシックコンサートを夜間に開催　②は子どもから高齢者まで楽しめる絵本と遊びをテーマにした講座を開催。読み聞かせやジャグリング、折り紙、クリスマスカード作り。	9 月 13 日 １１月 28 日	2	118
ふしぎ！発掘！再現！ 不思議な地形をジオラマにしよう	複数年事業の 3 年目。26 年度までに製作した地形模型等を活用し地域の特性や歴史を伝える手法を検討。常設展示コーナーの開設、柏木ふれあいまつり等での展示及び説明、まち歩き講座の実施などを行った。	4 月 28 日 ～3 月 3 日	13	103
★●あなたの町の出前サロン	（八幡いきいきサロン向け出前講座）季節の折り紙、さわやかストレッチ、遺産相続セミナー、楽しく歌いましょう、健康マージャン （通町復興住宅向け）通町ウェルカムサロン	6 月 23 日 7 月 3、29 日 8 月 28 日 10 月 20 日 3 月 3 日	6	173
★防災・減災を考える	地域住民が集まる「柏木ふれあいまつり」の会場で東日本大震災の被害状況やいざという時の備えについてパネル展示を行ったほか、１００円ショップでそろう防災用品の展示等を行った。	10 月 4 日	1	50
★第 12 回　柏木ふれあいまつり	市民センターの利用団体に活動の場を提供するとともに、参加者と住民との交流・親睦を図った。舞台、作品展示、出店、体験コーナーなど	10 月 4 日	1	830
柏木地域懇談会	地域諸団体とそれぞれに活動を展開する中での課題などについての意見交換をし情報を共有した。	6 月 10 日 11 月 7 日 2 月 25 日	3	43
地域元気クラブ 2015	住民参画・問題解決型学習推進事業として「元気アップ柏木実行委員会」が地域内で自主活動を展開。（八幡ウォークラリー、てらまちフェスタ、四ツ谷用水探検など）	4 月 16 日 ～2 月 18 日	15	394
こども読み聞かせボランティア養成講座	Ｈ２６年度からの継続事業。子ども参画として幅広い活動ができるように支援。（学び編）発声法、本の選び方、紙芝居の演じ方（実践編）児童クラブでお話し。くつろぎタイムで発表。ひなまつり交流会	6 月 27 日 7 月 18、28 日 11 月 28 日 2 月 27 日	5	20
柏木サークル体験会	柏木市民センターで活動しているサークルの体験会。卓球、バウンドテニス、パドルテニス、音楽で健康になど。入会者も増え活性化につながった	5 月 8、16、21 日 6 月 28 日	4	63
「へくり沢」 ウォーキング	ジオラマ講座では、今年度、地形模型等を活用して地域の特性や歴史を伝える取組を行った。その一環として、「へくり沢」を中心に柏木八幡地区のまち歩きを講座受講者が案内する公募講座を実施。	11 月 25 日 12 月 5 日	2	28
市民企画会	イベント等に対して積極的に参加しながら企画や運営・支援ができる人材を募り、イベント開催等を通して地域活性化と世代間交流の向上に繋げた。 イベント企画等についての学習会、市民センター講座の企画検討会など	5 月 8 日 ～11 月 21 日	5	37

北山市民センター

〔沿　革〕

北山市民センターは、昭和 49 年 7 月に北山福祉会館として設置され（所管は仙台市社会福祉協議会）、平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」となり、平成 2 年には「北山市民センター」と名称を改めた。地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしてきたが、施設の老朽化に伴う改築後、平成 23 年 1 月に再開した。

地域内には、青葉神社、大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館の立地により、若者や外国人の居住者が多い。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	ルンルン子育て講座		
参加者	未就学児親子	延参加者	297 人
開催日	全 19 回　　4 月 14 日（火）～ 3 月 8 日（火）		
ねらい	少子化に伴い、子どもたちが近隣住民の中で同年代の友達を探すことがなかなかできない状況にある。また、北山地区には公園が少ない上、市民センター改築の際に児童館が無くなった為、地域に未就学児親子の集う場が少なくなっている。 そこで、季節にちなんだ企画や気軽に参加できるサロンを通年開催して、近隣の親子が市民センターを訪れるきっかけを作る。また、親子室・図書室の存在を知らせることで市民センターの利用、未就学児親子同士の交流を図り地域の子育てを支援する。		
概要・成果	未就学児親子が気軽に来館でき、季節にちなんだ内容で楽しめる「北山子育てサロン」を毎月 2 回開催し、子ども同士が共に遊び、母親同士も育児の悩みなどを話し合える場を提供した。また、昨年度に続き年 4 回講師を招く「ルンルン子育て講座」を企画し、親子が共に学べる機会を提供した。通年の定期開催により子供達は同室で他の子供と遊ぶことに慣れ、継続して参加した母親同士は顔馴染みとなり、より交流が図れるようになった。また、今年度も国際交流会館に住む外国人親子も参加して、日本人親子と共に交流することが出来た。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ジュニアリーダーと遊ぼう	当館を拠点に活動しているジュニアリーダー「朝実巣（あみす）あかよばく」と小学生が、ゲームや遊びを通して、年齢・学校の別なく交流を図ることにより、人との関わり方や主体的な活動の仕方を学んだ。	8 月 30 日 10 月 18 日	2	187
通町小学校連携講座「わたしのまちの歴史探検」	通町小学校５年生（参加者５７人）の総合学習として、北山ガイドボランティアを講師に北山地域の五寺を実際に歩き、それぞれの寺院の歴史や特色を学んだ。また、小学生とボランティアの異世代間交流を図った。	6 月 2 日	1	57
北山納涼祭	北山の寺町というイメージを利用した企画で、子ども達が遊びながら普段は意識せずに暮らしている地元の地域性を学ぶ機会を提供し、スタッフと小学生との異世代間交流が図られた。	8 月 30 日	1	495
三条中学校「職場体験」	三条中学校２学年の「職場体験学習」受け入れ依頼を受けて、社会教育施設としての市民センターの役割を示し、実際の業務を地域の中学生に体験させる事で、生徒達の社会性や勤労意欲を育み職業観を広げた。	8 月 19 日	1	4

インリーダー研修会	近年縮小傾向にある子ども会活動の活性化と、活動内容の充実化を目的に、児童と子ども会の世話人に対し学習機会を提供するため、研修会を開催した。	1月30日	1	77
三条中学校連携講座「ふれあいランチ」	参加した地域住民と中学生が給食を共にしながら、家族以外の大人と触れ合い会話しながら交流することで、地域に目を向け関心を持つ機会となると共に、世代間交流を促した。	11月12日	1	15
北山歴史講座	１回目は、北山五山の流れから柏木に移った満勝寺について、伊達家に関係した歴史等を学習し、２回目は新坂町周辺で仙台藩に貢献した町人達の業績や歴史について学んだ。	6月 27日 11月21日	2	189
女子力ＵＰ講座2015―北山レディースクラブ	北山地域の女性に２年目は新たな分野の学習機会を設け、受講生同士のコミュニケーションも図り、女性がいきいきと活気を持って活動できるための身近な課題への気づきや学習意欲へつなげた。	9月12、19、26日 10月3日	4	46
北山シルバースクール2015	高齢化が進む北山地域で、地域の高齢者が関心のある事柄を意欲を持って自主的に学習できる場を提供し、社会情勢にも目を向け心身ともに健康で生きがいを持って自主的な活動ができるよう支援した。	4月24日 ～2月27日	10	329
北山 JOYFUL★ライブ	あらゆる世代が北山市民センターに集い、楽しく参加・鑑賞ができる様々なジャンルを企画し、地域に住む外国人も共に参加した住民同士の交流や親睦が深められるような機会を設けた。	5月10日 ～1月24日	5	305
★●北山地区合同防災訓練	策定された地域版避難所運営マニュアルに基づき、地域住民・留学生・中学生・地域諸団体が、それぞれの役割を確認する中で合同防災訓練を実施し、地域防災体制の構築や災害対応力の強化を図った。	10月31日	1	564
はじめての仙台暮らし留学生応援講座	来日間もない留学生達が、地震の多い仙台で安心して暮らせるように、防災講座を開催して支援した。また、北山地域の住民と留学生が交流出来るよう、お国紹介で交流した。	10月10日 2月16、27日	3	79
北山ブックフェスティバル	当館の図書室は、近隣の住民の認知度がいまだ低く、利用者も固定化傾向にある。そこで、図書室の周知及び新規利用者数の増加を目指し、読書に関する講座を開催した。	9月12日 11月28日	2	81
市民企画 おばけやしきプロジェクト	大学や地域のサークル等に協力を呼びかけ、おばけやしきの企画・運営の体験を通し、異世代の人々と協働し、親睦を図る場を提供した。また、近隣の子どもたちに向けたイベントを実施し地域貢献を図った。	8月1日 ～9月9日	10	103
第８回　北山交流まつり	地域諸団体や市民センター利用サークル等の活動成果発表や、参加団体及び地域住民が更に地域に根差せる様に、協賛団体や地域の学生ボランテイアと共に開催し、地域の「まつり」としてコミュニティの活性化に寄与した。	10月18日	1	800
市民企画講座 「北山寺子屋」	様々なジャンルに優れた地域人材を活用した企画で、講師となる人材の育成と、学び手となる住民を繋げ地域交流を促した。各種講座の開催により地域活動に関わる住民が増え、素地を養う底辺を広げることが出来た。	5月16日 ～3月11日	9	194
地域懇談会	市民センター事業の理解促進および地域住民、利用団体、地域諸団体等からの意見・要望の聴取や地域課題等を把握・共有する場を設けることにより、センター事業の運営に役立て、地域づくりの拠点としての機能発揮に生かした。	6月 18日 11月14日	2	36
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー「朝実巣あかよばく」への要請の対応や反省などの会議を行なう場を提供した。話し合いを続ける中で、メンバー同士の親睦が深まった。また、ジュニアリーダーとして、技術の研鑽を図った。	4月5日 ～3月19日	12	29
市民企画会「長生き活き活きまちづくり計画」	26年度の企画方向に沿って地域連携で「北山寺子屋」を開催し、地域に必要とされる人材の養成や地域を担う人づくりの促進に向けてのネットワークづくりを広げた。	4月23日 2月16日	2	17

福沢市民センター

〔沿　革〕

福沢市民センターは、昭和 59 年 6 月 9 日、コミュニティ防災センターを併設し、開館。平成 20 年 6 月より大規模改修工事を行い平成 21 年 1 月 14 日に再開した。

当市民センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として歴史を感じる雰囲気を今にとどめており、下町情緒に溢れている。反面、仙台市中心部からも近く、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域でもあり、ここ数年地域の総人口は増加に転じている。また、地域内に復興公営住宅が 2 ヵ所建設され、地域コミュニティの形成がより重要となりつつある中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●◎わが町再発見“私の住む町　どんな町”		
参加者	地域の方　どなたでも	延参加者	159 人
開催日	全 7 回　　9 月 12 日(土)、10 月 9 日(金)、10 月 24 日(土)、11 月 20 日(金)、12 月 11 日(金)、1 月 27 日 (水)、2 月 25 日 (木)		
協力者・協力団体	梅田町内会・北六連合町内会・北六社会福祉協議会・仙台市社会福祉協議会青葉区事務所・仙台市社会福祉協議会支えあいセンターあおば・青葉区まちづくり推進課・青葉区中央市民センター・地域住民		
ねらい	復興公営住宅の入居者に「私達の町」を知る機会を提供することで、見知らぬ土地で暮らす不安を解消し、また入居者間および旧住民との交流を深めながら地域に愛着を持ってもらえるよう支援し、その活動を通して地域全体の活性化へとつなげる。		
概要・成果	地域力創造支援事業の初年度として、まず新住民に市民センターの周知を図り、顔見知りを増やしながら地域の歴史や文化に親しむことができるように、「地域交流コンサート＆茶話会」「仙台張り子作り体験」「芋煮交流会」「地域散策会」「サークル体験会」を町内会等の地域団体の協力を得ながら実施した。受講者は講座への参加を重ねながら、顔を覚え言葉を交わし打ち解ける様子が見受けられ、町内会に加入するきっかけとなった世帯もあった。また、講座の運営に積極的に関わる姿も見られた。今後も地域住民が力を合わせて地域づくりに取り組み活性化につなげることができるよう支援していく。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
にこにこ親子クラブ	小松島児童館との連携事業として、未就学児親子を対象に、１回目は「パパビクス＆ママカフェ」、２回目は「出張！おもちゃ病院」、３回目は「おはようシアターとあそぼう」を実施した。	9 月 19 日 12 月 4 日 1 月 30 日	3	122
ジュニアリーダー「かめ吉」と遊ぼう！	ジュニアリーダーの指導のもと、バルーンアートや手遊び・集団ゲーム・かるたを実施した。	12 月 12、19 日	2	17
中学生「職場体験学習」	窓口業務・講座企画・図書整理・館内外の点検・サークル体験等、来館者と交流しながら市民センター業務を体験した。	5 月 18～20 日 10 月 20～23 日	2	4

仙台市子ども会インリーダー研修会	児童向けに「レクリエーションゲームの進め方」、世話人向けに「子ども会活動についての講話と情報交換」を実施し、全体でレクリエーションゲームを実践した。	2月13日	1	51
福沢シニア大学	地域の歴史や健康・歳時記・趣味に関する講話、健康体操、仙台文学館への館外学習、また運営委員会自主企画として、講話や新年会を実施した。	4月16日 ～2月18日	10	545
社会学級共催事業企画会議	北六番丁小・小松島小・東六番丁小の社会学級と、連携事業開催に向けての企画会議、および次年度に向けての反省会を実施した。	6月19日 7月10日 8月28日 9月15日 10月23、28日 12月8日	8	7
★災害に備えよう	6月に北六小エリアの連合町内会主体の青葉区総合防災訓練を実施。10月に中江地区連合町内会と連携して当館で防災及び避難小運営訓練を実施した。後日、後日応急手当及び救急救命講習会を実施し技術を学んだ。	6月19日 10月10、22日 11月12日	4	150
★北六番丁小学校連携事業	各学年毎に昔遊び・絵馬の講話と制作・地区探検・地域交流イベント等で連携し事業を実施。センターまつりでは学校の取組を発表した。	7月8日 9月1、2、4、30日 10月6日 11月15日 1月28日	8	985
ゴスペルを聴いて歌って元気になろう！ジョン･ルーカスｉｎ Fukuzawa	社会学級との共催事業としてゴスペルアーティストのコンサートを開催した。全員が立ち上がり体を動かしながら笑顔で歌う参加型のコンサートとなった。	10月29日	1	180
第26回福沢市民センターまつり	演技・展示・出店各部門で、センター利用サークルや地域住民、近隣の小中学校等が学習成果を発表し交流した。	11月15日	1	1,232
福沢懇談会	地域住民・センター利用団体・近隣児童館と懇談会を持ち、地域課題の共有やセンターへの意見・要望等の収集、および情報交換を実施した。	6月30日 12月17日	2	25
ジュニアリーダー「かめ吉」定例会	月１回の定例会を開催し、要請についての連絡確認やバルーン等の研修、広報誌づくりと発行等を行った。	4月12日 ～3月26日	13	66
★●市民企画会議 「私の住む町」	梅田町内会や北六連合町内会・仙台市社会福祉協議会などの諸団体と連携し、地域活性化を図るための事業を企画する会議を実施した。	6月3日 ～3月25日	15	107
福沢工房「つくる・つたえる昔遊び」	お手玉やあやとり・割り箸鉄砲・ブンブン独楽などの制作と実演、北六小での昔遊び体験を実施した。終了後、新たに５名が講師を務めたサークルに加入し活動を継続することとなった。	9月3、10、18、25日 10月6日	5	41

旭ケ丘市民センター

〔沿　革〕

旭ケ丘市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として昭和 60 年 6 月に開館した。地下鉄・バスの利便性が非常に良い立地にあり、また近隣は日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）、スリーエム仙台市科学館、仙台文学館等の学術文化ゾーンとなっている。さらに西側には市民から親しまれている台原森林公園が広がり自然環境にも恵まれている。当市民センターは、年間利用者が 10 万人近いことから市内全域を視野に入れ、現代社会における課題を踏まえ、地域資源・人材を活用した事業展開を推進し、多様なニーズに対応する生涯学習の場を提供するとともに、地域コミュニティの基盤としての役割を担っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	市民センターがやってくる！		
参加者	主に地域住民	延参加者	113 人
開催日	全 4 回　　7 月 24 日(金)、8 月 26 日（水）、12 月 10 日（木）、2 月 19 日（金）		
協力者・協力団体	旭ケ丘町内会、瞑想ヶ丘町内会、旭ケ丘中央町内会、旭ケ丘四丁目町内会		
ねらい	高齢化率の高い旭ヶ丘地域で、市民センターへ足を運ぶことは難しいが市民センター講座の受講を希望している高齢者のニーズに応えるため、地域の集会所などで市民センターの企画講座を実施し、参加する楽しさを知ってもらう。		
概要・成果	1 回目:温泉のチカラ、2 回目：お薬あれこれ、3 回目：童謡再発見、4 回目：童謡再発見第二弾を開催。各会場それぞれ町内会の担当者と打ち合わせを行い、地域課題やニーズを知ることが出来たとともに、様々な協力関係の構築を図ることにつながった。また、住民同士で学びの大切さや楽しさを共有する機会となり、市民センター事業について理解を深めてもらうことが出来た。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子でエコ・リサイクル～牛乳パックで和紙はがきをつくろう！	家庭でのリサイクル意識を高め、身近なリサイクル実践例を親子で学び、資源が再利用されるまでの過程を知ることで、資源が正しく再生されるためにするべきことについて考えた。	11 月 7 日	1	12
あさひがおか子育て応援隊	子育て支援および市民センターの新規利用拡大を目的として、子育てをしながら演奏活動を行っているサークルによる演奏会を実施した。	11 月 21 日	1	80
台原中学校 PTA 共催講演会 「トレーナーという立場で支えるスポーツ」	台原中、台原中ＰＴＡ研修・交流委員会、三本松市民センターとの事業企画会により企画された講座。全校生徒がテーマを共有し、学び、気づき、考える機会とするようスポーツトレーナーの仕事をテーマとする講演会を実施した。	11 月 10 日	1	550
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識や行事プログラムの作成、レクリエーションゲームの研修を実施した。	2 月 6 日	1	80

職場体験受入事業	学生・生徒が就業体験を通して社会や地域の現状を知り、問題解決方法や業務の進め方を学び理解する機会を提供した。	10 月 16 日～18 日 11 月 5 日～6 日	2	7
元気な旭ヶ丘 KIDS	小学生を対象とした地域特性や文化的活動を学ぶ体験型学習を実施し、豊かな感性の育成を図った。地域児童の活動拠点として市民センターを提案し、子どもの成長を見守る多世代との交流のきっかけづくりを行った。	7 月 29 日 8 月 2 日 10 月 31 日 11 月 28 日	4	71
台原森林公園活用講座	身近な地域資源である台原森林公園の植物から自然の中で生活する仕組みやよりよい成長のために必要なものを学び、自然を大切にする心を育て保全活動などへの関心を高めるきっかけづくりとした。	5 月 27 日 11 月 11 日	2	30
★旭ヶ丘老壮大学	多様化している社会の変化に伴い、それに対応できるように様々な分野の学習の場を提供した。	4 月 24 日 ～3 月 4 日	11	1,072
わかる！楽しい！英語落語	地域団体である旭丘小学校社会学級と共催で、英語の楽しさを知ってもらうための英語落語講座を行った。社会学級生の他、地域住民に幅広く広報し、市民センター生涯学習事業に対する理解が深まった。	12 月 16 日	1	28
★音楽の力で元気になろう！旭ヶ丘みんなのコンサート	震災で被災した借り上げ住宅に住む方や、一人暮らしの高齢者の方を主な対象に、明日を生きる勇気や震災復興を進める活力につながるよう、なじみのある音楽をとり入れたコンサートや茶話会を実施した。	6 月 13 日 12 月 19 日	2	326
★旭ヶ丘わんぱく森 2 がっこ支援事業	旭ヶ丘地域の小学生が学年の枠を超えて野外活動体験や交流ができるよう多岐にわたり支援しており、今年度は「森林太鼓の継承」について、市民センター主導で行った。	6 月 20 日 7 月 4、18、25 日	4	57
★災害に強いまちづくり会議	完成した旭ヶ丘地域防災管理マニュアルに基づき、マニュアルの見直しや確認すべきこと、地域での防災避難訓練を行う核として、地域防災に関する話し合いを行った。	5 月 12、20 日 6 月 5、12 日 9 月 2 日 10 月 7 日 2 月 19 日	7	198
旭丘小学校社会学級共催事業企画会議	地域にある学習団体と共催し、事業を企画運営し、地域コミュニティの活性化に繋げた。	6 月 10 日 7 月 8 日 12 月 3、16 日	4	18
台原中学校 PTA 共催事業企画会議	将来を担っていく生徒のために、学校・PTA・旭ケ丘・三本松市民センターの四者で青少年が健全に育つ環境づくりに向けて、よりよい事業を実施するための会議を開いた。	6 月 3 日 7 月 1 日 9 月 8 日 11 月 10 日 12 月 8 日	5	87
★旭ケ丘市民センターまつり	地域住民が自らの文化活動や学習成果を発表し、地域交流と活性化が図られた。	10 月 17、18 日	2	4,000
旭ヶ丘地域懇話会	地域課題やニーズ、地域資源、地域情報を懇話会の意見交流を通して収集し、事業に反映することで地域活性化を図った。	5 月 28 日 11 月 19 日	2	29
ジュニアリーダー育成支援	昨年度立ち上がったサークル活動を更に活性化させ、ジュニアリーダーとしての自己研鑽を積むための定例会を開催した。	4 月 3 日 ～3 月 27 日	13	74
ホタルの里サポーター育成講座	旭ヶ丘地域の資源である「ホタルの里」の環境整備やホタルに関する自主運営活動を行い、地域活性化が図られた。ボランティア呼びかけの為の講演会も開催した。	4 月 11 日 ～3 月 12 日	12	172
市民企画講座市民センターの講座を企画しよう	地域住民が地域の問題点を検討し解決のための講座を企画立案した。	6 月 27 日 9 月 3 日 10 月 2 日 11 月 7 日	4	16

三本松市民センター

〔沿　革〕

三本松市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には野鳥や山野草に恵まれた三本松緑地公園が隣接している。堤町は、現在は窯の火は消えてしまったものの、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 1 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(40 台)、舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 10 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	堤町再発見		
参加者	成人	延参加者	26 人
開催日	全 2 回　4 月 26 日（日)、11 月 19 日（木）		
ねらい	堤町の地名の由来となった堤人形や、山野草や野鳥が生息する三本松緑地の魅力が地域の人達にあまり知られていないため、平成 26 年度に作成したマップを活用して地域の魅力を再発見・再確認し、地域への愛着や地域交流を深める。		
概要・成果	平成 26 年度にマップを作成した受講生が講師となり、まち歩きをしながら地域を学ぶ機会を提供し、参加者との交流を図った。また、堤人形の絵付けを地域にある神社で開催し、地域と伝統工芸品の良さを学び、地域への愛着を深めた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
インリーダー研修会	子ども会活動のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に子ども会についての知識やレクリエーションゲーム等を学ぶ機会を提供し、子ども会活動の充実を図った。	2 月 6 日	1	83
★三本松寺子屋	市民センターから距離的に離れて立地する台原小学校と共催で 4 学年 3 クラスに自然災害から身を守る防災講座、台原児童館と共催で藍染体験講座を開催し、市民センター利用の少ない児童の体験の場を広げ、参加した児童の交流を図った。	9 月 1 日 2 月 27 日	2	114
台原中学校 PTA 共催事業「トレーナーという立場で支えるスポーツ」	台原中学校全校生徒と地域の方達が、スポーツトレーナーの講演を通して職業観や生き方を学んだ。講演後、運動部員向けのストレッチ指導も実施した。	11 月 10 日	1	550
三本松老壮大学	高齢者の生きがいづくりと地域活性化のため、相続税と贈与税について、歴史、文学、振り込め詐欺、コンサート等の講座を開催し、受講生同士の交流を図った。	5 月 13 日 ～3 月 2 日	6	270
いつまでもいきいきと長生きしよう！認知症予防講座	台原地域包括支援センターと共催で、認知症についての基本的理解、ケアの立場からの認知症、介護サービスや制度、家族の介護体験談と認知症の人への接し方等を幅広く学び、認知症サポーターを養成した。	5 月 27 日 6 月 3、17、24 日	4	52

三本松緑地の落ち葉堆肥を作ろう！	三本松緑地の落ち葉処理の有効手段として、堆肥づくりを学び、完成した堆肥を市民センターの畑に使用し野菜作りを学んだ。堆肥は、あしぐろ保育所の畑と三本松長寿会花壇でも使用し、残りは地域住民に配布した。	4月2日 5月29日 6月25日 7月16日	4	44
三本松緑地活性化講座	三本松緑地公園で1回目は野鳥観察会を実施し、2回目は3回連続の写真講座を開催し、三本松緑地の魅力を発信した。	4月19日 5月9、16、23日	4	43
●三本松緑地活性化委員会	三本松緑地公園が地域住民に親しまれるための企画をするために、今年度は研修会参加や「桂島緑地未来プロジェクト」の方から他地域の活動を学んだ。	6月12日 ～1月28日	7	37
台原中学校 PTA 共催事業企画会議	生徒が豊かな人間性や自己実現を目指すためスポーツトレーナーによる講演会を企画した。	6月3日 ～12月8日	5	87
三本松市民センターがやって来る！	三本松市民センターの周知と市民センターに足を運べない人達のためにパークタワー台原マンションパーティールームで折り紙講座を開催した。	10月22、29日 11月5日	3	24
★地域懇話会	1回目は台原児童館と荒巻マイスクール児童館館長と、2回目は町内会長と地域団体代表と地域課題や市民センター事業について情報共有と意見交換を行った。	6月24日 7月22日	2	8

片平市民センター

〔沿　革〕

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なことから町内会など地域の団体ばかりでなく、全市的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくりだす独特な地形と、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こうした地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	今に伝わる伊達文化		
参加者	成人	延参加者	127 人
開催日	全 5 回　　10 月 23 日（金）、11 月 13 日（金）、12 月 2 日（水）、1 月 13 日（水）、1 月 27 日（水）		
協力者・協力団体	（公財）瑞鳳殿		
ねらい	仙台藩政時代より伝わる文化を体験することでその魅力を再認識し、得た情報をまとめて発信することにより、広く市民に片平地区に受け継がれる伊達文化を広報するとともに、郷土愛を育む。		
概要・成果	伊達家第 18 代当主直々の講話、瑞鳳殿での解説は子孫の立場としての話や普段では聞くことのできない内容であり、参加者を大いに喜ばせた。また体験型の学習や、まとめのパネル作成など講座の組み立てに工夫をしたことにより変化に富んだ内容となり、参加者同士の交流にもつながった。 パネルは国際センター駅舎 2 階にも展示し、広く市民に広報することができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
パパとママの子育てサロン	1 回目は「にこちゃんまつり」で 9 つの遊びのブース、絵本の読み聞かせを開催。2 回目はパパ達が、手軽な材料でクリスマスケーキ作りに挑戦。	6 月 16 日 12 月 5 日	2	147
中学生「職場体験学習」	市民センターの概略と役割の説明,受付、窓口業務や施設管理業務の体験学習,生涯学習事業を理解するための講座企画の立案	11 月 17 日 ～11 月 19 日	1	2
かたひらキッズクラブ	小学生向けに学校では体験できないプログラムを提供。みそ作り、キンボール体験、盆踊り練習、ものづくりなど	5 月 30 日 7 月 4 日 8 月 21、22 日 2 月 6、13 日	6	261
インリーダー研修会	子ども会の４～５年生と世話人を対象に子ども会についての知識やレクリエーション・ゲームを学習。	1 月 30 日	1	23
広瀬川沿いを歩こう！～ボランティアガイドと歩く広瀬川～	４月～１１月にかけて広瀬川沿いをボランティアガイドの案内で散策。その後新コースの開発と勉強会。	10 月 23 日 ～1 月 27 日	6	151

市民企画講座オールディズ･蘇る青春の日々あなたの時代を語りませんか？	音楽、映画、ファッション、歌を切り口に定年後の世代が語り合い最後に青春時代を振り返り文章にまとめ冊子作り。	10 月 22 日 ～1 月 7 日	6	94
★片平シニア麟経大学	歴史や医療、健康に関する話、脳トレーニングなどの講話、転倒予防や肩こり・腰痛のストレッチなどの実技体験、博物館観覧、受講生企画など	5 月 14 日 ～3 月 3 日	12	528
片平七夕リレーウィーク	ベガ号（移動天文車）で夏の空の天体観測。和紙を使ってミニ七夕作り、センターの竹で工作。七夕前夜祭の花火鑑賞とギターコンサートを開催。	7 月 17、24、 31 日 8 月 5 日	4	150
★隣（りん）・輪（りん）で臨む地域減災	地域の町内会やまちづくり会との合同防災訓練、防災・減災カードゲーム体験、防災シンポジウム	7 月 11 日 ～3 月 6 日	5	364
かたひら waiwai 広場の歩み	地域の方やまつりの実行委員に協力してもらい、過去のまつりの資料や写真を収集して記録にまとめ、まつりで発表した。	4 月 24 日 ～11 月 17 日	9	29
★●かたひらにようこそ	出前のサロン形式で市民センターの利用案内をするとともにビデオ鑑賞とお茶飲み会により地域住民との交流を図った。	2 月 27 日	1	2
★片平新春コンサート２０１６	震災を受け「地域に元気を届けるコンサート」として５年目を迎え、平成 27 年度は合唱６団体、器楽３団体の参加で開催。	1 月 16 日	1	210
かたひら waiwai 広場	小・中・高校と地域の学生がフル参加して日頃の練習の成果を発表。地域で活動している団体が連携して交流や親睦を深めた。	10 月 10 日	1	933
★片平市民センター懇話会	市民センター並びに児童館の平成 27 年度事業概要についての説明と事業に関わる質問と回答。地域課題についての懇談。	5 月 27 日 2 月 24 日	2	28
★片平地区紹介ＤＶＤ制作プロジェクト	各町内会や地域の行事、名所などの映像と地域住民の出演による片平地区を紹介するＤＶＤを制作した。完成後は転入者や地域住民に地域を紹介するツールとする。	4 月 16 日 ～2 月 10 日	10	56
広瀬川ボランティアガイド養成講座	広瀬川を案内するボランティアの増員を図るため、ボランティアの基本知識の座学と実地案内を体験。	9 月 4 日 ～12 月 19 日	6	35
市民企画会議「メンズセカンドライフ応援男」	定年世代が充実した第 2 の人生を送るためにいきがい、仲間作りとなるような講座を企画運営する会議を開催。	6 月 25 日 ～2 月 18 日	13	51

水の森市民センター

〔沿　革〕

水の森市民センターは、広く市民の憩いの場として親しまれている自然豊かな水の森公園の水の森入口に立地している。管内は昭和 30 年代半ばから宅地開発が進んだ水の森、東勝山、桜ケ丘、川平等の閑静な住宅地を擁する地域である。

当市民センターは、児童館・温水プール・コミュニティ防災センターを併設する複合施設として平成 2 年 9 月にオープンした。斬新な外観の施設は地域のランドマークとして親しまれ、一年を通して多くの利用者が訪れる。2 階の広いメインホールは、地域住民の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児まで常に賑わいをみせている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★水の森防災学校		
参加者	北仙台地区及び一般募集参加者	延参加者	172 人
開催日	全 3 回　6 月 20 日（土）、9 月 5 日（土）、12 月 5 日（土）		
協力者・協力団体	北仙台地域防災ネットワーク会議、北仙台地区連合町内会		
ねらい	東日本大震災の経験を踏まえ、北仙台地域町内会および各団体、地域住民を対象として、『自分達の地域は自分達で守ろう』をスローガンに、防災や減災に関連した研修会、意見・情報交換を積極的に実施し、安全・安心な地域づくりを目指すと共に、住民相互の共助に対する取り組みを推進する。		
概要・成果	北仙台地域防災ネットワーク会議と連携して、① 基調講話『地域の防災力を高めよう』とグループワーク　② 防災マニュアル（避難所開設運営マニュアル）の机上での演習と情報交換　③ 総合防災訓練の報告と振り返り、講話「水害・土砂災害への備え」、情報交換の全 3 回の講座を開催した。町内会役員、防災担当者を中心に延べ 172 人の参加を得た。特に机上での演習やカードゲーム等で防災への気づきやイメージを参加者全体で共有することができた。平成 17 年度から開催している講座であるが、今年度は町内会の防災担当者や地域住民等を中心に、情報交換をするよい機会となり、各単位町内会への防災意識の啓発へと期待が持てる内容であった。そして地域住民の共助意識が高まり、地域における防災・減災の活動への支援が図られた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
十人十色子育てはマニュアルどおりでなくていいⅡ	子育て中の方が自分自身や子育てについて振り返った。①お話とワーク「みんなちがっていいんだよ」②お話と交流タイム「話してみよう、うちのこと」③お話とワーク「ママのリラックスタイム」	6 月 12、19、26 日	3	24
水の森キッズクラブ	小学生の様々な体験学習の場を提供。①オリジナルマイバッグを作ろう②植木鉢に描いてみよう③作って遊ぼう、キラキラ万華鏡④ぐにゃぐにゃたこを作ろう⑤水と森と夢コンサート	6 月 13 日 7 月 18 日 10 月 17 日 11 月 28 日 12 月 26 日	5	138
インリーダー研修会	児童向け：講話「インリーダーとは」実技「子ども会活動を企画しよう」「レクリエーションゲーム」世話人向け：講話「子ども会における世話人の役割と情報交換」	1 月 23 日	1	56

中学生職場体験学習受入	北仙台中学校２年生３名、南光台中学校２年生３名を受け入れた。窓口業務、事業企画・プレゼン、市民センターまつり準備等を体験。	11月９日～13日	2	6
★水の森自然塾	水の森公園の豊かな自然に触れた。①水の森公園ガイドウォーク初夏編②水の森公園ガイドウォーク秋編	5月23日 10月24日	2	21
●楽しく簡単！「食」のアラカルト～食から始める健康生活～	高齢者の食をテーマに健康を考える機会を提供。①高齢者の食事を見直す②気軽に取り入れる薬用植物③薬膳料理で冬を乗り切る。	10月30日 11月27日 12月11日	3	36
水の森老壮学園	高齢者の様々な学習の場の提供と交流。①井上ひさしの生涯と作品②脳トレ③口腔ケア④ボッチャゲーム大会⑤歩き方と靴の選び方⑥健康体操⑦センターまつり演芸発表⑧映画鑑賞⑨コンサート⑩お笑い演芸	4月16日 ～2月18日	10	419
市民企画講座「まちを歩く」	水の森周辺地域の自然、歴史、文化等の魅力を改めて見直す機会を設け、広く市民に伝え、郷土への愛着を醸成する。桜めぐり、秀衡街道、公園内の氷室跡、仙台川を訪ねる等のまち歩き。	4月22日 5月20日 6月14日 7月15日	4	58
記録に残そう地域の記憶	昭和30年代以降に開発された地域の当時の宅地造成や暮らしの変遷等を記録に残す取り組み。編集内容の検討、町内会への取材、資料収集、市民センターまつりで活動報告の展示等。	4月18日 ～3月8日	10	109
社会学級連携事業企画会	社会学級との連携事業の企画会。コンサートに向けた企画、準備、運営を行った。	6月17日 7月7日 9月16日	3	12
ほっとタイムコンサート～フォルクローレに癒されて～	地域の方が気軽に楽しめるコンサートの開催。中南米音楽に親しんだ。	10月21日	1	92
★水の森防災学校企画会議	水の森防災学校全３回の企画、運営。次年度事業についての企画。	4月18日 ～1月16日	10	132
水の森市民センター地域まつり	地域住民の企画・運営で、地域のコミュニティを多方面から推進した。地域で活動するサークル等の学習成果発表や作品展示・舞台発表・児童作品展・出店・主催講座紹介等。	11月14、15日	2	3,100
水の森懇話会	地域住民や市民センター利用者と懇話会を開催し市民センターの事業運営や施設利用に関して意見交換をした。「館長と語ろう！」と市民センターの実施事業について。	9月30日 1月26日	2	15
ジュニアリーダー定例会	市民センターを活動拠点とするジュニアリーダーの活動支援。各種情報提供・活動に関する助言・指導。ジュニアリーダー企画による研修会。	4月19日 ～3月19日	13	119
ジュニアリーダーと遊ぼう！	市民センターまつりと同時開催の児童館まつりでモグラたたきゲームを開催。冬休みにジュニアリーダーとゲームで遊ぼうを開催。	11月14日 12月26日	2	244
水の森まちの語り部養成講座	地域の自然、歴史、文化等の魅力を探し、後世に語り継ぐボランティアを養成。案内する場所とコースの選定、現場の検証を行った。	11月25日 ～3月9日	5	44
市民企画会「まちを歩く」	地域のニーズに応じた講座を開催するために、市民による企画会を行った。地域の自然、歴史、文化等地域の魅力を広く発信するというテーマで話し合い講座を企画運営した。	4月8日 ～7月15日	6	34

貝ケ森市民センター

〔沿　革〕

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された貝ヶ森市民センターは、貝ヶ森地区に平成5年4月、児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあって、その瀟洒な建物は、隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などに恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	貝ヶ森ウィーク		
参加者	地域の方どなたでも	延参加者	112人
開催日	6月21日（日）～6月27日（土）		
協力者・協力団体	貝ヶ森地区社会福祉協議会、貝ケ森児童館、子育て支援クラブ「花時計」		
ねらい	市民センターでの事業や活動を凝縮したような一週間を設けることで、特に年配の方々が継続して地域や市民センターに足を向けたくなる学習や交流を促すことを目的とする。		
概要・成果	貝ヶ森ウィークの期間に、父の日のコンサートやサークル体験会、下記のように幅広い内容の講座を実施した。市民センターに足を運んでみようというきっかけとなり、市民センターの講座に初めて参加したという声も聞かれた。また、各講座とも参加者同士で交流している様子が見られ、普段は交流できない世代と話すことができてよかったとの感想も寄せられた。 21日（日）四季の杜サロンコンサート「父の日のコンサート」 23日（火）仙台文学館特別展の講話、アロマスプレー作り 23日（火）～27日（土）サークル体験会 24日（水）伊達家の家紋の講話と紋切り遊び 25日（木）貝ケ森交流サロン「茶房かいがもり」（日本茶の話とがんづき作り） 26日（金）カラオケKAIMORI倶楽部（声を出すことの効用とカラオケでの歌い方） 27日（土）ペタンク三世代交流大会		

〔平成27年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おやこでつくろう！	物づくりを通して親子の時間を楽しみながら絆を育んだ。また、作品を地域の文化祭に出品することで地域を知るきっかけとなった。	7月25日 8月22日 2月13日	3	48
和食っていいなあ！ ～食育講座～	だしの取り方、乾物を使った料理を作って、和食のおいしさを再確認した。また、家庭で作る基礎技術を学んだ。	9月26日 11月28日	2	23
ちびっこまつり	親子が楽しく遊べる機会をつくることで、親子同士の交流と仲間づくりを支援した。また、地域の子育て支援団体が共同でひとつの事業を実施することで、団体の連携をより強くした。	10月9日	1	189
インリーダー研修会	国見小学校子ども会の次年度世話人とリーダーを対象に実施し、講話や実技を通して子ども会の活性化を支援した。	2月20日	1	27

職場体験学習	中学 2 年生の参加者に対し、市民センターでの日常業務を体験又は事業に参加させることで、地域活動の推進と振興に直接市民センターが関わっている実態を体験させることが出来た。	10 月 10～13 日	1	2
中学生のハローワーク	中学 2 年の全生徒が、様々な社会人による職業紹介に直接接することで、適切な職業観と、自分の将来を考える一助となる機会を提供することが出来た。	9 月 30 日	1	217
貝ヶ森ソーラン隊養成講座	貝森小ソーランの経験がある小中学生を中心にソーラン隊を結成し、地区文化祭のオープニングで発表した。	9 月 13 日 ～11 月 15 日	7	90
デジカメ講座～スキルアップ編～	平成 26 年度のデジカメ講座を受けて、撮影技術を基礎から学んだ上で、地域をテーマに撮影した。その作品を貝ヶ森地区文化祭で展示発表した。	10 月 8 日 ～11 月 1 日	6	31
いっしょにすっぺし！じぶん磨き	貝ヶ森・国見講座企画会で開催した講座。コミュニケーション力アップの講座や姿勢を保つためのストレッチ体操を行い、30 代から 70 代までの幅広い層が参加して活発な交流が生まれた。	10 月 6、16 日 11 月 5 日	3	71
ママたちの初めてヨガ	市民企画会議「ママの企画会」でのアイディアをもとに、初心者にもできるような簡単なヨガを行い、心と体をほぐした。その後、交流する時間を設けて、継続的にかかわるきっかけづくりとした。	3 月 9 日	1	14
貝ヶ森シニア学園	シニア世代の方が毎日をいきいきと健康的に過ごせるよう、体と心の健康づくりや意欲の向上、生きがいづくりにつながるように、10 回にわたり、様々な学習や交流する機会を提供した。	5 月 27 日 ～3 月 9 日	10	298
豆まき会	幅広い年齢層の地域住民が参加しやすい伝統行事を開催した。高齢者が、得意な分野を活かしてボランティアで参加することにより、世代間交流と地域活性化を図った。	1 月 30 日	1	157
四季の杜サロンコンサート	地域の方に気軽にセンターを訪れてもらうとともにセンター利用サークルに活動の場を提供することを目的に、ジャンルや対象を変えて、コンサートを 4 回開催した。	6 月 21 日 ～2 月 14 日	4	218
65 歳からのハローライフ	地域で仕事を辞めた後、趣味に、第二の仕事にと、活き活きと人生を送っている方々の経験を聞き、参加者も交えて悩みや体験を話し合った。	12 月 5 日	1	6
国見出前講座	国見地区は、貝ケ森市民センター管内で人口が多い地域でありながら、講座への参加が少ない。坂を上ってセンターを利用するのも大変だという地理的な問題もあることから、国見コミュニティセンターを会場に講座を開催し、センター事業の周知を図った。	12 月 19 日	1	31
★防災情報発信講座	講座会場を三ケ所に分散させることで、それぞれの地区で必要とする防災情報を、地域住民に直接提供することが出来た。	8 月 29 日 10 月 3 日 11 月 21 日	3	509
貝ヶ森交流サロン	高齢化が進んでいる貝ヶ森地域の方を対象に、簡単なおやつづくりや軽運動、コンサート、地域散策、小正月行事などを開催し、地域の方が気軽に楽しく参加できる集いの場を提供した。	6 月 24 日 ～1 月 14 日	9	170
貝ヶ森地区文化祭	貝ヶ森地区住民や当市民センター利用者の活動や学習成果の発表の場として 2 日間にわたり開催した。また参加団体も実行委員に加わり、企画、運営、実施の作業を通してよりいっそう地域の交流と絆を深めた。	10 月 31 日 11 月 1 日	2	1,825
★地域懇話会	地域住民が、市民センター業務に対する理解を深め、参加した関係機関同士の情報交換に役に立った。	10 月 21 日 2 月 17 日	2	27
貝ヶ森・国見講座企画会	国見・八幡社会学級と連携し、地域の課題を検証し、地域住民同士が交流しながら地域で活動するきっかけを提供したいと、幅広い年代の参加を見込んだ「いっしょにすっぺし！じぶん磨き」講座を企画した。	6 月 9 日 ～11 月 5 日	7	44
市民企画会議ママの企画会	地域の母親たちのコミュニティがより豊かなものとなるように、同じ立場の母親達が講座を企画する話し合いをもった。その後、講座実施後にふり返りを行った。	2 月 3、24 日 3 月 9 日	3	9
サークル体験	ヨガや３B 体操、合唱、ボランティアなど、市民センターで活動しているサークルの活動を気軽に見学・体験できる機会を設け、生涯学習への関心を高めると同時に、参加者が地域で活動していくきっかけづくりとした。	6 月 23～27 日	5	20

中山市民センター

〔沿　革〕

中山市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成７年４月に児童館を併設して開館した。近隣には月急山公園、うどう沼公園があり、街路のケヤキや桜並木に囲まれ緑いっぱいの豊かな自然がある。地域では、街道市や七夕祭り、スノーマン祭り、とびの子祭り、学区民運動会、老人クラブ演芸大会、町内会夏祭り等地域団体が主催する行事が活発である。

当市民センターが受け持つ中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが増え、新しい町並みを形成している。また、近くに「せんだんの杜」、「せんだんの里」等の介護や福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲の高い地域である。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●◎花と緑のエコタウンづくり事業		
参加者	地域住民	延参加者	465 人
開催日	全 27 回　　4 月 25 日（土）～3 月 26 日（土）		
協力者・協力団体	青葉区まちづくり推進課、青葉区中央市民センター、中山中学校、西勝山町内会、中山西二町内会、中山西寿会、中山児童館、仙台生ごみリサイクルネットワーク		
ねらい	中山・川平地域の公園、街路等公共の場所には花や緑が豊富にあるが、初冬には大量の落葉や雑草の処理が地域の課題となっている。町内会、老人クラブ、小中学校等地域をあげて清掃活動を行い、雑草、落葉の有効な活用を図るため、リサイクルして堆肥をつくり、地域の花壇や畑に活用することで、花と緑に満ちた循環型のまちづくりを推進する。		
概要・成果	ハーブやバラを用いた花壇や、緑のカーテン作り、畑で野菜づくりを行った。西勝山町内会でも堆肥づくりと、堆肥を活用した花壇づくりを実施した。活動を通して参加者に地域貢献、環境貢献の意識が生まれ、高齢者や幼児親子、児童との交流、心身の健康づくり等多様な効果が生まれ、地域コミュニティの活性化に貢献できた。また参加者の中からボランティアグループが結成され、「バラ愛好会」の名称で活動が始まり、市民センターの花壇づくりの輪が広がった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
かわだいらお楽しみ劇場	川平地区の未就園児親子のために出前講座を開催し、市民センターを身近に感じてもらった。地域の要望に応え児童館単独では難しい演奏会を開き、幼児向けの演奏を聞き参加者同士の交流を図った。	6 月 19 日	1	36
小正月を祝おう	地域の老人クラブのお年寄りから小正月について教わった。餅つきおよび団子さし（餅花作りとミズキへの飾り付け）を体験した。	1 月 9 日	1	31
インリーダー研修会	中山・川平・国見小学区の 4～5 年生児童と世話人を対象に、子ども会の充実化を図るための研修。望ましい子ども会のあり方、子どもが主体の会の運営の仕方を実践的に学んだ。	2 月 20 日	1	76

みんな集まれわんぱく広場	小学生とその保護者が気軽に参加できる体験型の講座をとして「わくわくキャンプ」「動物ふれあい教室」「川小フェスタ」の計3回実施し、親子・異世代間の交流を図った。	7月18日 10月14、17日	3	447
昔あそびを楽しもう	中山市民センターを会場に、地域のボランティアが中山小学校1年生に、けん玉やお手玉、紙てっぽうなど昔あそびを指導した。	12月4日	1	86
中学生職場体験	市民センター概要説明、サークルの見学、講座の準備運営、将来に向けた話合い	10月20日 ～10月23日	1	4
●ジュニアリーダーと遊ぼう	「市民センター・児童館まつり」や、「わいわいすくすくまめっこフェスタ」で、ジュニアリーダーが地域の子ども達に工作遊びを教えた。	9月12日 10月24日	2	1,600
中山健康アラカルト	①認知症についての紙芝居の上演と講話（公開講座）②沖縄創作舞踊③歌④朗読⑤ニュースポーツによる健康づくり	8月28日 ～12月16日	5	88
エコライフにチャレンジ～ここから始まる私のエコ	仙台市のゴミの現状と分別の仕方を学び、自分ができることを考える機会を提供した。さらに家にある古着を活用しマットや小物を作り、作品をセンターまつりで展示し、見学者にも自分ができることを考えるきっかけづくりとした。	7月8、15、29日 8月12、26日 9月9、12日	7	35
市民企画会議　秋をもとめて中山ウォッチング	宅地開発から半世紀が過ぎ、景観も様変わりする地域の自然や歴史などの地域資源を探り、地域に一層愛着をもってもらうための講座を開催するための会議を開催した。	4月23日 5月14日 9月12、17日 11月12、20日 3月10日	7	35
中山銀鈴倶楽部	消費生活に関する講話、歴史、天文、健康、落語観賞など様々なテーマで全9回実施し、地域の高齢者の居場所づくり、生きがいづくりの充実を図った。	5月18日 ～2月5日	9	372
★防災講座	防災カードゲーム「ＢＯＴＡ」を地域の総合防災訓練で実践した。ＡＥＤの取扱いを含む救命講習を実施した。当館で考案したバケツリレーゲームを小学生対象に実施した。	9月13日 10月21日 12月22日	3	74
★中山市民センター児童館まつり	市民センター利用団体・地域住民・地域諸団体の活動報告や日頃の学習成果などの発表、および授産施設等の製品販売など。	9月12日	1	1,450
★おかのまちふれあいコンサート	音楽に触れる機会を望む地域の声に応え、地元の音楽愛好サークルとゲストにヴァイオリニストとピアニストを迎え幅広いジャンルの音楽を提供した。	11月14日	1	100
懇話会	子育て支援機関団体との情報交換と合同事業の企画をした。町内会長、民生委員、老人クラブ、子ども会代表と市民センター利用について協議した。	5月23日 12月5日	2	15
ＳＫＹ定例会	要請確認（①～⑪）報告会（④～⑨）心得確認（①④）ゲーム研修（①④⑧）バルーン研修（②⑩）ダンス研修（③）打合せ（③⑥⑧）写真撮影（③）工作・調理（⑩）ハロウィン（⑦）クリスマス（⑨）三送会（⑫）同準備（⑪）	4月12日 ～3月27日	12	140
市民企画講座「中山ウォッチング」を企画しよう	市民センターを参加したことのない人が参加しやすい講座として「身近な自然」をテーマに取り上げ、中山にある「うどう沼」の散策と自然観察会を開催し、地域の魅力を発見してもらい記録してもらった。	9月17日 11月12日	2	20

折立市民センター

〔沿　革〕

折立市民センターは、平成7年5月30日に市内50番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターは仙台市中心部から西方約5㎞の地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山があり、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開けており、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。

施設には可動式のステージが備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた49畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理実習室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	昔遊び伝承事業		
参加者	昔遊びボランティア活動者	延参加者	143人
開催日	全17回　5月20日（水）、6月4日（木）、6月17日（水）、7月2日（木）、7月18日（土）、9月3日（木）、9月16日（水）、11月5日（木）、11月18日（水）、12月3日（木）、1月7日（木）、1月8日（金）、1月20日（水）、1月26日（火）、2月4日（木）、2月17日（水）3月3日（木）		
ねらい	核家族化の進行や地域活動の衰退により、子どもたちが自分の親以外の大人と活動を共にする機会が極端に減少している。 この事業は複数年事業にも位置付けられており、子どもたちに昔遊びの楽しさと豊かさを伝える人材を、時間をかけて育成支援している。遊びを通じて地域での世代間交流に貢献し、次代を担う子どもたちの健やかな育ちを支援していくことをねらいとしている。		
概要・成果	事業は自主研修と昔遊びの実践を柱に行った。 参加者は、身近にある材料を工夫して遊びの道具を作り、子どもたちが理解しやすい言葉で遊び方を伝授できるよう、常にスキルアップを図り、互いに学びあいながら自主研修に励んだ。 児童クラブの児童および自由来館の子ども向けの「わらすこタイム」を定期的に開催したほか、1月初めに昔ながらの正月遊びを体験する「わらすこまつり」も企画から運営まで自主的に取り組んだ。 小学校でも昔遊び授業の講師を務め、近隣のボランティアと交流するなど、活動の幅は年々広がってきており、子どもたちの笑顔が活動の原動力となっている。		

〔平成27年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子たいけん隊	センター近郊の青葉山の麓にある化石の森を親子で探検し、鉱物や化石を発掘した。個人ではなかなか体験できない内容だったため参加者の満足度は高かった。地域資源を学び、親子のコミュニケーションも深まった。	11月21日	1	28
折立おやこ農園	普段、食や自然の恵みを実感する機会が少ない親子が、野菜の栽培等を通して食や自然について学んだ。また、収穫した作物を使った調理実習も数回実施し、苦手な野菜を克服した子どもも現れる等の効果があった。	4月26日 5月9日 6月6日 7月4、25日 8月8日 9月5日 10月3日 11月14日	9	352

インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会リーダーとなる児童および世話人を対象に、子ども会運営についての学習会を行うとともに、ジュニアリーダーからレクリエーションゲームを学んだ。	2月13日	1	15
★小学生の防災教室 ～ゲームで防災を学ぶ～	地震や津波が起きるメカニズムと被害の映像を使用した講話の後、ゲーム形式で災害時に自分がとるであろう行動を分析し、その正しい対応を確認して、今度起こり得る災害に備えることを学んだ。	11月19日	1	59
★中学生の防災教室～僕たち私たちの力～	消防署員の指導のもと救急救命やAED、消防訓練、簡易トイレ組立、炊き出し、防災無線等に取り組んだ。災害時に地域の団体と連携し、自分の身を守るだけでなく他の人を助けることも学び、防災意識が向上した。	5月26日	1	145
折立を歩こう！写そう！再発見！	折立地域の魅力を発信するため、写真撮影の基本を学びデジタルカメラで撮影しながら散策した。撮影した写真はセンター掲示板で公開するとともにホームページでも紹介した。町内にサークルが立ち上がった。	5月29日 6月5、12、19、26日	5	79
おたっしゃストレッチ「のばせ健康寿命」	健康寿命を延ばし生涯健康でいられるよう、ロコモティブシンドローム予防運動、筋力アップトレーニング、ストレッチ体操、ウォーキングについて学んだ。また地域で継続できるよう、サークル化に向けて交流会を催した。	10月29日 11月12、26日 1月14、28日 2月25日	6	83
折立老壮大学	高齢者が地域との関わり合いを持ち、心豊かに健康で生きがいのある生活を送るために、文学・歴史・健康などに関するテーマを仲間と交流しながら学習した。	5月21日 ～2月18日	10	389
折立　風のメロディーコンサート	市民センターを拠点に活動している音楽サークルの発表の場として、地域住民が気軽に音楽にふれ合いながら地域交流を図る場として開催した。地域の芸術文化活動が広がり、地域コミュニティが活性化した。	7月11日	1	130
★災害に強いまちを目指して	折立地区防災対策連絡会との共催で、仙台ひと・まち交流財団が考案・開発した「ＢＯＴＡ」ゲームに取り組んだ。お互い知恵を出し合い和気あいあいとした雰囲気の中進行でき、研修部門の担当としてセンターの存在感を示すことができた。	1月11日	1	48
折立ふれあいまつり	地域で活動している個人や団体、教育施設、センター利用のサークルなどが中心となり、日頃の練習の成果や作品の発表を行った。また、実行委員と市民センターが協働で開催することで、地域の絆がより深まった。	10月24日	1	1,411
★折立市民センター懇談会	地域住民で意見交換をすることで地域課題の解決や地域づくりの方向性を探るとともに、市民センターへの理解を深めてもらった。講座へのヒントもいただき、次年度の予定に組み込むことができた。	4月22日 12月3日	2	50
折立地域交流会	ニュースポーツ・ペタンクを通じて、地域の高齢者と小学生親子が交流した。普段話をすることのなかった住民同士も楽しみながらお互いに協力して対戦していた。2回目は老人クラブ連合会の研修を兼ねて開催した。	9月23、25日	2	71
市民企画講座 「折立はっぴー計画」	「皮のブーツストラップ作り」「若手津軽三味線コンサートと交流会」「お正月飾り作り」「味噌作りにチャレンジ」を都度募集で開催。初めて市民センター講座に参加した受講生も多く見られたが楽しく交流できていた。	10月8日 12月12、26日 2月27日	4	123
市民企画会議 「折立はっぴー計画」	より多くの地域住民が集い、無理なく交流ができることを目的とし、魅力あるもの作り講座と、誰もが気軽に参加できるコンサートと交流会を企画した。	5月13日 6月5日 9月16日 10月8日 12月26日 2月27日	6	10
折立サークル体験会	市民センターや地域で活動しているサークル団体の活動を見学・体験できる機会を設け、サークルの活動紹介と新規会員獲得の機会を提供した。	7月1日 ～12月2日	10	15

木町通市民センター

〔沿　革〕

木町通市民センターは、木町通小学校の改築に伴い、平成 16 年 4 月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6 階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設・マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。この地域では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の 20 代が多く、30 代、40 代、50 代、60 代と続く人口構成となっている。

当市民センターはこうした環境の下、複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら学びの場を提供することを目指している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★作ろう！きまち便利マップ		
参加者	成人	延参加者	54 人
開催日	全 7 回　6 月 17 日（水）、7 月 15 日（水）、8 月 5 日(水)、9 月 16 日（水）、10 月 21 日(水)、11 月 18 日（水）、12 月 16 日(水)		
ねらい	他の地域から木町通地区に転入された方々が、少しでも新しい地域に慣れ親しんで安全に暮らしていただけるよう、長く地域に居住している方と新しい住民が一緒に「木町通地域」の魅力を再発見し、情報発信、紹介するパンフレットを作成し活用する。		
概要・成果	地域住民である受講生の方々の意見を取り入れ、木町通地域の情報発信ができる「きまち便利マップ」を作成した。 受講生の中には、木町通地域に長く住まわれている方と、引っ越してきたばかりの方がどちらも参加していたため、両方の視点を取り入れたマップを作成することができた。長年住んでいるのに知らなかった店・場所を知ることができた等の新しい発見がたくさんあり、また受講生同士の交流も深まり有意義な講座となった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
スマイルファミリークラブ	地域に暮らす幼児親子を対象に子育てに関わる様々な講座を展開する。また、児童館や子育て支援クラブと共催し、子どもの年齢に応じた講座を開催し、父親・母親双方の側から、多方面に現代の子育てを考えていくと共に親子のコミュニケーションを図り、育児に参加する家族同士の交流を図った。	7 月 11 日 10 月 27 日 11 月 14 日 12 月 18 日 1 月 28 日	5	116
木町通小学校ＰＴＡ花火まつり	地域のまつりとして定着している花火まつりにおいて、児童館と協力しゲーム（割り箸ダーツ、空き缶釣り）を実施した。	9 月 18 日	1	427
木町通・サイエンスキッズ	子ども達が科学の世界に触れたり、もの作りを体験した。電気についての話や科学館見学、発泡剤を使ってとばすロケット、わりばし鉄砲やグライダー、紙ひこうきなどを作った。	7 月 22、25 日 8 月 1 日 1 月 9 日 2 月 6 日 2 月 13 日	6	99
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会においてよきリーダーになるために、児童は、行事プログラムの立て方、世話人は、世話人の役割をそれぞれ学んだ。	1 月 30 日	1	45

木町通レディス倶楽部	日常の生活において活かせると知識として、あらゆる分野にわたり学習した。健康、運動、料理、電気エネルギーについての話など、女性同士が学びながら交流を図った。	6月17、26日 7月3日 10月7、27日 11月5日	6	82
木町メンズ・キッチン	センターに足を運ぶ機会の少ない男性向けに料理講座を開講し、自立した健康的な生活を送ることを目指した。1回目は計量の仕方や野菜の切り方と基本的な朝食を作り、2回目は魚料理の基本、3回目は肉料理の基本を学んだ。	10月24日 11月21日 12月12日	3	27
木町通老壮大学	歴史、文学、音楽、医療、気象、軽運動など、様々な分野について学習し、高齢者同士の交流を図った。	5月13日 ～2月10日	10	667
銀杏クラブ	高齢者が気軽に文学･歴史について学習する場を提供し、参加者同士の交流を深めると共に、学習成果を社会還元できるよう支援した。	6月18日 ～11月19日	6	145
いきいき元気アップ講座	音楽と軽運動、クイズやゲームも取り入れながら筋トレ、脳トレを行った。	5月28日 ～8月6日	6	127
★大震災の経験から学ぶ	救急救命士入門・地域の防災情報HUG演習・マンション防災について学ぶ講座を実施した。	11月6日 12月8日 1月19日 2月9日	4	74
木町通小学校共催事業企画会	木町通小学校と連携し、地域人材や地域資源情報を小学校に提供し地域団体や地域住民の交流を図り、一緒に共催事業の企画を考えることを通して地域で子どもを見守る環境作りの一助とした。	4月7日 ～3月15日	5	10
木町通小学校社会学級子育て支援クラブ３者共催事業企画会議	小学生や、保護者また子育て世代や地域の方を対象に、どのような「学び」を提供したらよいか、3者で話し合いをした。	5月16日 ～12月18日	8	28
木町通市民センター･児童館まつり	日頃市民センターを利用し活動しているサークルや地域で活動している団体等の学習成果の発表及び活動発表の機会を提供した。フラダンスやチアダンス、合唱、太極拳などの発表があった。	10月17日	1	800
木町通市民センター･児童館運営懇話会	地域住民や市民センターを利用して活動している団体の方々から、木町通地域の地域課題や地域特性についての意見交換し、市民センター事業及び運営について広く意見を聞く機会とした。	5月28日 10月29日 2月26日	3	42
木町通小学校との企画検討会を経て企画した事業「茶道でお・も・て・な・し」	講師から和菓子の歴史や種類、作り方等の講話を聞いたあと、別室で木町通小学校茶道クラブの小学生が御点前を披露した。	12月5日	1	34
木町通小学校社会学級子育て支援クラブ３者共催事業企画会を経て企画した事業｢英語で落語を楽しもう」	6年生児童が中学校で本格的に英語を学ぶ前に、英語に親しんでもらうための英語落語を開催した。2部構成にして、6年生の他に一般の方にも参加していただいた。	12月9日	1	110
市民企画会議「きずな・学び・ちから」を経て企画した事業｢ウォッチング！北三番丁公園」	市民企画会議「きずな・まなび・ちから」の話し合いを経て、地域財産である「北三番丁公園の活性化」をキーワードに小学生から大人まで気軽に公園に足を運び、地域のオアシスである公園の公園内マップ作り、植物や昆虫などの自然観察や公園設計を考える講座を開催した。	6月21日 7月18日 8月22日	3	33
市民企画会議「きずな・学び・ちから」	地域住民等が事業を企画参画し、コミュニティのあり方について考え、地域を支える人づくり・絆つくり、長期を見据えた地域づくりを目指した。	4月16日 ～3月25日	19	182

広瀬市民センター

〔沿　革〕

広瀬市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音をはじめとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和 24 年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和 62 年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台市宮城市民センターと改称、平成 3 年 6 月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の場所に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●宮城地区子育て支援プロジェクト「宮城地区こみゅ～ん広場」		
参加者	宮城地区にお住まいの方	延参加者	298 人
開催日	全 7 回　　6 月 30 日（火）、7 月 28 日（火）、10 月 6 日（火）、10 月 27 日（火） 12 月 11 日（金）プレイベント：2 月 7 日(日)、3 月 9 日（水）		
協力者・ 協力団体	宮城総合支所保健福祉課 仙台市子育てふれあいプラザのびすく仙台 特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク		
ねらい	若い世代の定住化により、市内屈指の子育て世代が多い当地域において、異世代間でも顔の見える関係づくりを定着させ、新旧住民が安心して生活し、子育て世代を支える地域力の高い、人にやさしい地域づくりを目指す。 また、地域内の子育て支援の専門家の助言及び支援を受けながら、子育て支援関係機関と連携することにより、新たな子育て支援のかたちを構築する。		
概要・成果	若い子育て世代や、地域の子育て支援団体関係者などをメンバーとして、ワークショップを開催した。話し合いでは団体間の情報交換と意思疎通を図る機会となり、若い世代からの「住みやすい楽しい地域にしたい」という思いを、具体的な形にしていくためのイベントが計画された。単なるイベントの開催ではなく、恒常的に遊び場を提供しながら、地域の人材を把握し、団体間のネットワークを広げていく取り組みを目的として、プレイベント「こみゅ～んひろば～冬をあそんじゃおう」の開催に至った。これを足掛かりに、次年度以降はイベントを計画・開催しながら、地域に定着させネットワークを広げる機会とするため、継続的な取り組みとしていく。 イベントへの参加者は、顔の見える仲間づくりの一環となり、関係団体からは、次年度以降も継続的な企画会・イベントの開催、居住地域での開催を望む意向があり、子育てを支える地域づくりへの意識の向上につながった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ジュニアリーダー「くまっこ」と遊ぼう！	ジュニアリーダーについての理解を深め、登録者増につなげるため、自分たちで企画運営し、遊びのコーナーを提供した。もぐらたたき、お化け屋敷、バルーンアート、工作遊び	7 月 20 日	1	188
ひろせ子ども体験講座	自然に恵まれた環境を生かし、小学生を対象に自然体験講座を開催した。夏・秋の森探検、リース作り	7 月 25 日 10 月 17 日 11 月 21 日	3	38

仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識や活動に必要な技能について学習する機会を提供した。講話、演習、ゲーム等の実習	2月6日	1	41
中学生職場体験学習受入	市民センターと併設する図書館、文化センターでの職場体験を通して、中学生の職業観及び自立する力を育む一助とした。施設の概要説明、事業企画書作成と発表、窓口対応（接客）、施設管理等	8月19日 10月20日 11月8日	3	8
地域で伝える「平和学習」	子どもたちに平和の大切さを伝えるため、戦時中子ども時代を過ごした地域の高齢者による体験講話と、戦災復興記念館による講話、資料展示	6月23日 ～12月16日	5	3,231
みんなで学ぼう！「ひろせ塾」	新旧住民の交流を目的に、地域にまつわるテーマや社会の動きを捉えた内容を学んだ。環境施設見学、革小物作り、愛子の今昔物語の紙芝居など	6月26日 ～1月16日	6	108
老壮大学「若返り教室」	地域の高齢者が、健康で生きがいのある豊かな生活をおくるための機会と学習の場を提供した。講話、実技、館外学習	5月28日 ～3月3日	9	483
飾り太巻きでひな祭り♪ ～広瀬の食材　集めました！	自然豊かな地域資源を活かし、新旧住民による世代間交流の場を提供した。調理実習	1月30日	1	38
「愛子の田植踊」を踊ろう ～次世代へつなぐ広瀬の伝統～	県の無形民俗文化財として指定されている伝統芸能「愛子の田植踊」を次世代へ継承していくために、子どもたちが集い楽しく習得できる機会を提供した。体験会、地域の催事での発表など	7月29日 ～3月3日	13	263
関山街道	地域資源を活用して様々な地域団体と連携、協力し地域の活性化を図った。各団体と情報を交換しながら交流を深めると共にネットワークを広げた。各団体の活動している成果を共有し、地域に情報発信することにより、地域の魅力を広めた。探訪会、関山街道フォーラム協議会と連携して行う企画会や講座。	4月29日 ～3月12日	7	153
三館共催事業 　ひろせ寄席	図書館、文化センター、市民センターの持つ専門性を活かし、地域にプロによる質の高い学びの場を提供した。落語ワークショップ、落語鑑賞	7月5日	1	69
★地域の絆づくり推進事業きずなカフェ～めざすのは人と地域の輝き～	日頃の「いい関係づくり」が、もしもの時には必ず生きてくることから、地域住民間の顔の見える関係づくりを行った。カッパダ川のダンスのビデオクリップの作成、田んぼアートの取り組み	4月18日 ～3月18日	55	1,348
ひろせサマーナイトコンサート 2015&民俗芸能フェスティバル	魅力ある地域づくりを目指し、町内会による出店や子ども向けブースを設け、地域の活性化と地域住民との一層の結びつきを深めた。主催事業やサークル団体のステージ発表	8月1日	1	1,000
第27回広瀬市民センターまつり	市民センター利用団体に日頃の学習成果を発表する場を提供。作品展示、ミニステージ発表、体験コーナー、ダースベイダーとの写真撮影会	10月25日	1	534
平成27年度生涯学習活動発表会「みやぎ学習フェア」	宮城地区で活動しているサークル・団体が日頃の活動の成果を広瀬文化センターの大舞台で発表し、活動の充実と技術の向上を目指した。舞台発表	2月21日	1	600
ひろせ懇談会	地域課題や利用者のニーズを把握するため、施設の利用者及び各種団体と広く意見交換の場を持ち、市民センター事業について理解を深めてもらう機会した。愛子児童館、文化センターとの合同懇談会	6月25日 2月18日	2	32
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー「MRVC くまっこ」のメンバーが、子ども会などからの要請等に対して責任を持って活動できるよう、ジュニアリーダー同士の交流を深め活動の充実を図った。話合い、要請の確認、ゲーム研修	4月18日 ～3月30日	14	199
自然あそびサポータースキルアップ講座	緑豊かな環境を生かして子どもたちに自然の良さを教えていける地域の大人を養成し、自然あそびのサポーターとして活躍できる人材の養成を図った。講話と実践、自主企画	6月20日 ～11月21日	8	28
市民企画会	地域住民が抱える地域課題や現代の多様なニーズに応える講座を開催した。話合い、講座の企画、運営、振り返り	6月4日 ～2月17日	8	41

宮城西市民センター

〔沿　革〕

宮城西市民センターは、昭和 51 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。その後、施設の老朽化に伴い平成 22 年 8 月から一時休館して改築工事を行い、平成 24 年 7 月に新たに開館した。

当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが、地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●西部地区が輝くプロジェクト委員会		
参加者	どなたでも	延参加者	259 人
開催日	8 月 21 日(金)、1 月 9 日(土)、2 月 26 日(金)～3 月 2 日(水)		
協力者・協力団体	青葉区まちづくり推進課・宮城西地区管内町内会・広陵中学校		
ねらい	少子高齢化が進み地域課題となっている西部地区では、昔から地域で行われていた伝統行事や伝統芸能、伝統行事食などが存続の危機となっている。この地域財産を次世代に残し引き継がれていくようにするために、記録や映像に残し伝え、体験する機会を提供する。		
概要・成果	『地域の風習と郷土食について学ぶ「ずんだ餅とおくずかけを作る」（広陵中学校共催)』や『小正月行事「だんごさし体験」』では、中学生や若い世代の親子に、この地域に古くから伝わる行事や行事食の意味を学び、体験してもらう良い機会となった。『写真展「西部地区の輝き」写真が伝える上愛子～作並～大倉』では、東北工業大学一番町ロビーを借り、西部地区の風景や昔ながらの行事等の写真を展示し、地域外の大勢の方に西部地区の素晴らしさを伝える事が出来た。また、ＤＶＤ「定義如来参詣道中唄」・「西部地区の四季」を作成。写真展で放映し、この地域の良さを広く知ってもらう一助となった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子ふれあい教室	①里山「捻木道」散策②豆沢川探検③青竹の工作④郷土食づくり⑤小正月行事「だんごさし体験」	6 月 20 日 7 月 25 日 8 月 1 日 12 月 12 日 1 月 9 日	5	106
インリーダー研修会	子ども会リーダーの児童および世話人のを対象に、子ども会活動についての知識や、必要な技術などの研修の機会を提供し、子ども会活動の活性化を図る。ジュニアリーダーの存在と役割についての講話や実技等	2 月 20 日	1	15
仙台・作並「回文かるた大会・回文教室」	回文かるた大会、回文教室（回文の話・回文クイズ・回文教室)、回文鍋で交流会	1 月 16 日	1	31

ふるさと映画鑑賞会	ビデオ鑑賞会	8月7、8日 1月29、30日	6	117
自然体験教室	①白沢五山のひとつ「箱倉山」登山②奥新川散策で初夏の自然を散策する③炭焼き体験教室その１「竹炭の窯入れ」④「戸神山」登山で秋の山を散策⑤炭焼き体験教室その２「竹炭の窯出し」	5月15日 6月12日 10月16、30日 11月6日	5	54
女性教養講座	①箏曲と朗読のコラボ②折形③ディスコン④手作りこんにゃく体験⑤国際交流講座⑥手芸	7月22日 8月26日 9月30日 10月28日 11月11日 12月22日	6	63
出前講座	各町内の集会所に出向き、料理教室・エコクラフト・音楽療法・小物作り・手芸等	7月4日 ～3月8日	10	171
市民企画講座「初歩からのパソコン講座」	パソコンの基本的操作を学び、ワードやアルバム、年賀状作成挑戦した。	6月18日 ～11月5日	11	135
老壮学級	①交通安全教室②津軽三味線と手踊り③講話「西部地区の歴史」④軽体操⑤講話「手仕事とデザイン」⑥ちぎり絵⑦音楽療法⑧新春寄席	6月18日 ～1月21日	8	482
地域交流研修会	第1部：講話「高齢者を見守る町づくり～住民だからこそできる見守りの方法を考える」 第2部：情報交換会　地域支援包括センター、社協、民生委員、町内会の役員や地域住民と見守りについての意見・情報交換をした。	3月5日	1	90
★宮城西部地区「防災・減災学び塾」	①自然災害や防災・減災に関する基礎知識 ②避難所開設運営訓練の組立て ③避難所開設運営訓練実施、中学校生徒と大人の防災意見交換会	5月30日 6月13、27日	3	267
宮城西市民まつり	11月23日（祝）に実施。演芸発表・作品展示・食品バザー・伝承遊び・野菜販売・ジュニアリーダーコーナー・フリーマーケット等	11月23日	1	2,280
平成２７年度生涯学習発表会「みやぎ学習フェア」	宮城地区で学ぶサークルや団体が広瀬文化センターのステージにおいて学習成果を発表。	2月21日	1	600
★宮城西部地区懇談会	①上愛子小学区地域懇談会 ②上愛子学区社会福協議会共催研修会・懇談会 ③地域行事に関する情報交換会 ④地域交流研修会	7月13日 10月6日 2月24日 3月5日	4	230
市民企画会議「シニアが心豊かなくらしをおくるために」	市民企画講座「初歩からのパソコン講座」を企画・実施した。	4月14、23日 11月5日	3	11

大沢市民センター

〔沿　革〕

大沢市民センターは、平成２年５月、青葉区の西北部、田園地帯や緑多い丘陵地帯など豊かな自然環境の中に、児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

古い史跡が点在する歴史ある地域としても知られ、古くからの村落と成熟化が進行する団地、開発が進む新興団地が混在する中、若い世帯の増加が著しく更に発展が見込まれる。こうした地域状況を背景に市民センターとしての機能を活かし、地域住民の活動・交流の拠点として、社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**大沢･川前地域交流ネット あがれ！天旗**		
参加者	地域住民	**延参加者**	139 人
開催日	全２回　１月 10 日（日）、１月 17 日（日）		
協力者・協力団体	大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗実行委員会		
ねらい	大沢と川前両地区の交流と活力ある地域づくりを目指す。平成 27 年度は、実行委員会と共に築き上げた地域の力と信頼を活用し、活力ある地域づくりのイベントとして継続していく。より実行委員会主導の運営へつなげていくため支援を行う。		
概要･成果	大沢、川前両地区住民で構成されている実行委員が、他地域の凧揚げ大会への参加や児童館での凧作り講座を、アイディアを出し合い実施した。 実行委員会が主体となり活発な活動を行ったことで、両地区の交流と活力ある地域づくりへつながった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ママフェス	地域の各団体が得意分野を生かしてコーナーを分担し、乳幼児親子が気軽に参加できるお祭り形式で実施した。	11 月 13 日	1	74
子育て世代のための食育講座「味噌作り教室」	地域の団体等と連携し、伝統食などを取り入れた食育講座を考える企画会を実施し、託児付の味噌作り教室を開催した。	2 月 25 日	1	22
インリーダー研修会	児童・世話人を対象に、子ども会についての講話、レクリエーションゲームの演習を行った。	2 月 6 日	1	21
子どもお楽しみ体験講座	小学生を対象に、星空観測、茶道体験、科学実験、調理体験等を行った。	4 月 4 日 7 月 24、28 日 9 月 12 日 1 月 30 日	5	382
地域の達人に学ぶ	地域内新旧住民の交流や相互理解の場として、地域で永年和物作りを行う講師に“和の小もの作り”を学んだ。	6 月 11、25 日 7 月 9 日	3	38

大沢農学校	農業体験講座が 10 年目を迎えた今年、改めて基本に立ち返り、野菜作りを講義と実践で丁寧に学んだ。又、各々の自主学習への成果を披露する場を設けた。	4 月～12 月	15	203
大沢を取り巻く山の風景	地域や周辺の環境を生かし自然観察と散策の講座を開催した。地域で自然環境保全に取り組む活動への理解を深める機会にもなった。	10 月 23 日 11 月 6、20 日 12 月 4 日	4	35
老壮大学「大沢朗々学園」	地域の高齢者を対象に、歴史・文学・健康・音楽鑑賞・作品づくり等多岐にわたる講座を実施し交流を深めた。	5 月～3 月	9	340
★大沢地域防災講座	地域の婦人防火クラブを対象に災害時に役立つ食事作りの工夫を学ぶ機会を提供した。学んだことを生かし、婦人防火クラブが講師となり幼児親子が防災食作りの講座を実践した。	9 月 26 日 11 月 10 日	2	51
大沢地域出前講座	市民センターから離れている地域を対象に、コンサート、小物づくり、そば打ち体験や小学生対象の工作などを実施した。	7 月 30 日 8 月 7 日 10 月 27 日 2 月 19、23 日	5	88
スポーツで地域交流「川前･大沢グランドゴルフ交流会」	川前地区と大沢地区の親睦の場、また地域づくりや健康づくりを図るため、グラウンドゴルフ大会を実施した。	9 月 6 日	1	41
★童謡ふれあいコンサート	親子連れだけでなく地域の福祉施設の参加により幅広い年代の住民が一同に会し、童謡のコンサートを通じて交流をした。	12 月 11 日	1	50
大沢市民まつり	大沢地区の住民が一同に集まるまつりを開催し、相互の親睦と交流が深まり、活力あるまちづくりに役立てることが出来た。市民センター利用の団体や、地域の方々に学習成果発表の場を提供した。	10 月 17、18 日	2	1,818
大沢地域懇談会	地域の町内会、学校、諸団体を対象に市民センターの事業内容及び運営に関する意見交換や、地域情報の収集を行なった。	6 月 26 日 2 月 23 日	2	45
★みやぎ学習フェア	みやぎ地区で活動しているサークル・団体が、広瀬文化センターの大舞台で日ごろの活動の成果を披露した。	2 月 21 日	1	600
ブックトーク入門講座	地域でボランティアに関心を持つ方や既存の読み聞かせサークルを中心に読書推進活動の一つ「ブックトーク」を学習した。	8 月 19 日 9 月 2、16 日	3	30
子育て世代のための食育講座企画会	子育てに関わる団体や児童館と連携して、伝統食なども取り入れた食育の講座を考える企画会を実施した。	1 月 14、21、28 日 2 月 25 日	4	12
大沢サークル体験会	市民センター利用サークルから体験や見学ができるサークルを募り、サークル体験会を実施した。	7 月 2、7、8、10、15、26 日	6	17

落合市民センター

〔沿　革〕

平成 6 年に開館した落合市民センターは、広瀬川、膏勝川、蕃山などの自然環境と、仙山線（陸前落合駅）、国道 48 号線仙台西バイパス、作並街道という交通環境に恵まれた地域にある。また、宮城県立こども病院をはじめとする医療機関、栗生小学校、宮城県宮城広瀬高等学校などの教育機関、宮城消防署などの公共施設、大型商業施設も整備され、さらに平成 27 年には復興公営住宅が完成し、人口が増加している地域でもある。

こうした地域環境の中で、当市民センターは開館以来、施設利用および生涯学習講座等を通じて、地域コミュニケーション活性化、まちづくり推進の拠点として広く地域住民の方々から愛され、利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●七夕かざりをつくろう		
参加者	地域住民	延参加者	110 人
開催日	全 7 回　　6 月 19 日（金）、6 月 20 日（土）、7 月 3 日（金）、7 月 10 日（金）、7 月 18 日（土）、7 月 22 日（金）、8 月 11 日（火）		
協力者・協力団体	落合栗生地区連合町内会、宮城総合支所まちづくり推進課 落合栗生地区社会福祉協議会		
ねらい	地域のお年寄りと受講生たちが、市民センターロビーに飾る七夕かざりを共同で作成し、七夕の由来を学びながら、「地元の七夕かざり」として地域に発信し、交流の輪を広げる。		
概要・成果	受講生と、落合栗生地区社会福祉協議会の「蕃山憩いの家サロン」に参加している高齢者が、共同で七夕かざりを作成し、連合町内会から提供された笹竹に七つかざりとして飾りつけ、市民センターロビーに展示した。過去にも七夕かざりの実施はあったが、連合町内会、地区社協との共催事業としては２年目となり地域の認知度があがり、わざわざ見学にセンターを訪れる人もあらわれた。 講座終了後には、落合復興公営住宅入居者のウェルカムサロンに作品を展示したことで、「地元の七夕」のイメージを作ることができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●わくわく子育てひろば	乳幼児編は体操、ふれあいあそび、おやつづくり、幼児編は食事の楽しみ方、つくってあそぼう、からだをつかってあそぼうを行い、最終回は乳幼児編と幼児編の受講者との合同講座とし、クリスマスコンサートを実施した。	5 月 14、28 日 6 月 11 日 10 月 29 日 11 月 5、26 日 12 月 12 日	7	46
親子であ・そ・ぼ！	ニュースポーツ、科学実験、調理実習の３回実施。親子間、他校児童とのコミュニケーションを通じて、協力してやり遂げる楽しさ、達成感を学んだ。	6 月 6 日 8 月 22 日 11 月 14 日	3	56
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童は、子供会の行事プログラムとゲームについて学習し、世話人は子供会と世話人の役割について学習した。	2 月 6 日	1	79
職場体験学習	宮城広瀬高等学校の就業体験希望者に対し、3 日間にわたり、生涯学習事業、施設管理についての説明と実務を行った。	7 月 29～31 日	1	1

落合・栗生かたくり学級	女性対象。フラワーアレンジメント、軽体操、飾り巻き寿司、ふろしき活用術、整理収納術を通して、生活を豊かにする知識を学び、受講生同士でコミュニケーションを深めた。	11月28日 12月19日 1月23日 2月13、27日	5	99
健康づくり～自分のために家族のために	「ロコモティブシンドローム」をテーマに、健康を総合的に学んだ。講話、予防レシピと調理実習、あわせて予防体操を実施。	10月30日 11月27日 12月18日	3	33
落合栗生実年学級	「笑顔でスタート実年学級」を皮切りに、健康、調理で交流、館外学習、行ったつもりで海外旅行や福聚院住職、フリーアナウンサーによる講話、みんなで楽しくクリスマスコンサートを実施。	5月21日 ～2月21日	10	320
わが青春の思い出～戦争の記憶をまじえて	戦争体験者から「あの時こう思った、考えた、感じた」という内面の歴史にポイントをあて、記録する対象を戦争及び戦中・戦後の混乱期の体験に絞り、文集にまとめた。	7月7、14日 8月26日 12月8日 2月23日	5	36
宮城広瀬高校連携事業 「いってみよう！やってみよう！広高タイム」	在校生主体の「卓球に挑戦」、「広高祭に行こう」、「落合栗生地区まつり参加」、「書き初めに挑戦」、「写真部・美術陶芸部・書道部生徒作品パネル展」を実施。	7月～2月	8	114
複数年事業 ●◎復興公営住宅におじゃまします	復興公営住宅集会所へ出前講座を行った。健康講話やギターコンサート、漫談、地元学を学ぶ回では利用サークルが講師をつとめた。講座終了後毎回、講師と入居者、連携先職員が同席し交流会を行った。	9月6日 10月18日 12月20日 1月17日 2月14日	5	187
落合・栗生地区まつり	市民センター利用サークルや地域住民、近隣の小中高等学校、保育園等による学習成果の展示・発表・販売。	10月11日	1	1,000
平成27年度生涯学習活動発表会 「みやぎ学習フェア」	宮城地区で活動しているサークル・団体が、日頃の生涯学習活動の成果を広瀬文化センター大ホールで披露し、サークル間の交流を図った。	2月21日	1	600
★●地域懇話会	落合栗生地区に復興公営住宅が完成したのを機に入居者のコミュニティ形成への支援として「落合栗生ネットワーキング」を設立。ウエルカムサロンや各団体が計画をしたイベント内容、応援体制についての調整を図った。	5月28日 7月30日 12月9日 3月17日	4	117
落合栗生ふれあい工房	支え合う心・助け合う心を養い、ボランティア活動への第一歩を経験し、地域づくりの一環として実施。絵手紙を学び、その学習の成果として、福祉施設へ訪問し、入所者と一緒に作品作り上げる手助けを行い、交流を図った。	9月11、18、25日 10月2日	4	29
市民企画会議　食について考えようプロジェクト	中・高校生の食事の栄養バランスについて学び、簡単にできる朝食や季節の食材を使った調理実習を実施した。	4月18日 ～3月20日	9	35
市民企画会議 「おとうさんクラブ」	前年度の話し合いを再確認をし、「親子でまなぶ防犯教室」実施に向けての話し合いを行った。	4月22日 6月24日 7月11日	3	9
サークル体験会	市民センター利用サークルの見学と体験会	5月29、30日	2	18
市民企画講座 親子でまなぶ防犯教室	子供たちが犯罪被害に遭わないようにするために、地域の危険個所や駆け込み110番の場所を確認したり、被害に遭わないための講話と逃げ方の実技を行った。	7月11日	1	7

吉成市民センター

〔沿　革〕

吉成市民センターは、仙台市北西部の吉成と南吉成の小学校区中間位置に、市内 51 番目の市民センターとして平成８年４月に、児童館及びコミュニティ防災センターを併設しオープンした。当該地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。

当市民センターは、吉成小学校区と南吉成小学校区の２連合町内会を対象地域としている。現在、高齢化率の上昇に伴って、利用件数や利用者数も増加傾向にある。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	がんばるママのリフレッシュタイム		
参加者	乳幼児親子	延参加者	29 人
開催日	全４回　　６月 18 日(木)、７月２日(木)、11 月５日(木)、11 月 19 日(木)		
協力者・協力団体	吉成児童館、ボラ・ネット「杜の丘」		
ねらい	核家族という形態が一般化している現在、育児に専念している母親は自分だけの時間を持つことは難しく、閉塞感を感じるなどストレスを抱えている方が多い。そこで安心して子どもを預け、母親同士が楽しい時間を共有することでゆとりある子育てができるよう支援する。また、児童館共催により内容の充実を図り、親子で触れ合うことの楽しさも実感してもらう機会を提供する。		
概要・成果	１・２回目は３Ｂ体操で体を動かし、３・４回目はアクセサリー作りを行った。託児が１時間と短い時間であったが自分のためだけの時間を持つことが何よりリフレッシュになるのだと、受講者の表情やアンケートからも知ることができた。 託児終了後の親子ふれあい遊びでは、児童館職員による手遊び・工作などを親子一緒に行った。一人でリラックスできる時間、また親子でふれあうことの楽しさも実感できる時間を提供することができた。託児は地域のボランティア団体が担当し、地域ぐるみで子育てを支える機会ともなった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子でチャレンジ！	紙飛行機作りとそば打ち体験を親子で一緒に体験し、親子で触れあい、物づくりを楽しんだ。	７月 11 日 12 月５日	2	58
吉成チャイルドスクール	青陵中等教育学校科学部による身近な科学、ロボットのプログラミング、肉まんづくりなどを行った。	７月 31 日 ８月７日 12 月 25 日 ２月６日	4	62
インリーダー研修会	現５年生を対象に行事プログラムづくりやジュニアリーダーとゲームを体験、また、世話人向けとして子ども会への理解を深める研修や情報交換を行った。	２月 13 日	1	24
●地産地消　おとなの料理と食育講座	地元食材を使った郷土料理は仙台宮城食生活改善推進員会の皆さまから学び、併せておとなのための食育講話を宮城総合支所保健福祉課と連携し行った。また、地元の一流料理人からおもてなし料理を学んだ。	７月 16 日 ９月 10 日 11 月 19 日 １月 21 日	4	58

老壮大学「きらめきスクール」	食や健康に関する講話、地域資源を巡る散策や、健康体操、ミニコンサート等の音楽講座など、多岐に富んだ内容を提供し、高齢者の学びや交流に役立てた。	5月8日 ～2月19日	10	520
ころばぬ先の介護予防	加齢による体の機能の衰えをチェックし、軽運動・ストレッチを行う。毎日継続できるようチェックシートを作成し、グループワークの時間を持つことによって意識付けを高めた。	7月8、15、29日	3	29
みんなのコンサート	地域にある吉成小・吉成中・南吉成中・仙台青陵中等教育学校・東北福祉大の吹奏楽部による合同演奏会を開催し、子どもたちの年齢や学校を越えた交流や地域住民との交流を深めた。	1月16、17日	2	476
★災害に備えて	「仙台発そなえゲーム」を体験し、災害に備えるために、自分や地域に何が必要か・何ができるかについて考えながら実践的に防災・減災を学んだ。	6月30日	1	6
複数年事業企画「元気いっぱいの街づくり・人づくり」	地域資源に詳しい住民を発見し、人材情報などの資源を把握した。また当館利用サークルの会員募集を支援。更に両地区の枠を超え、住民が交流できる施策を検討した。	5月29日 6月6日 10月29日 11月19日 2月12日	5	75
ニュースポーツ交流会 with ジュニアリーダー	吉成・南吉成学区体育振興会と連携し、ニュースポーツを通して地域の交流を図った。	6月6日 11月14日	2	48
吉成市民センターまつり	当センターを拠点に活動しているサークルや各種団体による学習発表や児童生徒によるステージ発表、作品展示、お茶席など。	10月17日	1	723
吉成・南吉成地域懇談会	第１回目は青少年の育成に関わっている団体代表、第２回目は高齢者向けの活動をしている団体の代表に集まって頂き、各々が持っている課題や取り組み、当館が地域でどう見守りに関われるかの意見を交換した。	5月29日 11月19日	2	20
市民企画会議 吉成女子会	女性の視点で地域を元気にする講座を企画し運営した。	5月20日 ～10月29日	15	36
秋のサークル体験会	当センターを拠点に活動しているサークルに体験会開催を呼びかけ28団体が参加、会員の新規加入の機会となるとともに、地域住民に情報を提供することができた。	11月5日 ～11月28日	10	47
市民企画講座 「学びあい～心豊かな暮らしの提案」	捨てるにはもったいない身近なもので心豊かな暮らしの提案をテーマに育てたものの雑草化したハーブの活用法や贈り物のリボンの活用、また、身近な植物の知識を学び健康茶に役立てるなど地域の方の情報を得て互いに学びあった。	9月3、17日 10月1、17日	4	81

宮城野区中央市民センター

〔沿　革〕

宮城野区中央市民センターは、市内 60 番目の市民センターとして、平成 24 年 8 月に開館した。同施設は宮城野区文化センター、宮城野図書館、原町児童館及び宮城野区情報センターが設置されている複合施設である。当市民センターは多くの人々が行き交う宮城野区役所やＪＲ陸前原ノ町駅に隣接しており、宮城野区における生涯学習の拠点、市民の交流拠点、地域づくりの拠点として、市民活動室なども含め、幅広いニーズに応える施設を備えるとともに、さまざまなテーマの講座やワークショップなど、多様な学びの機会を提供している。

地域の多様な活動を担う人材の育成や地域の諸団体と関係機関とのコーディネート、地域情報の収集･提供などを行うことにより、市民自らが地域課題に向き合い、住み良いまちづくりに取り組むことができるよう支援を行っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	●市民企画会議「原町キッズもりあげ隊」		
参加者	原町小学校 3 年生～6 年生	延参加者	81 人
開催日	全 12 回　　6 月 27 日(土)～2 月 27 日(土)		
協力者・協力団体	宮城野区中央市民センター		
ねらい	原町本通りは、宿場町の名残の建物や道しるべ石などが現存し、歴史ある地域である。しかし、商店街は七夕やフリーマーケットなどを実施しているが、賑わいに欠けている。区拠点館では、平成 24 年度から「子ども商工会」として、「みんなで地域を元気にしよう」という取り組みを行ってきた。その下地をもとに、地区館と地域の顔の見える関係を生かし、さらに地域に浸透した取り組みとする。具体的には、地元学を学んでいる原町地域の子供たちが、地域の特色を活かした「講座」を考え、原町地域を PR することにより、地域を元気にすることをねらいとする。		
概要・成果	原町小学校の 3 年生～6 年生が企画員となって、子どもから大人までが交流し、地域を盛り上げる内容の講座を企画し、開催に向けての準備をした。終了時のアンケートから見ると、１年を通しての活動で地域に対する愛情が育まれ、もっと地域を元気にしたいという気持ちが強くなった。また、企画会議を通して生まれた「原町夏まつりでの手作り縁日参加」と「遊びとお茶会でもてなす原カフェ」で、子どもから大人までの地域住民が楽しく交流する場を提供することができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おやこでチャレンジ１・２・３！	主に小学生の親子対象で、共有体験を通して絆を深め、互いに成長しあえる内容で講座を企画した。今年度はベガ号で星空観察、ピザ作り、陶芸、飾り巻き寿司作りの４講座を開催した。	7 月 4、18 日 10 月 16 日 12 月 5 日	4	126
●ウェルカムひろば	地域に新たに転入してきた乳幼児の親子を対象としたサロンを、子育て支援機関と連携し企画開催した。内容は手遊びや人形劇、各種子育て支援情報提供、茶話会など。	7 月 10 日	1	43
地域が伝える平和学習	原町小学校 6 年生が授業の中で、戦争体験者の地域の方による当時の生活の様子や体験談について話を伺うとともに、戦災復興記念館の所蔵品の展示や説明などを聞くことで、平和について学んだ。	12 月 11 日	1	111

すずむしの里　宮城野	「すずむしの里づくり実行委員」が講師となって原町小、宮城野小、東宮城野小の２・３年生を対象に仙台市の虫であるスズムシについて学ぶとともに飼育箱作りを体験した。また、市民向け配布会も実施した。	6月23日 7月9、31日 8月28日 9月3日	5	633
ジュニアとあそぼう！	ジュニアリーダーサークル「With Us 宮城野」が、小学生を対象としたゲームや工作、ドッチボールなどの「遊びの講座」を主体的に企画・実施した。	10月8日 3月12日	2	32
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るため、次年度子ども会の中心となる小学5年生と世話人が子ども会運営に関する知識や心構え、レクリエーションゲームなどについて学んだ。	2月6日	1	44
宮城野中学校職場体験	宮城野中学校2年生が、仕事に対する心構えや責任感について学ぶ体験学習を行った。3日間で市民センターの目的や仕事についての講話や、接客、講座の企画などを体験した。	8月19～21日	1	3
高校生がやってくる！	高校生を講師に小学生対象の講座を開催し、高校生にとっての社会貢献活動と小学生の体験学習の場とした。今年度は育英学園高校ＰＣ部によるカード作りと城南高校科学部によるスノードーム作りを行った。	8月4、5日 12月25日	3	59
「原町キッズもりあげ隊」夏の陣・秋の陣	企画会議を通して生まれた「原町夏まつりでの手作り縁日参加」と「遊びとお茶会でもてなす原カフェ」で、子どもから大人までの地域住民が楽しく交流することができた。	8月10日 12月20日	2	280
市民企画講座「ブックトークと漱石『坊っちゃん』の世界」	市民企画会議において出た”漱石没後100年に因んだ講座”というキーワードに沿って、ブックトークという手法での本の紹介と「漱石『坊っちゃん』の世界」という2本立ての文学講座を開催した。	2月17日	1	47
みやぎの大学	高齢者の交流や健康で豊かな人生を過ごすための機会提供と、地域社会への学びの還元支援を目的として、歴史、体操、芸術鑑賞、移動学習など多岐にわたる内容で11回開催した。	4月14日 ～ 3月8日	11	962
原町小学校地元学	原町小学校では3・4・5年生を対象として、平成21年度から「地元学」の授業を取り入れてきた。地域の方々を講師として、昔の生活や遊びについて、昔の生活、地元の歴史についてなど話を聞いて学んだ。	6月16、30日 7月10日 10月30日	4	237
★みやぎの出前サロン	宮城野に復興公営住宅が新たにできたことを受け、新旧住民同士の交流や新住民に対し市民センター施設や事業のＰＲを図ることを目的とした。今年度はウェルカムパーティを地区社協や民生委員とともに開催した。	11月28日	1	54
●ゆったり運動フェスタ	地域課題である「地域を元気に」するために、ミドルシニア世代を対象とした運動会と茶話会を、地域高齢者支援活動団体や地域体振、家庭健康課などと連携し企画開催した。	6月17日	1	58
★●宮城野区中央市民センターまつり　Mフェス	3回目となるセンターまつりは実行委員会が中心となって、舞台、展示、出店などを運営実施した。小学校の作品展示や開会式での合唱披露、中学校の生徒ボランティアの参加など、学校との連携も図られている。	11月14日	1	900
ロビーコンサート	地域住民が気軽に集う場として夏(尺八)、秋(アルパとクアトロ)、冬（歌とピアノ)、早春（自衛隊音楽隊）の4回のコンサートを、文化センター1階ロビーを会場として開催した。	8月26日 10月28日 12月17日 2月17日	4	476

お茶っこサロン～ティールーム@原ノ町駅前	市民センターの２階ロビーを主な会場としたミニ講座と茶話会を開催し、打ち解けた雰囲気の中で情報交換やセンターを理解してもらう場とした。主な内容は、「軽体操」「七夕づくり」「みんなで歌おう」「駄菓子の話」など。	7月1、30日 9月2日 10月29日 2月25日	5	75
宮城野区中央市民センター地域懇談会	今年度懇談会の１回目は町内会長や学校長、地域団体代表者を対象とし、2 回目は町内会婦人部長や地域団体の女性リーダーを対象として開催し、意見交換や情報収集の場とした。	11月14日 3月2日	2	31
市民企画会議	講座の受講をきっかけにできたサークル「みやぎのブックアソシエイト」のメンバーが企画員となって、学びのきっかけをつくるとともに、学びを通した仲間づくりを目的とした文学講座を企画した。	10月14日 ～2月24日	10	35
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーサークル「With Us 宮城野」のメンバーが活動の計画や確認、反省会など、主体的に運営する月例定例会において助言と指導を行った。	4月11日 ～3月26日	12	91
宮城野原案内人養成講座	複数年計画事業となっているこの講座は今年 4 年目となり、宮城野の魅力の再発見として今年度は「生活と文化」に着目して開催しながら、地域ガイドボランティア「宮城野原案内人」のさらなる育成を図った。	9月16、30日 10月7、21日 11月18日 12月2日	6	66
「わたしの宮城野」制作委員会	「宮城野原案内人養成講座」で調べた資料を基に冊子「わたしの宮城野」を作成し、宮城野の魅力を発信する。今年度は過去３年間の編集、まとめ作業を行った。	8月19日 9月16日 10月21日 11月18日 1月20日 2月17日 3月16日	7	72

生涯学習支援センター

〔沿　革〕

仙台市の公民館は、昭和 21 年に在仙文化人有志による民間団体が主体となって設置されたのが始まりで、昭和24年に仙台市公民館条例が制定され、行政機関としての「仙台市公民館」が発足した。その後、各地域の公民館設置とともに、昭和48年には「仙台市公民館」を「中央公民館と」改称。昭和58年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には「中央市民センター・公民館」となり、翌年には「中央市民センター」と改称した。さらに平成26年4月より「生涯学習支援センター」と改称し、仙台市の生涯学習支援体制の充実・強化を図った。

当センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。こうした立地条件から、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発な状況となっている。

なお、施設機能の見直しに伴い、当センターにおける地区館事業は、平成 26 年度より近接する榴ケ岡市民センターの出前講座として実施している。

高砂市民センター

〔沿　革〕

高砂市民センターは、昭和 43 年、高砂小学校校舎を改築し、高砂公民館として発足した。昭和 53 年宮城県沖地震で建物が大破し隣接する前高砂小学校給食センターを改築、昭和 54 年に移転した。平成元年「高砂市民センター・公民館」、翌年「高砂市民センター」と改称、その後平成 6 年高砂地区の中心部に複合施設として新たに開館した。この地区は、七北田川、貞山運河、蒲生干潟、そして南部には広い田園地帯が広がっている自然に恵まれた地域である。また、東北の海の玄関口、物流の拠点である仙台港を配し、背後地には大型商業施設等の進出も相次ぎ、急激な都市化が進んできた。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により、沿岸部が津波で甚大な被害を受け、中野地区は仙台市災害危険区域条例に基づき災害危険区域に指定され移転対象地区となった。それに伴い被災した中野地区、岡田地区の多くは田子、上岡田、南福室に移転し、平成 27 年度末には 4 町内会（和田、西原、蒲生、港）は全て解散した。また、管内にあった 5 つの応急仮設住宅も震災後 5 年を経て、退去されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**★市民企画委員会「中野ふるさと学校」**		
参加者	成人	**延参加者**	238 人
開催日	全 23 回　5 月 15 日（金）～3 月 25 日（金）		
協力者・協力団体	共　　催：宮城野区中央市民センター　中野地区４町内会（和田・西原・蒲生・港）、高砂１丁目公園仮設住宅自治会、 一部共催：高砂ダーツクラブ、田子ダーツ会、田子市民センター 協　　力：笹谷由夫氏、顔晴ろうニッポン（兵庫県高砂市）、せんだい 3.11 メモリアル交流館、カトリック北仙台教会、ふれあい高砂、ｉ-くさのねプロジェクト、未来に伝えたい中野・岡田の会、２０世紀アーカイブ仙台、広瀬川倶楽部		
ねらい	東日本大震災で甚大な被害を受けた中野地区４町内会（和田・西原・蒲生・港）は平成 27 年度末に解散することとなった。地区住民は故郷を離れそれぞれの土地で再建を図り、新たなコミュニティに参加することになる。これまで築いてきた中野地域の絆を大切にし、伝統や行事、風景を忘れることなく次世代に繋いでいくことを目的とする。		
概要・成果	概要○昭和 33 年と平成 18 年の立体地図模型を製作（5 月～10 月　※企画 4 月～） ○企画講座の実施（7 月　日和山（蒲生）の山開き登山・11 月　ふるさと交流会・1 月　映像でつづる思い出ツアー） ○センターまつり等での成果発表 ○成果報告会（住民参画・問題解決型学習推進事業「地域の絆再生プロジェクト」） 成果①被災された方々が自ら企画・運営を行い、ふるさとを喪失した人々の絆の維持や故郷の風景を後世に伝える等の活動ができ、成果を広く発表することができた。 ②集団移転や応急仮設の閉鎖などの課題に対し、企画委員会が心のよりどころとなる集いの場・語らいの場を設けることにより、一時的にでもかつての交流関係を復活させ、人々の心の復興に寄与することができた。 ③昭和 33 年と平成 18 年の立体模型は仙台港が築港される以前とその後を表したものであり、中野地区の時代の変遷と記憶を視覚から呼び起こすことができ、震災以前の中野地区の様子も場所を確認しながら語り合えるツールとなった。 これらの活動を通して、次の三点が特筆される。 ①被災者の方々は他との交流を継続することにより、新たな地での再建に向け、所属感を高めることができる。 ②成果発表を管外まで広めることができ、新たな地での再建に自信をつけ参加者の意欲向上につながった。 ③参加者が自主活動できるまでに成長した。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★高砂子育てサロン～子育てママの元気塾	地域に身近にある市民センターとして、子どもと一緒に運動したり、物作りをしたり、料理などを学びながら地域に住む子育て世代と転入者が交流できる子育てサロンを開催した。	5 月 14 日 ～12 月 17 日	8	1,294
夏の講座	地域の 3 小学校と連携して児童・保護者が参加する様々な分野の講座を開催した。ジュニアリーダーと遊ぼう、新体操、昔かたりなど	7 月 29 日 ～7 月 31 日 8 月 4 日	4	145
中学生職場体験学習受入	仙台市「仙台自分づくり教育」の一環として実施している中学 2 年生の職場体験活動の趣旨に賛同し受け入れた。事業企画、接遇、施設管理等	11 月 4 日 ～11 月 6 日 11 月 17 日 ～11 月 19 日	2	11
宮城野区インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーションゲーム等の学習をし、子ども会活動の充実を図った。	2 月 20 日	1	28
未来・はばたけ！「たかさごキッズクラブ」	高砂中学校の部活動やジュニアリーダーを生かし、小学生と中学生との交流を図り、中学生には地域のボランティア活動のきっかけづくりとした。また、高砂地区老人クラブ連合会と連携し体験学習を行い、世代間交流を通した青少年健全育成を行った。	5 月 15 日 ～9 月 26 日	5	160
高砂老壮大学	地域の高齢者が生涯において学習を続ける意欲を高め、活き活きと暮らすために、生きがい・健康増進・予防介護・教養・移動学習を中心とした学習の場とした。また、受講生の集いの場として受講生同士の交流と親睦を図った。	5 月 20 日 ～2 月 17 日	10	1,071
★三館共催事業「七北田川・梅田川の防災今昔」	三館共催で七北田川・梅田川の水害に対する地域情報の共有を図るため、情報交換を行った。また、川の水害の歴史を学び川について理解を深めた。さらに、将来への備えについて考察した。	6 月 26 日 7 月 11 日 10 月 31 日	3	133
★高砂サローネ 2015 カフェコンサート	音楽による心のケアと、震災以前の絆、仮設住宅で築かれた絆、新たな復興住宅などで築かれつつある絆を市民センターに集い交流することで再確認し、より強固にしていくことを目的として実施。カフェコンサート	4 月 5 日 ～3 月 20 日	6	983
★市民企画講座「中野ふるさと学校」	平成 27 年度末に解散する中野地区の 4 町内会の住民を中心メンバーとしてスタート。10 月から平成 28 年正月に向けて転出のピークを迎え、町内会が解散してまうため、集える機会、ふるさとを思い返す講座を開催した。	7 月 1 日 ～1 月 30 日	3	170
★◎新浜たんぼ学校	新浜地区は昔から農業が盛んで、仙台市の台所としての役割を果たしてきた。未来を作る子どもたちが田んぼ作りを体験しながら、震災の復興の様子・農業の再生の様子を体感し、地域交流していくことで新浜町内会の活性化を目指した。	4 月～2 月	7	389

★国際物流拠点としての仙台港および高砂地区の歩み	国際拠点港湾となった仙台港までの物流の歴史や経済効果を学ぶとともに、流通とそこに集まる工業製品等の開発の現場を実際に見学し、歩いて、聞いて、見て学び、将来の高砂地区の更なる発展を予測しながら地域づくりに生かしていくことを目的として実施	7月4日 8月9日 12月12日	3	55
★高砂市民センターまつり	市民まつりと位置づけ、地域住民相互の交流の場として各世代が参加し楽しめるイベントを開催した。また市民センター利用サークルや地域の保育所・幼稚園・小中学校の児童・生徒の作品展示とステージ発表など学習成果発表の場とした。	10月24日 ～10月25日	2	14,596
★いきいき高砂みんなで手をつなごう	大震災後、地域住民が相互理解し笑顔を取り戻せるように、多くの人たちが集まり交流を深め、遠方に住む被災者もまつりを通して再会し、旧交を温め、郷土愛を確認し復興へと繋げていくことを目的として、高砂地区社会福祉協議会と共催しまつりを開催。	12月5日	1	2,110
★高砂市民センター懇話会	市民センターの事業運営に関する地域住民の様々な意見を聴き出し、地域の課題を見出しながら共有を図り、市民センターの事業運営に反映した。	5月～11月	2	20
高砂フレンズクラブ定例会	ジュニアリーダーの定例会を開催し、活動の助言や相談を行う場を提供し、資質を高めることを目的として実施。また、子ども会からの要請の内容の確認と役割や活動の報告をし、交流を図った。	通年	12	50
★●震災復興地元学	東日本震災のため、宮城野区の沿岸部である中野・岡田地区は、自然や生活が「一瞬にして」大きく変化し、喪失してしまった。その地の人々が自分のふるさとを記憶にとどめ、誇りを持ってふるさとを語れるように、震災前の日常生活と震災後の生活の動きを記録に残すため、冊子を作成した。	4月16日 ～3月23日	25	292
★写真ボランティア養成講座	東日本大震災以降、地域の記録を後世に残すことの大切さが見直されている。これからの高砂地域風景や行事の記録を残し後世につたえるとともに、市民センターで活動する人々の生き生きした様子を写真で記録し伝えることを目的として実施した。	5月16日 ～8月8日	5	29

岩切市民センター

〔沿　革〕

岩切市民センターは昭和 56 年に開館した「岩切公民館」を前身とし、平成 2 年「仙台市市民センター条例」により「仙台市岩切市民センター」と改称された。平成 18 年 6 月から 12 月まで大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターのほかに、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されており、さらに平成 22 年 3 月より岩切証明発行センターが併設された。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、美しい田園風景が広がる。古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣、遺跡が点在している。近年は岩切駅前地区の再開発により若い世代の人口増加が著しい。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われてきた地域である。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●家庭教育地域交流会		
参加者	地域関係諸団体	延参加者	62 人
開催日	全 6 回（各水曜日） 6 月 10 日、 7月 15 日、 9 月 9 日、 11月 18 日、1月 20 日、3 月 2 日		
協力者・協力団体	岩切小学校 PTA、岩切中学校 PTA、岩切児童館、岩切小学校社会学級、岩切保健センター		
ねらい	岩切地域では若い世代の増加に伴い児童数も増え、教育環境も変化している。そこで地域とつながりが深い6団体が情報交換をし、地域の実情に合わせた親子で学べる講座の企画・開催をし、より良い家庭教育の普及と発展に繋げる。		
概要・成果	岩切の特産物の曲がりねぎを使った「曲がりねぎフェスタ in いわきり」では小中学生による曲がりねぎ料理ベスト 3 を選出、児童館の子ども達による創作ダンス「曲がりねぎのハーモニー」を発表した。また、地域にある仙台箪笥の流れをくむ工房による「ストリートオルガンがやってくる」を開催し、美しい音色と工芸品の良さを参加者全員（親子共々）が楽しく学習する機会を提供することができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●いわきり子育てネットワーク「岩切子育て会議」	若い子育て世代の流入が続いている岩切地域において育児を支援できる環境整備と仲間作りの場を提供した。①「いわきり親子でわいわい広場」の開催　②食育講座の開催（託児付）③岩切地区コミュニティまつり参加	6 月 24 日 7 月 10 日 10 月 25 日	3	292
子どもの広場	①小学生がバルーンアートに挑戦　②岩切中学校の理科室を使用して理科実験教室　③小学生がフットサルを体験④親子でそば打ちに挑戦	6 月 13 日 7 月 29 日 9 月 26 日 11 月 14 日	4	61
中学生　職場体験	岩切中学校の２年生を対象に市民センター概要説明、施設見学、窓口接客体験、サークル体験、備品点検・整備、講座企画体験を実施。	10 月 21、22、23、27 日	1	6
インリーダー講習会	①世話人に向けて子ども会活動についての講話②児童に向けてインリーダーの役割についての講話③児童と世話人に向けてレクリエーション・ゲーム等の演習	1 月 30 日	1	33
岩切老壮大学院	入学式、修了式。講話：遺言の書き方、甘酒のはなし、家庭でもできるインフルエンザの予防策、写真で見る懐かしの岩切、介護保険について。朗読劇。オカリナコンサート。軽体操。館外学習：石巻方面、宮城野消防署岩切出張所見学。	4 月 15 日 ～3 月 9 日	12	551

岩切老壮大学	岩切に暮らすシニア世代に学習の場を提供し、学ぶことの喜びを感じてもらう機会とした。また、受講生の交流で地域の絆づくりの一助とした。地域に住む 60 歳以上の受講生を対象とした、文化・歴史・音楽・健康などに関する講話と実技の実施。	4 月 17 日 ～3 月 11 日	12	557
スマートフォンで残す岩切の四季	スマートフォンでの写真撮影方法・市民センターへの送信法を学んだ。市民センターロビーでの作品展示。	4 月 25 日 ～3 月 26 日	6	66
すずむしリンリン講座	仙台市の虫であるすずむしを育て自然の中で自生できるように活動を継続し、市民に興味、関心を持ってもらう機会とした。配布会、実験放虫、小学校出前授業、コミュニティまつり参加、	6 月 5 日 7 月 25 日 8 月 21 日 10 月 25 日	4	496
★考えてみよう､岩切の防災	岩切の諸団体と連携し､地域住民の災害に対応する力を高めるための支援を行った　①避難所設営訓練事前勉強会　②避難所設営訓練　③避難所設営訓練振返り　④カルタ＆ゲーム de 防災　⑤AED 講習会（救急救命講習）	8 月 22 日 9 月 12、19 日 1 月 16 日 2 月 6 日	5	132
★たのしいニュースポーツ	複数年事業の 3 年目で、種目をスポーツ吹き矢、グラウンドゴルフ、ペタンクとして実施。受講者には好評で、サークル立ち上げの動きも生まれた。	5 月 16 日 ～12 月 19 日	8	130
岩切市民センターまつり	市民センター利用サークル及び地域住民・各団体の交流と学びを通した地域づくりを目指し、展示発表(体験コーナー)、舞台発表、出店・図書コーナー、ダンス交流会、動物ふれあい広場、保健センター健康づくりコーナー等開催。	10 月 10、11 日	2	1,250
★岩切地域懇談会	市民センター利用者、地域住民、地域諸団体等と防災情報を含め地域づくりや地域課題などについて情報交換し、地域課題・市民センターとして取り組むべき課題を明確にして事業運営に反映させた。	6 月 23 日 11 月 26 日 2 月 24 日	3	21
市民企画会議	岩切地域の様々な資源の活用及び問題解決のため､住民による「市民企画会議」を組織し、講座の企画・運営等を行った。①企画会議②講座の実施（年央企画：市民企画講座「ペッタンいわきり演芸館」）③反省会	8 月 6 日 ～3 月 17 日	7	24
家庭教育地域交流会「ストリートオルガンがやってくる♪」	オルゴール作家からオルゴールの歴史・工芸技術などを学習し、手回しオルガン・創作オルゴールの演奏、操り人形､バルーンアート等ストリートパフォーマンスを楽しんだ。	11 月 28 日	1	55
家庭教育地域交流会「曲がりねぎフェスタ in いわきり」	①小中学生に「曲がりねぎ料理」を数品試食してもらいその中でベスト３を決定。②「曲がりねぎシンポジウム」で曲がりねぎについて学習し、子どもの好きな曲がりねぎ料理ベスト３を発表・試食。児童館の子ども達による創作ダンス発表。	1 月 30 日 2 月 13 日	2	123
岩切小学校地元学地域連携事業	小学生に岩切の良さを認識し､地元への愛着を持ってもらうことを目的として､岩切歴史探訪の会から地域で伝統的に栽培している苧麻についての講義と指導をしてもらい、ミサンガを作成した。	9 月 16 日 10 月 7 日 10 月 21 日	3	111
市民企画講座 ペッタンいわきり演芸館	転入者の増加が続く岩切において､岩切の文化を紹介し住民が気軽に参加し交流することを目的に､餅つきと演芸を行う会を開催した｡獅子舞やコマ回しの演技を見ながら餅の試食を行い､参加者同士の交流を図った。	2 月 27 日	1	77

鶴ケ谷市民センター

〔沿　革〕

鶴ケ谷地区は、大型のモデル団地として昭和 43 年に入居を開始した住宅団地で、鶴ケ谷市民センターは、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として昭和 47 年 5 月 22 日に開館した。

その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を受け各種の講座が開設されたが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年、市民センター・公民館として発足してからのことである。

平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点となった。

平成 23 年 3 月の東日本大震災で被災し、平成 24 年 3 月から仮事務所で生涯学習事業を行ってきたが、第一市営住宅団地再整備地内に移転新築され、平成 28 年 4 月 2 日から単独館として、供用を開始した。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**★君もプチレスキュー**		
参加者	仙台市立鶴谷中学校　1、2、3 年生 仙台市立西山中学校　1 年生	**延参加者**	392 人
開催日	全 4 回　7 月 3 日（金）～10 月 20 日（火）		
協力者・協力団体	宮城野消防署、東北福祉大学、鶴ケ谷東地区民生委員児童委員協議会、鶴ケ谷西地区民生委員児童委員協議会、宮城野障害者福祉センター、NPO 法人 FORYOU ニコニコの家		
ねらい	高齢者や弱者に配慮した安全で安心なまちづくりが、高齢化が進んでいる当地域の課題となっている。災害時に地域の一員として積極的にボランティア活動を行えるように、中学生対象に避難所運営に必要な知識、技能を体得してもらうと同時に、人命救助方法を経験させ、防災に対しての意識を高める。		
概要・成果	鶴谷中学校では学年毎に、1 年生は災害弱者疑似体験と防災グッズカードゲーム、2 年生は AED の使い方、3 年生は地域の方々の指導のもと仮設トイレの組み立て体験と、クロスロードゲームの体験をした。今年度から中学校3年間にわたり、防災知識や技術等を習得できるようにした。 西山中学校では、そなえゲームを実施した。 両中学校とも楽しみながらも集中して学習することができ、地域の一員としてボランティア活動をしようとする自覚が芽生えた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童向けに子ども会活動の心構えについての講話、行事の立て方やレクレーションの進め方の講習。世話人向けに子ども会のあり方や運営の仕方や役割の講話、情報交換。ジュニアリーダーとゲーム体験を行った。	2 月 20 日	1	74
さわって　サイエンス	鏡の特性を学びながら、水万華鏡を作成した。仙台三高 SSH クラブ生徒 19 人が講師になり、液体窒素・空気砲の演示実験、スライム作りを行った。	6 月 27 日 9 月 12 日	2	48

キャップハンディ体験	地域内小学 4 年生を対象とし、聴覚障害、車いす生活や視覚障害についての話を聞くことにより障害を持つ人への理解を深め、地域で共に暮らすことの大切さを学んだ。	9 月 17 日 10 月 8 日 11 月 11、13 日 1 月 19、26 日	6	279
鶴ケ谷ことぶき大学	高齢者向けに歴史講話、コンサート、文学講座、健康講話、国際交流講話を行った。また運営委員会企画講座として、館外学習及び講話を行った。	5 月 20 日 6 月 17 日 7 月 15 日 8 月 19 日 9 月 16 日 10 月 21 日 11 月 18 日 12 月 16 日 1 月 20 日 2 月 17 日	10	584
★私たちの鶴ケ谷～これまでを学びこれからを考えよう～	複数年事業 3 年目。前年度までの成果物の還元や情報発信、また講座を通してのまちづくりを考えた。地域の行事やサロン、児童館、市民センター事業などで成果物の紹介を行った。また地域の諸団体や地域住民を対象に公開講座及び交流会を開催した。また諸団体との意見交換会を行った。	5 月 15、26 日 6 月 24 日 7 月 28 日 8 月 25 日 9 月 11、27、29 日 10 月 15、24、27 日 11 月 24 日 12 月 2、12 日	14	250
鶴ケ谷市民センターサロン　お茶っこ会	サポーター打ち合わせ会を実施した。 ギター演奏、トーンチャイムコンサートと体験、ゲーム体験、民謡コンサート、ピアノに合わせて歌う等の講座のあと、茶話会を設け交流した。	6 月 3、10 日 7 月 8 日 9 月 2 日 10 月 7 日 11 月 4 日	6	162
鶴ケ谷市民センターまつり	地域団体やサークルの展示発表、ステージ発表とゲスト演奏を行った。	10 月 24 日	1	300
鶴ケ谷市民センター 地域懇談会	市民センター事業に対する意見交換と、地域課題の理解と把握、よりよい事業計画をするための懇談会を実施した。	7 月 23 日 2 月 12 日	2	17
★鶴ケ谷･燕沢さんぽみち-このまちへようこそ	主催講座「私たちの鶴ケ谷」で作成したビデオクリップ視聴、講話「鶴ケ谷・燕沢紹介」、鶴ケ谷市民センターまつり観覧、燕沢歴史散策、ひょうたん沼に自然観察会と交流昼食会、プラザビル・ショッピングセンター・みやぎ生協の理事長と店長を迎え、まちのお買い物情報を聞いた。	10 月 15、24、29 日 11 月 12、26 日	5	67
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーサークル「鶴ケ谷 Yourself」の活動支援として定例会を開催。平成 27 年度はバルーンアートの研修も取り入れ技術の向上を図った。	4 月 11、25 日 5 月 9、23 日 7 月 11、25 日 8 月 8、22 日 9 月 12 日 11 月 14 日 12 月 5、19 日 1 月 9、23 日 2 月 27 日	15	29
市民企画会議「鶴ケ谷・燕沢紹介」	市民企画会議を開き、転入者向けの講座を企画した。チラシ作成や、チラシの戸別配布等、企画員がそれぞれの役割を担った。	5 月 21 日 ～11 月 26 日	9	52

榴ケ岡市民センター

〔沿　革〕

榴ヶ岡市民センターは、日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和 48 年 6 月に開館した。平成元年 4 月には公民館が併設され、翌年 4 月に「榴ケ岡市民センター」に改称された。平成 24 年 7 月 31 日にはそれまでの本館を閉館し、同年 8 月 28 日に榴岡公園軽体育館の名称を「榴ケ岡市民センター」へ変更して現在に至っている。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園に隣接し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館、国の合同庁舎、楽天 Kobo スタジアム宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●東口まち歩き「宮城野さんぽみち」		
参加者	どなたでも	延参加者	725 人
開催日	全 24 回　 4 月 28 日(火)～3 月 28 日(月)		
協力者・協力団体	東口ガイドボランティア「宮城野さんぽみち」　若林区まちづくり推進課		
ねらい	仙台駅東口周辺のまち歩きと関連公開講座を行うことで、この地域の魅力を発信し、地域への関心を喚起する。また、ガイドボランティア団体と共催することで、市民の学習成果を還元し、活動場所の提供によって団体の自立を支援する。		
概要・成果	定例のまち歩きや公開講座、学校からの依頼、地下鉄東西線開業を契機とした区役所との共催等、24 回の開催で、多くの市民に、駅東口の魅力を伝え、この地域への関心を喚起することができた。ガイド、地域住民、参加者との間に交流も生まれ、ガイド活動に参加する人も出てきている。また、地域団体とのつながりも深まり、センターやガイド団体との協力体制も生まれてきている。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
こあら る～む	地域の子育て中の母親に読み聞かせや手遊びなど親子で楽しむ場を提供した。また、託児付で母親自身の学習の場を提供し、楽しく充実した子育て生活ができるよう支援した。	6 月 12、19、26 日 11 月 13、20、27 日 1 月 29 日 2 月 26 日	8	132
東口ゆうえんち	学校や学年の違う子どもが大勢で一緒に楽しめる場として、４回開催した。社会人・学生スタッフとの交流もあり、社会性や公共性を身に付ける機会となった。	7 月 18 日 10 月 17 日 11 月 22 日 2 月 20 日	4	268
インリーダー研修会	榴岡小学校に通う児童が所属する子ども会の活性化を図るため、子ども会の核となるリーダーと世話人を対象に、子ども会に関する知識を取得したり、レクリエーションやゲームの運営・技術を学ぶ機会を提供した。	2 月 27 日	1	49
地域が伝える「平和学習」	榴岡小学校 6 年生の児童を対象に、地域の「語り部ボランティア」の方から戦中戦後の体験を聴く出前授業を開催。「戦争」と「平和」について考える機会を提供した。	2 月 23 日	1	112

★榴ヶ岡老壮大学	地域の高齢者が仲間づくりや交流によって生きがいをもって日常生活を送れるよう、健康・歴史・防災などの講話や施設見学など、年間を通して学習の場を提供した。運営委員会を組織し積極的な自主学習もできるよう支援した。また、災害復興公営住宅に入居する住民の参加も促した。	4月16日 ～3月3日	12	837
介護予防講座 「東口ますます元気教室」	定期的に色々な介護予防について学習する場として、包括支援センターと共催して運動講座や栄養、認知症予防に関する講座を開催した。	5月27日 ～1月27日	9	353
●未来に遺そうすずむしの里	「すずむしの里づくり事業」を推進するため、「すずむしの里づくり実行委員会」と協力し、榴岡小学校で出前講座を行った。外壁工事のため、当初予定の配布会とコンサートは中止となった。	7月14日	1	122
★社会学級共催事業 「萩こぼれて」	それぞれに活動している３社会学級が交流を深めながら、社会学級生の地域活動への参加を促し、活気ある地域づくりを目指すために、学びの場の企画運営を行った。	5月21日 6月3日 8月27日	3	17
★社会学級共催事業「萩こぼれて」被災地訪問～山元町の今を訪ねて	震災から4年以上経った今、被災の現実や地域の変化に向き合い、これからの自分たちの活動を考えるために、市外被災地を訪ねた。	9月10日	1	26
★榴岡地域団体共催事業	地域の４団体と共催で、集いと交流を目的として「ハートフルステージ in 榴岡」を企画運営した。地域の団体の出演や新旧住民の参加等、共催団体のネットワークの活用で交流を促した。	4月24日 5月8日 7月4日 2月5日	4	216
★榴ケ岡市民センター地域懇談会	管轄地域を見据え、センター利用者、町内会役員、地域住民など各層の方々と相互に理解を深め、今後の事業展開に役立てるために、情報交換を行った。	2月5日	1	15
東口ゆうえんち企画会	9回の企画会議を行いながら、小学校1～3年生対象の「東口ゆうえんち」を運営・実施した。企画員は子どもの健全育成に関心のある学生・社会人であり、企画会の中で交流を図りながらスキルアップに繋げていた。	4月25日 7月4日 9月19日 10月3日 11月7、21日、 2月6、13、19、 20日	10	56
「榴岡地域案内人養成講座」榴岡さんぽみち～ガイドブック製作企画会～	榴ヶ岡さんぽＳＣ（スケッチサークル）と榴岡さんぽみち案内人が、意見交換しながらガイドブックを製作している。(複数年事業)	4月28日 7月29日 8月18日 9月15日 1月26日 3月1日	6	42
「榴岡地域案内人養成講座」榴岡さんぽみち～案内人企画講座～	「榴岡さんぽみち～案内人編」の受講生が、案内人としての経験を重ね、自信につながるように、ガイドツアーを企画運営した。また、近隣の市民センターで活動するボランティアとの交流を深め、スキルアップを図った。(複数年事業)	4月23日 5月8日 6月25日 9月17、25日、 10月25日 11月25日	7	103
あなたのやりたいを見つける！ 「サークル見学・体験会」	当館で活動しているサークル情報を地域住民に向けて発信、見学・体験会を実施することで市民の学習・仲間づくりを支援、またサークル活動の活性化を支援した。また、復興公営住宅の入居者へも広報を行い、新しい住民が地域に馴染むきっかけ作りとした。	1月15日 ～2月24日	15	19

東部市民センター

〔沿　革〕

東部市民センターは、昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に改築され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。また、この地域は、JR陸前原ノ町駅・苦竹駅・小鶴新田駅・東仙台駅があり、東北本線、仙石線、貨物線、新幹線等が通る鉄道景観が見事に交錯する街並である。

当市民センターの中学校区は東仙台中学校、小学校区は東仙台小学校・新田小学校が管轄。さらに立地状況としては、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、南に国道 45 号線と北に利府街道、その中間を跨ぎ繋ぐ形で、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。また、付近には、東仙台・苦竹・原町・自衛隊苦竹駐屯地などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	● 地域の絆再生プロジェクト「地域づくり講座」 地域プロデュース「東仙台耀きクラブ」企画　～伝えたい地域の歴史～再考		
参加者	成人	延参加者	89 人
開催日	全 8 回　5 月 10 日（日）、6 月 10 日（水）、7 月 7 日（水）、8 月 5 日（水）、9 月 9 日（水） 10 月 14 日（水）、11 月 11 日（水）、12 月 9 日（水）		
協力者・ 協力団体	共催：宮城野区中央市民センター		
ねらい	平成 24 年度から宮城野区中央市民センターとの共催事業「住民参画・問題解決型学習推進事業」地域の絆再生プロジェクト「地域づくり講座」地域プロデュース「東仙台耀きクラブ」で、「地元学　伝えたい東仙台」を、27 年 3 月に発行した。 地域プロデュース「東仙台耀きクラブ」メンバーの中で、「地元学の冊子はあるが、震災後の街整備や、時代とともに移り変わる地域の変容した様子、そして地域の貴重な歴史を、地域の人々に伝えたい」という課題が挙がった。 課題解決の手段として、上述した「地元学　伝えたい東仙台」冊子をもとに、地域の方が受け継ぐ地元学として、郷土への歴史の継承と情報発信を図る。また、地域の歴史を語れる語り部の育成を目指すことを目的とする。		
概要・成果	東仙台地域の「地形」「地名」「地勢」に関して学んだ。その中で、前年度までのメンバーに加え、今年度から参加したメンバーと、東仙台・苦竹・新田地域の歴史を共に学びつつ認識の共有化を図った。 地域の歴史を伝える歴史ボランティアの育成を見据えて、地域の歴史を伝える散策路行程（案）A コース、B コースを定め、実際に地域を歩きながら互いに学ぶ機会を持ち、語り伝えるべき事象や地点を探った。 今年度の学びを生かして、前年度完成したジオラマに旧街道や地名を記すなど、学びの成果を集約し、地域まつり「東部ふれあいまつり」に参加し、地域に伝えた。 次年度は、地域の歴史を伝える散策路 A コース、B コース及び、それを記載したマップを完成させて、地域の歴史を語れる語り部ガイドボランティア団体の発足を目指すことを「東仙台耀きクラブ」メンバーで確認した。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で体験！ 「苗から作るカレーライス」	野菜が畑で栽培されて調理し口に入る過程を学ぶために、畑の土作り、野菜の栽培と管理、収穫と調理を行った。老若男女の異世代交流を深め、共に成長する機会とした。、	6 月 ～8 月	5	127
子育てサロン 「まったりルーム」	子どもとの接し方を学び、悩みを相談、子育て中の親や地域の子育ての先輩との交流を図る機会を提供した。東部子育て支援クラブの行事への参加、親子でストレッチ・託児室付き	10 月 ～11 月	3	42

東部子どもの育ちを支えるプロジェクト	子どもたちが地域の他世代や異年齢の子どもとの交流や体験を通じ、社会性を育む機会を提供した。併せて地域全体で子どもの健やかな育ちを支える環境作りをした。昔遊び、ボードゲームカフェ、中学校他流試合等々	4月 ～3月	12	815
仙台自分づくり教育 「がんばれ中学生職場体験」	自分の目標や将来の生き方を意識して行けるよう市民センターの職場体験を実施した。 市民センターの設置目的について講話、生涯学習事業の企画演習・講座体験、施設管理業務の体験等	11月	1	2
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーションゲーム等を学習する機会を提供した。	2月13日	1	41
東部武将隊 「東仙台甲冑教室」3	甲冑の構造を知り、実際に着用できる甲冑を簡易作成することで、仙台の歴史に触れ、地元の歴史を学ぶ機会とした。また、甲冑製作からまちづくりについて学んだ。	5月 ～3月	10	102
★老壮大学 「東部いきいきスクール」	市民センター職員と運営委員会による企画で、さまざまな学習の機会をつくり、学びを生かして楽しく活動できる場を提供した。開講式、自主企画講座、館外学習、閉講式等	4月 ～3月	11	431
★楽しいシニアライフ 「笑顔で毎日をおくるために」	既存のサークルや団体に入りにくいと感じている高齢者に、参加しやすい体操の講座で健康を学び連携することができる。その情報をもとに地域の人たちと交流できる機会を提供した。 健康講話と軽運動（転倒予防、口腔体操、風邪予防）	12月 ～2月	4	124
★鉄道景観を活かしたまちづくりプロジェクトVol.4 「東仙台・新田・苦竹を写真で残そう　わが町・わが風景」	地域への愛着や関心を意識づけることを目的とし、講話・実技指導目的に応じた撮影技術、編集を学んだ。、集まった写真を地域から発信するためにコンテストを実施した。	6月 ～2月	6	114
東部市民センター懇談会	地域住民対象に、情報交換や意見交換を行い、地域づくりや生涯学習への参加や利用促進について理解を深めていただいた。また、施設利用者を対象に、減免についてや使い方、活動についての意見交換を行った。	6月 ～2月	2	43
★第21回東部ふれあいまつり	町内会・センター利用サークル・団体・ボランティア団体の日頃の活動や学習の成果発表の場を提供した。 地域活動の展示、主催講座の展示、舞台発表、展示発表、出店、児童館遊びコーナー等	10月4日	1	1,850
★仙台七夕を作って飾ろう！	仙台七夕を学び、共に七夕を作ることで交流し、新たなる地縁を作るきっかけとした。また、地域の小中学校と連携し、子どもたちが地域づくりに携わる機会として、製作・展示をした。 実技七夕製作飾り付け等	6月 ～8月	8	429
★こんにちは東部市民センターです　「東部地域ふれあいコンサート」	復興住宅建設に伴う移住者や、分譲マンションに越してきた若い世代が多い新田地区と、近くにあっても普段市民センターに足を運ぶことのない東仙台地区の住民のために気軽に集えるコンサートを行った。	5月 ～2月	1	70
★●みんなで学ぶ「地域で支える東仙台防災ルール」	東仙台防災対策委員会と協働して、地域の防災に関する研修会を企画運営をした。	4月 ～3月	6	173
★新しい自分発見 「東部市民センター・サークル・ボランティア体験会」	地域に情報発信や体験会、団体間のコーディネートを行った。 サークル体験会・ボランティア体験会	4月 ～2月	7	11
中学生地域貢献講座企画会議	東仙台中学校と連携し、防犯ボランティア「スーパーアルカス」の有志を核として、中学生が地域課題（防災、防犯）のため、どのようなことができるかを考え、講座の企画をした。企画会議	5月 ～2月	1	11
東仙台中学生地域貢献講座企画会企画 「ストップ！！振り込め詐欺」大切な人がだまされないために！	東仙台中学校・東部児童館・新田小学校児童のそれぞれが啓発チラシの原案を作製した。地域の老人クラブと連携し、チラシを配布し、注意を促した。注意喚起メッセージ発信の講座を行うことで、地域の犯罪抑止に貢献した。	7月 ～12月	4	24
子ども参画型社会創造支援事業 新田まちづくりこども計画	意識調査（新田小５・６年生対象アンケート実施） アンケートからでた課題について、児童が会議を行った。また、新田おやじの会と共に、遊びの体験教室を行い、地域の課題について考えた。	7月 ～3月	3	113

幸町市民センター

〔沿　革〕

幸町市民センターは、平成５年４月 20 日、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当市民センターがある幸町中学校区は、大型商業店舗の進出、民間マンションの建設などで町並みの変容著しい幸町・大梶地区と、与兵衛沼、枡江の森などの緑豊かな自然に恵まれた枡江地区からなる。仙台市ガス局や県・市障害福祉センターなどの公共施設や、きぼう園、いずみ授産所などの福祉施設とともに、国、県、市の公営住宅があり、民間も含めて集合住宅が多い地域でもある。また、平成26年度には復興公営住宅も完成した。高齢化が進む中、子育て中の世代や若年層の住民の増加もみられ、ここ数十年で地域の環境は大きく変化した。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	さいわい地域連携事業　第 6 回ハッピーコンサート		
参加者	地域住民	延参加者	183 人
開催日	全 6 回　 7 月 1 日(水)、9 月 2 日(水)、10 月 7 日(水)、 11 月 11 日(水)、12 月 12 日(土)、1 月 20 日(水)		
協力者・ 協力団体	子育て支援クラブこうなん、幸町南社会学級、子育て支援クラブハッピーキッズサポート、 幸町児童館、幸町南児童館、サークル「ORIGAMI」、イオン仙台幸町店		
ねらい	地域住民が気軽に集える身近なコンサートを継続的に開催することで、地域にさらに浸透させ、連携団体の結びつきを強めることを目指す。また、連携会議を通して、横のつながりを強め、更なる交流の場と学びの場を地域で連携して作りあげていくことを目的とする。		
概要・成果	連携５団体と共に５回の会議を行い、平成２７年度で第６回となる「ハッピーコンサート」を企画した。前年度までは夜間開催であったものを、会場を変更することにより日中開催とすることができた。これにより来場者だけではなく、交渉できる出演者の幅が広がった。仙台育英学園高等学校吹奏楽部、地域在住のマリンバ奏者の出演を得、クリスマスという時季に合わせて曲目や広報、会場装飾などに趣向をこらした。 連携団体とともにきめの細かい広報活動を行うことにより、幅広い年齢層から定員を超える申込みがあった。またコンサート当日は、各連携団体からの声がけで３０名のボランティアが集まった。ボランティアが設営や受付に参加し積極的に活動したことによって、コンサートを円滑に運営することができた。 連携することにより連携団体相互のつながりが深まっただけではなく、地域住民やボランティアがコンサートを介して交流し、学びあう場をつくることができた。また、来場者アンケートからも多くの地域住民が演奏を楽しんだ様子がうかがえ、地域行事の充実という点でも連携の意義を再確認することができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
まま&プレままのリフレッシュ応援講座	育児に多くのストレスを抱えていると思われる親子を対象に、気軽に集い、共に悩みを語り合える子育て支援の場を提供した。歯のお話と歯磨き、子育てサロン、おやつ作り、ベビーヨガ、交流会を実施	6 月 19、26 日 7 月 3、10、17 日	5	85
さいわいどんぐりクラブ	子どもたちの自主性や創造性を育むことを目的とし、学校の授業だけでは取り組めない様々な体験の場を提供した。クリスタルな素材を使ったコラージュ、かぼちゃマフィン作り、移動天文台、凧作りを実施	8 月 19 日 10 月 24 日 12 月 18 日 1 月 9 日	4	142

仙台市子ども会インリーダー研修会	地域の子ども会活動を更に充実させるため、次年度の子ども会活動の中心となる児童や世話人を対象とした実践的学習を行った。講話、行事の立て方、レクリエーションゲームの進め方。	2月6日	1	50
ジュニアリーダーとあそぼう	ジュニアリーダーが、研修会等に参加して得た工作やレクリエーションの知識を活かし、実践する場を提供した。幸町児童館まつりにて「もぐらたたきゲーム」、幸町市民センターまつりにて「的当てゲーム」を実施	10月3日 11月15日	2	218
中学生職場体験学習講座	市内の中学校からの依頼により中学生の職場体験を受け入れ、市民センターの業務を通じて、働くことの心構えや責任について学ぶ場を提供した。講座の補助、窓口業務、館内清掃など。	8月19～21日 10月27～29日	2	8
わいわい農園	敷地内の農園を活用して野菜を栽培し、農作業を学ぶことにより、地域住民に自然と親しむ機会と交流を深める場を提供。受講生の学び合いを促進したことで、緑化ボランティアサークルの立ち上げにつながった。	5月30日 ～11月21日	7	44
「さいわい男子会」活動	地域の成人男性たちが楽しみながら子どもの健全育成や地域貢献の活動を行った。地域の夏祭りへの出店や市民センターの子ども向け講座の支援を実施。	5月30日 ～1月9日	7	28
幸町生涯大学	地域の高齢者が社会との繋がりを持てるよう学習・交流の場を提供した。歴史・医療・特殊詐欺の講話、映画鑑賞、軽運動、新春落語、音楽鑑賞、移動学習等を実施	4月16日 ～2月18日	10	398
さいわい・ふれあい講座	福祉施設が多い地域において、障がい者への理解と交流を促し、互いに支え合う関係づくりを目指した。スポーツ体験ボッチャ、盆手前体験、ワークショップ、ふれあい体験クワイアチャイム・風船バレーボール体験を実施。	2月3、17日 3月2、6、7日	5	71
市民企画講座「団塊世代の地域デビュー」～男子厨房おつまみ研究会～	団塊世代の男性を対象に、調理実習を通して地域住民相互の交流を図った。特に地域活動への参画の端緒として、町内会などで活躍する人材とふれあう機会を設けた。	10月28日 11月25日 1月21日	3	18
★地域の絆づくり推進事業「一人ひとりにやさしい防災の輪」-防災でつながる人と人-	災害時の協力体制の構築し、人と人とがつながる安全なまちづくりを目指し、枡江学区合同防災訓練の準備を進めて実施。地域の防災教育として枡江小学校6年生を対象に大型防災すごろくゲームを実施。	8月20、25日 9月3、12日 1月20、27日 2月10、26日	9	36
★第19回幸町市民センターふれあいまつり	幸町地域の3つの連合町内会と健全育成連絡協議会が市民センターとともに、地域あげてのまつりを開催した。地域団体によるステージ・展示発表、地域福祉団体による出店・販売、防災コーナーなど。	11月15日	1	2,500
幸町市民センター地域懇談会	市民センター利用団体、地域内各種団体との情報交換と意見交換会とし、市民センターの事業・運営の説明を行い理解と協力を得た。	9月30日 1月28日	2	18
ジュニアリーダー定例会	幸町市民センターで活動するジュニアリーダーのサークル「幸町Fortune」が集い、情報共有や研修を行う定例会を行った。	4月18日 ～3月19日	12	41
「学校へ行こう隊」スキルアップ講座	小学校に地域住民やサークルを派遣し、地域と学校をつなぐ「学校へ行こう隊」のスキルアップを図った。昔話を語る、手話指導、しめ縄づくり、昔遊び指導を実施。	11月17、26日 12月4、8、10日 1月14日	6	40
図書ボランティア養成・スキルアップ講座～読み聞かせ編～	図書ボランティアサークルのスキルアップを図るとともに、新たな受講生を募集し、活動人数の増員につなげ、読み聞かせの場を提供した。読み聞かせの講話と実践指導、小物づくり、読み聞かせ実践。	2月6、19、26日 3月4日	4	58
市民企画会議－団塊世代の地域デビュー	地域で活躍を期待されている団塊世代の人材を地域活動に呼び込むきっかけとなる事業として、「男子厨房おつまみ研究会」を企画開催した。企画講座では講師も市民企画員が担い、市民企画員の地域デビューの場にもなった。	5月27日 ～1月21日	10	20
地域情報発信隊養成講座	地域内の様相が多岐に渡り、住民同士のつながりも希薄になっている幸町地域において、地域の魅力を発見・発信する人材の養成を目指し開催。文章の書き方・取材の仕方の講話・訓練と取材・原稿執筆・添削・合評。	10月16、23、24、30日	4	12

田子市民センター

〔沿　革〕

田子市民センターは、平成 11 年 8 月、仙台市で 53 番目の市民センターとして開館し、児童館とコミュニティ防災センターを併設し、多目的ホール、会議室2室、和室2室、調理実習室、児童館図書室などを備えている。

当市民センターの位置する田子地域は仙台市東部に位置し、市中心部と直結する JR 仙石線（最寄駅:福田町駅）や国道 45 号線等に近い交通の利便性から開発が進み、人口が増加している。幼稚園や小中学校、高校等の教育施設にも恵まれ、地域リーダーとして活躍する人材が豊かで、地域づくりに関する住民意識も高く、防災訓練等の特色ある活動が活発に行なわれている。当市民センターは、これらの立地要件を活かしながら、地域団体や学校との連携に努め、事業を展開している。

こうした中、平成 26 年度には田子西復興公営住宅に 160 世帯余りが入居し、田子西町内会が設立された。平成 27 年度には田子西第二復興公営住宅への入居と集団移転用地への移住が開始され、平成 28 年 4 月、田子西こだま町内会、田子西中央町内会、田子西 3 丁目町内会が設立された。田子市民センターの管轄エリアは田子小学区 10 町内会、高砂小学区 4 町内会となった。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●田子のきずなステーション		
参加者	地域の方・地域に転居予定の方	延参加者	216 人
開催日	全 25 回　5 月 24 日（土）～3 月 26 日（土）		
協力者・協力団体	宮城野区まちづくり推進課、宮城野区家庭健康課、支えあいセンターみやぎの		
ねらい	地域内の復興公営住宅・集団移転用地への移住者や移住予定者と既存住民の双方が、環境の変化に対する不安を解消して希望を見つけるために、当センターが情報や人の集まる“拠り所（ステーション）”となることを目指す。その中で、新旧住民がともに学びを深め、“田子で仲間をつくり・田子で活躍する”人材としてステップアップしながら、地域へ溶け込むことを目指す。		
概要・成果	「きずな通信」を発行（6 回）し、「田子の魅力を発信し隊」の受講生が取材してきた地域の魅力を地域情報として掲載し発信している。田子地域の何気ない風景を様々な角度からとらえ、魅力として伝えることが出来た。「お茶っこサロン」（3 回）を開催し、新旧住民の交流の場を提供した。田子西第二復興公営住宅の方も多く参加し、出会いの場として活用できた。昨年度の「ダーツ入門」で立上ったサークルが主体となり、「ダーツ大会」を開催し、仮設住宅や他の復興公営住宅のチームと交流するなど独立した活動が見られるようになった。保健福祉センターと共催で「田子のさんぽ道」（2 回）を開催。復興公営住宅への転入者が田子という地域を知る機会となった。誰でも気軽に参加できるよう事前申込み不要とした「オープンクラス」は“卓球”（9 回）と“アートサロン”（2 回）を開催した。卓球では、平成 25 年度に養成した卓球ボランティアが主体的に関わっており、毎回新しい参加者が見られ交流の場として定着してきている。また、「ミニ門松作り」では、市民センター講座初参加者や男性も参加するなど、より多くの交流を生むことが出来た。 全体として多様な内容を数多く展開することで、多くの地域住民が参加して交流を深め、共に田子について学び愛着を深める機会となった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
田子地域連携企画講座 ちょっとひと息タイム ～子育てしゃべり場～	1 回目は「子供ロコモってなあに」、2 回目は「子どもの話したい気持ちをつぶさない聴き方」をテーマとして、地域内の親たちが学校の枠を超えて、子育ての問題について共に学び、解決策を考える講話とおしゃべり会を開催した。	10 月 8 日 3 月 10 日	2	53

夏の講座	小学校の夏期休業期間に、地域講師による体験学習の場を児童に提供した。 茶道、動物との触れ合い、絵本や大型紙芝居の読み聞かせ・朗読、LED 電球の発電実験、ペットボトル工作。	7 月 22、23、30、31 日 8 月 1 日	7	283
中学生職場体験学習	中学生への職場体験学習。講座準備・窓口業務・ボランティア体験等。	11 月 5 日 11 月 6 日	2	3
●ふれあい体験・ちびっこと遊ぼう	中・高生が乳幼児親子とふれあい、交流する機会を設けた。 保健師からの講話、赤ちゃん人形で抱っこ・おむつ替え体験、妊婦シュミレーター体験、乳幼児とのふれあい。母親との交流。	3 月 15 日	1	4
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会の知識やレクリエーション・ゲーム等を学習する機会を提供した。 世話人向け講話「子ども会活動について」児童向け実技「行事プログラムを作ろう」、ジュニアリーダーの指導によるレクリエーションゲーム。	2 月 27 日	1	29
田子老壮大学	ロコモ予防体操・伊達政宗に関する講話・竹久夢二の世界・ミニコンサート・交通安全や防犯の講話・お酒は百薬の長・どじょう掬いおどり（実技）・レクリエーション大会	5 月 13 日 ～2 月 10 日	10	349
★市民企画講座「めんこ、おはじき、竹とんぼ～一緒に遊ぼう会～（年央）	おはじき、あやとり、こま、ビー玉、たけらなど練習会と児童クラブ児童との交流を定例で開催。昔あそびとさんままつり、じどうかんまつり、田子小土曜教室で子どもたちに紹介し交流した。	5 月 9 日 ～3 月 12 日	12	127
★三館共催事業「七北田川・梅田川の防災今昔」	①講話「藩政時代からの七北田川の洪水の歴史と工事の変遷」②講話「七北田川の津波の被害と洪水への対策」③シンポジウム「七北田川・梅田川の防災を考える」の開催	6 月 26 日 7 月 11 日 10 月 31 日	3	133
★みんなで学ぶ地域防災	平成 26 年 10 月に発足した田子西町内会を加え、地域連携体制の強化と防災・減災の知識向上を目指した。 仙台発そなえゲームの実施、田子地区地域防災訓練同日同時刻開催（田子小学校・田子中学校は授業として参加）。 いっとき避難所への避難経路確認、炊き出し、AED、濃煙脱出、安否確認、車椅子操作、消防通報等の各種訓練を町内会ごとに実施した。	10 月 17 日 11 月 8 日	2	2,068
田子地域連携企画会	田子小社会学級・田子中学校ＰＴＡ・田子児童館子育て支援クラブと連携して、地域における家庭教育の課題について企画会を持ち、「ちょっとひと息タイム子育てしゃべり場」を協働で企画し実施。	4 月 22 日 ～3 月 15 日	13	62
★復興住宅出前講座「田子西で会いましょう」	田子西地区の集会所を会場に出前講座としてコーラス・軽体操など 9 つのサークル体験会を開催。	11 月 17～22 日	9	48
★季節のハーモニー～田子で出会えるすてきなコンサート～	バンドネオン奏者によるコンサート、大野俊三コンサート、ハートフルクリスマスコンサート、沖縄エイサー踊りを実施。	6 月 20 日 11 月 10 日 12 月 19 日 2 月 27 日	4	1,050
★たごっ子まつり	田子小・田子中ジョイントコンサート、消防分団などの地域の活動団体やサークル及び主催事業による展示発表とステージ発表、田子小・高砂小・田子中・宮城野高・児童館の作品展示各町内会による模擬店。	2 月 20 日	1	2,300

★田子市民センター懇話会	各町内会長・学校・地域団体と年間の行事等や市民センター事業及び防災訓練についての意見交換を行った。利用団体と市民センター業務全般についての意見交換を行った。	5月29日 7月18日 3月5日	3	38
★市民企画講座「仙石線でつながる地域の魅力～よみがえった仙石線を活かした暮らし～	陸前小野駅の乗降客の増加に貢献するに至った「おのくん」の取り組みを紹介する講演「おのくんと空の駅」と仙石線沿線の魅力を６人のパネラーにより語り合うパネルディスカッション「あおば通発・普通列車石巻行き」の実施	3月19日	1	39
★●田子西復興支援事業	田子西第二復興公営住宅の入居者を対象に地域内の諸団体と「田子西地区復興支援者の会」として「さんままつり」「新春交流会」を開催し、住民の交流の場を提供した。	9月12日 1月23日	2	264
★卓球ボランティア　フォローアップ養成講座	卓球ボランティアとしての資質と技の向上をめざしレベルアップを図るための講話と実技を学んだ。ボランティアとしての心得と初心者に対しての対応の仕方の実技。	5月9、16、23日	3	39
「田子の魅力を発信し隊」取材ボランティア養成講座	地域の方が、地域への愛着を持つことができるように情報発信の方法の一つとして写真の撮り方や記事の作り方、表現の仕方等を学んだ。	6月4、11、18、25日 2月5日	5	39
★市民企画会議「田子を愛する住民塾」	福田町駅への愛着を喚起するため「仙石線でつながる地域の魅力」を企画し運営した。また生きがいづくりの講座として「めんこ、おはじき、竹とんぼ」を企画・運営した。	4月9日 ～3月30日	15	91

福室市民センター

〔沿　革〕

福室地区は西に七北田川、北は多賀城市に接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域で、かつては豊かな田園地帯であった。昭和 30 年～40 年代にかけて住宅地や市営住宅が造成され、住環境が急速に整備された。国道 45 号線、JR 仙石線の沿線という利便性から、最近では仙台港背後地の開発や商業施設の増加に伴い、高層住宅、集合住宅が増え、人口は増加傾向にある。旧来の農地は激減したが、今も七北田川周辺の豊かな自然は健在である。

同地区に位置する福室市民センターは、中野中学校区を対象地域として平成 15 年 3 月に開館し、児童館、コミュニティ防災センターを併設している。年々利用者も増加し、地域住民の生涯学習の拠点として、広く親しまれ利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座　食で地域おこしに挑戦！～福室の新名物おやきを作ろう～		
参加者	地域の方どなたでも	延参加者	121 人
開催日	全 5 回　7 月 18 日（土）、8 月 1 日（土）、9 月 12 日（土）、11 月 7 日（土）、 12 月 3 日（金）		
協力団体	JA仙台たなばたけ、「高砂おたから探訪の会」		
ねらい	地元の野菜を販売し、食の提案をしている福室の農産物直売所「たなばたけ」を福室地区の地域資源として取り上げ、新鮮野菜や加工品について学ぶ。 また、地元で生産された地域の特色ある野菜やみそなどの食材で、オリジナルおやきを作り、新たな名物として発表することによって、農産物の地産地消の取り組みについて考え、地産地消の推進を図る。さらに地域の食材や食文化などについて話合い交流する場を提供する。		
概要・成果	ねらいのステップ1は、「地元の食材を知る」ということで、「たなばたけ」店長と地元で野菜の加工品を作り直売所に卸している方の講話と交流会で、地元の野菜について学習し、ステップ2は実際におやきの作り方を学び、ステップ 3 はオリジナルおやきのコンテストに挑戦、入賞作品は市民センターまつりで販売した。受講者それぞれが、中身にこだわって考案したおやきは、まつりでも大好評で、4 種のおやきは早々に完売し、まつりの盛り上げの一翼を担った。コンテストやまつりに向けて試作を重ねていくうちにアイディアや意見の交換をしたり、反省会ではさらに地元の野菜を使ったはっと汁をつくり、和気あいあいと受講生同士の交流を図ることができ、さらに参加した個人やサークル、講師とのつながりができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
市民企画講座「子育てママのハッピータイム」	ママ企画員の企画運営で、未就学児の親子を対象に「音楽で遊ぼう！ママさんブラスぴよぴよ隊」「ちびっこまつり」「食材を学んでバレンタインのお菓子を作ろう！」の３講座を実施した。	7 月 8 日 10 月 21 日 2 月 10 日	3	206
インリーダー研修会	4・5 年生と世話人を対象に、子ども会活動についてと世話人の役割についての講話を聞き、子ども会活動に役立つレクリエーションゲームを体験した。	2 月 13 日	1	60
中学生職場体験学習	市民センターまつりの準備作業を通じて、市民センター業務の一端を体験してもらい、中学生の勤労観を育む支援の場とした。	11 月 4、5、6 日	1	5

からむしのミサンガづくりに挑戦！	地域の方を講師として、七北田川河川敷きや福室農園で刈り取った「カラムシ」から繊維を取出し、編み込んで「ミサンガ」を作った。	7月25日 8月8日	2	42
小学校連携事業「学びのめ」	福室小学校・中野栄小学校と連携して、地域人材を活用し、「福室歴史ウォーク（3年）」「戦争体験を聴く（6年）」「昔遊び体験（1年）」を行った。	11月13日 12月2、3、10日	4	390
●知って安心！介護準備講座Ⅱ	地域住民を対象に介護の実技体験、介護保険・認知症理解のための講話、地域の介護施設の見学、施設職員を交えた座談会を実施。	6月11、18、25日 7月3、9日	5	78
福室老壮大学	地域の高齢者がいきいきと暮らしていくために、さまざまなテーマで学びの活動をした。また仲間作りの場で受講生同士交流した。	5月27日 ～2月24日	10	736
ふくむろ和みサロン	町内会集会所やコミュニティセンター等で、「歌声サロン」「復興シャンソンコンサート」「中野栄の地元学」「笑いの出前講座」の出前講座を行った。	6月2日 10月7、17日 2月4日 3月6日	5	142
だれでもサロン“まざらいん”「福室縁芸場」	「児童館児童の特技発表」「地域有志の踊り」「ＪＡ仙台女性部の歌舞」、カラオケやちんどんパフォーマンスなどの演芸会を開催。休憩時は地域住民のお茶っこサロンの場となった。	1月23日	1	112
★三館共催事業「七北田川・梅田川の防災今昔」	講話「七北田川の災害の歴史と工事の変遷」「七北田川の津波の被害と洪水への対策」と、シンポジウム「七北田川・梅田川の防災を考える」講座を実施し、参加した地域住民との意見交換も行った。	6月26日 7月11日 10月31日	3	133
パソコン初心者クラブ	中野中を会場に地域住民がインターネットを体験し、WORDやEXCELの基本を学んだ。中学生がアシスタントとして共に受講し、異世代間交流を図ることができた。	7月28、29、30日	3	41
★●ふくむろ防災塾２０１５	地域リーダーを中心に「福室学区総合防災訓練」に向けての取組みを行った。担当班ごとに活動内容の確認検討を重ね、11月に初動機の各班の活動に重点を置いた住民参加型訓練を実施し、防災スキルを身につけた。	8月22日 10月12日 11月14日 12月9日	4	211
ふくむろ剪定サロン	春編と秋編に分け、市民センター内の樹木や花で剪定の技術を学びながら、庭木の話題で和気あいあいと会話を楽しみ交流した。	5月30日 6月6、13日 10月3、10日	5	30
社会学級との連携事業「みんなの輪２０１５」	中野栄小学校おやじの会の協力を得て、中野小学校体育館を会場に、「宮音座・和太鼓コンサート」を実施し、和太鼓の演奏や和太鼓体験を行った。	12月6日	1	200
第１１回福室市民センターまつり	市民センター利用のサークル、地域の団体や住民、小中学校等の日頃の学習の成果の発表、展示・舞台・出店で、地域の交流の場づくりをした。	11月7日	1	2,700
★地域懇談会	小学校、町内会、民児協といった地域団体代表に集まってもらい、子どもの健全育成、防災等、地域課題について語ってもらった。	5月9日 2月14日	2	31
市民企画会～地域の魅力発見～	地元の歴史や地域資源など住民自らが語り継ぎたい地域の魅力発見のための企画会で、講座を企画、運営した。	4月2日 ～3月3日	19	235
市民企画会「子育てママの市民企画Ⅴ」	子育て中のママ企画員が地域の親子のための講座を企画し、実施した。各講座で使用する鳴り物や参加者プレゼント用のメダル等の作成も行った。	5月13日～3月23日	23	132

若林区中央市民センター

〔沿　革〕

若林区中央市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館し、その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変え、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転して、現在の「若林区中央市民センター」となった。旧建物は児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。当市民センターを含む若林区文化センターは図書館・市政情報センターも併設されている複合施設である。こうした立地の下、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある（地区館）事業〕

事業名	●★防災博士に挑戦！		
参加者	小学生	延参加者	127人
開催日	全 3 回　7 月 25 日（土）、8 月 19 日（水）、1 月 20 日（水）		
協力者・ 協力団体	若林区中央児童館・大和児童館・遠見塚小学校・地域夢つなぐ実行委員会Wakka 若林区区民生活課		
ねらい	東日本大震災では、未曽有の被害があった中、子どもたちへの防災教育の成果が自らの命を守ったという形で実を結んだ事例があった。このことから、未来の社会の担い手となる子どもたちに対し、継続的かつ効果的に防災・減災教育を行っていくことが必要不可欠である。この講座を開催することで、危険に対する予知及び回避能力や災害時に主体的に行動できる能力を身に付け、防災に対する意識づけを図る。		
概要・成果	小学校の総合的な学習の時間や児童館の行事として子どもたちに、防災・減災に対して関心をもってもらうために、防災すごろくゲームや防災〇×クイズを実施。 ・防災についてゲームやクイズで、楽しみながら、学習することで、防災に対する意識の向上につながった。 ・児童館と連携し、児童館を会場としたことで、市民センターまで来館することが難しい子どもたちを対象に行うことができた。 ・防災すごろくゲームをツールにして、小学校とのつながりが広がった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●家庭教育講座	個性のとらえ方をヒントに子どもの見守りや、客観的な関わりなどについて講話「子どもの個性をどうとらえるか」とワーク等を実施。	9 月 4 日	1	25
市民企画講座「ママの学びスイッチＯＮ!!」	子育て世代の『学びたい』というニーズに応える場として、『ここだからできる学びの場』をテーマに託児付き連続講座を実施。	6 月 19 日 7 月 3、31 日 9 月 25 日 10 月 16 日	5	65
子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に、子ども会活動について知識やレクリエーションなどの実技等の研修を実施。	2 月 20 日	1	88
ワカチュウ子どもランド「ジュニアリーダーと遊ぼう」	秋休みに、ジュニアリーダーが工作（輪投げボックス）やバルーンアートコーナーの運営を実施。	10 月 12 日	1	340
子どもチャレンジ講座	子ども達の体験学習の場として、絵手紙、光の実験、クッキーづくりなどを実施。	7 月 26 日 1 月 16 日 2 月 6 日	3	31

中学生職場体験学習	区民部の職場体験受入れのうち接遇研修の部分を担当し実施。	8月21日 10月20日 11月26日 2月16日	6	15
南小泉老壮大学　教養コース	60歳以上の方を対象にともに学びあう場を設定し、心身ともに健康で実り豊かな生きがいのある生活が出来るように、文学、歴史、政治経済、健康など多種多様な学習テーマで実施。	4月15日 ～2月10日	11	861
南小泉老壮大学　健康コース	60歳以上の方を対象にともに学びあう場を設定し、心身ともに健康で実り豊かな生きがいのある生活が出来るように、健康、食生活、歴史、文学など多種多様な学習テーマで実施。	4月22日 ～2月24日	11	720
【出前講座】シニア元気倶楽部	普段市民センターまで来館しにくい地域の高齢者が参加しやすいように、近隣の集会所などへ出向き軽運動や健康講話などの出前講座を実施。	11月15、25、26日	3	61
仙台七夕に願いを	大笹の七夕飾りを作り若林区文化センターのエントランスホールに飾りつけたり、折り紙ワークショップの実施等、市民センター、文化センター、図書館が一堂に七夕にちなんだ行事を実施。	6月11日 ～8月1日	10	132
★【出前講座】地域げんき倶楽部	卸町5丁目公園仮設住宅へ出向き、東北工業大学の学生と「秋を五感で楽しもう」をテーマに交流事業としていも煮会を実施。	11月14日	1	35
●若林区東西線沿線魅力発信事業 若林区東西線沿線魅力探検隊	みんなで『堀』起こし　―六郷堀・七郷堀がおもしろい―をテーマに展示や関連講座として堀の魅力について歴史や暮らしの視点から講話やワークショップなどを実施。	8月18日 ～9月13日	4	735
夕ぐれどきのミニコンサート	夏の夕べに古楽器によるバロック音楽のコンサートを実施。	7月24日	1	60
若林区中央市民センター第22回学習発表フェスタ	地域で活動している団体・個人の学習成果発表の場として開催。ステージ発表、作品展示、テーマ展示、体験コーナーなどを実施。	3月20日	1	1,150
若林区中央市民センター事業懇話会	各団体からの事業の紹介や次年度の連携事業に向けての意見交換を実施。	12月22日 2月23日	2	22
読み聞かせボランティア養成講座	入門編として、ボランティアの心構えや読み聞かせの技術を学ぶ講座を実施。	9月11、25日 10月9、23日 11月6日	5	53
ジュニアリーダー定例会	毎月1回、要請確認、研修、情報交換などの定例会を実施。	4月19日 ～3月6日	12	58
市民企画会議「わくわく！ママ・パーク」	子育ての当事者である若い母親による企画会議。5回連続講座「ママの学びスイッチON!!」を開催した他、自主研修として各種の体験講座等を実施。	5月8日 ～3月25日	16	76
若中サークル案内月間～あなたもはじめてみませんか～	サークル情報の収集を行うとともに、サークル紹介の展示の実施。	3月15日 ～3月30日	1	382

七郷市民センター

〔沿　革〕

七郷市民センターは、地元住民の要望により「七郷公民館」として昭和58年4月に保健センター・コミュニティ防災センターとの複合施設として開館し、平成元年には「七郷公民館・市民センター」となり、若林区の拠点館となった。平成 2 年には「七郷市民センター」と改称。平成 5 年 9 月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成 14 年 4 月児童館を併設、さらに平成 22 年 2 月に大規模改修工事を終え、再開した。

近年、七郷地区は、復興公営住宅や防災集団移転を含め土地区画整理事業が進展し、地下鉄東西線開業も相まって新しいまち並みが形成されており、今後のまちづくりに向けた市民センターが果たす役割は大きくなっている。区役所はじめ諸機関、地域団体との連携を深め、新旧住民がつながりを築き共に支え合うまちづくり、文化づくりを推進できるよう、組織的に事業を推進している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●若林区東西線沿線魅力発信事業－若林区東西線沿線魅力探検隊　MAP 編		
参加者	市内にお住まいの高校生以上	延参加者	128 人
開催日	全5回　　9月 19 日(土)、10 月 10 日(土)、11 月 14 日(土)、11 月 29 日(日)、3月 6 日(日)		
協力者・協力団体	若林区まちづくり推進課、東北工業大学		
ねらい	地下鉄東西線六丁の目駅と荒井駅を散策し、七郷ならではの「こだわり情報」を発信できるマップ作りのワークショップを行うことで、人材の発掘・育成やネットワークの拡大を目指す。		
概要・成果	地下鉄東西線は、13 駅の内 6 駅が若林区にあり、平成 25・26 年度にかけて若林区と若林区中央市民センターの共催により宮城野通・連坊・薬師堂・卸町各駅のマップを作成している。平成 27 年度は若林区と当市民センターの共催で六丁の目駅・荒井駅のマップ作りに取り組んだ。参加者は、東北工業大学生と共に応募した 18 名。応募した参加者は地域の方が多く、たくさんの地域情報を新発見・再発見することにつながり、七郷の「こだわり情報」をマップに盛り込むことができた。できあがったマップは多くの方に喜ばれている。また、単に、区役所との連携にとどまらず、区役所を介して大学や事業者と幅広く連携できたことで、それぞれの団体・人材とのつながりが生まれた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育て支援講座「ママ友作って毎日はっぴぃ」	参加しやすい子育ての交流・仲間作りの場を提供した。家庭健康課のお話と交流会、フラワーアレンジ、エアロビクス、ぴよぴよ隊演奏会、ちびっこ運動会	5月 21、28 日 6月 4、11、18 日	5	173
★七郷子どもクラブ	子どもの健やかな育ちを支援するため、学校外での様々な体験を通して仲間づくりや異年齢交流の機会を提供した。ペットボトルロケットを飛ばそう、みんなでスイカ割り、草木染めを楽しもう、冬の動物園、おはなし音楽館	6月 6 日 8月 22 日 10 月 17 日 12 月 19 日 2月 27 日	5	241

インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童と世話人を対象に、子ども会の知識やレクリエーション等を学習する機会を提供した。子ども会活動について、KYT をしよう、子ども会と世話人の役割について、レクリエーションゲームの進め方	2 月 21 日	1	39
●七郷老壮大学	地域の高齢者が心豊かなシニアライフを送るため、学習の場、受講者間の交流の場を提供した。生活習慣病を予防する、ふるさと七郷の歴史について、音楽と笑いで健康に、野草園の夏の山野草、運営委員会企画講座等	4 月 8 日 ～3 月 9 日	12	975
★定点観察 「今と未来をつなぐ」	日々変貌している七郷地域の中で、変化の著しい地点をピックアップし定期的に写真で記録した。定例会、写真整理、写真展開催、館内展示等	5 月 15 日 ～3 月 3 日	12	59
★市民企画講座 「まるごと！七郷」	地下鉄開業に伴う駅周辺整備事業や宅地開発が進み、新たな街並みが形成され転入者が増加していることから、新住民向けの「地域を知る講座」を実施した。七郷まちさんぽ、サークル体験会、地元大豆で豆腐作り	10 月 31 日 11 月 7 日 1 月 14、15、16、 27 日	6	176
「七郷学びの応援隊」企画講座　宮城まるごと伊達な体操「んだっちゃ体操」～いきいき体操みんなでやっぺし～	土地区画整理事業や復興公営住宅の建設、更に地下鉄東西線開業と新たな街づくりが進み、若い世代と共に高齢者も多く流入していることから、体操を通して新旧住民の交流を深める機会を提供した。んだっちゃ体操	10 月 20 日	1	41
七郷学びの応援隊	管内小学校社会学級と連携し、地域住民の視点でニーズを反映させた講座を企画・実施した。地域課題の抽出と講座開催に向けての話合い、講座開催、振り返り	6 月 24 日 7 月 15 日 9 月 3 日 10 月 7 日 12 月 8 日	5	24
★荒浜地区交流事業 「秋だ！みんなで芋煮会 2015 」	荒浜地区の方々が気軽に交流できる場、絆をつなぐ場を提供した。芋煮会、荒浜のジオラマと写真展示、あのときどうだった！震災の記憶、ゲーム大会&マジックショー、コンサート、出店コーナー、子どものあそび場等	10 月 4 日	1	350
★七郷市民まつり	各種サークル活動をしているグループの学習成果発表の場とし、また、新旧住民のより良い交流の機会とした。謝恩即売、演芸発表、展示発表、消防展示・体験、バザー、保健センターまつり、児童館まつり他	11 月 22 日	1	9,500
★●復興公営住宅入居者交流事業「つながろう！この地で」	復興公営住宅に入居されている方々が気軽に集い交流できる場を設定し、顔の見える関係づくりへとつなげた。七夕飾りをつくろう、ウエルカムショー&おいしいコーヒーの入れ方講座、マジックショー&簡単なマジック講座	7 月 21、31 日 8 月 1 日 1 月 30 日 3 月 5 日	5	285
★七郷地域懇和会	地域課題や学習ニーズを把握するため、懇話会を実施した。市民センター利用団体と地域課題や学習ニーズについての意見交換、町内会と地域課題や学習ニーズについの意見交換等	12 月 12 日 2 月 3 日	2	40
★未来への伝言～七郷を語り継ぐ	震災の記憶や七郷のまちの記憶を次代に伝え、発信していくための語り部ボランティアを育成した。復興の歩み～農業復興の記録から、農地復興の歩みと現地見学、語り部ボランティアとの交流とサークル立ち上げについて等	4 月 25 日 5 月 23 日 6 月 27 日 7 月 25 日 9 月 26 日 10 月 24 日	6	61
ジュニアリーダー活動支援「郷郷七郷」定例会	子ども会活動の活性化のための中高生ボランティア活動であるジュニアリーダーの活動を支援した。定例会、実技交流研修会等	4 月 19 日 ～2 月 28 日	13	52
市民企画会議 「あなたと私とみんなの七郷」	地下鉄開業に伴う駅周辺整備事業や宅地開発が進み、新たな街並みが形成され転入者が増加している。そのことから、新住民向けの「地域を知る講座」を企画・実施した。企画会議、講座実施、振り返り	5 月 9 日 ～2 月 20 日	9	40

荒町市民センター

〔沿　革〕

荒町市民センターは、昭和 47 年に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称変更した。施設は、老朽化と機能拡充の必要性から現在地に建物を改築し、平成 22 年 2 月 2 日に開館した。

当市民センターが所在する荒町地区は、仙台市のほぼ中心部、昔からの老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台藩の名残を今尚残している地域である。

地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便に恵まれ地域の方をはじめ市内全域から多くの市民に利用されている当市民センターは、日中はもとより、夜間も仕事帰りの活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	荒町四季物語		
参加者	成人	延参加者	199 人
開催日	全 11 回　　7 月～3 月		
協力者・協力団体	荒町商店街振興組合		
ねらい	歴史ある荒町商店街の活性化に寄与するため、振興組合の協力の下、伝統ある七夕作成のほか、四季折々の行燈をつくり展示し、荒町地域を四季を通して応援する。		
概要・成果	季節ごとに七夕飾り・お月見行燈・クリスマスイルミネーション・お雛様行燈を作成し、商店街やセンターに飾った。 本講座で作成した七夕飾りは荒町商店街七夕で金賞を受賞。お月見行灯は、荒町小学校「夢教室」へ出前講座として開催し作成した。小学生の作品は商店街に展示し、主催講座「ほっとハートコンサート」でも装飾として使用した。また、若林区チャイルドボランティア「チャボ」や太白区「エフエムたいはくキッズ情報局」と連携するなど、活動の幅が広がった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ふるさと体験隊 2015	子どもたちの学びへの興味や探究心のきっかけ作りとして、広瀬川・七夕の竹・地下鉄東西線など地域資源も活用しながら、各種の体験で学びの場を提供した。	6 月～3 月	5	86
あらまち子ども囲碁クラブ	囲碁を通じて地域の子ども達に土曜日の安全な活動の場を提供し、世代間交流やコミュニケーション力の向上を図ることが出来た。ボランティアによる囲碁の基礎知識、対局の練習、礼儀の指導等も身に付いたようである。	4 月～3 月	24	192
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション等を学習する機会を提供することができた。	2 月 13 日	1	79

★【手話通訳付】荒町いきいき講座	聴覚障害者と手話通訳者学習者を対象に安心して暮らすための情報交換や生涯学習の場を提供した。震災後の防災等について再確認の場を提供することができた。	11 月～12 月	4	91
★●あらまち町民大學シルバーセミナー	高齢者が、社会情勢の変化や地域の繋がりが希薄になっている現状に対応し、心豊かな生活を送るための生涯学習の場を提供した。各種クラブ活動の支援、時事問題等の定例講座、館外学習など。	4 月～3 月	11	729
★●防災の力こぶ･そなえて守るＨ２７	幅広く各年代層を対象に、防災に関し多種の内容で講座を行い、防災意識の幅広い底上げが出来た。ＫＩＴのワークショップも行い、避難所運営のスキルアップも行うことができた。また災害時のセンターの体制も多くの方に理解して頂いた。	6 月～3 月	8	184
★地域懇談会	利用者や地域団体､学校関係者と意見を交換し、交通安全、サークル間連携、元気広場の有効活用が話された。交通安全は地域モデル事業で、サークル間連携は事業を通して、元気広場は活動支援業務で行う事とした。	5 月～1 月	3	24
★荒町市民センター･児童館フェスティバル	会場設営や会議等への出席者も例年より多く、話し合いもスムーズに進み共通理解を得る事が出来意識の向上が伺えた。体験コーナーも複数あり子どもから大人まで一緒になって参加するなど交流の場が広がっていた。	10 月	2	2,200
★五橋地域包括支援センター共催事業｢シニアのための安心塾｣	老後の生活の不安と孤独感の軽減を図る為、栄養関係・軽体操・認知症予防のためのアート・交流会を開催。初めての事にも不安なく挑戦できたのは交流がもたらした効果である。	11 月～12 月	4	61
ほっとハートコンサート	当市民センターを利用している演奏家に協力していただき、ミニコンサートを開催した。地域住民が楽しく集える場を提供することで、新旧住民の交流や地域活性化を図った。	9 月 27 日	1	51
ジュニアリーダー定例会	要請確認や活動の準備、情報交換や活動報告など、定期的に集まる場を提供し、ジュニアリーダーの自主活動を支援することができた。仲間同士の連帯感や協調性が育まれ、活動にも活かされたように見受けられる。	4 月～3 月	12	54
折紙で健脳とボランティア	20 人の定員に対して 31 人の応募があった。回数が進むにつれ受講生同士の繋がり・交流が生まれ、会話が多く聞かれるようになった。ねらいであった自主グル―プもでき月 2 回の活動をしている事は成果大である。	7 月～9 月	6	186
市民企画講座 荒町大好き企画会 2015	荒町周辺の歴史やゆかりの人物を後世に語り繋げていくために、荒町界隈に伝わる「首洗いの池」を調査し、紙芝居を作り発表した。また、孫兵衛堀跡解説版や中将七五郎公の記念室についても随時広く市民に公開した。	4 月～3 月	23	155
企画会を経て企画する事業｢消えゆく言い伝えを探して｣	地域に古くからある「首洗いの池」の言伝えを後世に残す為に作成した紙芝居を活用し、企画員の調査からの講話と紙芝居の上演、紙芝居に関係する箇所の散策などを行った。地域に対する理解が深まった。	2 月～3 月	2	20

六郷市民センター

〔沿　革〕

昭和 56 年、地域住民の福祉増進を目的に保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め、地域の社会教育活動の場として地域に定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成 2 年には「六郷児童館」を併設、さらに平成 22 年 12 月に大規模改修工事を終えて再開し、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地域は名取川と広瀬川の合流点を有し、かつて河口には美しい干潟や貞山堀運河、屋敷林の居久根など自然環境や歴史的遺産が残されていた。しかし、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、沿岸の六郷東部地区は住宅・学校・農地・事業所といった生活基盤のほとんどが壊滅的かつ甚大な被害を受け、地域が一変した。

現在、地域住民・町内会・各団体と連携を保ち、情報を共有しつつ、地域を支えられる人材育成の推進と地域の活性化に努めている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	「六郷お月見会」		
参加者	地域住民	延参加者	58 人
開催日	全 1 回　　9 月 25 日（金）		
協力者・協力団体	ハートフル六郷協議会（六郷地区民生委員児童委員協議会・六郷地区老人クラブ連合会・六郷スポーツ少年団・六郷地域包括支援センター・託児ボランティアクリップ・六郷児童館）		
ねらい	伝統行事や文化に対する興味・関心が希薄になっている昨今、家庭や地域でこれらの行事を目にすることは少なくなっている。そこで、地域の諸団体と連携し「お月見会」を開催し若い世代に伝統行事に触れる機会を提供するとともに、地域交流を図る。		
概要・成果	お話会・月の観察・簡単工作・お茶会を合せて実施した。各コーナーをスタンプラリーで回ることで、子育て中の親子から高齢者まで、幅広い世代の地域住民が関わりを持ち、世代間交流が広がった。参加した小学生親子が伝統行事に対する興味関心を深め、若い世代に伝統文化を伝えることができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★親子でクッキング楽習	管理栄養士による講話（みんなの食育アカデミー）、調理実習（デコ寿司、チヂミと蒸しパン、簡単オムライス）。	11 月 21、28 日 12 月 5、12 日	4	56
★にこにこ子育てサロン	手遊びとおしゃべり、絵本の読み聞かせとおしゃべりなど。	5 月 19 日 7 月 15 日 11 月 11 日 2 月 10 日	4	45
おやこで遊ぼう！ポップ広場	親子でフラワーアレンジメント、おくずかけの学習と試食、親子でリンパマッサージ、ヨガでリラックス。	5 月 26 日 7 月 14 日 10 月 27 日 1 月 19 日	4	31
ジュニアリーダーと遊ぼう	レクリエーションゲーム(ちょっとばあちゃん、仲間集めゲーム、おーいたいへんだ！)、「六郷復興の集い」においてモグラたたき。	10 月 14 日 11 月 7 日	2	134

インリーダー研修会	世話人を対象に子供会活動の意義や役割についての講話、小学５年生対象に行事プログラム作成演習、両者が参加してレクリエーションゲーム実習。	２月 13 日	1	37
中高生の六郷クラブ	仙台東高マジック部によるマジックショーと簡単マジック指導、六郷中バスケットボール部指導でパスやドリブル、シュート練習、六郷中ハンドボール部指導で鬼ごっことドッジボール対戦、仙台東高英語海外文化部指導で英語クイズなど。	６月 27 日 ８月 1、22 日 10 月５日	4	94
★お仕事たんけん隊	地域にある事業所などを訪問し、その仕事の役割や内容の学習。見学場所（陸上自衛隊霞目駐屯地、地下鉄東西線荒井車両基地、若林消防署六郷出張所）	７月 24 日 ８月５日 ３月５日	3	35
●六郷あすなろ大学	講話（六郷の歴史、振り込め詐欺＆交通安全、今日から始める健腸生活、寸劇と健康体操、井上ひさしの生涯と作品、演芸ひとり座)、自主企画（わなげ大会)、自主企画・移動学習、クリスマスコンサート、健康体操	５月 21 日 ～3 月３日	10	646
おとなの給食交流会	授業参観､給食を食べながら児童とおしゃべり、児童・参加者双方からの感想発表。	12 月 10 日	1	8
★●六郷地域防災事業	六郷中学校区防災訓練（一時避難場所・指定避難所への避難訓練、避難所開設訓練、炊き出し訓練、初期消火訓練、AED 取扱い訓練、要救護者搬送訓練など）	９月 12 日	1	380
★ペットと正しく付き合うワンニャン講座	講話（飼い主の心得～一生付き合うパートナーとしてのペット、震災とペット～震災時にすべきこと)、講話と実習（飼い主のモラルと動物との触れ合い会)、実習とサロン（犬用クッキー作りと交流会)。	５月 16 日 ６月 20 日 ７月 25 日 ８月 29 日	4	81
★サロン★シング・あ・ソングーみんなで歌いましょうー	童謡や唱歌を歌って交流した。「六郷復興の集い」ステージ発表に参加した。	５月 15 日 ～3 月４日	9	150
★●元気！六郷復興の集い～希望の光を～	利用団体や住民の作品展示、ステージ発表、模擬店、老人会の輪投げコーナー、ジュニアリーダーと遊ぼうコーナー、フリーマーケットコーナー、児童館コーナー、保健センターコーナー、大抽選会など。	11 月７日	1	3,150
★メダカのがっこーー六郷の自然考察ー	センター周辺の田んぼなどで水生動物採取をしながら、生き物に関しての講話。	８月 1、８日	2	30
★市民センター･児童館合同懇談会	各団体の自己紹介、活動案内、地域課題などの情報共有と意見交換。	９月８日	1	21
★市民企画講座｢ちょこっと学校に泊まろう！｣	竹コップ作り、タグラグビー、プール、夕食作り、キャンドルファイヤー、肝だめしなど。	７月 25 日	1	56
★市民企画講座｢館長さんと火起こし体験｣	火おこしを体験して､おこした火でパンを焼く。	２月 20 日	1	19
ジュニアリーダー「六郷村」定例会	派遣要請の連絡・調整、ゲーム進行等のスキルアップとメンバー間交流。	４月 26 日 ～3 月 27 日	12	43
市民企画「六ゴーイング」	事業企画会議と反省会	６月６日 ７月 24 日 ２月 13 日	3	6

若林市民センター

〔沿　革〕

若林市民センターは、平成 3 年 4 月に若林児童館、コミュニティ防災センターを併設して開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。

管内は藩政時代伊達政宗公ゆかりの史跡や広瀬川舟運、商人の町の歴史ある町名を残すとともに、広大な河川公園などがあり、自然に恵まれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★●◎みんなでつくる〝活気と思いやりのあるまち若林〟		
参加者	若林小学校児童及び地域の諸団体・地域住民	延参加者	792 人
開催日	全 5 回　　5 月 12 日（火）・7 月 2 日（木）・7 月 14 日（火）、10 月 27 日（火）、3 月 15 日（火）		
協力者・協力団体	若林小学校・若林小学校 PTA・若林地区町内連合会・若林西せせらぎ会・若林地区社会福祉協議会・民生委員児童委員連絡協議会・日赤奉仕団・若林消防団南材分団・若林地区婦人防火クラブ連合支部・若林区まちづくり推進課・若林区中央市民センター		
ねらい	若林地区の将来を担う若林小学校の児童を核に、町内会をはじめとする地域の諸団体と学校、PTA、市民センター等が協働して事業を実施し、地域全体で子ども達の成長を支援するとともに、本事業を通じて人と人との繋がりや団体と団体との連携をより強固なものにし、地域コミュニティの充実を図り、若林地区を活気と思いやりのあるまちにすることを目的とする。		
概要・成果	若林小学校の児童と若林西復興公営住宅の入居者が一緒に花植え作業を行い、交流し、元気を届ける事業を春・秋 2 回実施した。この事業をきっかけに、子ども達が学校行事の学習発表会に若林西復興公営住宅の方々を招待するという展開もあって、心の復興支援として大いに効果があったと考える。また、若林小学校 PTA 事業として「親子で防災ゲーム in 若林」を開催した。この事業は、小学生を持つ若い世代が地域活動に参加するきっかけづくりと防災意識の涵養を目的としたもので、開催に当たっては、町内連合会をはじめ、学校近隣の町内会や諸団体の支援のもと、交流を深めた。3 月には、復興公営住宅に入居する方々が主体となり、入居の際、温かく迎え入れてくれた地域の方々に「ありがとうイベント」としてコンサートを開催し、地域への帰属意識が高まった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育てタイム～ママの心と体をメンテナンス～	母親が心身ともに健康でリフレッシュするため、初回は親子一緒に手遊び等行い、2 回以降は託児付きとし、2、3 回目は骨盤体操、リフレッシュ体操の実技を、4 回目は子育ての悩み等を話し合い不安の解消を行った。	5 月 28 日 6 月 4、9、18 日	4	18
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会の次年度役員予定児童と世話人を対象に、子ども会活動の心構えや運営の仕方、レクリエーションゲームの進め方などの研修を行った。	2 月 20 日	1	63

わかばやしキッズ体験クラブ	小学生を対象に学校や家庭ではできない学び・体験・交流を目指した講座を行った。①ＬＥＤ工作物を作成するエコ講座②フナを解剖し、体の仕組みを学ぶ講座③気象現象を実験で学ぶお天気講座。	9月19日 10月10日 11月29日	3	43
★●中学生のための防災教室	八軒中学校の生徒を対象に防災ゲームクロスロード、応急手当の仕方、救命処置の方法、ロープの結び方などを実施した。	9月14、24、28日 10月19、29日	5	83
若林小学校連携事業「若林地域探検」	若林小学校5年生を対象に若林城を中心とした地域の歴史を学ぶ場と機会を提供した。1回目は講話、2回目はブックトーク、3回目は若林城跡を歩く校外学習を行った。	10月21、22日 11月17日	3	153
古城小学校連携事業「仙台まち再発見」	古城小5年生を対象に、自分たちの住んでいる地元の歴史や地理等を学ぶ機会を提供した。また校外学習として各々が学んだ場所を訪ねて実体験を重ね、学んだことを発表し、地域への愛着と理解を深めた。	9月15、18日 10月28日 12月11日	4	208
市民企画講座「仙台の黄檗宗と観心院さん」	伊達家七代藩主重村公夫人「観心院」の、桃源院への関わりと黄檗文化について学んだ。伝来当時は異国文化のあこがれであり、現代にも市民生活の中に多く残っていることを理解した。灯篭流し、おくずかけなど。	10月8、15日	2	71
★若林老壮大学	仙台の歴史、栄養学、収納術、最新の医学、国内外の時事問題などのほか、若林西せせらぎ会との交流の場などで構成した。閉講式においては民謡と三味線演奏を鑑賞した。	4月10日 ～3月4日	12	692
出前で交流わかばやし「ヨーガをはじめよう！」	復興公営住宅居住者（若林西せせらぎ会）を対象したヨガ講座。	7月8、22日	2	23
★災害に強い街をつくろう	古城小学校区の避難所運営担当者を対象に活動班イメージトレーニング（ＫＩＴ）を実施した	8月22日	1	42
気軽にコンサート in わかばやし	生演奏を気軽に聴く機会を提供した。1回目はフルートとピアノ演奏、2回目は管弦5重奏、3回目はボサノヴァギター演奏と合唱、4回目はサックスの演奏会を行った。	6月27日 9月26日 12月19日 2月27日	4	146
★若林ふれあいまつり	地域団体や利用サークルによる作品展示、ステージ発表、出店コーナー、児童館あそびひろば等。	9月6日	1	1,000
★地域懇話会	地域の諸団体、学校、ＰＴＡ、当館利用のサークルを対象に開催した。	3月4、8、11日	3	18
市民企画会議「仙台の今・むかし」	それぞれが歴史資料を発掘し、地域の歴史を学び、その成果をまとめ発表（老壮大学）につなげた。また、岩切歴史探訪会と交流を持ち、今後の活動の在り方を探る学習の場とした。	4月23日 ～3月17日	11	105
読み聞かせボランティア養成・スキルアップ講座	読み聞かせやボランティアを行う上での基本についての講話と、紙芝居や絵本の選び方、手あそび等の実技。	11月19、25日	2	32
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーへの要請確認・調整及び活動に必要な技術の習得、メンバー同士で定期的に集う場とした。	4月19日 ～3月6日	12	39

沖野市民センター

〔沿　革〕

沖野市民センターは、平成３年４月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。東側に田園が広がり、西側はバイパスを境に住宅が密集している。多種の木々と、老人クラブや地域の方々が善意で植えてくださった花壇が、センター前広場に彩りを添えており、こうした花と緑豊かな広場を持つ当市民センターは、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯学習活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んである。また、町内会や老人クラブの結束力が強く、活動も活発で、学校や他の公共施設等とも円滑な関係を保っている。様々な分野の達人も多く、地域人材も豊富な地域である。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**★沖野地区総合防災訓練－若い力で地域を守る－**		
参加者	沖野中学校生徒、沖野地区の住民	**延参加者**	80 人
開催日	全３回　　10 月 7 日（水）、10 月 14 日（水）、10 月 24 日（土）		
協力者・協力団体	沖野地区災害対策委員会（沖野中学校、沖野小学校、沖野東小学校、民生委員児童委員協議会、沖野老人福祉センター、若林消防署六郷出張所、沖野地区町内会、沖野地区婦人防火クラブ、若林区保健福祉センター、若林区保護課、若林区まちづくり推進課、若林区区民生活課、仙台市農業委員会、若林区社会福祉協議会）、沖父ちゃん会（沖野東小学校おやじの会）		
ねらい	学校・地域諸団体と緊密な連携を図りながら、市民センターを会場とした防災講座を実施し地域活動の拠点としてのセンターを地域により一層浸透させていく。中学生を対象とすることで、地域全体の防災意識の向上を図るとともに未来の地域活動を担っていく若い力を育んでいく。		
概要・成果	地域の防災訓練の機会に、負傷者弱者搬送、応急手当といった市民センターが補助避難所として求められる事態を想定し、地域住民と中学生が災害時の対応を学んだ。 学校、町内会、地域団体とさらに多くの協力を得て開催することができ、これによって地域の防災力の強化に繋がり、市民センターと諸団体の関係もさらに緊密になった。 また、訓練に参加した中学生の熱心に取り組む姿を皆が認めてくれたことは、中学生にとって地域で頼りにされているという自覚を促す機会となった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●笑顔で子育て	育児相談、絵本の選び方と読み聞かせの仕方、ベビーマッサージ、生け花体験等、親子で楽しみながら子育てについて学んだ。	8 月～11 月	5	115
親子でチャレンジ	沖野地区の田んぼや用水路を活用し、水辺の生き物について学んだ。親子で楽しく簡単に作れる料理教室を開催した。	6 月～9 月	3	108
沖野っ子見守隊	子どもとの接し方や配慮、支援について学んだ。	9 月～2 月	4	49
伝えよう仙台伝統七夕	老人クラブの方々が中心となり、沖野小と沖野東小の子供たちと七夕飾りを完成させ、その歴史を学んだ。	6 月～7 月	4	212
インリーダー研修会	子ども達自らゲームの内容などを計画し、実際に披露してもらった。世話人も子ども達と楽しそうにゲームに参加していた。	2 月 13 日	1	47

いろいろな言葉でごあいさつ-外国の文化を学ぶ-	沖野中 ALT の先生にアメリカの文化、スポーツ、英会話について学んだ。東高校英語科の生徒から英語、フランス語など様々な言語のあいさつを学んだ。	8 月 4、7 日	2	41
おきの学園-学びのスクール -	体験講座として、座禅体験、茶道体験、生け花体験、洋菓子作り体験、食育講座、科学実験を行った。	7 月 30、31 日	2	316
お父さん出番です	輪ゴム鉄砲やクリスマス飾りを作り、ドッジボール大会を行った。	8 月～12 月	3	122
★●沖野耕友大学	健康講座、サイエンス講座、防災講座、芸術鑑賞、自主企画講座、国際交流講座等、幅広く学び、参加者同士の親睦を深めた。	5 月～3 月	11	659
礼法･仙台藩作法から学ぶ伊達家の美学	仙台藩礼法の歴史と精神について学び、儀式で使う折形を作成した。	11 月 26 日	1	27
沖野かいわいこぼれ話	沖野で生まれ育った郷土史家が語る歴史を地域全体で共有できる冊子としてまとめることで地域への愛着心を育む一助とする。	12 月～3 月	4	35
社会学級との事業企画検討会	企画会議、講座実施、反省会	6 月～11 月	5	57
沖野地区市民まつり	沖野で活動する各サークル等のステージ発表や作品展示を行った。また、小中学校の吹奏楽、地域団体の模擬店、フリーマーケット、若林消防署や沖野地域包括支援センターによる体験コーナー等も実施した。	11 月 2、3 日	1	9,960
沖野地区懇話会	市民センター事業について運営方針及び開催講座の説明、地域情報の収集、懇談	8 月～2 月	2	20
ジュニアリーダー定例会	徐々にメンバーが増え活動が盛んになり、数々のイベントで活躍していた。ボランティアに対する意識や、やる気が増していくのが分かった。	通年	12	70
東日本大震災後の地域の活動記録 - おきのかわら版 -	防災・減災についての学習会や座談会を通し、沖野かわら版 6 号（11/1 発行）・7 号（3/11 発行）を制作した。	5 月～2 月	11	94
市民企画会議	地域課題や現代のニーズに応える講座開催に向けて企画会議を行った。	通年	5	44

太白区中央市民センター

〔沿　革〕

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなす JR 長町駅前に開館した複合施設内にある。同施設には当市民センターの他、太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターも設置されている。JR やバス、地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れた立地のため、近隣の広い地域の生涯学習活動や交流の拠点として、多くの市民が利用している。

当市民センターの周辺は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のある地域であるが、近年は地下鉄沿線・あすと長町地区での大規模小売店の進出やマンション建設等が進み、人口の増加が著しく、さらに復興公営住宅の完成や仙台市立病院の開院等、これまでにも増して多くの滞在人口がのぞめる地域となってきている。当市民センターではこうした状況を踏まえて、地域コミュニティの活性化にも積極的に取り組んでいる。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	ながまち子ども鉄道博士 ～鉄道から長町を考える～		
参加者	小学 4～6 年生と保護者	延参加者	40 人
開催日	全 3 回　　12 月 23 日(水・祝)　1 月 16 日(土)　1 月 23 日(土)		
協力者・協力団体	ＪＲ東日本長町駅		
ねらい	公共交通の要衝である長町の特徴を活かし、子ども達が都市交通として利便性の高い鉄道について学び、公共交通機関の重要性やこれからの長町地域について考える機会とする。また、親子対象とすることにより、親子間や参加者相互の交流を育むことができ、様々な目線で地域の発展にも寄与することができる。		
概要・成果	①「ながまちの交通事情」～鉄道と自動車～②「仙台のまちと近代交通」(仙台市歴史民俗資料館への移動学習) ③「長町駅の歴史と駅見学」の全 3 回を行い、子ども達は、鉄道というひとつのテーマのもと、自分が生まれる前の出来事などを学ぶことができ、より一層地域に愛着を持つことができた。また、親子を対象にしたことで、互いにコミュニケーションをとりながら鉄道だけでなく地域の歴史を学ぶことができ、親子間の絆づくりや社会性を育むことにもつながった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
★●ママたちの防災ワーク	子育て中の母親を対象に、太白区消防署からの専門知識を学び、実技としては身の回りの物で遊ぶ楽しさと、普段から乾物を使いこなし、いざという時の備えとする調理を行った。学んだ事をヒント集としてリーフレットにまとめ配布した。	8 月 26 日～3 月 9 日	12	58
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、来年度リーダーとして活躍する児童と世話人を対象に社会教育主事の講義を受けレクリエーションゲームを体験してリーダーとしての自覚を持った。	2 月 7 日	1	90
●「エフエムたいはくキッズ情報局 2015」長町支局	地域学習とアナウンス研修及び地域ボランティアとの交流取材を行い、番組原稿作りを体験し地域情報や取材内容をラジオで発信した。また、市民センターまつりでのボランティア活動の経験やその内容を成果報告会で発表した。	6 月 21 日～1 月 16 日	12	94

夜のぶらぶら長町見聞録	地域商店街と連携し各店舗を会場に①いまどきの葬祭事情②大人の食育をテーマに講話と実技により開催した。学習や交流をとおして人材発掘に努め地域作りの強化を図った。	11 月 10 日 2 月 24 日	2	17
太白区中央老壮大学校公開講座	第 1 回演題「和食のすすめ～魚食と健康～」講師は宮城大学食産業学部教授、西川正純氏。日本古来の魚食文化を健康寿命との関連性についての講演会。第 2 回「漫談と落語」仙台ほでなす会 3 人による口演。	5 月 15 日 2 月 5 日	2	781
太白区中央老壮大学校 いきいき健康コース	いきいきと健康に暮らすためのヒントとなるようなラジオ体操についてや、シルバー川柳などの講座を開催した。	5 月 15 日 ～2 月 5 日	9	629
太白区中央老壮大学校 せいかつ教養コース	生活に関わる住職の話や体育館での健康に関する実技、松島湾の文化遺産、新春コンサート等広範囲にわたる多種多様な学習をした。	5 月 15 日 ～2 月 5 日	9	606
太白区中央老壮大学校 ふるさと文化コース	人との関わりの中で心豊かに生きていくために、地域の歴史・文化・慣習を中心とした講座を講話・館外学習により開催した。さらに受講生同士が交流し合える音楽鑑賞会を実施した。	5 月 15 日 ～2 月 5 日	9	552
ひと・まち賑わい 七夕作り	「伝統の七夕」をテーマに 3 個の飾りと七つ飾りを作成し文化センター玄関前に飾った。その他ミニ七夕作りを開催し手軽に七夕さんを作り仙台の伝統七夕の継承が図られた。	6 月 2 日 ～8 月 8 日	13	143
社会学級連携事業企画会	地域の社会学級と連携、事業を企画・実施することで、地域のネットワークの構築を図った。今年度は企画会で地域課題について情報を共有し解決に向けた講座を開催し、広く地域住民に公開した。	7 月 2、30 日 8 月 27 日 10 月 1 日 11 月 18 日 12 月 2 日	6	16
太白区中央市民センターまつり ながまち交流フェスタ 2015	地域文化の向上と参加者同士の交流を一層深めながら生涯学習の推進を図るために、当市民センターを拠点として日頃活動している各種サークル・団体および地域住民や町内会による学習成果の発表の場として開催した。	10 月 24 日	1	5,600
★●太白区中央市民センター事業懇話会	平成 27 年度太白区中央市民センター主催事業の報告と主催事業についての意見交換、及び地域過大についての意見交換。	11 月 17 日	1	7
ジュニアリーダーながまっくる定例会	毎月日曜日 1 回の 10 時～12 時に定例会を持ち、地域の要請等の連絡調整や情報交換を行った。また各種研修会を開催し、メンバーのスキルアップを図った。	4 月 12 日 ～3 月 27 日	12	80
●ハンドマッサージ･タッピングタッチボランティアスキルアップ講座	スキルアップを図り地域に還元していくために・ハンドマッサージ、タッピングタッチ講習会・傾聴スキル、ボランティア心構えについて講話・センターまつりでの体験コーナー開催に向けて話合、準備、反省会を実施した。	5 月 28 日 ～12 月 17 日	8	121
(複数年事業) 市民企画会議 人情ながまち物語	住民同士の交流と住みよい街を市民センターと協働でプロデュースしていただける方々を募集し、企画会議を行った。 職場体験に来た地域の中学生にも企画員として参加してもらい、若い活発な意見を取り入れながら、企画の実現に向けて話し合った。	1 月 30 日 2 月 13 日	2	7
社会学級連携事業企画講座「小学生ママの子育てカフェ in 長町」	幼児期から思春期へと成長過程にある小学生の子育てについて、大切なこと・親のあり方について講話とワークショップで学習した。グループトークでは保護者同士が率直に意見交換しながら情報を共有し交流した。	12 月 2 日	1	15

生出市民センター

〔沿　革〕

生出市民センターは、昭和 24 年 4 月生出村公民館として発足し、生出小学校の一隅で公民館活動を行なってきた。昭和 31 年には仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。地域住民の強い要望から昭和 42 年 4 月、地域社会教育の拠点として、現在地に「生出公民館」が建設された。その後昭和 55 年 5 月には、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望され、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設として開館した。後に、敷地内に調剤薬局・証明発行センターが開設され、同年の 10 月に第 1 回生出コミュニティまつりが開催され今日に至っている。

平成 2 年には「仙台市生出市民センター」に改称され、市民相互の交流と地域活動振興の拠点、また地域づくりの拠点として利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**●生出かかしまつり･コンテスト 2015**		
参加者	一般、小中学生	**延参加者**	840 人
開催日	全 4 回　　9 月 3 日(木)～9 月 6 日(日)		
協力者・協力団体	生出かかしまつり実行委員会・仙台市選挙管理委員会・太白区選挙管理委員会・仙台南警察署・仙台南地区交通安全協会生出支部・生出学区連合町内会・生出市民センター運営協力委員会		
ねらい	生出地域の国道 286 号線および県道仙台村田線は、交通量も多く、古来より交通の要衝である。これまでも交通安全を目的としたかかしを沿道に設置する取り組みが毎年秋に行われていたが、平成 25 年度からは地域を挙げて取り組み、町内会や小中学校をはじめとする各種団体も参加し、地域連携事業として、コミュニティの活性化と交通の安全に寄与することをねらいとしている。		
概要･成果	事前講座として市民センターでかかし制作講習会も行い、全 84 体のかかしを国道 286 号線沿いに展示。当日は実際の選挙に使用している投票箱を借用し、人気投票を行うと同時にコンサート、屋台コーナー、産直販売、パトカー展示などの催しも行い、生出地区を知ってもらう良い機会となった。地域の秋の風物詩として定着しつつあり、年々協力団体や企業が増えることで地域コミュニティが活性化され、一体感が醸成されてきている。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おいでめんこいサロン	地域の子育てサポーターグループと協力して親子が気軽に集えるサロンを開催し、安心して子育てできる機会を提供した。	4 月 15 日～3 月 26 日	17	415
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童や世話人を対象に、子ども会についての知識や技能について学習する機会を提供した。	1 月 24 日	1	49
おいでわんぱく広場	子どもたちが自由に集い交流することができる場所を定期的に提供しながら、文化体験やスポーツ体験の機会とした。	5 月 9 日～3 月 18 日	15	171
坪沼ホタレンジャー	蛍の生態や蛍が育つ環境について学び、坪沼地区の自然の魅力を発信し、環境保全について学んだ。	6 月 20 日	1	28

子ども参画型社会創造支援事業エフエム太白情報局 2015「生出キッズ盛り上げ隊」	地域の魅力を様々な人々と関わりながら、生出すごろくづくりなどを通して学校の枠を超えて交流を活発化し、自ら学ぶ環境づくりを行った。	6 月 21 日 ～12 月 25 日	10	65
おいで里ネットサマーキャンプ	地元小中学生が学校を会場にキャンプを行い、地域ボランティアやジュニアリーダーから社会参画について学んだ。	7 月 30、31 日	2	43
市民企画講座「サマーキャンプ肝だめし」	肝だめしの実施を通して次世代を担う地域高校生のリーダーシップの育成と活躍の場を提供するとともに高校生と小中学生の異年齢同士の子どもたちの交流の機会とした。	7 月 30 日	1	43
生出地区「食文化の伝承」	農作物の作付けから収穫までを体験し、更に、漬物や味噌など加工まで、地産地消と食文化の伝承を図った。	5 月 21 日 ～11 月 19 日	16	288
出前講座	各地域に出向いて地区婦人部と連携して、歴史や健康講話等の講座を開催することで、学びの機会を提供しながら地域活動を活性化させることを目的に実施した。	5 月 30 日 ～2 月 6 日	15	303
生出朗壮大学	地域住民の身近な生涯学習の場であると同時に住民同士の交流と地域活性化を目指して実施した。	5 月 19 日 ～2 月 19 日	10	361
第 27 回蛍と平家琵琶の夕べ	坪沼地区の活性化のために、伝統文化と地場産品のＰＲを行い、地域の良さを改めて認識し、次世代へ伝統を繋ぐ機会とした。	6 月 27 日	1	470
★●生出地区「災害対応」講座	地域の各町内会、地域団体や学校と連携し防災訓練を実施。避難訓練・防災行政無線通信訓練・避難所運営委員会開催訓練を通じて地域住民の意識の向上を図り、災害に対応できる体制の確立と防災力を充実させる機会とした。	11 月 20 日	1	300
●第 36 回生出コミュニティまつり	地域の方々の日頃の学習活動の発表と地域住民の交流の場を提供するとともに、まつりを通じて地域振興を図ることを目的として実施した。住民参加を促し、地域コミュニティの活性化に寄与した。	10 月 25 日	1	1,760
地域活性化懇談会	生出市民センター運営協力委員会を構成する 22 を超える団体から参加者を募り、意見を交換を行いながら実施し、地域が更に活性化する意識の醸成につなげた。	4 月 22 日 ～3 月 30 日	13	172
市民企画会議「生出盛り上げ隊　おいでもん」	サマーキャンプやコミュニティまつりでの企画や準備、運営に関わることでスキルアップを図りながら地域に貢献できる若い人材の育成を目指した。	4 月 29 日 ～9 月 4 日	7	31
生出物語～いにしえから現在、そして未来へ	多くの方が関わった地域誌を活用し、地域を見直して発信するため、地域の掘り起こしと、地域の人材を発掘し育成を目指した。	5 月 8 日 ～12 月 4 日	7	74

中田市民センター

〔沿　革〕

中田市民センターは、昭和 44 年 10 月、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で 5 番目の公民館として開館した。昭和 56 年 3 月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築し、平成 2 年 4 月には「中田市民センター」と改称。平成 19 年 7 月からの大規模改修工事を経て、平成 20 年 1 月に再開し、現在に至っている。

平成元年度から平成 11 年 6 月までの間は、太白区内市民センター13 館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●伝えよう！伝統の仙台七夕		
参加者	どなたでも	延参加者	64 人
開催日	全 5 回　　7 月 2 日(木)、9 日(木)、23 日（木)、30 日（木)、8 月 5 日（水）		
協力者・協力団体	中田小学校、中田中学校、中田児童館、中田保育所、バンビの森保育園 太白区中央市民センター　中田商工振興会婦人部		
ねらい	昭和 30 年代までは中田地域でも七夕まつりが盛んだったが、住民の記憶から昔の七夕の様子が消えつつある。そこで、伝統ある七夕の歴史を学んで七夕飾りを製作し、仙台七夕まつり期間に合わせて飾ることで、七夕行事の再生と地域活性化の一助とする。さらに隣接する教育機関と連携し飾りを掲げることで、地域一体化の取り組みを目指す。		
概要・成果	太白区内地域連携ネットワーク事業により、中田小と中田中の協力を得ることができた。特に平成 27 年度は中田中生徒が国道 4 号線沿いの飾りを製作することになり、商工振興会婦人部が中学校で製作指導をしたり、町での飾り付けを手伝ったりと新たな交流が生まれた。中学生は地域行事に関わることで達成感を得るとともに、地域への関心が深まった。子どもたちが関わったことで大人の関心も高く、地域行事再生の意識づけとなり、商工振興会婦人部と小中学生との共同製作で中田地域の七夕を盛り立てることができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
父子でやってみよう「父と子のいろいろ体験教室」	地元野菜の収穫体験、名取川でサケの観察および地域清掃、収穫野菜とサケを使った簡単料理	10 月 10、17、24 日	3	45
インリーダー研修会	児童：講話「子ども会活動の意義とインリーダーの役割」、演習：ゲームの進め方 世話人：講話「子ども会活動の意義と世話人の役割」、グループワーク	1 月 31 日	1	55
職場体験学習	主催事業「中田の魅力探訪」準備および参加、図書ボランティア手伝い、市民センター窓口業務体験、市民センターだより印刷補助、消防訓練での避難誘導。	8 月 19、20 日	1	3
●子ども参画型社会創造支援事業「エフエムたいはくキッズ情報局 2015」	各支局との合同研修（ラジオについて・アナウンス技術）や発表交流会、中田支局単独での防災学習（ゲームぼうさい駅伝、クロスロード)、サバメシ作り、救命人門講習、ラジオ収録、事業成果報告会参加。	6 月 21 日～1 月 16 日	13	126

中田老壮大学	入学記念講話・落語・マジックショー、緑茶の効能と美味しい煎れ方、健康体操、ラフターヨガ、歴民館外学習、民謡、遺跡から探る災害の歴史、食育、方言での健康講話 等	5月21日 ～3月3日	10	679
「中田の魅力探訪」-これから編-中田の～昔・今・これから～をまとめる	複数年事業の3年目。平成28年度の成果物制作に向けての検討会、地域の長老からの聞き取り座談会、外部講師による講話、地域巡検 等。	5月20日 ～1月20日	11	101
★●市民企画講座「みんなで防災を考えよう！～子どもと共有生き抜くチカラ～」	地域の方の災害体験談、ゲームぼうさい駅伝中田版、ゲームクロスロード、サバメシ作り、備蓄倉庫見学、エフエムたいはくキッズとの交流会、中田地区総合防災訓練でのブース参加、救命救急講習（ＡＥＤ付）	7月11、25日 8月1、29日 9月26日 10月4日 12月15日	7	81
●ママが作る中田おでかけマップ	中田地域に住んでいる子育てママが自分たちで地域を調べ、同じ子育て中のママのニーズに合った地域マップ冬号・春号を制作	5月27日 ～3月24日	20	142
◎つながる･ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト～まだまだあるよ！中田お宝調査隊～	地域力創造支援事業初年度。“お宝マップ”制作に向けて連携機関全体会議、および4地区の正副リーダー会議、地区単体会議の開催。	7月19日 ～2月27日	12	95
なかだ篝火コンサート	「第 14 回なかだ篝火コンサート～こころのうた～」中田神社境内を会場とし、篝火と竹灯篭を灯した幻想的な雰囲気の中でのコンサートを実施。	9月5日	1	600
中田まつり	センター利用サークル・地域団体及び小中学校・保育所・保育園などによる作品展示、ステージ発表、町内会対抗大会、地域団体・JLイベントコーナー、市民センター特設コーナー、模擬店 等	11月15日	1	4,000
★みんなのお茶っこサロン	平成25年8月から平成26年度も欠かさず毎月開催しているお茶っこサロンを、学習と交流の場として確立しさらに発展させた。	4月22日 ～3月18日	12	273
中田市民センター「気軽に話し合う会」	市民センター利用者による意見要望の収集、教育機関､地域団体との28年度行事日程のすり合わせ	10月16日 2月23日	2	11
ジュニアリーダー「なかだかな」定例会	ジュニアリーダーの活動準備や報告、定例会の開催。助言やサポートなど自主活動の支援	4月12日 ～3月27日	12	75
★市民企画会議「みんなでつくる防災講座」	初回に防災士の基調講話を行い、中田地域に合った防災講座を企画、実施。ゲーム「ぼうさい駅伝」の中田版設問の作成。	5月23日 6月6、13、27日 11月1日	5	35

西多賀市民センター

〔沿　革〕

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和 50 年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和 53 年仙台市として 5 番目の福祉会館として開設された。昭和 58 年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育の充実のために公民館が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成 3 年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	「中学生が考える地域交流会」 三神峯公園クリーンウォーキング＆交流会		
参加者	中学生と地域住民	延参加者	100 人
開催日	12 月 5 日（土）		
協力者・協力団体	三神峯公園愛護協力会、西多賀検定委員会、西多賀北町内会さくらクラブ、西多賀中学校、富沢中学校、太白区中央市民センター		
ねらい	青少年と地域の方との交流を「三神峯クリーンウォーキング＆交流会」として開催し「地域の財産・三神峯公園」の環境美化と歴史について学ぶ。また地域の方との交流を図り地域連携を深めることや地域の行事に参加することにより、中学生に活躍できる場を提供する。		
概要・成果	西多賀中学校の生徒が職場体験の際に提案した企画「クリーンウォーキング＆交流会」を基に開催した。地域住民の憩いの場、地域の歴史的財産である三神峯公園の環境美化と地域の方との交流を図ることで地域活動への関心と異世代間の交流を図り地域連携を深めることができた。また、企画し実施した中学生にとっても大きな自信となった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●ニコニコ子育て	母親同士が情報交換と交流を図り、育児の楽しさや悩みを共有しながら、子育てに必要な知識を学んだ。	6 月 4、11、18、25 日	4	17
中学生の職場体験受け入れ	将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むため、市民センターについて学習し地域の利用者との交流を深めた。	8 月～11 月	2	8
出前講座「中学生職場体験の心構え」	中学生の職場体験がより効果的になるように事前、事後の学習会を開催。事前に働くことの意義や心構えなどを学習し事後体験のまとめを行った。	6 月 26 日 11 月 27 日	2	240
インリーダー研修会	こども会を充実させるため、こども会のリーダーとなる児童と世話人を対象に、こども会についての知識や活動に必要な技術を学んだ。	1 月 31 日	1	74

ジュニアと遊ぼう！	ジュニアリーダー指導のもと小学生が集団の中で楽しく遊ぶ場を提供するため、工作やゲームを行った。	7月24日 10月25日 12月25日	3	469
「地域の自然再発見」魅力いっぱい秋の三神峯公園	秋の三神峯公園で植物観察会と落ち葉や木の実を採集しクラフト作りを行った。	11月14、28日	2	14
こども参画型社会創造支援事業「エフエムたいはくキッズ情報局2015」	取材方法やアナウンスの研修を行った。その後、西多賀地域の公園や寺社へ行き、歴史などを学んだ。また、地域の方へ取材をし、その内容をエフエムたいはくで発信した。	6月21日 ～1月16日	9	38
西多賀レディス講座はあとふるくらぶ	若い世代の方々の参加しやすい講座として健康づくりや手芸等の体験を通して受講生同士が交流できるよう開催。子ども連れでも参加できるようにした。	9月4日 10月2日 11月6日 12月4日 1月8日	5	78
西多賀寿大学	西多賀地域の歴史や健康について講師による講話や体験指導を受けた。クラシックコンサートを実施し公開講座とした。さらに、運営委員による自主企画で交流会を開催した。	5月20日 ～2月17日	10	738
西多賀のたから「お多賀様」を学ぶ	地域の宝である多賀神社の例大祭で披露される神楽舞を鑑賞し舞の意味や面について学んだ。	11月30日	1	12
～地域で支える～知ろう・学ぼう・認知症	認知症について正しく理解するとともに当事者の思い、家族との思いと共に理解することや認知症疾患医療センターの機能と役割と介護サービスの現状について学んだ。	11月12、19、26日	3	50
★考えよう　支えよう防災まちづくり	指定避難所である中学校で開催された防災訓練では避難所運営でのスキルの向上を図られた。また、ゲームを中心に子どもから高齢者まで参加した防災教室では、地域防災・減災への向上につながった。	7月26日 9月26日	2	250
西多賀地域出前講座	震災後の地域の復興に対応した講座を開催。移転してきた住民との交流の機会を作り、市民センターの地域認識・浸透と市民センター事業の理解を図るとともに、地域情報を発見していく場となった。	6月13日	1	70
西多賀ふれあいまつり	地域交流の場を提供するとともに、各サークルの学習発表の場として開催。地域の小中高生の参加により世代間交流が図られた。	10月24、25日	2	7,000
★西多賀地域懇談会	地域内の情報交換及び課題等が話し合われた。高齢化や防災意識に対する問題点が浮き彫りになった。	6月24日 11月20日	2	38
ジュニアリーダー「にしたがっつまん」定例会	ジュニアリーダーの活動を支援するため、要請の調整やゲーム・工作の研修を行った。	4月11日 ～3月19日	12	76
市民企画会「中学生が考える地域交流会」	中学生が主体的に「地域交流」に関わることができる講座を企画し「三神峯公園クリーンウォーキング＆交流会」を開催した。	8月20、21、25、26日 11月11、12日 12月1、5日	8	46
読み聞かせボランティア養成講座	地域で読み聞かせボランティアを広げていくため、読み聞かせボランティアとしての心構えや絵本の読み方、紙芝居、手遊びを学んだ。	6月30日 7月9、16日	3	96
西多賀地域防災ネットワーク支援	地域の防災支援のため何ができるか話し合いが行われ、それが次年度の「考えよう、支えよう、防災まちづくり」の講座につながった。	5月28日 6月24日	2	40

八本松市民センター

〔沿　革〕

八本松市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 60 年 5 月に、コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。さらに平成 20 年 4 月には、八本松児童館が新たに併設された。平成 26 年度に大規模修繕を実施し、平成 27 年 4 月に再開した。

近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、史跡として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ、近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★八本松防災リーダー養成講座		
参加者	地域住民	延参加者	75 人
開催日	全４回　7 月 11 日（土)、8 月 22 日（土)、9 月 12 日（土)、10 月 17 日（土）		
協力者・協力団体	八本松連合町内会、太白消防署		
ねらい	東日本大震災後「八本松地域防災サミット」（平成 27 年度より「八本松地域合同防災会議」と名称を変更）を立ち上げ、会議や合同防災訓練等を、４年間継続してきたが、避難所のリーダー的役割を担う人材の高齢化への懸念をふまえ、臨機応変に対応できる年代層のリーダー養成を実施する。		
概要・成果	発災後の避難所までの動き（準備、経路、心がまえ)、運営ゲームを通して避難所開設の学習、太白消防署の協力により実地訓練を行った。実践に役立つ基礎知識やスキルを身につけることができたという意見が多く聞かれた。講座の受講生は、八本松市民センターと八本松小学校で実施された 10 月の防災訓練でも活動した。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●八本松子育てカフェ～学び&リフレッシュ～	おはなし会、３Ｂ体操、子供の健康についての講話、おもちゃづくりで乳幼児と保護者同士が交流	6 月 3、17 日 7 月 1、15 日	4	44
絵本大好き！読み聞かせ講座	子育て世代を中心とした読み聞かせに興味がある方を対象に、各分野の絵本の解説および読み聞かせ効果や実技を学んだ	11 月 18、25 日 12 月 2、9 日	4	33
キッズの元気時間	小学校と連携しつつ、子供達が小学校の枠を超えて集い、体験を通して自分の住む地域への興味・関心を高めつつ交流。こわいお話の会・ドッジボール大会・サケの遡上観察・ベガ号観察会	8 月 22 日 10 月 14 日 11 月 14 日 1 月 15 日	4	194

ガーデンサポーターⅡ 樹木のネームプレートをつくろう	公共の植栽や地域をより愛する心につなげるため、昨年の八本松公園に続き、市民センター敷地内を中心に樹木名表示を作成し取り付け	1月23、30日	2	16
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとなる児童・世話人を対象に、子ども会についての知識や活動に必要な技術の学習・ゲーム体験	2月14日	1	59
市民企画講座「地域を学ぶ」	地域について学ぶ機会を住民に提供し地元への関心を高めることで、より良い地域づくりを思い描く心を育てる。郡山の曲がりねぎ・十八夜観世音堂と博物館	11月21日 2月23日	2	29
★楽しく学ぼう！パソコン初心者学習室	復興公営住宅住民支援も視野に入れ、郡山中学校を会場に、ワードでチラシや名刺作成、エクセルを使って表・グラフ作成の学習	7月29～31日	3	73
★八本松寿大学	高齢者が充実した生活を送れるよう支援するため、現代的課題・健康・音楽などをテーマに学習しつつ交流を図った。	5月21日 ～2月25日	10	453
あすと長町・八本松・郡山散策	地域資源に目を向け興味・愛着を深めるため、座学で北目城や郡山堀･仙台競馬場などを学習。またあすと長町・長町操車場・郡山遺跡ほかを散策。	9月11、25日 10月2日	3	42
★八本松地域合同防災会議	「八本松地域防災サミット」立上げから4年が経過。より実効的な防災訓練を実施するための会議・防災訓練実施・反省会	6月17日 ～12月2日	7	1,247
社会学級共催事業企画講座「コミュニケーション術を体験しよう」	良い人間関係を築くためのヒントを探り、コミュニケーションづくりの手法を講話と参加型学習で学んだ。	10月7日	1	17
社会学級共催事業企画会	社会学級と情報交換しながら、地域にとって必要な課題を共有し地域の住民が学習体験を得る事業を企画・実施	7月8、30日 8月26日 10月1、7日	5	21
★八本松スマイルコンサート	住民が気軽に集い交流する機会提供として、遊び歌、フォークソング、南米音楽、マリンバ＆ピアノ、フルート＆ピアノのコンサートを開催	8月29日 ～1月16日	5	388
★八本松･郡山地区市民まつり　第１９回うぶすなフェスティバル	あすと長町地区や復興公営住宅の住民を含めた地域住民の交流の場をつくるとともに地域活性化に寄与する。作品展示、舞台発表、縁日、おはなし広場など	10月31日 11月1日	2	1,400
八本松市民センター懇話会	市民センター利用サークル、八本松・郡山2連合町内会及び地域諸団体と地域ニーズや課題を共有し情報交換	2月5、24日	2	27
市民企画会議　「地域で学ぶ」	地域の特性を探りながら、企画員が取り組みたい、学習したいと考えている事柄をまとめ、講座として企画した。	6月18日 ～2月23日	13	70

八木山市民センター

〔沿　革〕

八木山市民センターは、仙台市南西部に位置し昭和 30 年代後半～40 年代中頃にかけて整備・開発された、豊かな自然が残る調和の取れた住宅地である八木山地区に、昭和 62 年 4 月 6 日開館した。平成 20 年 11 月には新しい体育館を増設、平成 25 年度から 26 年度にかけては大規模修繕を実施し、平成 27 年 4 月に再開した。

当市民センター周辺は、八木山動物公園や八木山ベニーランドなどのレクリエーション施設をはじめ、大学、野草園、放送局、総合病院など学術・文化・医療の施設等が揃い、地域住民ばかりでなく広く仙台市民に親しまれている地域である。また、センター隣接地が地下鉄東西線の西の起点駅（八木山動物公園駅）となったことから、今後、地域の生活環境が大きく変貌していくことが予想される。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	第10回秋の八木山フェスタ～こどもにやさしい八木山～		
参加者	どなたでも	延参加者	12,082 人
開催日	全１回　　11 月 3 日(月)		
協力者・協力団体	八木山動物公園、仙台市公園緑地協会、八木山ベニーランド、東北工業大学、八木山連合町内会、八木山南連合町内会、八木山管内小中学校ＰＴＡ		
ねらい	「八木山地区への地域貢献に関する覚書」を結んでいる八木山ベニーランド・八木山動物公園・東北工業大学・八木山市民センターを中心に民営施設、公共施設、教育施設、地域団体等が連携して、八木山地域のひとづくり、まちづくりを推進するとともに、地域活動団体、サークル、個人に発表の場を、地域の小中学生に地域との交流の場を提供する。		
概要･成果	今年から地下鉄「八木山動物公園駅」周辺で集中して実施していこうということで、八木山ベニーランド・八木山動物公園・八木山市民センターを会場に、主催４団体がそれぞれ工夫を凝らしたイベントを実施した結果、昨年より約 2,000 人多い、12,000 人強の参加者があった。 開会式も地下鉄駅屋上の「八木山てっぺんひろば」で行った。ポスターコンクールの作品は各町内での掲示に先駆けて、全応募作品を市民センターに展示したほか、各団体が協賛品を持ち寄って参加賞を用意し、応募者に配布した。 このイベントも１０回目を迎え地域に定着したイベントとなっている。当日の来場者だけでなくイベント前から地域全体で盛り上げる動きが高まったほか、主催団体の連携も年々密になっており、フェスタ以外の日常の活動にも成果が出ている。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
八木山こどものくにまつり	地域の子育て関連団体と連携し、親子で凧作り、凧あげ、焼き芋などを行い、地域の親子や子ども同士・親同士の親睦・交流を図った。	11 月 15 日	1	72
★ママのほっこりタイム	子育て中の母親を対象に、子どもから離れてリフレッシュする時間や子育てについての悩みを話し合う時間を設け、母親同士の交流の場を持った。	6 月 18、25 日 7 月 2、16 日	4	24

仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に子ども会活動の意義や役割を学び、レクリエーションゲームの技術を習得する機会を提供した。	2月21日	1	88
中学生職場体験学習	中学生の将来の職業観の育成を目的とし、窓口業務での利用者に対する接遇、講座の進め方、企画の立て方などを指導した。	8月19～21日	1	4
子どものための囲碁教室	６歳から中学１年生までの子どもたちが、地域の囲碁同好会メンバーを講師として、囲碁のルールやマナーを学んだ。講師との世代間交流を図り、子ども同士切磋琢磨することで子ども達の人格形成の一助となった。	5月9日 ～3月19日	42	546
★広げよう！「八木山防災の輪」～「ぼうさいダック」「ぼうさいダンス」で地域をつなごう～	幼児向け防災カードゲーム「ぼうさいダック」「ぼうさいダンス」を体験受講した中学生が消防関係者や大学生と一緒に地域のイベント等で指導者として活躍した。	6月30日 ～12月12日	6	220
在仙外国人向け日本語講座「日本語ティールーム」	仙台に住む外国人を対象に生活日本語を指導し、快適に生活できるように支援した。	4月22日 ～3月18日	69	573
★やぎやまシニア大学	地域の中で孤立しがちな高齢者が健康で心豊かな生活を送れるよう、様々なテーマでの学びの提供と、参加者同士の交流を図った。	6月11日 ～2月18日	8	584
元気いきいき健康講座	高齢者が住み慣れた場所で安心して快適で張り合いのある生活を送れるよう、健康講話や介護予防体操、調理実習を行った。	10月22、29日 11月5、19日	4	89
第27回やぎやま市民センターまつり	地域や市民センターで活動しているサークルなど諸団体が舞台・展示・体験コーナー等で学習成果の発表の機会とした。	10月10、11日	2	1,950
八木山気軽に懇談会	地域の町内会・各団体、学校支援本部や市民センター利用団体の代表の方々の意見を聞き、八木山の地域課題を探り、その解決を図った。	6月23、24日 11月27日	3	36
★地域防災シンポジウムin八木山	地域の小学生・中学生・高校生・大学生・大人が一堂に会して防災について話し合い、それぞれ自分たちがやるべきことを確認し、地域の防災意識の向上と共有化を進めた。	12月12日	1	120
◎八木山今昔物語～じっくり八木山を学ぼう～	東西線の開通を迎え、八木山の地域資源を見直し、八木山の魅力を訪れる人に知ってもらう活動を通して、地域の次世代層の育成を図った。	6月4日 ～2月25日	12	323
★八木山防災フェスティバル「緑の風　ぼうさいコンサート」	開館記念の大規模コンサートを実施し、多くの方に新しい市民センターに足を運んでもらうとともに、「ぼうさいダック」や八木山オリジナルの「ぼうさいダンス」の浸透を図った。	5月10日	1	150
市民企画会議「八木山盛りあげ隊」	「音楽」をとおして八木山地域を盛上げ愛着を深めるような企画を話し合った。	5月30日 ～12月25日	7	22
市民企画講座「八木山音楽の宝箱」	「おんがくであそぼう！夢色バージョン」「祝・地下鉄東西線開業　石川祐介アフタヌーンコンサートwith八木山コーラス」として八木山小児童、地元在住音楽家等が演奏した。	9月3日 12月9日	2	271
地域の絆プロジェクト「ブロック塀に絵を描こう」	地域の絆づくり推進事業で誕生した大きなブロック塀の壁画を毎年補修し描き加えていくことで、地域全体で守り育てた。	8月4日 ～8月20日	4	65

山田市民センター

〔沿　革〕

山田市民センターは、昭和 62 年 4 月 17 日、旧笹谷街道沿いに戦後住宅街として開発され発展してきた山田地区に、コミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターは縄文遺跡や鹿除土手などの歴史遺産や昔ながらの自然を残す恵まれた環境の中にあり、太白消防署、鈎取郵便局、鈎取球場、縄文の森広場などの公所・施設や小中学校、大学などの教育機関も多く立地している。また、国道 286 号線沿いには大型商業施設が立ち並び、高い集客力を有している。

こうした環境の中、当市民センターは地域の生涯学習や地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**社会学級連携講座「森の中で交流会」**		
参加者	小学生と保護者、社会学級生及び地域住民	**延参加者**	70 人
開催日	10 月 18 日（日）		
協力者・協力団体	上野山小学校、上野山小学校社会学級、太白小学校社会学級		
ねらい	社会学級連携事業企画検討会の中で子どもと地域住民の繋がりが希薄化してきている、という問題が提起され、保護者や地域の方々が積極的に目を配り声がけをし見守ることが大切と意見が出された。そこで地域内にある「楽元の森」を活用し、子ども達が保護者や地域の人たちと交流する場を提供し、顔の見える関係を築き健やかに成長するための一助とする。		
概要・成果	上野山小学校の「楽元の森」に於いて野外調理（一斗缶でピザを焼き、ドラム缶で焼き芋を作った。）をし、子どもと保護者、地域の方が交流する場を提供できた。しかも、日曜日の開催だったので親子での参加が多く、また年齢も幼児から８０歳代と幅が広く異世代間交流ができた。さらに「楽元の森」という地域資源を利用し、地域の魅力を再発見でき愛着を持つことができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●子育て支援講座「みんなの部屋やまだ」	子育て中の親子や支援者を対象に、３Ｂ体操、ハンドマッサージ体験会、おはなし会、ウエルカムパーティー（交流会・防災講座）、おもちゃ作り、誕生学講話、宮教大准教授の子育て講話、情報交換会を開催した。講座終了後の 1 時間、部屋を開放し参加者同士交流の場を設けた。	4 月 22 日 ～3 月 16 日	16	157
インリーダー研修会	次年度より、子どもの会のリーダーとなる児童及び世話人を対象として、活動の意義や役割について講師の話を聞き、行事プログラムの立て方や危険回避について学んだ。ＪＬからは、行事で役立つレクリエーションゲームの進め方について教えてもらった。	2 月 7 日	1	81

ため池の生き物調査「中ため池」編	９月１日に上野山小学校で事前学習会実施。池干し当日の９月１１日は大雨特別警報が出されるあいにくの悪天候で中止。その後、宮城大学生とため池の管理を担当している農家の方、そして地域の方たちとで９月２９日に池干しを実施。外来魚は駆除し在来魚は計測の後、昨年池干しを実施したため池に戻した。小学生の参加は実現できなかったが、池干しの記録を残すことが出来た。	9 月 1、29 日	2	120
★ジュニア地域防災エキスパート養成講座	講師の赤十字山田・鈎取地域奉仕団が事前に勉強会を実施した後、その参加者を講師に中学生を対象とした救命救急三角巾の使用方法の講習会を実施。さらに２４日の地域防災訓練の際に、講習を受けた中学生が、小学校・中学校それぞれの防災訓練の場で、参加者に三角巾の使用方法を指導した。	10 月 8、9、14、24 日	4	52
やまだシミセン「ジュニアスタッフ」活動	7 月から 4 回開催。7 月は活動内容と年間予定を説明したあと、市民センター館外の掃除を手伝った。10 月は花壇でチューリップの球根植えを行い、また山田ふれあいまつり受付で配布するひまわりと朝顔の種の準備と、まつり当日の子どもの広場の手伝いをした。	7 月 18 日 10 月 14、27、28、29、30 日 11 月 1 日	7	12
楽しく学ぼう！「山田わんぱくクラブ」	6 月は太白マイスクール児童館と連携して、おはやし劇の観劇会を太白小学校で開催。9 月は上野山児童館、縄文の森広場と連携して、野外遊びを縄文の森広場で開催した。1 月は団子挿しづくりともちつき体験会を山田市民センターで開催、2 月は人来田マイスクール児童館と連携して、人形劇の観劇会を人来田マイスクール児童館を会場に開催。	6 月 27 日 9 月 5 日 1 月 6 日 2 月 27 日	4	160
山田豊齢大学	高齢化社会に対応したテーマの講話（防犯講座、交通安全教室、医療講座等）や音楽、演劇鑑賞、地域について学ぶ講座等を開催し、地域の高齢者が共に学び合い、交流と親睦を深めた。	5 月 14 日 ～3 月 10 日	9	629
★福祉まつり	山田鈎取地域社会福祉協議会と連携し、講話とコンサートの「福祉フォーラム」開催。同時に、２５日、２６日の２日間、地域でサロン活動を展開している団体をパネルで紹介した他、地域の福祉施設の利用資料などを展示し、来館者に PR した。サロン活動の１団体による介護予防につながる体操のデモンストレーションや西多賀病院による骨密度測定も実施した。	8 月 19 日 9 月 3、25、26 日	4	212
★山田鈎取地域防災訓練	準備会 1 回、実行委員会 3 回、実施及び反省会を含めて計 6 回を予定通り行った。今年初めて、上野山小学校区、山田中学校区、山田市民センターの 3 か所で同時開催し、実施当日は合計で 1,785 名の参加者を得ることが出来た。	6 月 25 日 7 月 15 日 9 月 25 日 10 月 16、24 日 11 月 5 日	6	2,016
社会学級連携事業企画検討会	上野山小学校社会学級・太白小学校社会学級の企画員メンバー８人と３回の企画会を経て１０月１８日（日）上野山小学校の「楽元の森」を会場に連携講座「森の中で交流会」を開催した。	6 月 24 日 7 月 22 日 9 月 9 日 10 月 18 日 10 月 18 日 （反省会）	5	37
★第 19 回山田ふれあいまつり	天候に恵まれ、例年通りの参加団体で展示・舞台・出店等多くの来場者でにぎわった。今回初めての試みとして、舞台発表の最後に西多賀支援学校（当時西多賀ベッドスクール）の子どもたちを励ますためにつくられた「ともだち」という歌を会場全体で歌い、また、地域のボランティアサークル「ひまわりの会」オリジナルの「ひまわり音頭」を踊るフィナーレとしたところ、閉会式まで盛り上がった。また、防災学習マスコットキャラクター「ひとまちぼうた君」を防災コーナーに登場させたところ、予想以上の人気を博した。	10 月 31 日 11 月 1 日	2	2,480

山田つどいのコンサート	１回目は当センター利用のサークル「かたくりの花」と「Ｖｉｖｏ²」のコラボでのコンサート、２回目は吹奏楽団「太白ウインドアンサンブル」の吹奏楽コンサート、３回目は、ＧＧＳＯ（ゴールデン・グループサウンズ・オーケストラ）のＪＡＺＺコンサート、４回目は仙フィルメンバーのバイオリンコンサートを開催。市内各地からの来場者があり、福祉施設や地域の高齢者が多数来場した。コンサート終了後、ロビーでお茶っこサロンを開催し、こちらも好評だった。	5 月 16 日 7 月 4 日 11 月 14 日 2 月 6 日	4	329
山田鈎取地域懇話会	4 月に館内の保育所、児童館、小中学校及び縄文の森広場の代表者に集まっていただき、今年度の事業方針と連携について話し合いをし、各児童館と縄文の森広場との連携事業を開催することが出来た。２回目は利用者懇話会を実施。	4 月 17 日 2 月 20 日	2	21
市民企画会「山田・鈎取まち物語」	山田・鈎取地域には歴史的遺産や貴重な史実が数多くあるが広く知られていない。そしてそれらを知る人々も高齢化が進み記憶と共に記録も希薄になってきている。そこでこの地区の歴史などに興味のある地域の方に集まっていただき、調査しながら記録し時代に残すための講座の企画・運営の場を提供する。	6 月 24 日 7 月 19 日 9 月 17 日 10 月 16 日 11 月 25 日	5	45
「山田・鈎取まち物語」発刊記念講話「江戸時代の村と街道」	企画委員会で企画した内容で、目的等については企画委員会で話し合う。	3 月 26 日	1	195
第 31 回　仙台市史講座	仙台市博物館との共催で開催。講師の松浦順一氏からは「山田・鈎取の近・現代史～地域開発の様相をたどる～」と題して、太白団地や人来田地域の開発の歴史や交通網の変遷などについて約 90 分の講演をいただいた。 アンケートでは、半数以上の人が市史講座への参加は初めてと回答しており、新たなファンの獲得につながった。	7 月 19 日	1	80

茂庭台市民センター

〔沿　革〕

茂庭台地区は仙台市西部に位置し、市内中心部から約 20 分の距離に位置しながらも、豊かな自然環境に恵まれている。

茂庭台市民センターは、昭和 63 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設して開館し、平成元年 4 月から地域社会教育の拠点として公民館事業を開始した。平成 2 年には児童館が併設された。

近隣には高層マンションや多くの福祉施設があり、高齢者、子ども、福祉施設の方々や外国人居住者の利用も多く、当市民センターは地域コミュニティの交流の場となっている。また、地域住民、各種団体とともに、地域性を生かした事業や地域人材を活用した講座などを開催している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	天空の街“風のしらべ”		
参加者	どなたでも	延参加者	120 人
開催日	10 月 17 日（土）		
ねらい	市民センターの前には地域住民の憩いの場になっている広場がある。 芽吹きの春、新緑の五月、そして夏には大きなケヤキの木が日陰をつくり涼やかな風を運んできてくれる。そのような自然の中で、誰もが足をとめてくれるような演奏と朗読会を開催し、日頃市民センターに馴染みのない方にも認知してもらう機会とする。		
概要・成果	これまで市民センターであまり活かせていなかった市民センター前広場で屋外コンサート・朗読会を開催した。茂庭台地域に響き渡る音色につられて、日頃市民センターへ足を運ばない地域住民も多く訪れ、交流を深める一助となった。予想の倍以上の来場者があり、アンケートからも好評であったことが分かり、当センターの認知度を高めた点でも効果があった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
フレッシュママのおしゃべりタイム	託児付き講座とし、コサージュ作り・教育資金の講話や親子ヨガの体験など子育てに関する情報を提供。参加者同士がゆったりとした時間を共有し、地域の子育て世代の交流の場となった。	5 月 21、28 日 6 月 4、11 日	4	22
親子木工作教室	地域の方からいただいた「竹」を材料に、昔懐かしい遊び道具や簡単なアクセサリー製作。竹の扱いや工具類の使い方を学び、小学生と保護者が協力して取り組んだ。また、実際の遊びを通して参加者間の交流を図った。	11 月 1 日	2	20
インリーダー研修会	生出、茂庭台地区で次年度に最上級生となる小学 5 年生と世話人を対象に、子ども会の運営方法や行事の進め方について学んだ。ＪＬや児童・世話人の交流が図られた。	1 月 24 日	1	39
「茂庭台子どもマップ」をつくろう	子どもたちが郷土に関心をもつために、子どもがわかりやすい「地域マップ」づくりを行った。団地が出来る前の話を聞き、地域を見てまわり地図に書き込んでいった。出来あがった「マップ」は「茂庭台地区市民文化祭」に展示した。	7 月 29 日 8 月 5、12、20 日 9 月 13 日	5	18

中学生職場体験	中学生が市民センターの役割について学び、実際に窓口業務や講座サポート、事業の企画などの仕事を体験した。	8月19、20、21日	1	4
男性のためのデジカメ教室	団塊世代男性が地域デビューをし茂庭台が活性化するために開催。カメラについての基礎知識を学習し、実際に撮影（室内、屋外、森の中など)、その都度講評を受けながら学んだ。作品は「市民文化祭」に展示した。	4月18日 5月2、16、17日 9月12日 10月4日	6	20
シニアのための健康セミナー	日中忙しい方も参加できるよう夜間開催とし、運動、食事面ともに「継続しやすい、手軽に行える」をコンセプトに実施した。日中忙しい方からの申込があり、普段市民センターに馴染みが薄い方にも市民センターについてＰＲすることができた。	11月27日 12月4日	2	14
環境トレッキング	茂庭台から気軽に登ることが出来、自然の豊富な山「蕃山」であるが、先頃の違法伐採でだいぶ自然が破壊された。トレッキングをしながら、環境に左右される植物や、稀少価値のある植物を観察しながら自然環境を考える機会となった。	5月30日 9月27日	2	29
★茂庭台大学	薬の内服方法、実演を交えた盲導犬についての講話など様々な内容を扱った。2年目となり、受講生は運営委員会形式の実施にも好意的であった。今後も継続する事で、より受講生の要望を講座に反映させていく。	5月15日 ～3月4日	10	362
茂庭台地区市民文化祭	地域で活動するサークル・団体の日頃の学習成果発表と地域住民の交流の機会を提供し地域活性化を図るために開催。ステージ発表や作品展示、模擬店、イベントなどを行った。	10月3、4日	2	3,335
天体観望会	地域住民の天体・自然科学に対する興味・関心に応えるために開催。天体の説明や星図の見方を学習してから駐車場に移動し、ベガ号や大型望遠鏡で「月面のクレーター」［スバル］［カペラ］などを観察した。	11月20日	1	21
市民企画会議開催講座「梨野でつくろう“旬”野菜」	普段、土に触れる機会の少ない地域住民が梨野地区畑で野菜づくりを体験した。野菜づくりのノウハウを学び、収穫祭などを通して講師、参加者間の交流を図った。	6月6日 ～12月2日	13	138
楽しく学ぼう！日本のこと外国のこと	茂庭台地区在住の外国人、住民が言葉の学習や茶道体験などの文化交流を行い、互いへの理解を深める機会とした。	2月24日 3月2日	2	19
★地域防災講座	地域住民対象に、防災への備えについて意識の共有、高揚を図ることにより「減災」に取り組むことを目的に実施した。	11月26日	1	34
地域懇談会	①学校関係者②サークル関係者及び地域団体③町内会関係者を対象に、地域課題の発掘、把握、解決に向け意見交換を行った。	6月26日 11月19日 12月5日	3	38
複数年事業　茂庭台案内人養成講座「もにわだいを歩き隊ーM・A・Tー	複数年事業ということで、昨年度に地域を歩き発見した「地域の魅力」について再確認し情報を得た。資料やマップ作りに取りかかるなど次年度につなげる活動を行った。	4月12日 ～11月11日	7	65
梨野ファーム企画会	季節の野菜づくりと地域交流をテーマに企画会を開催し、開催講座の企画・運営を行った。	4月25日 5月9、17、29日 11月21日 12月12日	6	57

東中田市民センター

〔沿　革〕

東中田市民センターは、平成元年 4 月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。

当市民センターが位置する東中田地区は、仙台市太白区の東南端・名取川下流域にあり、名取川と広瀬川の合流点にも近く、素晴らしい自然環境に恵まれ、古墳や寺社仏閣などの歴史的資産を有している。

農村であったこの地域に、近年は高層の市営住宅や高齢者福祉関連施設、ミニ開発による一戸建て住宅が次々に建設され、商業の発展も著しい。新旧住民が混在し、急速に発展している地域環境に対応した地域コミュニティの確立が望まれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	東中田の語り手ボランティア養成講座		
参加者	成人	延参加者	62 人
開催日	全 23 回　　4 月～3 月		
協力者・協力団体	東中田児童館、仙台市立四郎丸小学校		
ねらい	地域に伝わる民話や伝説などを学び、それらを後世に語り継ぐボランティアを養成する。「語り」を伝承し地域を知る機会を持つことで、地域愛を育み、地域活性化を目指す。		
概要・成果	平成 25 年度主催事業から「かにっこ語りの会」が立ち上がり、平成 27 年度も語りの修得と地域の学びを深めながら、小学校総合学習の関わりや地域のまつりで語りを披露するなど、語りをとおして受講者が地域に愛着を持つ機会となった。 なかでも、四郎丸小学校総合学習の地域学習への関わりは、児童がその学びを学習発表会で発表し、さらに市民センターを会場として地域に還元する機会となった。 このような機会がボランティアの意欲を高めるなど、相互的な地域力向上にもつながっている。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
インリーダー研修会	子ども会の児童や世話人を対象に子ども会活動についての知識や技術を学習する機会を提供し、子ども会活動の充実を図った。	1 月 24 日	1	54
東中田わくわくタイム	市民センターで活動しているサークルや地域講師が持つ知識や技を生かした講座を開催することで、小学生がふだんできない体験をすることができた。ちぎり絵、将棋など	7 月 25 日 ～1 月 17 日	8	134
ジュニアリーダーと遊ぼう！	地域を題材としたゲームの実施。ジュニアリーダーがゲームに加わることで、学年が異なる子ども達が協力してゲームをすることができた。	10 月 31 日	1	59

東中田いきいきタイム	体験学習の機会を提供することで、主体的な学習活動への参加意欲を高める一助となった。	7月8日 ～2月5日	5	57
東中田老壮大学	高齢者が生きがいを見出し健康で豊かな生活を送るためにさまざまな分野について学習した。また、3 年目となる自主企画の文化祭では役員を中心に企画・運営し盛大に開催することができた。	5月20日 ～3月9日	10	582
みんなのコンサート	地域に居ながらにして気軽に音楽を聴く機会を設けるとともに、多くの住民参加により交流を図った。弦楽五重奏、民謡など	7月18日 ～12月12日	4	295
名取川からのメッセージ	名取川に関連した伝説を語りで伝え、実際に地域を歩いた。また、鮭の遡上観察で名取川の環境について学んだ。	7月26日 ～11月12日	4	52
★●ほっこりサロン	ハンドマッサージ、タッピングタッチ等魅力あるツールを用いながら色々な場所でサロンを開催し、気軽に参加し交流を図る事で互いを理解し、孤立せず、助け合えるよう、又地域課題を自ら解決できる地域社会の構築を図った。	4月4日 ～3月17日	15	229
★災害弱者を守る「地域安心ネットワーク」	災害に備え市民センターが補助避難所となった時のマニュアルづくりをとおして、災害に強い地域づくりへの意識を共有した。	6月19日 3月24日	2	50
●東中田市民まつり	町内会や地域団体、地域サークルと連携し、学習発表の場と地域住民の交流の場を提供し、地域活性化を図ることができた。	10月4日	1	4,000
◎つながる･ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト～「いいとこあっちゃ」知って活かそうまちのお宝～	地域力創造支援事業初年度。“お宝マップ”制作に向けて連携機関全体会議、および4地区の正副リーダー会議、地区単体会議の開催。	7月19日 ～2月27日	15	195
★地域懇話会	地域内小中学校、幼稚園や児童館や団体、また、町内会長と情報共有を図る懇話会を実施した。	6月24日 3月24日	2	27
明日へ伝えよう　わたしたちの四郎丸	四郎丸小学校3年生が、かにっこ語りの会から地域について学び学習発表会で発表したものを、市民センターを会場に地域の方々に披露した。また、エフエムたいはくで放送した。	2月19日 3月14日	2	80
★●ほっこりサロンボランティア養成講座	ハンドマッサージ、タッピングタッチと傾聴を学び、地域の人たちが気軽に利用できるサロンを開催できるよう運営するボランティアを養成した。	5月～3月	12	124
「みんなで東中田もりあげ隊」市民企画会議	若者が地域に息吹を吹き込み、世代を超えて交流できる講座を目指して企画会を実施したが、講座企画には至らなかった。	3月31日 5月10日	2	4

柳生市民センター

〔沿　革〕

柳生市民センターは、平成 9 年 4 月に、市内 52 番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開設された。

当市民センターが位置する柳生地区は仙台市南端に位置し、住宅地・商業地として発展している。また自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。マンション等の建設に伴い、他地域からの転入者も多く、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の多様化に対応した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	**地域の魅力発見**		
参加者	地域住民	**延参加者**	216 人
開催日	全 21 回　　4 月 8 日（水）～2 月 6 日（土）		
協力者・協力団体	仙台市立柳生小学校、柳生南町内会かやの木会		
ねらい	住民同士のつながりが希薄になりつつある中、受講者が多様な視点から、地域の魅力（資源・人材・課題など）を再発見し、情報を発信するとともに、地域づくりの担い手として、地域と住民をつなぐ新たな取り組みを行なう。		
概要・成果	今年度は「柳生まるごと楽しみ公園」を開催。市民センターのホールを公園に見立て３つのグループがこれまでの学習成果を発表。「公園」グループは木のクラフト作りや昔遊びを、「和紙」グループは手作り紙芝居『柳生和紙ものがたり』を上演、「食」グループはオリジナルの『やなちゃん汁』の提供、四季料理のレシピ集配布などを行った。他にも主催講座では料理の講師を務め、地元小学校の給食メニューにもレシピが取り入れられるなど、地域の魅力をいろいろな世代に伝えることができた。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子でわくわく！	親子あそびや体験を通して、異年齢の子ども同士や親同士の交流の場となった。最後の回では大学生や JL がお手伝いとして参加し、異年齢の若者と子どもたちがふれあう場にもなった。①②わらべうた③④リズム遊び⑤⑥英語であそぼう⑦親子でサッカー⑧ダンボールランド	5 月～2 月	8	179
柳生キッズクラブ	子どもたちが伝統工芸の面白さ、集団で身体を動かすことの楽しさ、実験を通した科学の不思議さを体験できた。①柳生和紙漉き②サッカー③ビスマス結晶化実験	5 月 16 日 1 月 6 日 2 月 7 日	3	50
おいしく食べよう！旬野菜	柳生小やさい塾が育てた地場野菜や旬の果物を利用して、じゃがいものニョッキ・サラダ・フルーツポンチの調理を体験した。家庭での調理への関心を育むことができた。	10 月 14 日	1	19

インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会リーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、活動に必要な知識を提供した。	2月28日	1	21
●子ども参画社会創造支援事業「エフエムたいはくキッズ情報局」	地域の歴史や財産を学習し、情報発信をとおして、地域への関心・愛着を深めた。また5館合同事業により、地域を越えた交流が広がった。①アナウンス研修②5館交流会③「にんじんロール」制作発表④エフエムたいはくキッズ情報局出演⑤子どもフォーラム参加	6月～1月	12	118
きらり柳生体験広場	市民センターに来る機会が少ない中年世代を対象に、興味を持つテーマを夜間講座として実施した。①すずめ踊り②ヨガ	7月3日 1月21日	2	28
★柳生シニアスクール	高齢者の生涯学習推進と親睦を図った。①音楽と講話②文学講話③健康体操④防災関連ゲーム⑤健康⑥柳生の歴史⑦環境問題⑧趣味	5月～2月	10	346
★ふれあい結いの輪	被災者の方と地域の方が集い、互いに支えあい学び合うことで、つながりを深めた。①地域散策②箸置制作③ほっこり郷土料理④コミュニケーション麻雀①～③講師は、地元講師を起用した。	6月19日 8月28日 10月16日 1月15日	4	47
●「認知症」を知ろう ―認知症と上手につきあうために	講話と寸劇、軽運動、調理など多様な学習で、「認知症」の基礎知識と対処方法を学び、健康への意識を高めた。①認知症ってどんな病気？　②楽しくあたまとからだを動かそう　③毎日コツコツカルシウム（調理）	6月4、11、18日	3	63
Let’s　フォークダンス in 柳生	「マイムマイム」「オクラホマミキサー」などを覚えて、踊りを楽しんだ。フォークダンスサークルのみなさんがアコーディオン生演奏で盛り上げてくれて、大人から子どもまでの幅広い世代の交流が広がった。	11月28日	1	37
★柳生地域防災講座	小学生親子や地域住民、仮設住宅に住む被災者を対象に、多方面から、防災に役立つ知識を学び、防災意識向上に役立てた。また相互の交流も図られた。①サバメシづくり・減災カルタ・応急手当講座　②クロスロードゲーム　③和Rock復興コンサート	7月5日 3月12、19日	3	197
サタデーコンサート	地域住民が気軽に生の演奏を楽しむ交流の場として開催し、出演団体には、日頃の練習の成果披露の場として提供した。①キーボード漫談②合唱・キーボード連弾③金管アンサンブル	7月25日 10月24日 1月23日	3	81
★柳生市民センター・児童館まつり	市民センター利用団体や小・中学校・地域団体の学習成果の発表の場及び、地域住民の交流の場を提供した。①オータムコンサート②おまつりの部	9月26、27日	2	2,200
◎つながる・ひろがる中田地区未来づくりプロジェクト～いいね！柳生西中田　地域のお宝再発見～	地域力創造支援事業初年度。町内会をはじめとする地域諸団体で“お宝マップ”制作プロジェクトチームを結成。実際にまち歩きをして地域のお宝を探した。中田3地区の全体会議、および4地区の正副リーダー会議に参加。	7月19日 ～2月27日	21	204
地域懇談会	連合町内会をはじめとする地域団体、小中学校に出席していただき、センターの事業概要と各団体の活動内容を相互に理解する機会となり、事業運営に反映することにもつながった。	7月29日 2月24日	2	41
図書ボランティア養成講座	図書ボランティアの活動を未経験でもわかりやすく基礎から学ぶことが出来る内容で、初心者からボランティア経験者まで活かせる内容であった。今後、図書室運営状況やボランティアの活動の様子を地域に向けて広く広報する必要がある。	6月3、10、17日	3	12
市民企画会議 「大人の元気ＵＰ会議」	前年度の会議によせられた意見をもとに、プレ企画（6/20「ニュースポーツを楽しもう」）を開催し、本企画に向けてのPRも行った。そのあと、地域の方々が気軽に交流できる講座として、年央企画「Ｌｅｔ’ｓ　フォークダンス　in　柳生」を企画開催した。	4月18日 ～12月17日	9	56

富沢市民センター

〔沿　革〕

富沢市民センターは、平成 13 年 11 月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設して開館した。

当市民センターの位置する富沢地区は、名取川・JR 東北本線・国道 286 号線に囲まれた地域で、中央部を笊川が流れ、かつては富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域に変貌した。当地区は、単身・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館し、生涯学習の拠点として活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	楽しもう！初めての仙台ライフ		
参加者	他地域から仙台に来た方	延参加者	70 人
開催日	全 5 回　　6 月 12 日（金）、7 月 7 日（火）、9 月 11 日（金）、10 月 23 日（金）、11 月 20 日（金）		
ねらい	富沢は転入や転出など社会的な事情による人口の動きが大きい地域であるが、新しく富沢に転入してきた方々が、地域になじむきっかけがなかなか持てない現状がある。そこで、転入者を対象に、「仙台」の名物を紹介、体験しながら仙台を知ってもらい、参加者同士がコミュニケーションを図り、新たな仲間作りができるよう支援する。		
概要・成果	全 5 回の連続講座で、仙台の音楽イベントの紹介、仙台七夕の由来とミニ七夕制作、コボスタ施設見学、太白地域の歴史講話と地底の森ミュージアム施設見学、仙台雑煮の調理実習を行い、地域の転入者に仙台を紹介した。 成果としては、仙台への理解を深め好感を持ってもらえたことと、回を重ねる度に参加者同士の交流が促進され、転入者が地域に馴染むきっかけとなったことがあげられる。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
おはなしの部屋	乳幼児親子が気軽に参加できるおはなし会を開催した。絵本の読み聞かせや手遊び、人形劇を通し、親子のスキンシップもとれ、仲間もでき、ふれあうことができた。	5 月 13 日 ～3 月 9 日	10	656
つながる子育て「ホッと in　とみざわ」	市民センターを拠点として、地域の子育て支援団体と情報交換する場を設け、連携してイベントを開催した。リズム体操・工作等をしながら、親子のコミュニケーションも取れ、親同士が集う姿もみられた。子育て支援団体の紹介も行った。	11 月 25 日	1	124
とみざわ子どもの広場	今年度は「和」をテーマに、5 回都度募集を企画。「笊川観察会」、「そば打ち体験」、「正月飾りを作ろう」、「茶道」、「科学であそぼう！昔のおもちゃ」を実施した。親子講座や工作、体験、観察等さまざまな内容を盛り込んだ。	5 月 30 日 12 月 5、19 日 1 月 30 日 2 月 27 日	5	145
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、リーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識や活動に必要な技能を習得する機会を提供した。	2 月 14 日	1	54

中学生職場体験	講座の見学や手伝い、窓口業務体験、環境整備など市民センターの仕事体験を通して市民センターの役割や仕事内容を理解し、仕事に対する心構えや大切さを学ぶ機会を提供した。	11 月 10～13 日	1	4
富沢小学校連携講座 「地域を知って富沢博士になろう！」	富沢の暮らしや歴史について、地域講師などから講話と実際に地域探検しながら学び、学習の成果として「とみざわかるた」を作り、関わった地域の方などと一緒に「大かるた大会」を開催した。	11 月 6 日 12 月 8 日 2 月 19 日	3	294
●大野田小学校連携事業「人にやさしいまちってなあに？」	大野田小学校 3 年生の総合学習の時間に、2 回実施。1 回目は、車いすと目かくしの「キャップハンディ体験」、視覚支援学校の話を聞く、2 回目は高齢者疑似体験、赤ちゃん抱っこ体験を実施した。	9 月 3 日 12 月 8 日	2	236
富沢アクティブ･エイジングサロン～サロンを開こう～	複数年事業の 3 年目。12 人の運営委員と共に 5 回の講座の企画をし、地域住民に呼び掛けコンサート・料理・運動などを取り入れたサロンを運営した。また、内部研修を 1 回、最後に反省会と次年度の計画を話し合った。	5 月 23 日 ～2 月 6 日	8	169
★自分達で守ろう、富沢コミュニティ～まさかの前にできること	①防災についての講話「地域防災で大切なポイント」避難所運営のポイント ・要支援者対応・町内会の防災体制 ②救命についての講習、実技「救命救急講習、AED 講習」救命救急対応のポイント・AED の説明と実技	11 月 26 日 2 月 4 日	2	44
★富沢シニアクラブ	シニア世代を対象に、人生を豊かに過ごすため、また激変する社会情勢に適応するスキルを身につけるために学習・交流の場を提供した。	5 月 21 日 ～2 月 18 日	10	535
★●とみざわ･園芸カフェ	土作りから夏野菜や大豆の栽培などをしながら、被災者が地域の方と交流した。ミニ収穫祭では枝豆やカレーを作り、最終回は育てた大豆を使った手作り豆腐を作り交流会を行った。	4 月 24 日 5 月 1、29 日 7 月 3 日 8 月 28 日 11 月 19 日 2 月 5 日	7	118
オヤジのチカラ企画講座「もっと熱くなれ！とみざわ」	市民企画会議「オヤジのチカラ」の企画会を経て実施。①富沢・大野田つなひき大会「ひっぱれ」②すずめ踊り体験「踊れ！とみざわすずめっ子」③綱引きとなわとびの「スポーツ交流会」	8 月 29 日 9 月 5、6、26 日 10 月 3、18 日	6	301
★●被災者支援事業「フラワーアレンジメント体験と地域交流会」	富沢地域のみなし仮設にお住いの被災者と地域の町内会役員や民生委員との交流会。お正月用のフラワーアレンジメント体験、「みんなで歌いましょう」、茶話会をしながら、お互いに交流した。	12 月 18 日	1	42
富沢市民センターまつり	市民センター利用団体、町内会等の参加発表の場とし、地域住民のコミュニティづくりの場とした。図書ボランティアが古本バザーを開催したり、中学生ボランティアなどが運営に参加し、地域住民と交流した。主催事業で行ったすずめ踊りも発表した。	10 月 4 日	1	3,000
富沢市民センター懇話会	①連合町内会内の町内会長と意見交換。テーマ：役員の高齢化とそれに呼応する後継者の問題 ②複数年度事業（富沢アクティブエイジングサロン）の運営委員と意見交換。テーマ：地域に関する意見や市民センターの講座について	7 月 18 日 2 月 6 日	2	25
おはなしボランティアスキルアップ講座	市民センターから立ち上がったボランティアサークルと共に運営している「おはなしの部屋」を、さらに魅力ある講座を提供するために、おはなしボランティアのスキルアップを図る講座を実施した。	5 月 27 日 1 月 27 日 2 月 3 日	3	35
市民企画会議「オヤジのチカラ」	富沢長町地域の 2 中学校（富沢・長町）と、6 小学校（富沢・大野田・西多賀・長町南・鹿野・長町）の「オヤジの会」のメンバーと会議を開き、講座を企画し、運営した。また、他地域には見られない広域のネットワークづくりへと進むことができた。	5 月 9 日 ～10 月 18 日	12	90

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

〔沿　革〕

秋保市民センターは、昭和 26 年 4 月「秋保村公民館」が設置されたのが始まりで、昭和 42 年 4 月町制施行に伴い「秋保町公民館」、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「秋保公民館」、平成元年 4 月には「秋保市民センター」と改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和 52 年 3 月、旧秋保町時代に開設され昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「馬場公民館」、平成元年 4 月に「馬場市民センター」と改称され現在に至っている。

湯元市民センターは、昭和 53 年 3 月、旧秋保町時代に開設され、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により「湯元公民館」、平成元年 4 月に「湯元市民センター」と改称され現在に至っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	秋保自然紀行「初めての方の秋保・里山トレッキング」		
参加者	成人	延参加者	46 人
開催日	全 3 回　　5 月 13 日（水）、9 月 9 日（水）、10 月 28 日（水）		
ねらい	秋保には気軽に登れる里山がたくさんあり、市内からも多くの人が訪れる。基本的なマナーや安全確保などを学ぶことで里山の魅力や地域の宝である里山がどのように守られてきたか伝えると共に、地域住民と参加者が地域財産を共有することを目的とする。また、何度も訪れてみたくなる秋保の魅力を受講生に伝え、地域活性化を図る。		
概要・成果	参加者を 3 班に分け、各班に 2 名のサポーターが入りながら秋保にある初心者向けの里山を歩いた。初めて里山をトレッキングする受講者は里山の植生について学ぶことで里山への関心が高まった。また、地域の歴史にまつわる里山を登った際には里山と秋保郷の歴史を聞き、秋保地域への関心も高まった。雨天時の室内での学習においてもスズメバチなどの危険生物への対応、応急処置方法等を学び安全確保の知識を得た。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
あきう子育て広場	秋保地域は、子育て世代の孤立化が課題となっている。そこで、親子のふれあいや保護者同士の交流の場づくりとして、湯元児童館と共催し、体操や工作等の実技、事故防止等の講話、交流会を実施した。	5 月 14 日 6 月 11 日 7 月 9 日 8 月 27 日 9 月 17 日	5	61
秋保ファミリー体験講座「あきう遊々クラブ」	秋保地域は、季節毎の様々な動物の生態や植物の仕組みを学ぶには恰好の場所である。平成 27 年度は、くんせい作り、水生生物の観察会、ツリーイング体験、秘密基地づくりなどを実施した。親子で楽しみながら絆を深めることが出来た。	6 月 6 日 7 月 20 日 9 月 20 日 11 月 7 日	4	69
インリーダー研修会	子ども会リーダーの児童及び世話人を対象に行った。子ども会活動についてや実際に行うゲーム等の技術についての研修の機会を提供し、秋保地区の子ども会活動の活性化を図った。	6 月 20 日	1	34
がんばれ秋保っ子スポーツ大会	3つの小学校と１つの中学校が学校や学年の枠を超えた交流としてスポーツ・キックベースボールを楽しみ、子ども達どうしの協調性が育まれた。また地域間の交流も深めることができた。	10 月 18 日	1	44
いってみっぺ秋保路ウォーク	秋保地域資源活用委員会と協力して、観光地だけではない、地域資源を活用した秋保の魅力を紹介するガイドウォークを開催した。	9 月 26 日	1	21

秋保自然工房 「山の恵みクラフト」	秋保地域の里山の環境や自然を学び、それらの魅力を発信することを目的に、2回にわたりアケビのつるやブドウの皮でクラフト製作を行い、その後センターまつりで展示を行った。	10月16、23日 11月21日	3	35
冬の手づくりくらぶ	趣味を通じた仲間づくりのきっかけを提供すると共に市民センターへ集うことにより事業への理解を深めることを目的として実施した。クラフト手芸や料理など様々なジャンルの作り物を行った。	1月15、29日 2月5、19日	4	66
あきう熟年のひろば	高齢化が進んでいる地域において、心身ともに健康で実り豊かな生きがいのある人生を送るために、学習意欲を高めるような様々なテーマを選び、高齢者が共に学び合う場を提供し、受講生同士の交流を図ることを目的とした。	5月21日 ～2月18日	9	151
秋保郷土かるた大会	秋保の自然や文化、歴史などを綴った「秋保郷土かるた」を使ったかるた大会を行い、郷土への理解を深めると共に世代間交流を図った。	1月9日	1	76
●秋保地域出前講座	交通が不便な地域で生涯学習の振興と地域活性化を図るため町内会や老人クラブなどと共催し、グランドゴルフや手品など様々な内容で地域コミュニケーションを深めた。	7月23日 ～3月13日	5	174
★地域の防災・減災講座	東日本大震災を機に防災意識が高まってきている。そこで、町内会と秋保中学と連携して、簡易トイレの組み立て、応急処置、炊き出し等の避難訓練を実施した。	6月21日	1	250
●秋保地域資源活用委員会	秋保総合支所との連携事業としてツアーパンフレットの作成や、ガイドボランティアの育成に向けて活動してきた。また、委員会の活動の取り組みについて「秋保地域活動のつどい」で発表した。	4月18日 ～3月5日	9	141
秋保ふるさと文化祭	今年度は秋保ふるさと舞台発表会と同時開催となった。展示・舞台・出店を合同開催することで、集客数、内容（アンケート結果）ともに相乗効果が高まった。今後の展開が楽しみである。	11月21、22日	2	740
秋保ふるさと文化祭移動展示会	秋保ふるさと文化祭で行った作品展示を秋保･里センターで実施した。秋保地域以外からの来場者が多い施設のため、地域の各サークル・団体の活動成果を見てもらう絶好の場となった。	11月27日 ～11月29日	1	283
秋保ふるさと舞台発表会	今年度は、秋保ふるさと文化祭と同時開催となった。今まで、秋保ふるさと文化祭にのみ参加していたサークルや一般来場者が舞台発表会を知り鑑賞するよい機会となった。	11月22日	1	540
地域懇話会	今年度は地域の集会所や馬場、湯元市民センターを会場として３回実施した。地域住民の方へ当センターの事業等を説明する場を設けられたとともに地域住民の意見要望等を聞くことができた。	7月23日 10月24日 11月8日	3	85
自助防災講座	大規模災害を想定し、自分たちで出来る対応策を、家族、地域単位で考える機会を提供できた。松島救難隊を講師に有事の際の心構えを学ぶことが出来た。	12月5日	1	38
秋保ガイドボランティア養成講座	資源活用委員会を主な受講生とし、ガイドボランティアとして必要なスキルを学習した。話し方のプロやガイドボランティアとして実績のある方々を講師に迎え、実践的なスキルを学ぶことができた。	5月9、30日 6月27日 7月25日 9月5、26日	6	99
秋保地域のための市民企画会議	秋保地域の子ども達を取り巻く環境を魅力あるものにするため企画員を募集し、自ら企画・立案して講座を準備・運営して頂いた。会議を重ねるにつれて、交流が深まり、今後の発展に繋がる実りの多い企画会議となった。	6月9、12日 8月22日 10月8日 12月5、16日	6	24

泉区中央市民センター

〔沿　革〕

泉区中央市民センターは、昭和 22 年 9 月、七北田中学校内に七北田公民館として開設された。昭和 43 年 7 月に市名坂字東裏の現在地に移転。平成 16 年 1 月には、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館として開館した。今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。

本地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と急速に発展した泉中央地区を包含し、住民を取り巻く社会環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図っている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	★●泉中央南復興公営住宅入居者交流事業「ようこそ　泉中央南へ」		
参加者	どなたでも	延参加者	238 人
開催日	【全4回】 6 月 19 日(金)、11 月 6 日(金)、11 月 27 日(金)、12 月 15 日(火)		
協力者・協力団体	共催:加茂市民センター　　連携:泉区家庭健康課		
ねらい	泉中央南復興公営住宅への入居整備が整い、新地域での生活が始まる。そこで、区役所、諸団体等と連携して出前講座(加茂市民センター共催)を行い、新たな居住者の孤独感や不安などを和らげ、気軽に交流できる居場所づくりや地域コミュニティの創出を目指す。		
概要・成果	気軽に参加していただける内容(指ヨガ・ウォーキング・コンサート等)で講座を実施した。毎回同じ人の参加が多く、地域のニーズ・課題等を把握して、支援するなどの検討課題も残ったが、顔の見える環境・引きこもりにならないよう交流会を行い、お互いを知る関係づくりの一助を担うことが出来た。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●いずちゅう子育てステップ・バイ・ステップ	気軽に参加できる「おやつづくり（託児付）」「デンタルケア」「育児相談交流会」「コンサート」等を実施し子育て中の親子が交流した。	11 月 11、18、25 日 12 月 5 日	4	36
パパ&ママふぁんふぁんフェスタ 2015	地域団体と連携し、気軽に参加しやすい「おやこビクス」を主に、工作や金魚釣り、新聞プールなどで交流。	9 月 30 日	1	161
いずちゅーキッズ	地域の小学生を対象に「レンジャーと歩こう、七北田公園」「革とあそぼう」「おいしいピザをつくろう」を実施。	7 月 18 日 8 月 26 日 9 月 5 日	3	41
★●アートフルいずみゆめ工房	お化け屋敷の制作と小学校 PTA まつりでの出張開催、遊びの天国での出展。プラ板づくりや消しゴムハンコ作りのワークショップを開催。	4 月 5 日 ～3 月 13 日	20	76

泉区中央市民センター職場体験	小中学生がキャリア教育の一環として施設管理、窓口対応、講座運営等の市民センター業務を体験した。	11月10、11、12、13、20日	5	24
地域の風景を絵に残そう	地域周辺を歩き、絵を描くための取材をし、その資料を基に、色紙に絵を描いた。また、描いた絵を使ってミニ絵本を製作して地域内の小学校に贈った。	5月27日 6月3、17日 7月1、8日 8月26日	6	44
★市民企画講座　おとなのものづくり講座	「①飾り凧手作り講座」「②ミニ門松手作り講座」「③竹の花器手作り講座」「④竹笛手作り講座」開催。	11月20日 12月11日 2月19日 3月11日	4	39
★泉シニア塾～文化コース	高齢者の方が積極的な生活を送るために「せんくらをもっと楽しく」「震災復興と暮らしの経済」「振り込め詐欺に気を付けて!!」等の講話や「演歌ビックスでこころも体もおしゃれに生きよう」「新聞ちぎり絵で作る年賀状」等の実技、館外学習を実施。	5月20日 ～2月17日	9	466
泉シニア塾～健康コース	心身の健康づくりを目的に「楽しくボイストレーニング」「ニュースポーツに挑戦」「音楽に合わせて体を動かそう」等の実技や「お魚を食べて健康に」等の講話を実施。	5月20日 ～2月17日	9	365
泉中央交流サロン「わくわく会」	ヨーデルや歌のコンサート、パーソナルカラー診断、キムチ作り、写真とハーブティーの体験、参加者交流会等を実施した。	8月11日 11月5日 12月4日 1月19日 2月25日	5	120
★泉中央減災講座	静岡版ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）の体験と参加者交流会を実施した。	2月27日	1	17
4団体連携事業企画会議	企画立案実施等にむけ意見交換会を実施。「パパ＆ママふぁんふぁんフェスタ 2015」を開催した。	5月26日 7月7日 9月15、30日	4	25
まつりだよ！泉区中央！	市民センターを活動拠点としている団体や利用サークル等による作品展示・ステージ発表・ワークショップ・お茶席・にぎわい市等を実施。	10月24、25日	2	1,210
★泉区中央市民センター地域懇話会	市民センターの運営、事業等に関する意見要望及び地域情報共有・交換会等の実施。「①利用団体関係懇話会」「②学校・地域団体関係懇話会」開催。	2月13、26日	2	18
七北田ＪＬサークルありす定例会	子ども会や市民センター、児童館の主催事業でのボランティア活動等地域参加活動を促した。月１回定例会を実施。	4月3日 ～3月13日	13	74
★市民企画講座企画会	第１回～第４回企画会実施・「①飾り凧手作り講座」「②ミニ門松手作り講座」「③竹の花器てづく講座」「④竹笛手作り講座」年央企画開催・第５回企画会反省会実施。	6月5、19日 7月3、17日 3月11日	5	25

根白石市民センター

〔沿　革〕

根白石市民センターは、昭和 21 年 11 月、根白石小学校内に設置され、昭和 23 年役場の移転に伴い独立した施設としての活動が始まった。旧泉市で昭和 28 年に公民館新築促進が決議されてから 10 年の経過を経て、昭和 38 年 7 月、待望の公民館が移転新築された。以来 20 年余、根白石唯一の社会教育施設として活動を続けてきたが、老朽化により昭和 63 年 4 月、根白石字杉下前に新築移転し開館した。館の特色として、299 席の移動式観覧席を備えた多目的ホールを有している。

当市民センターは泉区西部に位置し泉ヶ岳を背景にした豊かな自然環境に恵まれている。周辺は田園地帯と近年の開発による住宅地からなり、多様な住民構成の生涯学習の場として、また、スポーツ、コミュニティ、自主学習の場として広く利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●泉区西部のまち興し“かむりの里　凧揚げフェスタ”		
参加者	地域の小中学生、地域の方	延参加者	528 人
開催日	全 20 回　 5 月 27 日(水)～2 月 25 日(木)		
協力者・協力団体	泉西部地区連合町内会、ふるさと創生会、根白石商店会、仙台凧の会、昔遊びボランティア、根白石小学校、福岡小学校、実沢小学校、根白石中学校、根白石児童館、館児童センター、住吉台児童センター、根白石温水プール、泉西部地区老連、地域内各小学校区子ども会育成会、各小学校PTA、泉区中央市民センター		
ねらい	自然環境に恵まれた地域の特徴を活かし、地域の諸団体と協力し合いながら、人々が互いに支え合い共に生きる“まち”として活性化させることを目指す。それとともに、まち興しには欠かせない、根白石の良さを発信できる人の養成を目的とする。		
概要・成果	泉区中央市民センターとの共催事業4年目。泉区西部のまち興し会議を6回、凧づくり出前講座を6回開催し、凧揚げフェスタ当日を迎えた。地域の小中学校や地域諸団体と協働して事業に取り組んだことで、地域コミュニティのつながりがより強まった。今年度の新たな取組として、誰でも気軽に参加できる凧サロンを 7 回開催。凧作りを通して交流の輪を広げた。また、実行委員会組織の充実を図り、地域住民が自主的に運営できる組織づくりを行った。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
根白石の正月行事～いっしょに作ろう～	①「正月飾りづくり」 ②「だんごさしづくり」	12 月 23 日 1 月 11 日	2	63
あつまれ!元気キッズ	①②「作って遊ぼうミニ宇宙」③「紙笛を作って遊ぼう」④「カラフル　ブレスレットづくり」	7 月 1、8 日 11 月 21 日 12 月 2 日	4	88
インリーダー研修会	根白石・福岡・野村小学校の 4 年生と実沢小学校 5 年生を対象としたドッジビー大会・研修会	7 月 11 日	1	54
チャレンジ!体験!楽しく学ぼう！	①「望遠鏡づくり」②「天体観望会」③「オリジナルコマづくり」	7 月 24 日 9 月 18 日 11 月 28 日	3	55

筋力アップ大作戦！	①講話「健康づくりについて」・体脂肪測定・ストレッチ実技②実技「腕シェイプアップ」③実技「お腹シェイプアップ」④実技「脚シェイプアップ」⑤総まとめ・体脂肪測定・交流会	6月19、26日 7月3、10、17日	5	119
★市民企画講座 歴史と水のふるさと根白石～清らかな水の流れと人々のくらし～	①探訪「福岡大堰周辺」②講話「冠川根白石発電所遺構について」③探訪「冠川根白石発電所遺構・新堰・高森変電所東側」	10月3、10、24日	3	38
●さわやか大学	①「震災復興と暮らしの経済②「ゆらっくす体操」③「谷崎潤一郎の生涯と作品」④「陶器づくりを楽しもう」⑤「癒しの音色トーンチャイム」⑥「遠野昔語り」⑦「ウォーキング（歩き方靴の選び方)」⑧「伝えたい歌と和の調べ」⑨「包括支援センターの役割と介護保険について」⑩「津軽三味線コンサート」	5月21日 ～3月3日	10	427
出前講座	演芸鑑賞会、大正琴演奏会、合唱、腹話術、手品、ハーモニカ演奏と歌など	8月19日 ～1月24日	7	165
根白石民俗ミニタ七夕づくり	①七夕の由来について②③④作成⑤飾りつけ	7月14、17、28、31日 8月4日	5	50
★ふれあいウォーキング～共助のまち・根白石～	・ウォーキング・防災訓練（炊き出し訓練・ＡＥＤ実技・防災資材倉庫見学）	11月3日	1	126
かむり三校社会学級共催「ノルディックウォーキングで地元を歩こう」	・ノルディックウォーキングの効果についての講話 ・ポールの使用方法や歩き方について ・ノルディックウォーキングの実技	9月30日	1	11
冠のふるさと伝承まつり	各地区に伝わる郷土芸能の発表（アセ踊り・大正踊り・鹿踊・剣舞・しの笛） 地域ぐるみ健全育成標語の発表と表彰	10月17日	1	250
根白石市民センターまつり	・サークル団体や個人作品展示 ・小学校、児童館、児童センターの作品展示 ・ステージ発表 ・体験コーナー ・地場産野菜や授産施設による販売	11月8日	1	670
地域ぐるみふれあいコンサート	根白石・館・住吉台中学校3校の吹奏楽部による演奏会	10月12日	1	154
地域懇談会	地域町内会や団体、市民センター利用者との意見交換。市民センターの事業説明。	7月9日 11月19日	2	67
小学校社会学級連携事業企画会議	三校の社会学級と共催して、健康増進に役立ち、参加者同士が交流できる講座を企画実施するための会議 企画会議４回・講座実施１回・反省会１回	6月3日 7月3、30日 9月25、30日 10月14日	6	22
ジュニアリーダー定例会	月に1度、住吉台児童センター・館児童センターで情報交換や連絡事項の確認	通年	24	172
根白石ガイドボランティア養成講座	①「根白石の歴史を探ろう」 ②「ガイドボランティアについて」 ③「根白石の石→満興寺」 ④「亀の子石→光明の滝」 ⑤「鷲倉神社→追分阿弥陀」	9月25日 10月2、9、16、23日	5	59
市民企画会議「伝えよう、根白石の魅力」	・市民企画講座企画会議4回・市民企画講座実施3回・企画会議反省会1回	7月3日 ～3月2日	8	55

南光台市民センター

〔沿　革〕

南光台市民センターは、昭和 52 年 4 月、「南光台公民館」として開館し、昭和 62 年 8 月に泉図書館南光台分室が併設された。その後、平成 2 年 4 月に「南光台市民センター」と改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。

平成 23 年 3 月の東日本大震災により建物が全壊したが、元の場所に鉄筋コンクリート造 2 階建管理棟及び多目的ホールが新築され、平成 27 年 3 月 28 日に再開館した。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★南光台市民センター開館記念　チューリップコンサート		
参加者	地域住民	延参加者	280 人
開催日	全 1 回　4月 18 日（土）		
協力者・協力団体	共催：（公財）音楽の力による復興センター・東北 協力：社会福祉法人仙台市社会福祉協議会　支えあいセンターいずみ 公益財団法人　仙台フィルハーモニー管弦楽団 「チューリップの花を咲かせ、未来へ！」プロジェクト		
ねらい	東日本大震災により全壊した当市民センターと南光台小学校は 4 年を経過し新築され再開した。小学校そして市民センターの再開館を祝うとともに震災被災地の復興を願い、地域の一人の発案が町内会・地域の皆様を動かし「チューリップの花を咲かせ、未来へ！」プロジェクトが立ち上がった。そして市民センターや小学校の校庭で球根 1,700 個をみんなで植えた。この地域の素晴らしい行動と絆の大切さを改めて確認できる、そして記憶に残るコンサートを開催する。		
概要・成果	地域の方の発案から出発した「チューリップで開館を祝おう」との趣旨は、地域の町内会、団体、個人を巻き込み地域全体の運動に発展した。その締めくくりとしてのコンサートは、仙フィルによるアンサンブルの演奏と地域コーラスグループの出演で 280 人の観衆を集めた。コンサートを締めくくる参加者全員による合唱により、さらに絆の大切さを改めて確認できた記憶に残る機会となった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
大切な人と食べたい愛情ごはん	・大切な家族に向けたお弁当作り。 ・親子で大豆の話を聞きながら、仙台みそ作りをした。	9 月 26 日 11 月 28 日	2	54
南光台スマイルひろば企画事業「絵本袋をつくろう」	託児付事業 2 回で幼稚園準備の絵本袋を作り、3 回目は、親子でクリスマスツリーを作った。	11 月 12、26 日 12 月 10 日	3	43
夏まつり子ども会大会	昔あそび体験コーナーの企画運営。ジュニアリーダーによる自主企画コーナーの提供。	8 月 20 日	1	110
ジュニアリーダーとあそぼう	市民センターを会場に、小学生にジュニアリーダーを交えて集団でのあそびの場を提供した。	8 月 7 日	1	87
お勧め本でバトルしよう！～中学生対抗ビブリオバトル～	ビブリオバトル（各参加者は持ち寄った本を紹介。その後皆で本について感想を言い合い、最も良いと意見が揃った本を決める）を開催	12 月 19 日	1	17

ワケルくんと学ぼう	仙台市のごみの分別についての講話、ゲーム形式によるごみ分別実践学習、地球温暖化についての講話。	6 月 26 日 8 月 27 日	2	178
自分づくり教育講座「職場体験」	講話実技で学習（市民センターとは、社会人としての心構えと接遇の基本、窓口応対、主催講座とサークルの見学、施設管理と巡回保全、事業企画体験等）	10 月 20～22 日 11 月 10～13 日	2	6
★カメラの目で南光台再発見	実際に館外へ出て、南光台の再発見をしながら写真の撮り方の基礎を学んだ。	6 月 27 日 ～2 月 20 日	8	115
南光台学院	年間 11 回の講座開催。健康や時事問題など幅広いテーマで実施。4 月説明会。受講生の自主企画 2 回。文集「なかま」発行。	4 月 17 日 ～2 月 19 日	11	713
★●南光台地域防災力向上計画’15	心肺蘇生法、ＡＥＤ機器操作、避難所設営訓練、アルファ米炊き出し、消火訓練等	9 月 29 日 11 月 1､21 日	3	655
★社会学級連携企画事業防災・減災講座「あの日を忘れない」	震災を思い起こし、地域の方と交流をしたり、災害時の防災豆知識を学習した。	1 月 27 日	1	42
社会学級連携企画会議	社会学級 3 人の方と企画会議を開催し、地域課題の情報収集をし、事業を企画・運営をした。	5 月 21 日 ～1 月 27 日	8	21
★市民センター出前講座	・南光台五丁目集会所にてちんどんパフォーマンス鑑賞 ・前坂集会所にて落語鑑賞	2 月 13、27 日	2	102
南光台市民センターまつり～南光台絆づくりのつどい～	各サークル、学校、町内会、地域団体の舞台・展示発表・模擬店	10 月 17、18 日	2	1,060
南光台市民センター懇談会	・11/25　主に町内会､地域団体､小中学校校長､児童館長対象にセンター使用について懇談 ・2/19　主にセンター利用サークル代表者、地域団体にセンター使用について懇談	11 月 25 日 2 月 19 日	2	34
ジュニアリーダー育成支援	ジュニアリーダーの募集、ゲームなどのスキルアップ､子ども会からの派遣要請に向けた対応。	4 月 12 日 ～3 月 13 日	9	27
南光台の歴史再発見	平成 20 年作成の「南光台の歴史探検」を読み込んで、フィールドワークにより検証し、改定版を作成。	7 月 4 日 ～1 月 9 日	8	68
ねぇ（ぼくに）（わたしに）ご本読んでちょうだい	講話と実技指導により読み聞かせの基礎を学んだ。学んだ技術を生かし、市民センターの親子室で、読み聞かせのボランティアとして活動。	6 月 24 日 7 月 8､22 日	3	27
●南光台スマイルひろば企画委員会	地域ボランティアの協力を得て、昔あそび、読み聞かせ、折り紙、育児相談、パネルシアター等の子育て支援事業に参加した方が企画員となり講座を企画した。	5 月 28 日 ～3 月 2 日	29	262

黒松市民センター

〔沿　革〕

黒松市民センターは、昭和 47 年 4 月に開館した八乙女公民館を前身とし、平成 4 年 10 月に現在地に新築移転され開館した。

当市民センターは、地域における生涯学習及びスポーツやサークル活動などの交流の場として活用されている。また、地下鉄南北線黒松駅に隣接しており、交通の利便性が良いことから、利用者は広域にわたっている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●◎真美沢公園ネットワーク事業～真美沢公園元気プロジェクト～		
参加者	地域住民、小中学生	延参加者	278 人
開催日	全 12 回　4 月 11 日(土)～3 月 29 日(火)		
協力者・協力団体	真美沢公園を美しくする会、泉区公園課、泉区まちづくり推進課、町内会はじめ地域の各種団体		
ねらい	地域の中心にある真美沢公園は自然豊かで広域にわたっているが、様々な理由から地域住民にとって気軽に散策できる公園ではないことから、何とかできないかとの声が多い。こうした背景のもと今後の真美沢公園の利活用に向けて近隣の様々な団体や住民と連携しながら事業を推進する。そこから地域住民自らが主体となって地域資源を守り、人の交流によるネットワークづくりや、まちづくりにつながる人材育成を目指す。		
概要・成果	本事業は、平成 25 年度から複数年事業として実施しており、初年度に地域の3連合町内会(黒松連合、八乙女連合、八乙女地区連合)と学校支援地域本部から成る「真美沢公園を美しくする会」を立ち上げスタートした。現在は、それに地域住民が加わったメンバー構成になっている。 平成 27 年度は、公園内及び公園隣接地の環境整備(4 回)、公園周知のため桜まつりなどのイベント活動(5 回)と定例ミーティング(5 回)で話し合いをもちながら実施した。「やれる人が、やれる事を、やれる時間で」という合言葉の下に、協力者や参加者が年々増えてきている。この事業を機に立ち上がった共催団体の「真美沢公園を美しくする会」も、地域の自然資源を活かすこの活動を通して、情報発信や行事企画の立て方、更には関係機関とのネットワーク構築を学び自立活動に向けた体制が確立しつつある。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
黒松わんぱく親子農園	黒松老人憩の家の空き地を利用した野菜や花の栽培を通して、親子共通の話題づくりと、地域の老人会との交流促進を目的として実施した。内容は、野菜作りの基本学習、農園整備、野菜の栽培管理、収穫祭を行った。	4 月 26 日 5 月 9 日 6 月 6 日 7 月 24、25 日 8 月 2 日	6	150
子育てママのハッピータイム	不安を抱えながら育児をしている母親同士が子育ての悩みを共有し、情報交換などができる交流の場を提供することを目的に、レジン工作とフィットネスの実技を行った。	9 月 29 日 3 月 15 日	2	24
職場体験学習	講座運営・会場設営、窓口業務、サークル支援、講座企画など市民センター業務全般を行った。	11 月 10～13 日	1	2

わくわくタイム	工作・地域の資源を使った散策・おもてなし料理・ニュースポーツなどを行った。	8月22日 10月14日 12月23日 3月19日	4	40
ジュニアリーダーと遊ぼう！	少子化に伴い兄弟姉妹など異年齢と関わりが減っているため、楽しく遊べる場の提供とジュニアリーダーによるゲームなどで異年齢の交流を図った。またジュニアリーダー活動の充実を図るために研修やスキルアップを行った。	7月24日 1月6日 3月19日	3	20
いきいきシニアの生活サポート講座	移動の介助法、シニアのための簡単調理・楽しく脳トレ、介護保険制度と脳トレゲームを行った。	7月23日 10月28日 11月18日 12月2日	4	68
市民企画講座「ほほえみサロン　あ・ら・か・る・と」	地域と交流の少ない単身の方や、介護などで引きこもりがちな女性が多く見受けられることから、地域の女性たちの交流を促進することを目的に、フラダンス、料理、フラワーアレンジの実技を実施した。	11月11、25日 12月9日	2	53
黒松寿大学	高齢者が健康で実り豊かな生きがいのある人生を送るために、共に学び合う場や交流の場を提供し、心身共に自立できることを目指した。また、受講生による運営委員会を設け、企画・運営を行うことで、主体的かつ意欲的な学習を促進した。	5月～2月	9	564
黒松ボッチャ大会	第5回目となる黒松ボッチャ大会と初めての八乙女地区での開催。	10月23日 11月26日	2	68
地域の魅力を発信しよう	前講座「地域の魅力を記録しよう」の成果を活かし、地域の魅力を「発信」していくことを目的に、地域資源をテーマとした映像作品の制作、センターだよりによる地域情報の発信を行った。	4月28日 ～2月23日	6	34
黒松市民センター・黒松児童館まつり	各団体によるステージ発表・展示発表・連合町内会による炊き出し訓練を行った。	9月26日	1	1,279
★黒松市民センター懇談会	地域課題の共有・解決のため、広く地域団体から意見を聴取するとともに、市民センターの役割や事業について地域団体に理解を深め、情報交換の場とした。	5月13日 12月3日	2	29
★防災・減災スキルアップ講座	町内会等の地域団体で積極的に活動できる人材育成も兼ね、仙台市地域防災リーダー研修会受講修了者の方々と連携して実践的な講座を実施した。災害等有事の際は地域を支え、地域の絆の向上につながった。	7月19日 8月29日	2	44
ジュニアリーダー定例会	地域の担い手としての青少年の社会参加を促す。定例会の話し合いや地域講師による研修会の中で異学年交流や地域住民との交流をはかり、地域に根差したボランティア活動を円滑に行えるように支援した。	4月～3月	14	43
市民企画会議「女性のための講座企画会」	地域の女性達のネットワーク作りを促進することを目的に、女性達が交流を深めながら、地域の課題を掘り下げ、ニーズに合った講座を企画するための会議、及び市民企画講座の運営を行った。	6月24日 7月8、22日 11月11、25日 12月9日	7	42
サークル活動でいきいきライフ	手話サークル・親子ビクス・ヨガ・ゴスペル・絵手紙・ストレッチ・健康サークルなど7団体で行った。	5月10、21日 6月16、19、26日	6	23

将監市民センター

〔沿　革〕

将監市民センターは、昭和47年11月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場として開館した「将監会館」が始まりで、昭和53年4月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和54年6月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年4月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年4月には「将監市民センター」と改称された。

平成3年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成4年4月に再開し現在に至っている。当市民センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業　　◎地域力創造支援事業）

〔特色ある事業〕

事業名	みんななかよくグラウンドゴルフ大会		
参加者	小学生から大人の地域住民	延参加者	47人
開催日	全1回　9月5日(土)		
協力者・協力団体	共催:将監児童館、将監児童センター、将監西児童館		
ねらい	将監地域の特色として高齢者世帯の中に若い親子世帯が増えてきていることがあげられる。そこで子どもが多く集まる児童館や児童センターと、中高年の利用が多い市民センターが共催し、ルールが簡易で気軽に楽しめるグラウンドゴルフ大会を開催し、将監地区での異世代間交流の機会を提供する。また児童館・児童センター・市民センター間の協力体制を強固なものにする。		
概要・成果	地域の大人と小学生が混合チームとなり、グラウンドゴルフを通して異世代、また子ども同士が楽しく交流することができた。将監児童館、将監児童センター、将監西児童館との共催事業として数年にわたり行っており、それぞれの役割分担もスムーズに行われ、地域のイベントとして根付いたものになってきている。		

〔平成27年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子で楽しくリフレッシュタイム	未就学児の親子を対象に、親子で参加できる3B体操を行い、親と子のスキンシップを図り、子育て世代のリフレッシュを図るとともに、子育ての情報交換や仲間づくりの場とした。	1月26日 2月2、9日	3	42
こどもチャレンジ講座	地域の小学生を対象にベガ号の天体観測、泉ヶ岳での館外学習で植物や水生昆虫の観察などの体験学習を行った。	6月19日 7月28日	2	76
職場体験講座	講座の手伝い、サークル体験、窓口業務、講座の企画、環境整備等	11月11～13日	1	5
中高生のための食育講座	管理栄養士の指導で中高生がバランスよい食事を一人でもできるようにおにぎらず作りの実習を行った。	6月18日	1	10
こどものまち	家庭で不要になったおもちゃをポイントに替え、また遊びや工作のコーナーを体験したポイントで新たなおもちゃに交換する「とり＋かえっこ」を将監キッズランドとして行った。	2月6日	1	260

●うきうきクッキング	1 回目は低学年を対象に、栄養のバランスの大切さの話を聞いた後、簡単な調理実習、２回目は手作りおやつ作りを実習した。３回目は高学年を対象に季節の行事を取り入れたちらしずし作りを行った。	6 月 17 日 11 月 25 日 2 月 13 日	3	65
市民企画講座「楽しくウォーキング」	将監地域の魅力を発見・発信することを目的に「将監ジョギングコース」「愛宕神社」「将監沼」の各コースを歩きながら歴史等を学習した。	10 月 29 日 11 月 12、26 日	3	66
社会学級共催事業 葬祭のあり方を考える	葬祭の実際について、普段は聞きにくい費用の事や葬祭の心づもりなどの話を聞き、葬祭場の見学も行った。	11 月 5 日	1	40
くらし魅力アップ塾	40～50 代を対象に、暮らしの中の身近なテーマを取り上げ酒造りの歴史の講話､浴衣の着付け、手芸などを行った。	7 月 4、11 日 9 月 10、17 日	4	56
将監寿大学	60 代から 90 代と幅広い世代が参加し、軽運動、文学館での館外学習、時事問題、音楽鑑賞等の学習。また運営委員企画のお楽しみ会、レクリエーションなどを実施した。	5 月 19 日 ～2 月 16 日	10	479
将監ふれあいコンサート	お琴、尺八などの和楽器演奏の他、オペラ、テノール歌手と和楽器のコラボ演奏を交えたコンサートを実施。	11 月 8 日	1	270
将監和みサロン	将監地区社会福祉協議会との共催で、1 回目は将監パンダ公園集会所を会場にトーンチャイム演奏会、2 回目は老人会との共催で 13 丁目町内会集会所を会場に大正琴の演奏会を行った。	10 月 17、31 日	2	53
泉ヶ丘小学校連携「夏の講座」	夏休みの泉ヶ丘小学校を会場に、児童及び保護者、地域住民を対象にドライアイス実験・テニス教室・水彩画教室を行った。	7 月 22、23 日	3	91
★災害に備えて「将監地区防災訓練」	避難所設営訓練、情報収集訓練、救急救命(応急処置)訓練等	9 月 12 日	1	200
社会学級共催講座企画会議	３校の社会学級生が集まり、情報交換を行い、地域のニーズに合わせた講座の企画を練った。各学校の学級生がそれぞれの学区で広報・募集をかけ、講座当日の運営を行った。	6 月 25 日 7 月 30 日 11 月 5 日 午前・午後	4	8
◎みんなの居場所をつくろう！	6 回の企画会議と居場所カフェ・子どもの遊び場・交流会の運営・実施を行った。また、並行して地域情報の収集を行った。	7 月～3 月	9	378
将監市民センターまつり	2 日間開催。1 日目は作品展示と囲碁体験、2 日目は舞台発表、作品展示、将棋体験、中国茶体験を行い、地域住民の交流の場となった。	10 月 3、4 日	2	1,850
将監地域懇談会	市民センターの事業等の概要説明、市民センター連携などについての意見交換、地域等の情報交換、地域団体同士の顔合わせ	10 月 22 日 1 月 23 日	2	28
●将監沼（将監風致公園）育林ボランティア養成講座	育林ボランティアに関する知識の付与、案内板の作成・設置、整備機材の取り扱い・整備、カブトムシの養殖床の作成	6 月 20 日 ～2 月 19 日	7	62
市民企画会議「地域の魅力を発信しよう」	「地域の魅力」を発見・発信というテーマを踏まえ、企画員の知識や経験から地域の人材、資源、活動状況などを出し合い講座を企画。	6 月 26 日 7 月 7 日 8 月 4 日 10 月 6、29 日 11 月 12、26 日	8	32

加茂市民センター

〔沿　革〕

加茂市民センターは、昭和 58 年 4 月、加茂公民館として開館した後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成 2 年に現施設名に改称された。平成 10 年には併設されていた加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ケ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成 5 年 4 月の長命ケ丘市民センター開館に伴い、現在は加茂・虹の丘・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺地区は、賀茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しているほか、七北田川や丸田沢堤・三共堤がある水の森公園などの自然環境にも恵まれている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	ハロウィンがやってきた！		
参加者	小学生	延参加者	40 人
開催日	全 2 回　9 月 26 日（土）、10 月 10 日（土）		
協力者・協力団体	共催：加茂児童センター、協力団体：加茂地区社会福祉協議会、加茂子育て支援クラブ		
ねらい	少子高齢化が進む加茂地区では、共に支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりの継続が必要とされる。そこで、世代間交流を行いながら高齢者の孤立化を防ぎ、地域コミュニティの充実を図る。また、自分たちの住む地域の課題にあらゆる世代が関心を持ち、課題の解決に向けて取り組むきっかけとする。		
概要・成果	1日目は子どもたちが高齢者への手作りプレゼント、仮装グッズを作成する。2日目は子どもたちが町内をパレードしながら高齢者宅を訪問し、手作りプレゼントとお菓子を交換し、子どもたちと高齢者の交流を図った。 子どもたちは普段は訪れることのないお宅を訪問し、知らない大人と触れ合うことで挨拶やお礼、言葉遣いなどを学ぶ機会となり社会性が育まれた。また地域団体との協力関係が構築され、互いに地域課題を知り、意識することにつながった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
かも子育てひろば	特養老人ホームの入居者を交えてのコンサートや、託児付きの講話、ハンドマッサージやリトミック、親子で遊びながらのスキンシップ等を実施	5 月 14 日 6 月 26 日 7 月 3、10 日 9 月 15 日 10 月 29 日	6	258
わくわくキッズクラブ	科学実験やクリスマスリース等の制作、昔あそびや、おせち料理・桃の節句の料理等行事食の調理実習を行った。	6 月 20 日 7 月 23 日 12 月 5、12 日 1 月 6 日 2 月 27 日	6	124
中学校職場体験学習	窓口業務や部屋の点検などの施設管理業務やセンターまつりの準備、センターだよりの印刷などの業務を行い、市民センターの地域での役割を学んだ。	10 月 20 日 ～10 月 27 日	1	3
東日本大震災体験文集朗読会「語りつぐ　あの日の記憶」	震災の経験を伝え、活かしていくことを目的に、加茂中学校 1 年生と地域の方を対象に地域の諸団体が協力し「東日本大震災の体験文集」の朗読会を行った。	11 月 20 日	1	169

加茂の魅力を撮りに行こう！	加茂地域の魅力を撮影し、発信していくことを目的に実施。長命館公園や賀茂神社の撮影、撮影した写真の画像加工・缶バッジの作成、写真展への出品、市民センターにて作品の展示を行った。	9月13、27日 10月27日 11月15、18日 2月19日 ～3月8日	6	51
★●泉中央南復興公営住宅入居者交流事業「ようこそ　泉中央南へ」	公営住宅入居者の交流を図る目的で指ヨガと交流会、折り紙と交流会を実施し、公営住宅とその地域の方を対象にウォーキング、クリスマスコンサートを実施。	6月19日 11月3、27日 12月15日	4	238
ワイワイ若がえり塾	生活に関する講話、長命館公園の歴史と散策、健康体操、健康に関する講話、地底の森ミュージアム施設見学、絵手紙体験、文学講座、アコーディオン演奏、懐かしの仙台の映像と講話。	5月21日 ～2月18日	9	456
★震災への学び～そなえ～	救急救命・応急手当法講習会、仙台市ガス局と連携して備蓄品を利用した料理教室、発災訓練や炊き出し訓練、簡易トイレ組立訓練など町内会全体が参加する加茂地域防災訓練を実施。	6月21日 9月16日 10月17日	3	464
寄り道サロン	みずほ台地域では親子の映画鑑賞会、キャンドル作りと交流会を実施、虹の丘地域ではウォーキングについての健康講話とコンサートを実施。	7月28、30日 12月3日 3月5日	4	99
加茂市民センターまつり	子どもの広場、サークル団体のステージ発表、作品展示、そば打ち・囲碁体験、イベントを実施。	10月24、25日	2	1,070
地域懇談会	地域各種団体・住民および利用サークルとの情報交換を実施。	7月11日 1月21日	2	51
支え合いの福祉	地域福祉について学びながら、加茂地区の高齢化率を知り、高齢者や認知症の関わり方、接し方、傾聴等を企画実施した。	6月9日 7月17日 9月1日 1月19日 2月19日	5	79
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダー活動の充実を図る為に毎月1回の定例会を開催。スキルアップ研修や要請の確認や準備、地域行事への参加を支援した。	4月18日 ～3月19日	12	45
加茂地域歴史ガイドボランティア養成講座	加茂地域の文化史跡を学び、歴史ガイドボランティアを育成した。 復興公営住宅入居者への健康講座と一緒に歴史ガイドとして支援活動を行った。 史跡（長命館）のガイドブックの作成を行った。	4月4日 ～2月20日	12	98
市民企画会議「楽しもう身近な地域」	団塊世代のひきこもりのリタイア組を、まず家から外へ誘い出すためには何をすればよいかを話し合い、「自立するための男の料理」を企画した。	11月6日 12月3日 1月26、28日 2月19日 3月4日	6	33
食育スキルアップ講座～おいしく食べてスマイルアップ～	栄養に関する講話と小中学生向けのお弁当、郷土食、行事食の調理実習を実施。	8月26日 9月30日 10月28日 11月25日 1月27日	5	71
市民企画講座「めざせ！男の自立～俺にもできる､かんたん料理」	おいしい料理の基本である“出汁”の取り方と応用法を学び、かんたん肉料理、魚料理の実習後、食事をしながら交流した。	1月28日 2月19日	2	30

高森市民センター

〔沿　革〕

高森市民センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として、平成元年 4 月「高森公民館」として開館した。その後、機構改革に伴い「高森市民センター」と改称された。

高森地区は、昭和 48 年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか、高森東公園や高森西公園などに豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的な地域である。

地域では町内会や地域ボランティア団体を中心に、「新しいふるさとづくり」を目指して四季を通じたイベント等を行い、地域活性化の推進に取り組んでいる。その中で、当市民センターは、地域への愛着心を育む交流の場として、多くの地域住民に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★高森絆コンサート		
参加者	一般	延参加者	906 人
開催日	全 4 回　5 月 29 日(金)～12 月 12 日(土)		
協力者・協力団体	高森中学校、高森東小学校、明泉高森幼稚園、ホライゾン学園、高森サーラ保育園、さわやかコーラス、オカリナサークル　ポコ　ア　ポコ、オカリーナ「おひさま」、片倉加寿子カルテット＆ボーカル、高森東ふるさとづくりの会、高森東連合町内会等		
ねらい	地域懇談会等の中で今後ますます必要であるとされた「地域住民の交流の場」として、野外にある高森東公園音楽の広場を会場としてコンサートを開催する。 コンサートをきっかけに楽しい時間を共有し、また地域児童や地域サークル等に出演してもらうことで同じ地域に暮らす住民同士の交流と絆を深める一助とする。		
概要・成果	年4回の高森絆コンサート(春の野外コンサート、夏の野外コンサート、秋の野外コンサート、冬の室内コンサート)を実施したことにより、地域交流、世代間交流を図ることができ地縁と地域の絆が醸成された。また、平成 24 年度から毎年実施していることから地域行事として定着してきており、地域への愛着と地域共助に発展しつつある。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ブックフェア in 高森	文学講座、おはなし会、古本市などの本に関するイベントを主に、バルンアートや映画鑑賞会等子どもから大人まで楽しめるイベントを開催	10 月 30、31 日 11 月 1 日	3	224
自分づくり教育「職場体験」講座	高森中学校の生徒を受け入れて職場体験を行った。市民センターの役割について、館内見学、窓口接客対応、施設管理体験、サークル体験、講座体験、講座企画など	10 月 27～29 日	1	3
インリーダー研修子ども会交流会	進め方・内容・分担についての企画会 小学生対象の講話「インリーダーとは？」・実技「レクリエーション技術」 大人対象の講話「子ども会活動と世話人の役割」	11 月 14、28 日	2	50

地域安全マップを作ろう	危険な場所や安全な場所の探し方についての事前学習。終了後小学生が子どもの目線で地域内の“犯罪が起こる危険性の高い場所”や子ども 110 番の家”を地域の方と歩いて探し、地図に書き起こし発表した。	6 月 4、6 日 7 月 2、15 日	4	228
★高森塾	講話「身近な犯罪と防犯、シニアの交通安全について」「健康長寿のヒント」「仙台市史　見どころ！　読みどころ！」「宇宙への招待」　施設見学「エバーグリーンシティ寺岡」　公開講座「高森ミニコンサート」　実技「３B 体操で、はつらつ健康づくり」	5 月 22 日 ～2 月 26 日	9	412
高森市民企画講座 ～高森で育む伝統行事～	小正月から節分までの行事の意味とその習わしを学び、それぞれの家に持ち帰り実践することで、地域で続けていく行事と意識づけることを目指して開催した。「小正月飾りのだんごさし」「ひいらぎいわしと恵方巻」	1 月 9、30 日	2	30
★高森防災講座「みんなでつくる避難所ワークショップ」	事前学習「ワークショップ実施のために」 講話「東日本大震災を振り返る」 ワークショップ「小中学生　および一般成人がグループをつくり、災害時に発生する様々な問題に対し自分でできることを考える」	7 月 1、15、18 日	3	101
高森福祉地域交流大会～ウェルカム世代間交流～	世代間交流 高森小学校児童のダンス、高森東小学校スコボラ隊の合唱、マジックショー、クイズ大会	10 月 24 日	1	150
新しいふるさとづくり事業	地域の活性化、地域交流、世代間交流及び地域ボランティアの育成を目指した。「巣箱づくり」「巣箱設置」「野鳥観察会」	9 月 14 日 ～1 月 22 日	6	206
高森市民センターまつり	地域行事として定着した市民センターまつりを、センター利用団体や地域活動団体の生涯学習の発表の場として企画・運営した。オープニングセレモニー・展示・ステージ・子どもの広場・ダンスパーティー・出店・抽選会	9 月 26、27 日	2	4,646
★高森地域懇談会	地域との連携をより深める為に、市民センターの運営、事業に対する意見交換や地域課題を共有し、情報交換の場として地域団体や地域住民と懇談会を実施した。また、地域のボランティア団体が取組んでいる「新しいふるさとづくり」に関する情報を共有した。	6 月 23 日 11 月 17 日	2	12
高森流星サークル育成支援	高森流星サークルに所属するジュニアリーダーの育成と会員の拡大、地域の子ども会等での活動や定例会の開催などを支援した。定例会の実施・活動場所の確保・要請の確認と調整・活動記録の作成・報告	通年	13	58
高森ミニ農園　畑の先生養成講座	野菜の栽培方法や土づくり・堆肥づくりなど、畑の一連の作業を学んだ。高森地区の学童農園で、野菜の手入れや子どもたちに野菜づくりを指導するボランティア活動を行った。	4 月 11 日 ～11 月 28 日	15	470
高森市民企画会議 高森で伝えていく伝統行事について	高森の自然や人材を活用し、地域の絆を深め世代間交流を図るため、次世代に繋げていけるような、伝統となる地域行事を企画・運営する市民企画会議の実施	7 月 22、29 日 8 月 20 日 1 月 9、30 日	5	24
公園ボランティア養成講座　高森ガーデニング講座	花の種まきから育て方、肥料の作り方、公園の整備・管理、先進地視察、ボランティアについて	5 月 13 日 ～10 月 21 日	10	61

松陵市民センター

〔沿　革〕

松陵市民センターは、平成 2 年、泉区の北東に位置する松陵ニュータウンの住宅地に開館した。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の 6 つの町をエリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれた地域に立地している。子どもの減少により、平成 25 年度から 2 つの小学校が統合されるなど少子高齢化が進んでいる地域であるが、当市民センターは地域における生涯学習の拠点として市民に親しまれる事業を展開し、地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	第24回松陵ふれあいコンサート		
参加者	地域住民	延参加者	700 人
開催日	10 月 18 日(日)		
協力者・協力団体	松陵中学校、泉松陵小学校、向陽台中学校、向陽台小学校、泉松陵高校、東北学院榴ケ岡高校、東北高校、松陵中学校区地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会、泉松陵小学校 PTA、向陽台中学校吹奏楽部親の会、向陽台小学校ひまわり吹奏楽団保護者会、泉地区交通安全協会泉支部松陵分会		
ねらい	小学生から大人までが演奏や運営に参加することで、異世代間交流や地域団体の交流を図り、さらに音楽の素晴らしさを知っていただく機会を地域の方々に提供するとともに、地域活性化の一助とする。 また、6 つの学校の生徒たちもコンサートを通し交流することで心身の健やかな成長を培う。		
概要・成果	今年で 24 回を迎えたコンサートは 3 部構成で、第 1 部(高校生から社会人までの小合同演奏)、第 2 部(小学生から高齢者までによる合唱)第 3 部(小学生から社会人までの総勢 250 人による大合同演奏)の内容で実施した。ふれあいコンサートは参加者だけでなく多くの協力団体に支えられて地域の文化的行事として長く続いてきた。この講座をきっかけに出演団体が小学生に合唱や吹奏楽の指導に出向いたりすることで、地域の子ども達の演奏技術の向上にもつながり、音楽教育にも貢献している。 また、地域の住民が気軽に足を運べるコンサートとして地域交流の場となり、地域活性化へと繋がっている。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
ママのハッピープラン	出前市民企画会議「ママたちの企画会」を経て、8 月にペーパークイリングでのメッセージカード作りと、10 月に地域講師による手軽にできるストレッチ講座を開催した。いずれも、企画委員が計画、広報、受付、司会進行を担当した。	8 月 27 日 10 月 23 日	2	26
子どもゼミナール'15	学びのコミュニティづくり関連事業で、今年度は８月にパン作りと１２月にクリスマスリースづくりを行った。講師も地域の方にお願いし、子ども達にとって貴重な体験となった。	8 月 29 日 12 月 5 日	2	54
職場体験学習	松陵中学校の 2 年生 3 名（11 月 17 日～20 日）の職場体験を受け入れ、職業人としての心構え、市民センターの事業（講座の体験）、施設管理、サークル体験等を実際に行うことで、生涯学習の仕事の特性、施設管理の内容、接遇などを学習した。	11 月 17～20 日	1	3
松陵っ子土っと来いまつり	学びのコミュニティづくり関連事業で、子ども達の居場所と活動場所を提供している「松陵っ子土っと来い」事業のまつりを開催した。参加 15 団体で工作や遊びのコーナーなど体験学習の場を提供した。	11 月 7 日	1	150

わくわく元気広場	学区を越えた地域ぐるみの子育て支援のため児童館と3館で共催事業を行った。7月は小学生親子で藍染体験、9月は乳幼児親子対象の遊びうたコンサート（会場：市民センター）を開催した。	7月25日 9月3日	2	217
出前講座「市民センター出前サロン」	遠距離地域からの出前講座要望により気軽に参加できる事業を行った。山の寺地域は地区社協と連携した「ハーモニカに合わせて歌いましょう！」明石南地域はボランティア団体と連携で「レクリエーションで心も身体もぽっかぽか！」を実施した。	2月5日 3月2日	2	64
「初夏から秋の県民の森」観察会	松陵地区の地域資源「県民の森」を宮城県森林インストラクター協会の皆さんを講師に全3回行った。初夏・夏・秋の季節の変化や環境保護について学びながら散策した。	6月25日 7月14日 11月21日	3	25
●いきいき楽々講座	概ね60歳以上62名の受講者であった。全9回の講座からなり健康講話・軽体操、公開歴史講座、地下鉄東西線講話、防災講話、股旅寸劇、マイナンバー講話、ハープの生演奏などを行った。	5月15日 ～2月19日	9	414
第24回松陵ふれあいコンサート合同練習会	第24回ふれあいコンサート開催の為に合同練習を4回開催した。総勢250人が同じ曲を演奏するという特徴のあるコンサートの為、練習も時間をかけたものになった。	9月27日 10月4、12、17日	4	850
「オリエンテーリングとキャンプ」	「松陵っ子土っと来い」の関連事業として館内の小学校や地域団体と共催で地域ぐるみの行事として定着している。火起こし体験、オリエンテーリングを行った。子ども会育成会の保護者の皆さんが豚汁を手作りし、参加者にふるまった。	10月10日	1	128
松陵ふれあい合唱	小学生から成人まで、幅広い年齢層で共に歌う楽しさを学び、参加者同士交流を深めた。また、松陵地区の文化となっている「松陵ふれあいコンサート」で練習の成果を発表することもできた。	9月19、26、30日 10月3、10、17日	6	188
★●「地域の災害時の避難所運営について」	市・区役所と連携し向陽台学区避難所運営関係者を対象に防災講座を実施した。HUG（避難場運営ゲーム）を通じて、通常では、体験できない避難所運営の疑似体験をするとともに、講義により、避難所運営のポイントを学んだ。	8月30日	1	76
★第26回松陵市民センターまつり	センター利用のサークルや地域の諸団体による作品展示、舞台発表、出店、スタンプラリーなどを行なった。ボランティアは高校生が多く参加し、まつりを盛り上げた。世代間交流や地域の交流も深まった。	11月8日	1	1,150
地域懇話会	町内会役員をはじめ地域の方を対象に懇話会を実施した。市民センターの事業や役割を説明するとともに、地域での活動状況や地域課題等についての情報交換を実施し、今後のセンター運営に反映させる資を得た。	9月16日	1	7
JL定例会（みちのく松陵・向陽台ぱぴぷぺパレット）	「みちのく松陵」の登録者は昨年の１６人から３９人（８月に２人脱退）となった。月１回、主に第３日曜日に開催し、情報交換や要請の確認、ゲーム研修を行なった。子ども会、育成会、おやじの会や市民センターからの要請も受け活動した。	4月～3月	14	202
おもちゃドクターボランティア養成講座	平成24年度からはじめた養成講座で複数年事業である。技術を磨き、児童館や幼稚園で出前のおもちゃ病院を開設したり、市民センター事業の「松陵っ子土っと来い」まつりに参加して工作体験のブースを作った。28年度からは自主活動になる。	4月～3月	16	130
出前市民企画会「ママたちの企画会」	向陽台児童館との共催事業。児童館を利用している乳幼児の母親7名が参加。地域の母親たちが気軽に参加し、交流することができる講座を企画するために話し合いを行った。	5月～11月	6	37

寺岡市民センター

〔沿　革〕

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置し、緑豊かな自然が残る寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和 50 年代後半から急速に発展し、団地としては成熟しており、高齢化も進んでいる。一方、新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、寺岡地区とは対照的な年齢構成になっている。団地周辺には宮城県図書館をはじめ、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設があるほか、平成 20 年には大型商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。また、紫山地域の開発が更に進み住宅地が広がっていることから、今後もますます発展と活性化が期待される地域である。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●樹木剪定ボランティア養成講座		
参加者	寺岡・紫山地域住民	延参加者	59 人
開催日	全4回　6 月 27 日（土）、8 月 1 日（土）、11 月 21 日（土）、1 月 30 日（土）		
協力者・協力団体	泉区公園課、一般社団法人宮城県造園建設業協会泉分会		
ねらい	市民協働で、美しく快適な公園や独り暮らしの高齢者の一軒家を含めて住環境を整備していくことを通して、地域の絆を深め安心・安全な地域づくりを目指し、防犯等に貢献する。また、受講生のボランティア意識を高め、剪定だけでなく地域活性化を担う人材の育成を支援する。		
概要・成果	本講座は、住民が公園美化を求め行政に通年整備を要望しているが、行政としては予算上の問題があり要望に応えられない現実があり、また、庭付住宅に住む一人暮らしの高齢者が庭木の手入れができず困っている一方で、自宅の庭を自ら整備したいと考えている住民がいることが分かったことを契機に、剪定の基礎を学びつつボランティアの必要性を学ぶ機会を設けた。 その結果、受講者は寺岡・紫山地域に 13 団体ある公園愛護会に加入して活動したり、個人的に公園等地域の美化に努めて活動することで、住環境が整備されるなど安心・安全な地域づくりに貢献しつつある。また、ある受講者は寺岡・紫山地域ボランティア登録制度を立ち上げる準備中であり、本講座で知り合った仲間にも登録を呼びかけるなど、今後、地域ボランティアとして様々な活動を行い地域の活性化に貢献することが期待できる。		

〔平成 27 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
親子の広場	乳幼児を対象にした親子ビクスや子どもの救命法の講話、人形劇など、親子で気軽に参加できる事業を実施した。	5 月 19 日 6 月 25 日 9 月 3 日 10 月 29 日	4	153
子ども体験塾	小学生を対象に、天体観望会やしぼり染物の体験、グラスアート作成、スイーツ作りなど、学校では学ぶことのできない体験学習を実施した。	7 月 24 日 8 月 21 日 10 月 10 日 2 月 13 日	4	105

中学生職場体験	寺岡中学校2年生及び1年生に対し、市民センター事業の概要及び講座企画の要領を説明した。また施設管理業務の体験、サークル活動を体験し、働くことの意義や職業選定の心構えについて理解させた。	10月20、21、22、23、30日	1	17
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーが企画・運営までを行った。 子ども達に対しバルーンアート・木ごり・ビニール袋で作るパラシュートの工作を教えた。また、第2回では工作に加えゲームも実施した。	10月18日 2月27日	2	60
寺岡小学校区インリーダー研修会	小学5年生と世話人を対象にして、子ども会運営に関する研修会を行った。子ども向け「ジュニアリーダーによるゲーム」「子ども会の行事計画」、世話人向け「ＫＹＴ（危険予知訓練）」「21 世紀スキルのアクティブラーニング」	1月31日	1	78
子ども１１０番の家に行ってみよう	寺岡小学校1年生が地域の「子ども110番の家」を地域の協力者とともに実際に訪問し、通学路の近くに頼れる場所があることを理解してもらった。また合わせて泉警察署職員による防犯講話も行った。	6月4日	1	127
いずみふるさと歴史探訪	第1回は泉区の歴史や史跡の講話を行い、2～4回は実際に根白石・朴沢・福岡地域の神社や史跡を訪ねて歴史を学んだ。	6月3、10、17、24日	4	70
市民企画講座「手話で歌いましょう」	手話を初めて学ぶ方を対象にした講座。手話の基礎及び手話による歌を学び、市民センターまつりでその成果を発表した。	7月8日 ～8月26日	6	23
★多聞塾	地域の高齢者を対象に、様々な分野の教養を深めた。また、受講生同士の交流の場となり、生きがいづくりにつながった。防災、文学、宮城マスター検定、ボイストレーニング、太極拳、ユアテックスタジアム見学、感染予防、ミニコンサートなど	5月14日 ～2月18日	10	371
みんなで元気に！ニュースポーツ大会	寺岡地区社会福祉協議会と共催し、ニュースポーツ「カローリング」「ディスコン」をチーム対抗の大会形式で開催し、高齢者の運動不足解消を図った。	11月15日	1	43
寺岡市民センターまつり	地域で活動するサークルと地域諸団体で構成する委員会で運営し、ステージや展示の発表発表を中心としたまつりを開催した。その他、子ども向けの工作コーナー、産直市場など	10月17、18日	2	1,300
●寺岡・紫山地域防災ネットワーク推進委員会	町内会、地区社協、小中学校などの実行委員会を組織し、計5回の事前防災会議を経て、12月に「第4回伊達な防災イベント」を開催した。メインイベントに大型防災すごろく、消防によるＡＥＤ講習、防災食実演など	5月30日 ～12月23日	7	425
★寺岡・紫山地域懇談会	地域諸団体（21 団体）の代表に、市民センターの活動状況や地域力創造事業の概要、施設改修予定などを説明し、引き続いての協力・連携をお願いした。また、地域課題や市民センターへの要望の把握に努めた。	9月6日 1月17日	2	35
寺岡・紫山ふれあい絆コンサート	地域資源である宮城大学の管弦楽団・合唱団を招き、市民センターでコンサートを開催した。「ふるさとの四季」などの混声合唱とオーケストラの響きと講師の軽快なトークで音楽の歴史を学び、会場全体での合唱も行った。	7月12日	1	190
ジュニアリーダー育成支援「定例会等」	子ども会等からの要請への対応、研修などを行った。定例会ではジュニアリーダーが自ら考え企画・実行する姿勢を育むことができた。新メンバー歓迎会、講座企画、クリスマス会、送別会など	4月12日 ～3月25日	13	99
市民センターの講座を企画しよう	地域住民が抱える課題に対応する講座を企画するために全5回の企画会議を行った。手話の使い手が少なく、聴覚障がい者の交流の機会が少ないという課題に対し、「手話で歌いましょう」が企画された。	4月15日 7月18日 8月1日 8月26日	4	16

長命ケ丘市民センター

〔沿　革〕

長命ヶ丘市民センターは、平成 5 年 4 月に泉区 10 番目の市民センターとして開館した。その周囲は昭和 50 年代初めに造成された長命ヶ丘団地で形成されている。利用者の約 65%が長命ヶ丘地区、25%が近隣地区、残り 10%が他地区の利用者となっており、地域に密着した市民センターといえる。地域利用団体の 30 サークルをはじめ、常時 80 以上のサークルが活動しており、平成 27 年度は約 46, 700 名の利用者があった。

当市民センターは、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、その役割と機能は重要性を増している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画会議 長命ヶ丘ゆるキャラPR大作戦 「あいタワーくん・あいカネちゃんの歌を作ろう」		
参加者	地域住民	延参加者	42 人
開催日	全 7 回　6 月 9 日(火)、8 月 19 日(水)、9 月 16 日(水)、10 月 14 日(水) 2 月 18 日(木)、3 月 17 日(木)、3 月 24 日(木)		
ねらい	長命ヶ丘に誕生したゆるキャラ「あいタワーくん・あいカネちゃん」を地域に浸透させるため、これまでキャラクターのプロフィールを作成し、それをセンターまつりで発表する等してPRを進めてきた。そこで、今年度も引き続きこのゆるキャラを町内に広めていくため、誕生の経緯やプロフィールを歌詞に盛り込んだ歌を住民企画で作成していく。地域住民が主体となって歌を作りあげることで、地域へのより一層の浸透を目指し、キャラクターや地域への愛着を深めることに繋げていく。		
概要・成果	歌詞(歌詞のフレーズ)を公募、作曲を企画員知り合いの方に依頼という形で実施。市民企画にしたことで、住民の考えを歌の作成に反映することができた。また、歌作りの過程で小学生にも意見や感想を求めたことで、小学校とのつながりが深まった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
長命ヶ丘保育所・児童センター・市民センター３館共催「子育て講座」	託児付の子育て講話、食育コンサート、大運動会、リトミック、健康講話を 3 館が協働で開催し、多くの親子に学びと交流の場を提供することが出来た。地域をあげての子育て支援が定着してきており、参加者からは、毎年の開催を望む声が出ている。	6 月 4 日 8 月 6 日 10 月 8 日 12 月 3 日 2 月 4 日	5	379
フレンドスクール	夏休み等に、小学生が市民センターを利用しているサークル活動の体験学習(そば打ち体験など)、泉館山高校生からの「お菓子作り」の体験、親子で公共施設等の見学を行い、学校以外の異なる世代から学ぶことで、社会を体感することが出来た。	7 月 22、29、30、31 日 8 月 4、7、8、21 日 12 月 23 日	9	142
ロングライフヒルコミュニティ協議会事業「学校に泊まろう」	学校生活や家庭では経験できない体験として子どもたちが学校に泊まり、学年を越えた異学年交流や中学生、高校生、地域住民との交流を図った。豊かな感性の子どもたちを学校を含めた各団体が協働して、地域全体で子どもたちを見守り、支援する活動となった。	7 月 25、26 日	1	103

★中学生のための防災講座	長命ヶ丘中学校の防災避難訓練に合わせ、泉消防署高森出張所の防災アドバイザーから、普段から備える防災、震災時の中学生の活躍事例などの講話を行った。クイズなどを織り込み、中学生が関心を持てる内容で進めることができた。	11月11日	1	183
自転車の安全運転講習会	長命ヶ丘青少年健全育成協議会と共催で、主に中学生を対象に、自転車の新しい法令、自転車での賠償事故例などを泉警察署交通課署員から講習。自転車も車と同じで、法令を順守しなければならないことを理解する機会となった。	12月5日	1	58
●知っておきたい介護のイロハ	家族や身近な人が介護を必要とする状態になったときに備えて、高齢者の身体機能の変化や行政支援の活用等について学び、介護に必要な基本的な介助の方法や動作を実習した。	9月2、9、16日	3	47
長命大学	コミュニケーション術の磨き方、仙台弁と仙台の今・昔（地元学講座2回）、猛暑を乗り切る高齢者の食、自宅でできる筋力アップ運動、楽器のルーツから見る世界の文化と歴史、大震災被災者の傾聴ボランティア活動と人生の捉え方、初笑い演芸会、出前歌声喫茶など、年間を通し様々なテーマで学んだ。	5月21日 ～2月18日	10	699
●いきいき☆シニア倶楽部	地域の高齢者が、心身の健康を維持するために、介護予防についての講話や調理実習、運動などを通して介護予防の情報や知識について学んだ。	9月4、18日 10月2、9、23日	5	63
出前講座	市民センターまで足を運ぶ事が難しい方々のために、住まいに近い集会所で気軽に楽しむことができる催しを実施。第1､2回はお笑い演芸会。第3回はマジックショー。	8月29日 11月14日 2月20日	3	92
長命コンサート	高齢化率の高い当地域で、遠方へ出かけることが難しい住民が増えていることから、高齢者はじめ地域の方々に対し、気軽に楽しむことができるジャズのコンサートを開催した。	6月6日	1	180
●地域の里山「とどヶ沢」を守ろう･活かそうプロジェクト	地域資源である「とどケ沢溜池群」の周辺を、市民の憩いの場、自然学習の場として活用していくための整備活動を行った。また、冬に野鳥観賞会を開催した。	5月30日 6月14日 9月19日 11月28日 3月5日	5	40
ロングライフヒルコミュニティ協議会との企画検討会	地域団体で構成された協議会で、地域の子どもたちの健やかな成長や交流を目的とした事業の企画・検討をした。	4月3日 ～11月29日	7	95
長命ヶ丘市民センターまつり	市民センターを中心に活動しているサークル団体の学習成果を発表する場として、また、地域の住民が楽しく交流する場として開催した。	10月17、18日	2	2,500
長命ヶ丘市民センター地域懇談会	1回目は、地域の老人クラブ役員と高齢者が元気で活躍できるためにというテーマで開催した。2回目は、連合・単位町内会長と市民センターの事業について意見を収集した。	9月3日 2月5日	2	15
●剪定ボランティア養成講座	ボランティアの魅力と地域での活躍について話を聴き、剪定と整枝について映像を見ながら説明を聴いて学習。市民センターや地域の小中学校敷地内の樹木を剪定・整枝し、体験実習を通して技術を習得すると共にボランティアの理解と関心を高めた。	10月24日 ～12月26日	7	61

松森市民センター

〔沿　革〕

松森市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。当市民センターは仙台市泉区の北東端に位置し、担当するのは、古くからの松森地区と昭和40年代から50年代にかけて開発された鶴が丘団地からなる地域である。

施設内は、バリアフリー仕様になっており、広々としたロビーのほか親子室・娯楽室・図書室などを備えている。このような特性を生かしながら地域の生涯学習の拠点施設として開かれた親しみのある市民センターを目指している。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★減災をめざして～小学生のための防災セミナー～		
参加者	松森小学校6年生、鶴が丘小学校4年生	延参加者	85人
開催日	全2回　①松森小学校　6月1日(月)　　②鶴が丘小学校　9月29日(火)		
協力者・協力団体	仙台市立松森小学校、仙台市立鶴が丘小学校		
ねらい	東日本大震災では、災害発生に伴うさまざまな出来事に対して、地域の子供たちも、その行動に苦慮した場面が多くあった。大規模災害発生時に起こるさまざまな出来事に対して、どのように考え・判断して、どのように対応するのかを学び、防災減災の意識を養う機会を設ける。		
概要・成果	鶴が丘中学校区の2つの小学校との連携事業で2回講座。東北大学災害科学国際研究所の保田真理氏を講師に招き、波と津波の違いや地球規模で広がる被害の様子などを通して、減災について学んだ。ワークショップでは、松森小学校は減災対策についてグループ毎にまとめた。鶴が丘小学校は防災スタンプラリーと題し、防災の心構えを学んだ。 今回の講座を通して、減災や防災について知識を深めることで、災害時のとるべき行動や、判断力を高めることが出来ただけでなく、家庭での減災への意識をもつ機会となった。		

〔平成27年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
子育てサロン「こどもの杜」	1回目:「こどもの杜ギターとおはなししコンサート」を開催。2回目：託児付き講座として調理実習を実施した。	6月9日 12月8月	2	68
ジュニアちゃれんじ！	長期休暇中の小学生対象で創造力や想像力を育む講座を実施した。	7月24、31日 2月13日	3	60
田んぼのがっこう	松森小学校児童対象の学社連携事業講座①実習田代かき②田植え③稲刈りと農家ボランティアと松森小学校企画運営会議を開催した。	4月23日 5月8、13日 10月1、7日	5	557
松森ほっとサロン	地域住民が得意な分野を教え合いながら情報交換できるサロン的講座を実施した。	6月17日 7月15日 8月19日 9月16日 10月23日 11月18日	6	78

市民企画講座　地域の魅力発見！松森城と人々の暮らし	松森の歴史的シンボルである『松森城』に焦点を当て地域の魅力を再発見する講話を開催した。講師は仙台市教育委員会文化財課	1月30日	1	39
★考えてみませんか？ペットと一緒の自主防災～人とペットとの共生をめざして～	災害時にペットと一緒に自主避難する時の非常用持出し品や避難所での基本的ルール等ペットの避難対策について学んだ。	12月5日	1	21
●城前大学	全9回実施。①開講式・講話②演劇の手法を使ったコミュニケーションスキルを学ぶ③歴史講話④健康講話⑤特殊詐欺についての講話⑥コンサート⑦温泉についての講話⑧脳トレ体操⑨閉講式・コンサート・茶話会	4月16日 5月21日 6月18日 7月16日 9月17日 11月19日 12月17日 1月21日 2月18日	9	493
松森市民センターまつり	「心ふれあう　第14回松森市民センターまつり」として市民センター利用サークル団体の活動発表の場として舞台発表・展示発表・出店や地域住民の交流を促進する場となった。	10月18日	1	1,350
松森アフタヌーンコンサート	地域の人たちが気軽に集え、楽しめるコンサートを開催。①笙の調べ②ビッグバンドで楽しむノンジャンル音楽③打楽器ワークショップ④PWO クリスマスコンサート⑤春を呼ぶピアノの音色⑥朗読を楽しむを実施。	6月20日 9月19日 11月14日 12月6日 2月20日 3月19日	6	364
★松森･鶴が丘地域懇談会	地域の団体や機関の活動状況や課題について意見交換を行う。活動や課題に対して市民センターとしての支援を考える機会とした。	12月5日	1	36
ＪＬパズル鶴が丘　定例会	ジュニアリーダーサークルパズル鶴が丘の定例会を定期実施した。	4月15日 ～3月13日	14	42
図書ボランティア養成講座～ひとと本をつなぐ～	図書ボランティアの技術向上と新規会員確保のための養成講座を開催した。	10月28日 11月11、25日 12月9日	4	60
市民企画会　松森･鶴が丘地区情報発信企画員になってみませんか？	松森・鶴が丘は自然豊かな環境と歴史のある地域である。そこで地域への愛着をテーマに地域を散策しながら地域の環境や歴史を学ぶ講座を企画した。	6月26日 7月17、29日 8月28日 9月12日 11月12、30日 3月16日	8	6
サークル一日体験	各サークルの活動日に合わせた日程でサークル体験を実施した。	4月24日 ～7月1日	15	25

桂市民センター

〔沿　革〕

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興住宅団地で、緑が多く高齢化率も比較的低い街である。一方、将監地区は昭和 40 年代に開発された歴史の古い団地で年々高齢化が進んでいる。桂市民センターは、この両地区を受け持っている。

当市民センターは児童センターとの併設館であり、利用者の年齢層は乳幼児から高齢者までと幅広い。平成 13 年 12 月の開館以来、これらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、生涯学習の拠点を目指して取り組んでいる。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●桂島緑地未来プロジェクト		
参加者	地域の方	延参加者	428 人
開催日	全 37 回　通年		
協力者・協力団体	泉区建設部公園課、泉区中央市民センター、桂地区各町内会、桂島緑地公園愛護協力会 桂赤十字奉仕団		
ねらい	「桂島緑地の環境保全・美化および地域住民の憩いの場としての維持」をともに考え、活動している桂地域住民ボランティア団体の組織の拡充が図れるよう支援する。		
概要・成果	「桂島緑地未来プロジェクト」を構成する 3 部会が、住民参加型のワークショップの開催や植物保護活動・環境保全活動・広報活動をそれぞれ継続し、ボランティア団体としての年間活動が定着した。新たに植物保護班が立ち上がり、組織が拡充した。桂島緑地公園での現地調査や学習会を実施し、泉区建設部公園課との連携を深めた。秋の定期作業には将監中学校生 70 名が参加し、地域における「桂島緑地未来プロジェクト」活動がより一層浸透した。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
桂の森のキッズランド	桂地区の子育てに関わる 4 団体の共催で実施した。会議は 3 回設け、担当者同士の連携を深める事が出来た。参加型の劇を開催し、参加した乳幼児と保護者、未就学児童に好評であった。	9 月 16 日	1	175
桂ジュニアカレッジ	体験学習の機会を通して、主に桂小学校の児童を対象に異年齢の子ども同士の交流を図った。チーム対抗ゲーム、桂中央公園の自然観察、キンボール体験、ジュニアリーダーと遊ぼう、万華鏡づくりに取り組んだ。	6 月 27 日 9 月 26 日 11 月 11 日 2 月 20 日 3 月 18 日	5	110
桂友くらぶ	講話：内視鏡検査、ビル化石、仙台城下の町名の由来、簡単にできる健康法。実技：“ディスコン”体験。制作：地蔵絵にチャレンジ。館外学習：仙台市科学館バックヤードツアー。演奏会：マリンバとピアノのコンサート。	5 月 14 日 ～1 月 14 日	8	350
昔話から学ぶ～民話を聞こう！～	市民企画会議で企画した講座。第１部：民話の語り部から、県内の民話を聞く。第２部：講師、参加者、企画員が、故郷の方言や生活習慣、伝承話などを話し合い、現代に生かせる生活の知恵など情報交換を行った。	12 月 2 日	1	10

桂みんなのラジオ体操～健康で元気な地域づくり～	ラジオ体操の歴史や効果について講話から学び、ラジオ体操第一と第二の正しい動きを学習した。	5月9、10、15日	3	42
桂ロビーコンサート	第1回:「ハワイアンミュージックと懐かしの歌謡コンサート」、第2回:「ウインターコンサート～ジャズで楽しむクリスマス～」を開催	9月27日 12月12日	2	240
★桂地域防災事業	桂小学校を会場として桂地区防災訓練を実施した。市民センターは補助避難所として参加し、広報車による町内広報、防災無線訓練を担当した。	9月13日	1	692
★もっと活用！非常食アレンジ～眠っている缶詰ありませんか～	非常食の一つとして缶詰に着目し、ローリングストック法に触れながら、食卓の献立に手軽に取り入れる方法を実技で学習した。社会学級生と一般受講生が共同で調理に取り組み、地域住民同士の交流が深まった。	11月10日	1	19
桂小学校区社会学級連携事業企画会議	桂小学校区社会学級と公開講座の開催を目的に連携し、5回の企画会議を実施した。地域情報を住民の視点で共有しながら会議を進めることができた。2者で連携したことで、地域情報や地域課題への理解が深まった。	6月12、26日 7月17日 10月2日 11月10日	5	25
聞かせて桂みんなの知恵オープンカフェ	人材発掘を目指し地域の話題を中心にしたカフェ形式の意見交換会を設定したが、現役員だけの参加に留まり新しい人材発掘に結びつかなかった。４回で終了とした。	6月13日 7月18日 11月28日 1月27日	4	37
桂文化祭	桂連合町内会と共催で､地域住民や活動団体が､ステージ、展示、出店の３部門で日頃の活動の成果を発表。児童センターまつり、地域団体の活動紹介もあり、住民からは地域の４大行事のひとつとの認識もいただいており大盛況だった。	10月17日	1	1,692
★桂地域懇談会	市民センター事業の充実を図るため地域諸団体との懇談会を実施した。活動状況と連携の方向性を話題とした。	7月7日 2月23日	2	24
市民企画会議「熟年世代の企画会」	5回にわたり企画会を開催。講座の趣旨説明、自己紹介から始まり、地域情報交換および地域課題や地域のニーズなどについて話し合いを重ね、市民企画講座「民話を聞こう！」講座を企画・開催・運営した。	6月2、23日 7月14日 11月25日 12月2日	5	15
こどもの工作･遊びボランティア養成講座	1回目はボランティアについての講話、2～4回は実技として「ヤジロベー」「シャボン玉」「ブーメラン」を作った。5回目は児童センターまつりで工作ブースを担当。「でんぐり返し人形」を作り、子どもたちに大変好評であった。	9月2、9、16、30日 10月17日	5	46
ジュニアリーダー定例会	要請確認、情報交換、バルーンアート講習会、「将監くれよん通信」作成、交流会などを実施した。	4月5日 ～3月6日	12	82

南中山市民センター

〔沿　革〕

南中山市民センターは、平成 15 年 3 月をもって閉館した「泉中高年齢労働者福祉センター（サンライフ泉）」の建物に改修を行い、平成15年11月13日に開館した。敷地内にはコミュニティ防災センターを併設している。

当市民センターのエリアは、南中山、北中山、西中山の 3 連合町内会傘下 16 町内会で、地域の活動拠点として、地域団体やサークルなどに広く活用されている。

（★：震災を踏まえた事業　　●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	「学校で遊ぼう 2015 夏」連携事業　最強のチームはどこだ？ゲーム一致団結		
参加者	小学生	延参加者	121 人
開催日	全1回　8月1日(火)		
協力者・協力団体	南中山小学校 PTA、南中山小学校、南中山おやじの会		
ねらい	異年齢間や同年代でも顔見知りではない人たちとの協調・協力の大切さを自覚し、自主的な行動力を身につけ、チームワークの大切さを学ぶ機会を提供する。		
概要・成果	本講座は平成 26 年度から南中山小学校・PTA・おやじの会と連携して「こどもワンダークラブ」の一コマとして実施してきたが平成 27 年度は「地域全体で子どもの育ちを支えるまなびの環境づくり」に更に取り組むために、独立した一講座とした。 本来、学校に泊まる予定だったが今回は学校や PTA の都合により宿泊なしのデイキャンプになり、南中山市民センターは導入部であるチームワーク醸成のグループ対抗ゲームを担当した。最初は見知らぬ仲間ということもあり盛り上がりに欠けていたが、ゲームが進行し獲得点数に差が出始めると各チームのメンバーが真剣になり、最後のスイカ割りゲームや表彰式では大いに盛り上がった。 当初計画を上回る参加があり、異年齢交流やチームワークの大切さを学ぶ機会にすることができた。また、連携する団体との打合せが数回あり、今回の行事を実施した事で更にお互い顔の見える関係になり、結びつきがより一層強くなった。		

〔平成 27 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	延参加者
●おやこほっとタイム	管内へ転入してきた若い世代が新しい土地での仲間づくりと親子の触れ合いを深めるため、親子遊び等を通したコミュニケーションと学びの場を提供した。また、地域団体と連携して親子遊び等の出前講座を実施した。	4 月 16 日 ～2 月 25 日	8	136
職場体験	市民センターが行っている生涯学習事業や地域活動の現状と職員の仕事などを理解してもらい、将来の自己のあり方の指針に役立ててもった。窓口業務や施設管理業務など	8 月 19～21 日	1	3
こどもワンダークラブ	地域資源を活用したスポーツ体験やワークショップを行った。	6 月 23 日 ～2 月 27 日	4	93
インリーダー研修会	北中山と南中山の両小学校区の子ども会育成会活動の充実を図るため、リーダーとして活動する児童と世話人を対象に研修を実施した。児童向け講話と実技、世話人向け講話を主にした研修。	11 月 14 日	1	62

和楽器の魅力～しの笛・箏・尺八の調べ	いずみ中山地域の住民が、地域を超えて集まり、交流できる場を提供するため、管内 2 つの社会学級と共催し、日本の伝統文化をテーマに、気軽に集える演奏会を実施した。	2 月 25 日	1	120
ほがらかシニア塾	地域の高齢者を対象に、一般教養や社会環境、高齢者の健康維持などについて学び、変化する社会情勢に対応する知識を得る機会を提供した。	5 月 15 日 ～1 月 15 日	8	362
まちづくり・ちゃちゃちゃ倶楽部	住民の相互協力、支え合いの意識向上、地域への関心の深化等を目指し、住民が関わる機会を作り、交流の輪を広げ、更に地域の理解を深めながら、地域を支える人づくりを行いその人材を活用した。	5 月 28 日 ～11 月 26 日	6	126
まなびねっと「いずみ中山」推進委員会	地域団体がネットワークをつくり、地域の子ども達の交流や健やかな成長を促すことを目的に、事業を企画した。会議を重ね、地域団体の輪を広げ、結びつきを強化することにより地域を活性化させた。	5 月 9 日 ～3 月 26 日	10	55
社会学級との企画会議	平成 27 年度は地域の人を対象に、広く生涯学習活動の推進を図る事業を実施するため、管内の２つの社会学級と企画会議を行った。	6 月 23 日 ～2 月 25 日	6	12
いずみ中山フェスタ	サークルに、日頃の学習活動の成果発表の場を提供するとともに、サークル、地域住民、地域団体が協働して地域の「まつり」を計画、実施した。	10 月 17 日	1	775
地域懇談会	地域団体との意見交換をもとに地域課題や市民センターへの要望・評価を収集した。	4 月 25 日 5 月 15 日	2	30
まなびねっと「いずみ中山」交流事業	南中山小学校区・北中山小学校区の地域団体と地域での自然体験や伝統文化に触れる機会を提供することを通して、子どもたちの感性を磨き想像力を養った。	8 月 23 日 ～12 月 27 日	3	172
食文化を伝えよう！～きねつきの草もちと手作りきな粉を体験～	地域に住む高齢者を指導者に迎え、昔から家庭に伝わる食について教わりながら、地域の子どもたちや大人が一緒に作業することで、気軽に集えるきっかけづくりとした。	3 月 19 日	1	34
★市民企画講座”いつも”から”いざ”というときまで～家庭でも作れる干し野菜～	非常用備蓄だけでなく、日常的にも使える野菜の保存食「干し野菜」の作り方、保存方法、栄養、特長などについて講話、体験を通し、参加者同士の情報交換を行った。	12 月 3 日	1	31
ジュニアリーダー定例会	ジュニアリーダーサークル「長命ケ丘巣子っぷ」の中学生、高校生の活動を支援し、部活動と学業との両立を円滑にするための環境の整備、メンバーの意識向上、技術を高めるために定例会を開催した。	通年	12	44
市民企画会「いずみ中山にぎわいプロジェクト 2015」	市民センターが行っているまちづくり、人づくりの取り組みを更に地域全体に伝えていくため地域住民を企画員に起用し、住民が気軽に集える学びの場の提供を目的に、地域交流を図る事業の企画、運営を行った。	9 月 3 日 ～3 月 19 日	6	18
市民企画会「北中山＆西中山交流ミーティング」	地域住民が自ら講座企画に参加し、被災して転居してきた新たな住民を主体的に共に支えあう地域づくりを実践するための講座を実施した。	6 月 12 日 12 月 3 日	5	24

Ⅳ　資　　料

1　市民センターの予算

＜歳　出＞

〔市民センターにかかる経費〕

単位：千円

		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(予算)
地域社会教育事業費(※)		572,440	573,667	608,108	594,012	634,938
市民センター施設費	運営管理	1,285,585	1,296,272	1,330,347	1,331,071	1,493,525
	施設整備・改築等	831,213	258,018	1,186,469	978,019	1,058,300
合　　計		2,689,238	2,127,957	3,124,924	2,903,102	3,186,763

※地域社会教育事業費　内訳

単位：千円

		平成24年度(決算)		平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(予算)	
		拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館
各種講座等	家庭教育推進	204	3,190	328	3,029	219	3,193	267	3,557	449	3,025
	青少年健全育成	691	3,137	749	2,941	643	2,677	733	2,740	822	2,778
	成人学習振興	488	5,189	642	4,506	247	3,916	416	4,016	701	3,775
	高齢者学習振興	596	6,664	572	6,458	507	6,559	503	6,930	685	6,744
	地域社会教育推進	1,146	5,945	1,046	5,893	1,932	6,898	2,486	6,930	3,182	6,754
	民間指導者育成	866	2,979	1,056	3,169		3,702		2,840		3,508
	学習情報提供	366	96	357	101	144	272	70	112	218	300
	学びを支える人材育成					2,080		2,175		2,725	
	若者社会参画型学習推進	1,260		1,347		1,355		1,541		2,142	
	住民参画・問題解決型学習推進	1,763		1,560		1,491		1,702		2,012	
	学びのまち仙台市民カレッジ	601		746		755		894		1,147	
	子ども参画型社会創造支援	1,689		1,792		1,222		1,424		2,113	
	障害者学習講座開設					407		407		520	
	市立高等学校開放講座開設					200		152		200	
	学び直し	345		390		411					
	地域の絆づくり推進	2,416		2,406		2,235					
	小　　計	12,431	27,200	12,991	26,097	13,848	27,217	12,770	27,125	16,916	26,884
学習情報提供（システム運営管理等）		16,271		31,893		37,308		15,192		16,310	
その他		14,155	502,383	13,434	489,252	13,322	516,413	14,235	524,690	15,064	559,764
合　　計		42,857	529,583	58,318	515,349	64,478	543,630	42,197	551,815	48,290	586,648

＜歳　入＞

単位：千円

	平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(予算)
市民センター使用料	149,027	150,663	151,803	155,063	180,833

2　平成27年度 市民センター職員数

（平成27年6月1日現在）

部分は嘱託職員　　内部で兼務　　外部と兼務

青葉区

	職名／館名	教育委員会・区役所												(公財)仙台ひと・まち交流財団							
		センター長	センター次長兼係長	主幹兼係長	係長	主査		主任	主事	正職員以外			合計	館長（常勤嘱託）	事業職員		常勤嘱託職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	合計	総計
						社会教育主事	主査			専門員	嘱託職員	臨時職員			主任	係員					
1	青葉区中央	1			1	3		4		1		1	11	兼1	1	5		2		8	19
2	柏　木												0	1	1	1	1	1	1	6	6
3	北　山												0	1	1	2	1	1		6	6
4	福　沢												0	1	1	2		1	1	6	6
5	旭ケ丘												0	1	1	3		2		7	7
6	三本松												0	1	1	1	1	1		5	5
7	片　平												0	1	1	3		1		6	6
8	水の森												0	1	1	2	1	1		6	6
9	貝ケ森												0	1		3		1	1	6	6
10	中　山												0	1	1	3		1		6	6
11	折　立												0	1		4		1		6	6
12	木町通												0	1	1	2	1	2		7	7
13	広　瀬												0	兼1	1	3				4	4
14	宮城西												0	1		3		1		5	5
15	大　沢												0	1	1	3		1		6	6
16	落　合												0	1	1	3		1		6	6
17	吉　成												0	1	1	3		1		6	6
	小　計	1	0	0	1	3	0	4	0	1	0	1	11	15	14	46	5	19	3	102	113

宮城野区

1	生涯学習支援	1	1		1	4	1	2	2		2	1	15	兼1	1	3	1	2		7	22
2	宮城野区中央	1			1	3			1		1	1	8	兼1	1	3				4	12
3	高　砂												0	1	1	3		1		6	6
4	岩　切												0	1	1	3		1		6	6
5	鶴ケ谷												0	1		2				3	3
6	榴ケ岡												0	1	1	4		1		7	7
7	東　部												0	1	1	2		1	1	6	6
8	幸　町												0	1	1	3		1		6	6
9	田　子												0	1	1	2	1	1		6	6
10	福　室												0	1	1	2		1	1	6	6
	小　計	2	1	0	2	7	1	2	3	0	3	2	23	8	9	27	2	9	2	57	80

若林区

1	若林区中央	1		1		2	1	1			1		7	兼1	1	3				4	11
2	七　郷												0	1	1	2	1	1		6	6
3	荒　町												0	1	1	2	1	1		6	6
4	六　郷												0	1	1	2	1	1		6	6
5	若　林												0	1		3	1	1		6	6
6	沖　野												0	1	1	3		1		6	6
	小　計	1	0	1	0	2	1	1	0	0	1	0	7	5	5	15	4	5	0	34	41

太白区

	職名／館名	教育委員会・区役所												(公財)仙台ひと・まち交流財団							
		センター長	センター次長兼係長	主幹兼係長	係長	主査		主任	主事	正職員以外			合計	館長（常勤嘱託）	事業職員		常勤嘱託職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	合計	総計
						社会教育主事	主査			専門員	嘱託職員	臨時職員			主任	係員					
1	太白区中央	1			1	3		2				1	8	兼1	1	2	1			4	12
2	生出												0	1		4		1		6	6
3	中田												0	1	1	3		1		6	6
4	西多賀												0	1	1	3		1		6	6
5	八本松												0	1	1	3		1		6	6
6	八木山												0	1		4		1		6	6
7	山田												0	1		3	1	1		6	6
8	茂庭台												0	1		3	1	1		6	6
9	東中田												0	1	1	2	1	1		6	6
10	柳生												0	1	1	3		1		6	6
11	富沢												0	1	1	2	1	1		6	6
12	秋保												0	1	1	3	1	1		7	7
13	馬場												0	兼1	兼1	兼3	兼1	兼1		0	0
14	湯元												0	兼1	兼1	兼3	兼1	兼1	1	1	1
	小計	1	0	0	1	3	0	2	0	0	0	1	8	11	8	35	6	11	1	72	80

泉　区

1	泉区中央	1		1		3	1	1				1	8	兼1	1	4	1	2		8	16
2	根白石												0	1		3	1	1		6	6
3	南光台												0	1		4		1		6	6
4	黒松												0	1	1	3		2		7	7
5	将監												0	1	1	3		1		6	6
6	加茂												0	1		3	1	1		6	6
7	高森												0	1		3	1	1		6	6
8	松陵												0	1	1	3		1		6	6
9	寺岡												0	1		3	1	1		6	6
10	長命ケ丘												0	1		3	1	1		6	6
11	松森												0	1	1	3		2		7	7
12	桂												0	1	1	2	1	1		6	6
13	南中山												0	1	1	2	1	1		6	6
	小　計	1	0	1	0	3	1	1	0	0	0	1	8	12	7	39	8	16	0	82	90

総　　計

	職名／館名	教育委員会・区役所												(公財)仙台ひと・まち交流財団							
		センター長	センター次長兼係長	主幹兼係長	係長	主査		主任	主事	正職員以外			合計	館長（常勤嘱託）	事業職員		常勤嘱託職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	合計	総計
						社会教育主事	主査			専門員	嘱託職員	臨時職員			主任	係員					
	計	6	1	2	4	18	3	10	3	1	4	5	57	51	43	162	25	60	6	347	404

3　平成27年度　主催講座の事業別実施状況

区名		青葉区														
館名 / 事業		青葉区中央	柏木	北山	福沢	旭ケ丘	三本松	片平	水の森	貝ケ森	中山	折立	木町通	広瀬	宮城西	大沢
家庭教育推進事業																
(例) 子育て支援講座 親子ふれあい教室 食育講座 思春期親学 プレパパママ講座 絵本よみきかせ講座	講座数	3	1	1	1	2	0	1	1	3	2	2	1	1	0	2
	回数	15	2	19	3	2	0	2	3	6	2	10	5	7	0	2
	参加者数	476	65	297	122	92	0	147	24	260	67	380	116	298	0	96
青少年健全育成事業																
(例) インリーダー研修 子どもの広場 キッズクッキング 夏休みチャレンジ講座 子ども体験塾	講座数	8	5	6	3	4	3	3	3	4	5	3	3	5	4	2
	回数	123	7	7	5	8	4	8	8	10	8	3	8	13	13	6
	参加者数	2,772	560	835	72	708	747	286	200	336	2,213	219	571	3,506	269	403
成人学習振興事業																
(例) 自然体験教室 エコライフ講座 男の料理教室 パソコン・デジカメ教室 地域(自然・伝統)を知る講座	講座数	4	2	2	0	1	0	2	1	3	3	1	3	1	4	3
	回数	95	9	6	0	2	0	11	2	10	19	5	16	6	32	22
	参加者数	6,964	245	235	0	30	0	278	21	116	158	79	163	108	423	276
高齢者学習振興事業																
(例) 明治青年大学 老壮大学 健康づくり教室 介護予防教室 シニアパソコン教室	講座数	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	2	3	1	1	1
	回数	9	12	10	10	15	10	18	13	10	9	16	22	9	8	9
	参加者数	299	695	329	545	1,185	322	622	455	298	372	472	939	483	482	340
地域社会教育推進事業																
(例) 市民センターまつり 地域懇談会 学びのコミュニティ関連事業 地域防災教室 社会学級連携事業	講座数	11	7	8	7	8	7	8	8	10	4	6	8	9	6	8
	回数	101	28	33	31	27	27	33	35	35	7	11	26	82	18	16
	参加者数	4,108	1,345	2,162	2,738	4,743	269	1,772	3,690	3,099	1,639	1,833	1,131	4,037	3,726	2,832
民間指導者育成事業																
(例) 各種ボランティア育成講座 各種ボランティア活動支援 ジュニアリーダー育成支援 子ども広場サポーター養成講座	講座数	3	3	2	3	3	0	2	4	1	3	2	1	3	1	2
	回数	28	25	14	33	29	0	19	26	3	41	23	19	30	3	7
	参加者数	128	451	46	214	262	0	86	441	9	625	153	182	268	11	42
合計		30	19	20	15	20	12	18	19	22	18	16	19	20	16	18
		371	83	89	82	83	41	91	87	74	86	68	96	147	74	62
		14,747	3,361	3,904	3,691	7,020	1,338	3,191	4,831	4,118	5,074	3,136	3,102	8,700	4,911	3,989

2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は，「小計」及び「総計」欄では1事業として計上しています。

(※1)柏木市民センターと北山市民センターの「三条中学校連携講座「ふれあいランチ」」、旭ケ丘市民センターと三本松市民センターの「台原中学校PTA共催事業「トレーナーという立場で支えるスポーツ」」、青葉区中央市民　セ

(※2)旭ケ丘市民センターと三本松市民センターの「台原中学校PTA共催事業企画会議」、広瀬市民センター、宮城西市民センター、落合市民センターの「生涯学習活動発表会「みやぎ学習フェア」」

(※3)宮城野区中央市民センターと区内地区館の「インリーダー研修」

(※4)高砂市民センター、田子市民センター、福室市民センターの「三館共催事業「七北田川・梅田川の防災今昔」」

(※5)若林区中央市民センターと区内地区館の「インリーダー研修」

			宮城野区												若林区						
落合	吉成	小計	生涯学習支援	宮城野区中央	高砂	岩切	鶴ケ谷	榴ケ岡	東部	幸町	田子	福室	小計		若林区中央	七郷	荒町	六郷	沖野	若林	小計
3	2	26	0	2	1	4	0	1	2	1	1	1	13		2	1	0	3	3	1	10
11	6	95	0	5	8	12	0	8	8	5	2	3	51		6	5	0	12	12	4	39
109	87	2,636	0	169	1,294	532	0	132	169	85	53	206	2,640		90	173	0	132	272	18	685
		(※1)		0									(※3)								(※5)
2	2	46	0	9	4	4	4	3	3	4	4	4	30		8	2	3	4	4	5	20
2	5	219	0	36	12	9	13	6	14	9	11	8	109		22	6	30	10	9	16	87
80	86	12,496	0	1,651	344	211	793	429	858	418	319	497	5,112		1,382	280	357	300	616	550	3,132
				0																	
2	2	34	5	3	0	0	0	0	1	2	0	1	12		15	0	1	0	1	1	18
8	8	251	42	14	0	0	0	0	10	14	0	5	85		172	0	4	0	3	2	181
132	139	9,367	668	371	0	0	0	0	102	72	0	78	1,291		3,650	0	91	0	122	71	3,934
				0																	
2	2	26	1	1	1	2	1	2	2	1	2	1	14		4	1	1	2	1	1	10
15	13	208	25	11	10	24	10	21	15	10	22	10	158		27	12	11	11	11	12	84
356	549	8,743	13,032	962	1,071	1,108	584	1,190	555	398	476	736	20,112		1,664	975	729	654	659	692	5,373
		(※2)		0									(※4)		0						
6	6	124	7	14	8	7	5	6	10	6	10	10	81		12	9	7	9	6	6	49
26	13	542	33	44	27	29	28	34	46	26	63	30	354		71	38	31	21	16	16	193
2,128	1,348	41,313	937	3,184	18,456	2,172	796	1,121	2,916	2,826	6,218	3,721	42,081		3,323	10,603	2,739	3,945	10,179	2,021	32,810
				0																	
3	1	37	10	6	4	1	2	3	1	5	3	2	37		7	3	3	2	3	3	21
16	15	331	53	48	65	7	24	23	1	36	23	42	322		88	28	41	15	28	25	225
73	36	3,027	1,848	393	609	24	81	201	11	171	169	367	3,874		843	153	395	49	208	176	1,824
18	15	293	23	35	18	18	12	15	19	19	20	19	187		48	16	15	20	18	17	128
78	60	1,646	153	158	122	81	75	92	94	100	121	98	1,079		386	89	117	69	79	75	809
2,878	2,245	77,582	16,485	6,730	21,774	4,047	2,254	3,073	4,611	3,970	7,235	5,605	75,110		10,952	12,184	4,311	5,080	12,056	3,528	47,758

ンターと区内地区館の「インリーダー研修」

区名 / 館名 / 事業		太白区												
		太白区中央	生出	中田	西多賀	八本松	八木山	山田	茂庭台	東中田	柳生	富沢	秋保	小計
家庭教育推進事業														
(例) 子育て支援講座 親子ふれあい教室 食育講座 思春期親学 プレパパママ講座 絵本よみきかせ講座	講座数	2	1	1	1	2	2	1	1	0	1	2	1	15
	回数	13	3	17	4	8	5	16	4	0	8	11	5	94
	参加者数	73	45	415	17	77	96	157	22	0	179	780	61	1,922
青少年健全育成事業														(※6)
(例) インリーダー研修 子どもの広場 キッズクッキング 夏休みチャレンジ講座 子ども体験塾	講座数	8	3	6	6	3	4	5	4	3	4	5	3	43
	回数	63	15	30	19	7	50	18	9	10	17	12	6	245
	参加者数	1,495	184	399	843	269	858	425	81	247	208	733	147	5,225
成人学習振興事業														
(例) 自然体験教室 エコライフ講座 裁判員制度講座 男の料理教室 パソコン・デジカメ教室 社会教育実習生の受入	講座数	3	0	2	1	2	1	0	3	1	1	3	4	21
	回数	13	0	31	5	5	69	0	10	5	2	15	11	166
	参加者数	834	0	591	78	102	573	0	63	57	28	283	168	2,777
高齢者学習振興事業														
(例) 明治青年大学 老壮大学 健康づくり教室 介護予防教室 シニアパソコン教室	講座数	3	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	16
	回数	27	10	10	10	10	12	13	10	10	10	10	9	141
	参加者数	1,787	679	361	738	453	673	841	362	582	346	535	151	7,508
地域社会教育推進事業														
(例) 市民センターまつり 地域懇談会 学びのコミュニティ関連事業 地域防災教室 社会学級連携事業 地域(自然・伝統)を知る講座	講座数	9	9	5	8	7	9	8	7	7	8	5	9	91
	回数	181	71	20	24	25	33	22	23	30	39	17	24	509
	参加者数	21,199	5,367	3,542	7,596	3,142	15,019	5,228	3,705	4,733	2,882	3,486	2,327	78,226
民間指導者育成事業														
(例) 各種ボランティア育成講座 各種ボランティア活動支援 ジュニアリーダー育成支援 子ども広場サポーター養成講座	講座数	3	2	2	3	2	0	1	2	3	2	2	2	24
	回数	22	17	14	13	17	0	5	13	37	12	15	12	177
	参加者数	208	110	105	182	145	0	45	122	190	68	125	123	1,423
合計		28	16	17	20	17	18	17	18	15	17	18	20	210
		319	116	122	75	72	169	74	69	92	88	80	67	1,332
		25,596	6,385	5,413	9,454	4,188	17,219	6,696	4,355	5,809	3,711	5,942	2,977	97,081

2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は、「小計」及び「総計」欄では1事業として計上しています。

(※6)太白区中央市民センターと区内地区館の「インリーダー研修」

(※7)泉区中央市民センターと加茂市民センターの「泉中央南復興公営住宅入居者交流事業「ようこそ　泉中央南へ」」

泉区														
泉区 中央	根白石	南光台	黒松	将監	加茂	高森	松陵	寺岡	長命 ケ丘	松森	桂	南中山	小計	総計
3	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17	81
8	2	5	8	3	6	3	2	4	5	2	1	8	57	336
324	63	97	174	42	258	224	26	153	379	68	175	136	2,119	10,002
6	3	5	3	5	3	3	4	5	4	3	1	4	49	188
53	8	7	8	8	8	7	6	9	12	10	5	7	148	808
1,867	197	398	62	416	296	281	424	387	486	702	110	279	5,905	31,870
													(※7)	
4	2	1	2	3	2	0	2	2	1	3	0	1	22	107
25	8	8	6	8	10	0	5	10	3	8	0	1	88	771
375	157	115	121	162	289	0	89	93	47	138	0	120	1,468	18,837
2	2	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	17	83
18	17	11	9	10	9	9	9	10	18	9	8	8	145	736
831	592	713	564	479	456	412	414	371	854	493	350	362	6,891	48,627
11	9	7	5	9	7	7	7	5	5	3	10	8	93	438
67	38	19	23	25	20	20	15	13	17	8	57	30	352	1,950
2,751	1,878	2,194	1,688	2,925	1,833	6,051	3,099	1,993	2,830	1,750	3,209	1,235	33,436	227,866
4	3	4	3	2	4	4	3	3	2	3	3	3	41	160
34	37	49	23	15	35	43	36	21	14	26	22	23	378	1,433
279	286	384	129	94	247	613	369	174	103	108	143	86	3,015	13,163
30	20	20	16	21	18	16	18	17	16	14	16	18	239	1,057
205	110	99	77	69	88	82	73	67	69	63	93	77	1,168	6,034
6,427	3,173	3,901	2,738	4,118	3,379	7,581	4,421	3,171	4,699	3,259	3,987	2,218	52,834	350,365

4　主催事業参加者数推移

（※）2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は表上段の市民センターに計上しています。

青　葉　区　　（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
青葉区中央	16,907	10,386	12,593	10,186	10,575	14,735	
柏木	2,234	1,528	1,614	2,401	2,794	3,284	
北山	229	1,149	2,001	2,227	2,474	3,812	平成21年6月1日～平成23年1月17日現地建替工事のため休館
福沢	2,430	1,931	2,847	2,376	2,937	3,640	
旭ケ丘		3,854	6,986	9,293	6,939	6,940	
三本松	2,680	741	2,347	2,411	2,990	618	平成27年8月1日～平成28年4月14日大規模修繕工事のため休館
片平	1,929	2,056	3,397	3,084	2,493	3,168	
水の森	5,016	4,275	4,575	4,668	4,705	4,775	
貝ケ森	5,417	3,478	4,417	4,330	3,967	4,091	
中山	3,632	3,139	3,135	3,163	3,610	4,998	
折立	2,437	2,129	2,918	2,791	3,252	3,121	
木町通	7,365	8,615	8,266	5,455	2,761	3,057	
広瀬	3,075	3,245	3,740	4,316	5,257	8,659	
宮城西	3,859	3,118	4,016	4,004	7,133	4,296	平成22年8月1日～平成24年7月2日改築工事のため休館
大沢	4,286	549	1,814	1,853	4,144	3,968	
落合	2,756	2,116	3,122	2,509	2,325	2,199	
吉成	2,023	1,551	2,471	2,899	2,442	2,221	
計	66,275	53,860	70,259	67,966	70,798	77,582	

宮　城　野　区　　（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
生涯学習支援	17,766	5,350	18,781	16,489	22,400	16,485	
宮城野区中央	－	－	4,709	5,148	5,467	6,686	平成24年8月28日新設
高砂	13,855	4,813	16,467	17,051	25,039	21,746	
岩切	4,683	1,463	4,451	4,820	4,629	4,014	
鶴ケ谷	5,420	1,808	2,091	2,504	2,244	2,180	平成23年3月11日の東日本大震災以降休館，平成28年4月2日再開館
榴ケ岡	4,850	2,326	2,329	3,234	5,286	3,024	平成22年10月1日～12月31日：耐震工事等のため一部施設の貸出停止平成24年1月5日～2月6日改修工事のため休館。 平成24年8月1日～27日宮城野区中央市民センター開館準備のため休館。平成24年8月28日軽体育館を市民センターに名称変更 平成27年8月1日から10月31日まで修繕工事のため休館
東部	2,554	2,570	3,094	4,168	4,073	4,570	
幸町	4,453	3,047	5,024	6,606	4,888	3,920	
田子	5,554	3,796	4,583	5,677	7,106	7,073	
福室	4,461	4,895	5,844	5,547	5,153	5,412	
計	63,596	30,068	67,373	71,244	86,285	75,110	

◆平成23年3月11日に発生した東日本大震災により全館休館となりましたが、4月以降順次開館し、平成23年11月までに、建て替えとなった鶴ケ谷市民センターと南光台市民センターを除いて開館しました。

*「平成27年度仙台市市民センター事業報告書」等に基づき集計

若　林　区

（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
若林区中央	11,590	6,035	10,531	9,759	8,112	10,864	
七　　郷	16,861	13,422	15,682	16,413	12,738	12,145	
荒　　町	3,357	3,414	5,093	5,399	4,925	4,232	平成22年1月11日～2月1日 建て替えた施設の開館準備のため休館
六　　郷	931	4,180	5,659	4,319	4,846	5,043	平成22年4月1日～12月6日 大規模改修工事のため休館
沖　　野	7,969	9,850	10,070	11,116	11,873	12,009	
若　　林	4,906	3,420	3,492	3,165	3,206	3,465	
計	45,614	40,321	50,527	50,171	45,700	47,758	

太　白　区

（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
太白区中央	16,526	10,665	11,472	13,212	11,523	25,425	
生　　出	6,272	5,757	4,877	4,042	4,660	6,336	
中　　田	9,368	6,683	7,652	7,230	6,085	5,358	
西　多　賀	6,145	5,157	7,844	5,758	7,018	9,380	
八　本　松	7,739	7,401	7,204	7,154	2,114	4,129	平成26年11月1日～平成27年4月10日 大規模修繕工事のため休館
八　木　山	16,536	16,403	10,347	20,108	13,035	17,131	平成26年3月1日～平成27年4月2日 大規模修繕工事のため休館
山　　田	5,587	4,643	6,534	5,309	6,560	6,696	
茂　庭　台	4,571	4,885	3,866	4,727	4,051	4,316	
東　中　田	5,792	5,523	5,523	5,739	5,305	5,755	
柳　　生	3,931	4,700	3,993	3,828	3,937	3,690	
富　　沢	4,698	3,988	3,714	5,005	5,368	5,888	
秋　　保	5,853	2,948	3,768	3,415	3,953	2,977	平成25年4月1日～4月30日 新館移転準備のため休館
計	93,018	78,753	76,794	85,527	73,609	97,081	

泉　　区

（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
泉区中央	11,219	3,571	5,011	7,261	8,030	6,427	
根　白　石	2,351	1,641	2,239	2,105	2,364	3,173	
南　光　台	6,328	3,033	2,122	2,284	2,738	3,901	平成23年3月11日の東日本大震災以降 休館，平成27年3月28日再開館
黒　　松	3,726	3,583	3,290	4,195	3,911	2,738	
将　　監	4,636	3,428	4,632	3,482	3,591	4,118	
加　　茂	3,655	881	3,610	2,675	3,098	3,141	平成23年9月1日～平成24年4月16日 大規模改修工事のため休館
高　　森	6,707	6,443	8,930	10,614	9,358	7,581	
松　　陵	4,169	4,102	4,063	3,940	3,821	4,421	
寺　　岡	3,671	3,017	3,374	3,359	3,189	3,171	
長命ケ丘	3,976	3,952	4,576	4,353	4,843	4,699	
松　　森	4,104	2,389	2,851	3,147	3,553	3,259	
桂	6,789	3,792	5,758	6,360	5,802	3,987	
南　中　山	4,670	1,690	2,322	2,203	2,389	2,218	
計	66,001	41,522	52,778	55,978	56,687	52,834	

（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
合　　計	334,504	244,524	317,731	330,886	333,079	350,365	

５　市民センター利用者数推移

青　葉　区　　（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
青葉区中央	96,397	50,101	94,071	90,292	94,235	95,024
柏木	31,999	18,647	29,865	32,046	35,320	32,566
北山	2,595	32,973	32,963	35,018	35,264	39,390
福沢	47,434	44,980	49,167	48,210	49,226	45,315
旭ケ丘	81,680	24,868	79,339	83,761	78,004	76,637
三本松	25,579	9,872	22,134	22,178	23,414	7,833
片平	64,195	33,922	63,226	64,967	75,581	75,747
水の森	55,888	50,571	58,791	66,883	65,916	72,592
貝ケ森	62,547	44,493	46,996	50,955	50,044	47,328
中山	59,007	39,289	60,496	71,369	69,244	63,873
折立	42,172	34,367	45,968	44,766	46,664	50,448
木町通	72,566	60,050	77,012	79,860	84,750	81,235
広瀬	44,983	46,475	54,723	51,963	49,744	54,747
宮城西	4,537	0	15,331	24,784	26,772	22,513
大沢	33,228	31,217	28,185	27,810	26,997	31,909
落合	36,408	29,709	37,602	39,573	37,107	34,978
吉成	46,819	45,780	44,967	46,236	52,087	54,451
計	808,034	597,314	840,836	880,671	900,369	886,586

※宮城西：平成22年8月1日から平成24年7月2日まで現地建て替え工事のため休館
※三本松：平成27年8月1日から平成28年4月14日まで大規模修繕工事のため休館

宮　城　野　区　　（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
生涯学習支援	155,651	71,222	100,941	107,798	104,430	105,083
宮城野区中央	-	-	34,930	80,283	87,042	79,773
高砂	66,290	40,631	75,472	78,740	85,388	89,006
岩切	38,458	13,722	36,377	34,311	40,169	35,923
鶴ケ谷	60,606	0	0	0	0	0
榴ケ岡	26,494	4,915	9,006	32,762	32,767	25,115
(榴岡公園軽体育館)	33,306	21,695	34,031	－	－	－
東部	43,270	36,023	37,907	40,757	46,071	48,354
幸町	60,539	17,863	58,593	66,081	69,919	70,095
田子	54,959	34,369	59,956	62,813	67,116	76,428
福室	67,373	41,811	73,434	75,822	86,409	95,991
計	606,946	282,251	520,647	579,367	619,311	625,768

※宮城野区中央：平成24年8月28日新設　※榴岡公園軽体育館：平成24年8月28日に榴ケ岡市民センターに名称変更
※榴ケ岡：平成24年8月1日から27日まで宮城野区中央市民センター開館準備のため休館
※榴ケ岡：平成27年8月1日から10月31日まで改修工事のため休館
※鶴ケ谷：東日本大震災の影響により休館、平成28年4月2日再開館

若　林　区　　（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
若林区中央	89,473	47,224	86,111	85,272	85,975	80,028
七郷	57,406	28,643	65,520	60,528	64,024	68,540
荒町	58,544	37,056	58,902	62,160	60,091	59,163
六郷	17,761	36,122	71,186	70,066	71,255	70,057
沖野	54,716	42,744	57,682	65,892	72,564	69,903
若林	49,980	47,894	50,883	50,297	60,738	53,087
計	327,880	239,683	390,284	394,215	414,647	400,778

太　白　区

（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
太白区中央	92,298	64,928	86,755	92,373	89,763	88,613
生出	16,623	12,040	17,526	15,907	18,197	19,604
中田	48,272	41,628	45,318	48,958	52,941	47,254
西多賀	54,169	51,706	53,451	58,814	58,853	55,861
八本松	44,632	50,407	48,559	48,374	20,693	40,715
八木山	46,671	34,229	48,855	42,618	0	47,543
山田	39,849	27,807	39,918	42,869	42,075	39,709
茂庭台	42,337	35,795	42,645	42,575	46,008	43,698
東中田	49,499	46,868	52,958	53,866	52,712	55,580
柳生	63,539	59,954	68,307	73,683	77,188	73,740
富沢	70,340	38,492	60,519	61,366	62,733	63,172
秋保	8,288	7,955	9,393	10,409	14,443	12,217
馬場	3,666	2,978	3,906	3,333	4,177	5,048
湯元	8,835	7,359	7,114	6,261	5,735	6,866
計	589,018	482,146	585,224	601,406	545,518	599,620

※八本松：平成26年11月1日から平成27年4月10日まで大規模修繕工事のため休館
※八木山：平成26年3月1日から平成27年4月2日まで大規模修繕工事のため休館
※秋保：平成25年4月1日から4月30日まで新館移転準備のため休館

泉　　区

（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
泉区中央	57,934	41,907	51,947	52,268	53,768	50,830
根白石	21,423	11,842	22,193	21,827	23,348	22,042
南光台	29,100	0	0	0	82	46,584
黒松	51,311	40,778	53,756	51,901	51,523	50,754
将監	37,585	28,913	36,617	35,642	42,693	33,205
加茂	47,739	8,646	45,660	48,832	52,224	52,026
高森	34,776	31,932	36,511	36,192	38,133	39,912
松陵	29,412	15,611	30,385	32,270	30,037	28,931
寺岡	36,165	34,201	40,699	34,029	34,548	36,685
長命ケ丘	40,850	36,578	46,958	42,290	41,390	42,121
松森	42,262	37,967	37,207	38,389	35,477	34,069
桂	50,586	42,309	53,370	51,663	51,727	51,605
南中山	48,519	68,371	39,156	38,335	39,580	37,956
計	527,662	399,055	494,459	483,638	494,530	526,720

※南光台：東日本大震災の影響により休館、平成27年3月28日再開館
※加茂：平成23年9月1日から平成24年4月16日まで大規模改修工事により休館

（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
合計	2,859,540	2,000,449	2,831,450	2,939,297	2,974,375	3,039,472

*「平成27年度仙台市市民センター事業報告書」等に基づき集計

６　仙台市市民センター条例・施行規則

仙台市市民センター条例

平成二年三月一六日

仙台市条例第八号

（設置）

第一条　市民相互の交流と地域活動の振興に資するとともに、市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）第二十四条の規定に基づき、市民センター（以下「センター」という。）を設置する。

２　センターの種類は、次のとおりとする。

一　生涯学習支援センター（本市の全域を主たる対象区域としてその事業を行うとともに、他の全てのセンターを統括するセンターをいう。）

二　区中央市民センター（その所在する区の区域内を主たる対象区域としてその事業を行うとともに、当該区域内に所在する地区市民センターを支援するセンターをいう。）

三　地区市民センター（前二号に掲げるセンター以外のセンターをいう。）

（名称及び位置）

第二条　センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

一　生涯学習支援センター

名称	位置
仙台市生涯学習支援センター	仙台市宮城野区榴岡四丁目1番8号

二　区中央市民センター

名称	位置
仙台市青葉区中央市民センター	仙台市青葉区一番町二丁目1番4号
仙台市宮城野区中央市民センター	仙台市宮城野区五輪二丁目12番70号
仙台市若林区中央市民センター	仙台市若林区南小泉一丁目1番1号、保春院前丁3番地の4
仙台市太白区中央市民センター	仙台市太白区長町五丁目3番2号
仙台市泉区中央市民センター	仙台市泉区市名坂字東裏53番地の1

三　地区市民センター

名称	位置
仙台市柏木市民センター	仙台市青葉区柏木三丁目3番1号
仙台市北山市民センター	仙台市青葉区新坂町8番4号
仙台市福沢市民センター	仙台市青葉区福沢町9番9号
仙台市旭ケ丘市民センター	仙台市青葉区旭ケ丘三丁目25番15号
仙台市三本松市民センター	仙台市青葉区堤町三丁目23番1号
仙台市片平市民センター	仙台市青葉区米ケ袋一丁目1番35号
仙台市水の森市民センター	仙台市青葉区水の森四丁目1番1号
仙台市貝ケ森市民センター	仙台市青葉区貝ケ森一丁目4番6号
仙台市中山市民センター	仙台市青葉区中山三丁目13番1号
仙台市折立市民センター	仙台市青葉区折立三丁目20番1号
仙台市木町通市民センター	仙台市青葉区木町通一丁目7番36号
仙台市広瀬市民センター	仙台市青葉区下愛子字観音堂5番地
仙台市宮城西市民センター	仙台市青葉区熊ケ根字石積47番地
仙台市大沢市民センター	仙台市青葉区芋沢字要害65番地
仙台市落合市民センター	仙台市青葉区落合二丁目15番15号
仙台市吉成市民センター	仙台市青葉区国見ケ丘二丁目2番地の1
仙台市高砂市民センター	仙台市宮城野区高砂一丁目24番地の9
仙台市岩切市民センター	仙台市宮城野区岩切字三所南88番地の2
仙台市鶴ケ谷市民センター	仙台市宮城野区鶴ケ谷二丁目1番地の７
仙台市榴ケ岡市民センター	仙台市宮城野区五輪一丁目3番1号
仙台市東部市民センター	仙台市宮城野区平成一丁目3番27号
仙台市幸町市民センター	仙台市宮城野区幸町三丁目13番13号
仙台市田子市民センター	仙台市宮城野区田子二丁目4番25号
仙台市福室市民センター	仙台市宮城野区福室五丁目9番36号
仙台市七郷市民センター	仙台市若林区荒井字堀添65番地の五
仙台市荒町市民センター	仙台市若林区荒町86番地の二
仙台市六郷市民センター	仙台市若林区今泉一丁目3番19号
仙台市若林市民センター	仙台市若林区若林三丁目15番20号
仙台市沖野市民センター	仙台市若林区沖野七丁目34番43号
仙台市生出市民センター	仙台市太白区茂庭字新熊野64番地
仙台市中田市民センター	仙台市太白区中田四丁目1番5号
仙台市西多賀市民センター	仙台市太白区西多賀三丁目6番8号
仙台市八本松市民センター	仙台市太白区八本松二丁目4番20号
仙台市八木山市民センター	仙台市太白区八木山本町一丁目43番地
仙台市山田市民センター	仙台市太白区山田北前町13番1号
仙台市茂庭台市民センター	仙台市太白区茂庭台四丁目1番10号
仙台市東中田市民センター	仙台市太白区四郎丸字吹上51番地
仙台市柳生市民センター	仙台市太白区柳生七丁目20番地の7
仙台市富沢市民センター	仙台市太白区富沢南一丁目18番地の10
仙台市秋保市民センター	仙台市太白区秋保町長袋字大原44番地の1
仙台市馬場市民センター	仙台市太白区秋保町馬場字竹林45番地の1
仙台市湯元市民センター	仙台市太白区秋保町湯向2番地の20
仙台市根白石市民センター	仙台市泉区根白石字杉下前24番地
仙台市南光台市民センター	仙台市泉区南光台七丁目1番30号
仙台市黒松市民センター	仙台市泉区黒松一丁目33番40号
仙台市将監市民センター	仙台市泉区将監八丁目2番1号
仙台市加茂市民センター	仙台市泉区加茂四丁目2番地
仙台市高森市民センター	仙台市泉区高森六丁目1番地の2
仙台市松陵市民センター	仙台市泉区松陵五丁目20番地の2
仙台市寺岡市民センター	仙台市泉区寺岡二丁目14番地の4
仙台市長命ケ丘市民センター	仙台市泉区長命ケ丘二丁目14番地の15
仙台市松森市民センター	仙台市泉区松森字城前9番地の2
仙台市桂市民センター	仙台市泉区桂三丁目19番地の1
仙台市南中山市民センター	仙台市泉区南中山二丁目24番地の12

（使用の許可）

第三条　センターを使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

２　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないことができる。

一　公の秩序を乱すおそれがあるとき

二　センターの管理上支障を及ぼすおそれがあるとき

三　前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不適当と認めるとき

（使用料）

第四条　センターの使用料は、別表に定めるとおりとする。

２　使用料は、前条第一項の許可の際、納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第四条の二　市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第三条第一項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一　天災その他自己の責めによらない事由によりセンターを使用できないとき

二　市長が別に定める期間内にセンターの使用の取りやめを申し出たとき

（使用料の返還）

第五条　既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者につき前条各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

（使用料の減免）

第六条　市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

（目的外使用の禁止）

第七条　使用者は、許可を受けた目的以外にセンターを使用してはならない。

（使用権の譲渡等の禁止）

第八条　使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

（使用許可の取消し等）

第九条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第三条第一項の許可を取り消し、又はセンターの使用を制限し、若しくは停止することができる。

一　使用者がこの条例又は使用の許可の際に付された条件に違反したとき

二　第三条第二項各号のいずれかに該当することとなったとき

（指定管理者）

第十条　教育委員会は、センターの管理運営上必要と認めるときは、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）にセンターの管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第十一条　前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

一　第三条第一項の許可に関する業務

二　センターの事業として教育委員会がセンターごとに定める事業に関する業務

三　センターの維持管理に関する業務

四　前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

２　前項の場合における第三条及び第九条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（指定管理者が行う管理の基準）

第十二条　指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則

の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

（審議会）

第十三条　社会教育法第二十九条第一項の規定に基づき、本市が設置する全ての市民センターに共通の公民館運営審議会として、仙台市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

2　審議会の委員の委嘱の基準は、社会教育委員及び公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令（平成二十三年文部科学省令第四十二号）第二条に規定する基準とする。

3　審議会の委員の定数は、十七人以内とする。

4　審議会の委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5　前三項に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

（委任）

第十四条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則省略

別表（第四条関係）

一　専用使用する場合

使用区分		金額	
仙台市生涯学習支援センター	会議室	一時間につき	610円
	第1セミナー室(A)	一時間につき	610円
	第1セミナー室(B)	一時間につき	610円
	第1セミナー室(C)	一時間につき	610円
	第2セミナー室	一時間につき	920円
	ミーティング室	一時間につき	390円
	和室	一時間につき	780円
	第1音楽室	一時間につき	1,000円
	第2音楽室	一時間につき	1,000円
	創作室(1)	一時間につき	780円
	創作室(2)	一時間につき	780円
	トレーニング室	一時間につき	780円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市青葉区中央市民センター	第1会議室	一時間につき	780円
	第2会議室	一時間につき	780円
	第3会議室	一時間につき	610円
	第4会議室	一時間につき	780円
	第5会議室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	920円
	小ホール(1)	一時間につき	920円
	小ホール(2)	一時間につき	780円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市宮城野区中央市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	第3会議室	一時間につき	920円
	第4会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市若林区中央市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	610円
	第3会議室	一時間につき	920円
	セミナー室(A)	一時間につき	610円
	セミナー室(B)	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	和室(4)	一時間につき	610円
	和室(5)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	720円
	創作室	一時間につき	780円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市太白区中央市民センター	大会議室	一時間につき	920円
	中会議室	一時間につき	780円
	第1小会議室	一時間につき	610円
	第2小会議室	一時間につき	610円
	第3小会議室	一時間につき	610円
	和室（大）	一時間につき	920円
	和室（小）	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	780円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市泉区中央市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	第3会議室	一時間につき	390円
	研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	720円
	創作室	一時間につき	780円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市柏木市民センター	会議室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市北山市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	第3会議室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	610円
	和室(4)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	720円
	トレーニング室	一時間につき	720円
仙台市福沢市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	920円
	第3会議室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	視聴覚室	一時間につき	720円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市旭ケ丘市民センター	第1会議室	一時間につき	1,000円
	第2会議室	一時間につき	780円
	第3会議室	一時間につき	780円
	展示ホール(1)	一時間につき	920円
	展示ホール(2)	一時間につき	720円
	小ホール	一時間につき	780円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市二本松市民センター	会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市片平市民センター	第1会議室	一時間につき	780円
	第2会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	610円
	和室(3)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市水の森市民センター	会議室	一時間につき	780円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	610円
	和室(3)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市貝ケ森市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市中山市民センター	会議室	一時間につき	780円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市折立市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市木町通市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	1,000円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市広瀬市民センター	会議室	一時間につき	610円
	セミナー室(A)	一時間につき	610円
	セミナー室(B)	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	390円
	創作室	一時間につき	610円
仙台市宮城西市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市大沢市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	390円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市泉各市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市吉成市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市高砂市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市若切市民センター	講義室	一時間につき	390円
	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	視聴覚室	一時間につき	720円
	調理実習室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	390円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市鶴ケ谷市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	第3会議室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市燧ケ岡市民センター	ミーティングルーム(1)	一時間につき	920円
	ミーティングルーム(2)	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市東部市民センター	会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市幸町市民センター	会議室	一時間につき	780円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市田子市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	1,000円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市福室市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市七郷市民センター	会議室	一時間につき	390円
	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	視聴覚室	一時間につき	920円
	調理実習室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市荒町市民センター	第1会議室	一時間につき	390円
	第2会議室	一時間につき	390円
	第3会議室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市六郷市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	390円
	第3会議室	一時間につき	390円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市若林市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市沖野市民センター	会議室	一時間につき	780円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市生出市民センター	第1講義室	一時間につき	610円
	第2講義室	一時間につき	390円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市中田市民センター	講義室	一時間につき	610円
	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	視聴覚室	一時間につき	720円
	調理実習室	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市西多賀市民センター	第1会議室	一時間につき	390円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	780円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市八本松市民センター	会議室	一時間につき	390円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市八木山市民センター	会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	920円
	第1研修室	一時間につき	610円
	第2研修室	一時間につき	780円
	第3研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市山田市民センター	会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市茂庭台市民センター	会議室	一時間につき	610円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市東中田市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市柳生市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	390円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市富沢市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市秋保市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	研修室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市馬場市民センター	会議室	一時間につき	390円
	講義室	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	480円
	体育館	午前	2,000円
		午後	2,400円
		夜間	2,500円
仙台市湯元市民センター	会議室	一時間につき	390円
	講義室	一時間につき	390円
	和室	一時間につき	610円
	視聴覚室	一時間につき	480円
	調理実習室	一時間につき	480円
	集会室	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市根白石市民センター	大会議室	一時間につき	920円
	小会議室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	920円
	工作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市南光台市民センター	第1会議室	一時間につき	610円
	第2会議室	一時間につき	610円
	第3会議室	一時間につき	610円
	第4会議室	一時間につき	920円
	和室	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市黒松市民センター	第1研修室	一時間につき	610円
	第2研修室	一時間につき	780円
	和室	一時間につき	780円
	多目的室	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	720円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市将監市民センター	第1研修室	一時間につき	610円
	第2研修室	一時間につき	610円
	第3研修室	一時間につき	610円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市加茂市民センター	会議室	一時間につき	390円
	第1研修室	一時間につき	920円
	第2研修室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市南茂市民センター	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	610円
	第3研修室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	音楽室	一時間につき	720円
	工作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市松陵市民センター	第1研修室	一時間につき	780円
	第2研修室	一時間につき	610円
	第3研修室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	780円
	調理実習室	一時間につき	720円
	工作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

仙台市寺岡市民センター	第1研修室	一時間につき	610円
	第2研修室	一時間につき	610円
	第3研修室	一時間につき	610円
	和室	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	720円
	トレーニング室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市長命ケ丘市民センター	会議室	一時間につき	920円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	780円
	和室(1)	一時間につき	610円
	和室(2)	一時間につき	920円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市松森市民センター	会議室	一時間につき	920円
	和室（大）	一時間につき	920円
	和室（小）	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	工作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市桂市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	390円
	和室(1)	一時間につき	920円
	和室(2)	一時間につき	610円
	調理実習室	一時間につき	920円
	創作室	一時間につき	610円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円
仙台市南中山市民センター	第1会議室	一時間につき	920円
	第2会議室	一時間につき	610円
	研修室	一時間につき	920円
	和室(1)	一時間につき	390円
	和室(2)	一時間につき	390円
	和室(3)	一時間につき	390円
	調理実習室	一時間につき	720円
	体育館	午前	2,500円
		午後	3,000円
		夜間	3,100円

備考

一　使用時間は、午前九時から午後九時までとする。

二　「午前」とは午前九時から正午までを、「午後」とは午後一時から午後四時三十分までを、「夜間」とは午後五時三十分から午後九時までをいう。

三　その使用に係る時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。

四　一時間ごとの使用料を定めた使用区分において、第一号の使用時間以外の時間に使用する場合における使用料は、この表に定める額とする。

五　前号の使用区分以外の使用区分において、次のイからハまでに掲げる使用時間に係る使用料は、それぞれイからハまでに掲げる額とする。

イ　午前九時から午後四時三十分まで　午前の項及び午後の項に定める額の合計額

ロ　午後一時から午後九時まで　午後の項及び夜間の項に定める額の合計額

ハ　午前九時から午後九時まで　午前の項、午後の項及び夜間の項に定める額の合計額

六　前号の使用区分において、第一号に定める使用時間以外の時間に使用する場合（前号の場合を除く。）における使用料は、午後の項に定める額を時間割りして計算した額（十円未満の端数が生じたときは、これを十円に切り上げる。）とする。

七　使用者が対価の支払を受けて展示会その他の催しを行う場合その他これに類する場合の使用料は、この表に定める額の三倍以内において市長が定める。

八　会議室兼調理実習室を会議のために区分して使用する場合の使用料は、この表に定める額に〇・七を乗じて得た額（十円未満の端数が生じたときは、これを十円に切り上げる。）とする。

二　個人使用する場合

使用区分		金額
体育館・ホール・仙台市生涯学習支援センター及び仙台市北山市民センターのトレーニング室	一般	一回につき　240円
	小学生・中学生	一回につき　120円
仙台市寺岡市民センターのトレーニング室		一回につき　240円

仙台市市民センター条例施行規則

平成二年三月二九日

仙台市教育委員会規則第五号

（趣旨）

第一条　この規則は、仙台市市民センター条例（平成二年仙台市条例第八号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（使用時間）

第二条　市民センター（以下「センター」という。）の施設の使用時間は、午前九時から午後九時までとする。

２　前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、同項に規定するセンターの施設の使用時間を変更することができる。

（休館日）

第三条　センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は休館することができる。

一　月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第百七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）

二　休日の翌日（土曜日、日曜日又は休日に当たる日を除く。）

三　十二月二十八日から翌年の一月四日までの日（前二号に掲げる日を除く。）

（使用許可の手続）

第四条　条例第三条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用申込書及び教育委員会が必要と認める書類（次項において「使用申込書等」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

２　前項の規定による使用申込書等の提出は、次に定めるところにより行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認める場合は、この限りでない。

一　センターの施設を専用使用しようとする場合には、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の属する月の二月前の月の十日から使用日までの期間内に行うこと

二　センターの施設を個人使用しようとする場合には、使用日に行うこと

３　教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

４　センターの施設の使用許可に係る手続（センターの施設を個人使用しようとする場合及び次条第二項に規定する場合の使用許可に係る手続を除く。）については、前三項の規定にかかわらず、市民利用施設予約システム（仙台市民利用施設予約システムの運用及び利用者登録等に関する規則（平成十五年仙台市規則第八十七号）第二条第二号に規定するものをいう。）を利用する方法により行うことができる。

第四条の二　条例第三条第二項第三号に規定する教育委員会が不適当と認めるときは、次の各号に掲げる場合とする。

一　センターの施設において物品又は権利の販売又は宣伝（次項において「物品販売等」という。）を行おうとする場合

二　その他センターの設置目的に照らして教育委員会が不適当と認める場合

２　教育委員会は、前項第一号の規定にかかわらず、センターの設置目的に照らして適当と認める場合は、センターの施設において物品販売等を行おうとする者に対し、使用許可をすることができる。この場合において、物品販売等を行おうとする者は、教育委員会が必要と認める書類を教育委員会に提出しなければならない。

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第五条　条例第四条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

一　使用料を口座振替の方法により納入する場合　使用許可を受けた日の属する月の翌月末日

二　区長が特別な事由があると認める場合　区長が定める日

（市長が必要と認めるときの使用料の額の特例）

第六条　使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第四条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

2　条例第四条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一　使用許可を受けた日から使用日の七日前の日までの期間　零

二　使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間　条例第四条第一項の規定による使用料（条例第六条の規定により使用料を減免した場合にあっては、当該減免後の使用料）の額

3　使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、センターの施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

（使用料の返還）

第七条　使用者が条例第四条の二第一号に該当すると区長が認める場合において、条例第五条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。

2　使用者が条例第四条の二第二号に該当すると区長が認める場合において、条例第五条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、前条第二項第一号に掲げる期間においては、既納の使用料の全額とする。

3　使用料の返還を受けようとする者は、還付請求書を区長に提出しなければならない。ただし、区長が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用）

第八条　条例第十条の規定により指定管理者（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）にセンターの管理を行わせる場合における第四条の規定の適用については、同条中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（審議会）

第九条　仙台市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）は、次に掲げる事務を所掌する。

一　生涯学習支援センター長から諮問のあったことについて、審議すること

二　センターにおける各種の事業について、調査研究すること

三　センターにおける各種の事業について、評価すること

四　その他審議会が必要と認める事項について、審議等を行うこと

2　審議会に会長及び副会長一人を置く。

3　会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。

4　会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

5　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十条　会長は、審議会の会議を招集し、その議長となる。

2　審議会の会議は、二月ごとに一回開くものとする。ただし、会長が必要と認めたときは、臨時に開くことができる。

3　審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4　審議会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十一条　審議会の庶務は、生涯学習支援センターにおいて処理する。

第十二条　前三条に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

（実施細目）

第十三条　この規則の実施細目は、教育長が定める。

附則省略

平成 27 年度
仙台市市民センター事業概要

平成 28 年 9 月　発行

編集・発行　　仙台市教育局生涯学習支援センター
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡四丁目 1 番 8 号
（パルシティ仙台ビル内）
電話　022（295）0403
FAX　022（295）0810